

# Canon

## imageRUNNER

iR3045/iR3045F  
iR3035/iR3035F  
iR3025/iR3025F

### ユーザーズガイド



**最初にお読みください。**

ご使用前に必ず本書をお読みください。

将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

# 取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

下記はオプションに添付されている取扱説明書も含んでいます。購入された製品、システム構成によっては、お手元がない取扱説明書（ご利用になれない機能）があります。



このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められています。

- 基本的な操作、便利な使いかたを早く簡単に知るには

かんたん操作ガイド



- 便利な機能の使いかたを学習するには

機能の使いかたの一例を学べるほか、シミュレータによる操作手順の体験学習もできる教材です。

チュートリアル CD



- 基本的な使いかたを知るには
- 困ったときには

ユーザーズガイド  
(本書)



- コピー/ボックスの使いかたを知るには

コピー/ボックスガイド



- 送信機能/ファクスの使いかたを知るには

送信/ファクスガイド



- プリンタ機能の使いかたを知るには

LIPS LX プリンタ、LIPS V プリンタの場合は LIPS プリンタガイド、N201、ESC/P、I5577、HP-GL プリンタの場合は各エミュレーションガイド(エミュレーションガイドの PDF マニュアルは、付属の CD-ROM に収められています。)

プリンタガイド



- リモート UI などから TIFF/JPEG 画像や PDF の印刷のしかたを知るには

ダイレクトプリントガイド



- リモート UI の使いかたを知るには

リモート UI ガイド



- ネットワークとの接続や設定について知るには

ネットワークガイド



- Network ScanGear ドライバのインストールのしかたなどについて知るには

Network ScanGear  
ユーザーズガイド



- プリンタドライバのインストールのしかたなどについて知るには

ソフトウェアガイド



LIPS LX プリンタの場合は LIPS LX ソフトウェアガイド  
LIPS V プリンタの場合は LIPS V ソフトウェアガイド

- ファクストライバのインストールのしかたなどについて知るには

**ファクストライバガイド**



- MEAP アプリケーションのインストールのしかたや MEAP 機能の管理について知るには

**MEAP アプリケーション  
管理機能ガイド**



- MEAP のログインサービスについて知るには

**MEAP 認証システム  
設定ガイド**



# 本書の構成について

## 第1章 お使いになる前に

必ずお読みください

## 第2章 おもな機能と基本的な使いかた

## 第3章 オプション機器について

## 第4章 使いかたにあわせた仕様の設定

## 第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

## 第6章 システム管理設定

## 第7章 日常のメンテナンス

## 第8章 困ったときには

## 第9章 付録

本体やオプション機器の仕様、レポートサンプル、原稿の向きと排紙の向きについて、ローマ字入力表、JIS 漢字コード表などを説明、掲載しています。

- 
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
  - 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
  - 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

# 目次

---

はじめに.....	xiii
本書の読みかた.....	xiii
マークについて.....	xiii
キーについて.....	xiv
画面について.....	xiv
イラストについて.....	xv
本製品の動作と本書で用いる用語について.....	xvi
規制について.....	xviii
本体製品名称について.....	xviii
電波障害規制について.....	xviii
高調波の抑制について.....	xviii
国際エネルギースタープログラムについて.....	xviii
物質エミッションに関する認定基準について.....	xix
略称について.....	xix
商標について.....	xix
原稿などを読み込む際の注意事項.....	xx
安全にお使いいただくために.....	xxi
設置について.....	xxi
電源について.....	xxiii
取り扱いについて.....	xxiv
保守/点検について.....	xxvi
消耗品について.....	xxvii
その他.....	xxvii
資源再利用のお願い.....	xxviii
ブレーカーの定期点検.....	xxix
ブレーカーのチェックのしかた.....	xxix
iR3045/iR3035/iR3025 シリーズブレーカー点検チェックシート.....	xxxii

## 第 1 章 お使いになる前に

---

設置場所と取り扱いについて.....	1-2
設置場所のご注意.....	1-2
次のような場所への設置は避けてください.....	1-2
電源は安全な場所から.....	1-5
設置スペースにはゆとりを.....	1-6
アース線の接続を忘れずに.....	1-7

---

移動の際はご連絡を .....	1-8
取扱上のご注意 .....	1-8
<b>本体各部の名称とはたらき .....</b>	<b>1-11</b>
本体外観 .....	1-11
本体内部 .....	1-13
操作パネル各部の名称とはたらき .....	1-14
<b>主電源と操作部電源について .....</b>	<b>1-15</b>
主電源の入れかた .....	1-15
操作部電源スイッチについて .....	1-20
主電源の切りかた .....	1-20
<b>本製品のシステム設定について .....</b>	<b>1-25</b>
<b>ライセンス登録が必要なオプション機能をお使いになるには .....</b>	<b>1-26</b>
ライセンスキーを取得する .....	1-27
ライセンス登録をする (ライセンス登録) .....	1-28

## 第 2 章 おもな機能と基本的な使いかた

---

<b>iR3045/iR3035/iR3025 シリーズのおもな機能 .....</b>	<b>2-2</b>
<b>こんなことができます .....</b>	<b>2-5</b>
タッチパネルディスプレイの表示について .....	2-5
タッチパネルディスプレイの表示を切り替えることができます .....	2-5
オプション装着状態による画面の違いについて .....	2-7
新機能を追加することができます .....	2-7
使いかたにあわせて仕様の設定ができます .....	2-8
消費電力を抑えることができます .....	2-9
ジョブの確認や操作ができます .....	2-10
かんたんナビ画面を表示させることができます .....	2-12
ネットワーク管理者からのメッセージを知ることができます .....	2-14
掲示板の種類について .....	2-14
その他のご紹介しておきたい機能 .....	2-15
<b>タッチパネルディスプレイの操作について .....</b>	<b>2-18</b>
タッチパネルディスプレイでよく使うキーについて .....	2-18
タッチパネルディスプレイのキー表示について .....	2-18
タッチパネルディスプレイの明るさを調節する .....	2-20
<b>タッチパネルディスプレイから文字を入力する .....</b>	<b>2-21</b>
文字を入力する .....	2-21
文節の区切りを変更する .....	2-23
インチ入力のしかたについて .....	2-25
<b>部門 ID と暗証番号を入力する .....</b>	<b>2-26</b>
<b>SDL や SSO の認証画面でログインする .....</b>	<b>2-29</b>

<b>原稿をセットする</b> .....	<b>2-33</b>
原稿サイズについて.....	2-33
原稿の「タテ置き」と「ヨコ置き」について.....	2-34
原稿台ガラスにセットする.....	2-35
フィーダにセットする (DADF-M1).....	2-37
<b>手差しトレイの用紙にプリントする</b> .....	<b>2-40</b>
<b>複合動作について</b> .....	<b>2-51</b>
<b>使用できる用紙について</b> .....	<b>2-53</b>

## 第 3 章 オプション機器について

---

<b>システムの構成</b> .....	<b>3-3</b>
オプション機器.....	3-3
オプション装着例.....	3-5
システムオプション.....	3-6
組み合わせ可能なオプション.....	3-10
ユーティリティソフトウェア.....	3-13
<b>2 段カセットペディスタル・Y3</b> .....	<b>3-15</b>
各部の名称とはたらき.....	3-15
別売付属品.....	3-16
<b>サイドペーパーデッキ・Q1</b> .....	<b>3-17</b>
各部の名称とはたらき.....	3-17
<b>封筒カセット・C2</b> .....	<b>3-18</b>
各部の名称とはたらき.....	3-18
<b>DADF-M1</b> .....	<b>3-19</b>
各部の名称とはたらき.....	3-19
<b>フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1</b> .....	<b>3-20</b>
各部の名称とはたらき.....	3-20
フィニッシャの機能.....	3-21
<b>フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 / パンチャーユニット・L1</b> .....	<b>3-26</b>
各部の名称とはたらき.....	3-26
フィニッシャの機能.....	3-27
<b>インナー 2 ウェイトレイ・D1</b> .....	<b>3-32</b>
各部の名称とはたらき.....	3-33
<b>コピートレイ・J1</b> .....	<b>3-35</b>
各部の名称とはたらき.....	3-35
<b>ハンドセット・G2</b> .....	<b>3-37</b>
電話をかける.....	3-37

電話をうける.....	3-39
<b>カードリーダー - C1 .....</b>	<b>3-41</b>
本体を使用する前の操作.....	3-42
本体の使用終了後の操作.....	3-42
カードリーダー - C1 使用時の部門別 ID 管理について.....	3-43
初期設定／登録の操作の流れ.....	3-43
暗証番号と制限面数を変更する.....	3-44
現在使用しているコントロールカードのカウンタ情報を確認する.....	3-48
カウンタ情報の確認とプリントをする.....	3-49
カウンタ情報を消去する.....	3-50
ID 不定のプリントジョブ／スキャンジョブを受け付けるかどうかを設定する.....	3-51

## 第 4 章 使いかたにあわせた仕様の設定

---

<b>初期設定／登録画面の操作の流れ .....</b>	<b>4-3</b>
<b>初期設定／登録一覧表 .....</b>	<b>4-5</b>
<b>各機能に共通の仕様を設定する（共通仕様設定）.....</b>	<b>4-25</b>
初期画面を設定する.....	4-25
オートクリア後の表示画面を設定する.....	4-27
ブザーを設定する.....	4-28
用紙残量を表示するかどうかを設定する.....	4-28
インチ入力をするかどうかを設定する.....	4-29
カセットオート選択の ON/OFF を設定する.....	4-29
封筒カセットを登録する.....	4-30
給紙箇所用の紙種類を登録する.....	4-31
用紙種類選択の簡易／詳細設定画面のどちらを優先するかを設定する（用紙選択画面の優先表示）.....	4-32
スリープ時の消費電力を設定する.....	4-33
機能ごとの排紙トレイを設定する.....	4-35
プリント優先順位を設定する.....	4-37
イメージ合成のフォームを登録する.....	4-38
イメージ合成のフォーム登録.....	4-38
フォーム画像の詳細情報を確認する.....	4-40
フォーム画像の消去.....	4-40
ページ印字／スタンプの文字列を登録する.....	4-41
ページ印字／スタンプの文字列の登録.....	4-41
ページ印字／スタンプの文字列の編集.....	4-41
ページ印字／スタンプの文字列の消去.....	4-42
手差し封筒種指定を設定する.....	4-42
手差し用紙の標準モードを登録する.....	4-42
給紙方法の切り替えをする.....	4-44
ローカルプリントの標準モードを設定する.....	4-45



表示言語の切り替えをする.....	4-45
画面色反転を設定する.....	4-46
ジョブ間シフトを設定する.....	4-46
ジョブ間仕切紙を設定する.....	4-47
部数間仕切紙を設定する.....	4-47
プリント待ち時間表示を設定する.....	4-48
排紙トレイの用紙混載を設定する.....	4-48
原稿読み取り部の清掃表示を設定する.....	4-49
機能制限モードを設定する.....	4-49
共通仕様設定を初期化する.....	4-50
<b>各種タイマーを設定する (タイマー設定) .....</b>	<b>4-51</b>
時刻の微調整をする.....	4-51
オートスリープタイムの設定をする.....	4-51
オートクリアタイムの設定をする.....	4-52
ウイークリータイマーの設定をする.....	4-52
<b>調整をする (調整/クリーニング) .....</b>	<b>4-53</b>
ズーム微調整をする.....	4-53
中とじユニットの針の頭出しをする.....	4-53
中とじ位置を変更する.....	4-54
濃度を補正する.....	4-54
文字/背景のコントラスト調整.....	4-55
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは (フィーダのクリーニング) .....	4-57

## 第 5 章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

---

<b>カウンタを確認する.....</b>	<b>5-2</b>
<b>ジョブ状況やデバイス状況を確認する.....</b>	<b>5-4</b>
システム状況画面からの操作.....	5-5
プリント画面からの操作.....	5-7
<b>ジョブの詳細情報を確認する.....</b>	<b>5-9</b>
コピー、プリントジョブの詳細情報を確認する .....	5-9
システム状況画面からの操作 .....	5-9
プリント画面からの操作 .....	5-10
コピー、プリントジョブ履歴をプリントする.....	5-11
システム状況画面からの操作 .....	5-11
プリント画面からの操作 .....	5-12
<b>優先プリントする.....</b>	<b>5-13</b>
システム状況画面からの操作.....	5-13
プリント画面からの操作.....	5-14

## 第 6 章 システム管理設定

---

システム管理者情報を設定する (システム管理者情報の設定) .....	6-3
部門別 ID 管理を設定する (部門別 ID 管理) .....	6-5
部門 ID / 暗証番号 / 制限面数の登録 .....	6-6
暗証番号と制限面数を変更する .....	6-9
部門を消去する .....	6-10
カウント情報の確認とプリントをする .....	6-11
カウント情報を消去する .....	6-13
ID 不定のプリントジョブ / スキャンジョブを受け付けるかどうかを設定する .....	6-13
リモート UI の設定をする (リモート UI の ON/OFF) .....	6-15
デバイス情報を設定する (デバイス情報の設定) .....	6-16
掲示板を消去する (掲示板の消去) .....	6-17
ネットワークの自動接続 / 切断を設定する (自動オンライン / オフライン 移行) .....	6-18
自動オンライン移行を設定する (自動オンライン移行) .....	6-18
自動オフライン移行を設定する (自動オフライン移行) .....	6-18
日付 / 時刻を設定する (日付 / 時刻設定) .....	6-19
部数印字拡張を設定する (部数印字拡張の設定) .....	6-21
システム状況画面の制限を設定する (システム状況画面の制限) .....	6-23
システム状況 / 中止の使用制限を設定する (認証前のジョブ状況の表示) .....	6-23
プリント状況画面からのセキュアプリントの設定をする (プリント状況からセキュア プリントを許可) .....	6-24
システム状況画面のジョブ履歴の表示を設定をする (ジョブ履歴の表示) .....	6-24
MEAP の設定をする (MEAP 設定) .....	6-26
HTTP サーバを使用するかを設定する (HTTP を使用) .....	6-26
インストールされているアプリケーションの情報を印刷する (システム情報のプ rint) .....	6-27
機器情報配信の設定をする (機器情報配信の設定) .....	6-29
機器情報の配信先を登録 / 消去する .....	6-31
機器情報の配信先を登録する .....	6-31
機器情報の配信先の設定状況を確認する .....	6-32
機器情報の配信先を消去する .....	6-33
機器情報の配信先をプリントする .....	6-34
自動配信の設定をする .....	6-35
手動配信の設定をする .....	6-37
配信元による受信制限を設定する .....	6-38
機器情報のデータを更新前に戻す .....	6-38
配信されたデータの受信を制限する .....	6-39
通信履歴を確認プリントする .....	6-40

通信履歴を確認する .....	6-40
通信履歴をプリントする .....	6-40
<b>データを完全に消去する（全データ／設定の初期化） .....</b>	<b>6-42</b>
<b>ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示する（ID / ユーザ名表示の ON/OFF） .....</b>	<b>6-44</b>
<b>USB の設定をする（USB 設定） .....</b>	<b>6-45</b>
USB デバイスを使用するかどうか設定する（USB デバイスを使用） .....	6-45
USB ホストを使用するかどうか設定する（USB ホストを使用） .....	6-45
<b>暗号化セキュアプリントの設定をする（暗号化セキュアプリント設定） ....</b>	<b>6-46</b>
暗号化セキュアプリントジョブのみを受け付けるかどうか設定する（暗号化セキュアプリントジョブのみを受付） .....	6-46
IC カード使用時に自動でプリントをする（IC カード使用時の自動プリント） .....	6-46
<b>機密情報の入力時に伏せ字で表示する（機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF） .....</b>	<b>6-47</b>
<b>強制地紋印字モードを設定する（強制地紋印字モード） .....</b>	<b>6-48</b>
<b>ユーザボックスの設定をする（ユーザボックス一括設定） .....</b>	<b>6-51</b>
文書の自動消去までの時間を設定する（文書の自動消去までの時間） .....	6-51
プリンタドライバからの保存結果をプリントする（プリンタドライバから保存時のプリント） .....	6-52
<b>ユーザ定義の用紙種類を登録／編集する（用紙種類の管理設定） .....</b>	<b>6-53</b>
ユーザ定義の用紙種類を登録する .....	6-53
ユーザ定義の用紙種類を編集する .....	6-54
ユーザ定義の用紙種類を消去する .....	6-55

## 第 7 章  日常のメンテナンス

---

<b>用紙の補給 .....</b>	<b>7-2</b>
カセットに用紙を補給する .....	7-2
カセットの用紙サイズを変更する .....	7-6
<b>サイドペーパーデッキ・Q1（オプション） .....</b>	<b>7-9</b>
サイドペーパーデッキに用紙を補給する .....	7-9
<b>封筒カセット・C2（オプション） .....</b>	<b>7-13</b>
封筒カセットの使いかた .....	7-13
封筒をセットする前に .....	7-15
封筒を補給する .....	7-17
異なる規格の封筒をセットする .....	7-19
<b>フィーダ（DADF-M1）（オプション） .....</b>	<b>7-25</b>
スタンプカートリッジを交換する .....	7-25
<b>フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1（オプション） ....</b>	<b>7-27</b>

針ケースの交換.....	7-27
パンチ屑の処理.....	7-30
<b>フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 / パンチャーユニット・L1 (オプション).....</b>	<b>7-33</b>
ステイブルユニット針ケースの交換.....	7-33
中とじユニット針カートリッジの交換.....	7-36
パンチ屑の処理.....	7-39
<b>トナー容器の交換.....</b>	<b>7-42</b>
<b>日常のお手入れ.....</b>	<b>7-46</b>
原稿台ガラス/原稿台カバー裏面を清掃する.....	7-46
フィーダを清掃する.....	7-47
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは (フィーダのクリーニング).....	7-51
<b>消耗品.....</b>	<b>7-52</b>
<b>保守について.....</b>	<b>7-54</b>

## 第8章 困ったときには

---

<b>頻繁に紙づまりが起こるときは.....</b>	<b>8-3</b>
<b>紙づまりが起きたときには.....</b>	<b>8-4</b>
紙づまりが起こったときの表示.....	8-4
定着ユニットの紙づまりの処理.....	8-10
両面ユニットの紙づまりの処理.....	8-12
手差しトレイ部の紙づまりの処理.....	8-14
カセット1の紙づまりの処理.....	8-17
カセット2の紙づまりの処理.....	8-21
2段カセットベディスタル・Y3の紙づまりの処理 (オプション).....	8-24
サイドペーパーデッキ・Q1の紙づまりの処理 (オプション).....	8-27
フィーダ (DADF-M1) の紙づまりの処理 (オプション).....	8-30
フィニッシャー・S1の紙づまりの処理 (オプション).....	8-33
フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1の入り口の紙づまりの処理 (オプション).....	8-38
フィニッシャー・S1の入り口の紙づまりの処理 (オプション).....	8-43
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション).....	8-46
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2のパウファパスユニットの紙づまりの処理 (オプション).....	8-48
サドルフィニッシャー・AE2の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション).....	8-50
サドルフィニッシャー・AE2の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション).....	8-52
パンチャーユニット・L1の紙づまりの処理 (オプション).....	8-55
インナー2ウェイトレイ・D1の紙づまりの処理 (オプション).....	8-58
コピートレイ・J1の紙づまりの処理 (オプション).....	8-61

針づまりが起きたときには.....	8-64
フィニッシャー・S1 の針づまりの処理 (オプション) .....	8-64
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のステイブルユニットの 針づまりの処理 (オプション).....	8-68
サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション)....	8-71
<b>エラーメッセージ一覧.....</b>	<b>8-75</b>
自己診断表示.....	8-75
終了コード一覧.....	8-77
<b>読み込み中にメモリがいっぱいになったときには.....</b>	<b>8-85</b>
<b>サービスコール表示.....</b>	<b>8-87</b>
担当サービスを呼ぶときは.....	8-87
サービスコール画面から機能制限モードを設定する .....	8-89
<b>電源が入らないとき (ブレーカーの確認).....</b>	<b>8-91</b>

## 第 9 章 付録

---

<b>レポートサンプル.....</b>	<b>9-3</b>
コピー履歴レポート.....	9-3
プリント履歴レポート.....	9-4
機器情報配信先リスト.....	9-5
機器情報通信履歴レポート.....	9-6
<b>仕様.....</b>	<b>9-7</b>
本体.....	9-7
DADF-M1.....	9-9
2 段カセットベディスタル・Y3.....	9-10
サイドペーパーデッキ・Q1.....	9-10
封筒カセット・C2.....	9-10
フィニッシャー・S1.....	9-11
フィニッシャー・AE1.....	9-12
サドルフィニッシャー・AE2.....	9-13
パンチャーユニット・L1.....	9-14
インナーパンチャーキット・Q1.....	9-14
フィニッシャー用追加トレイ・B1.....	9-15
インナー 2 ウェイトレイ・D1.....	9-15
コピートレイ・J1.....	9-16
カードリーダー-C1.....	9-16
<b>ユーザ入力項目の文字制限と機能制限について.....</b>	<b>9-17</b>
文字制限.....	9-17
機能制限.....	9-20
<b>原稿向きと用紙向きの関係について.....</b>	<b>9-22</b>

ローマ字入力表.....	9-25
JIS 漢字コード表.....	9-26
索引.....	9-38
<b>iR3045/iR3035/iR3025 シリーズシステム管理モードについて.....</b>	<b>9-49</b>
システム管理モードにする.....	9-49
部門別 ID 管理をしている場合.....	9-49
部門別 ID 管理をしていない場合.....	9-50
システム管理モードを解除する.....	9-51
システム管理モードでボックスの操作をする.....	9-51
システム管理モードでボックス仕様を変更する.....	9-52

# はじめに

このたびはキヤノン iR3045/iR3045F、iR3035/iR3035F、iR3025/iR3025F をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。





本書ではすべての製品名を総称する場合に、「iR3045/iR3035/iR3025 シリーズ」と記載します。

iR3045F、iR3035F、iR3025F は、オプションのスーパー G3FAX ボード／DADF-M1（フィーダ）/LIPS LX プリンタ&スキャナキットが標準装備されており、本書の中では「F モデル」と記載しています。

## 本書の読みかた

### マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

-  **警告** 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
-  **注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
-  **重要** 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。
-  **メモ** 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

## キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- タッチパネルディスプレイ上のキー：[キー名称]

例：[キャンセル]

[閉じる]

- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>+（キー名称）


例：⊙（スタート）

△（ストップ）

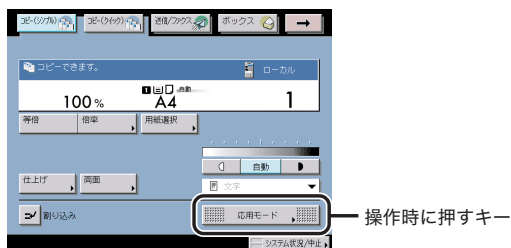
## 画面について

本書で使われている画面は、特にお断りがない限り iR3045 に DADF-M1、スーパーG3FAX ボード、フィニッシャー・S1、フィニッシャー用追加トレイ・B1、2 段カセットペディスタル・Y3 が装着され、Send 拡張キット、LIPS LX プリンタ&スキャナキット、LIPS V 拡張キットを有効にした場合のものであります。

アクセサリ、オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、本製品の画面には表示されませんが、ご了承ください。

操作時に押すキーの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うキーが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

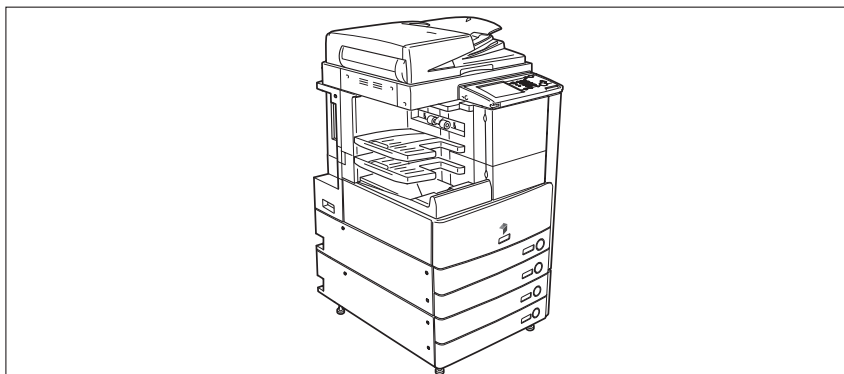
### 1 原稿をセットして、[応用モード] を押します。





## イラストについて

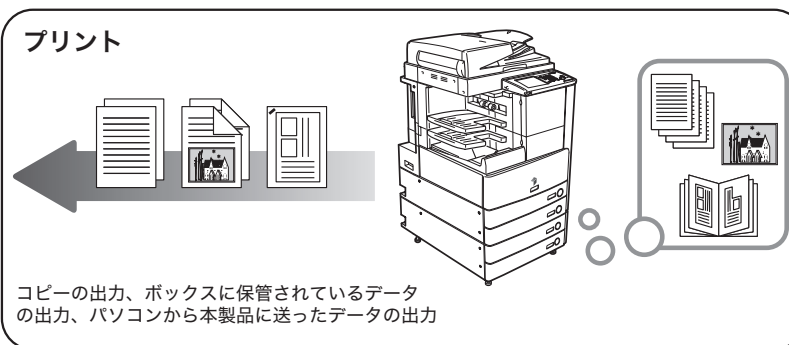
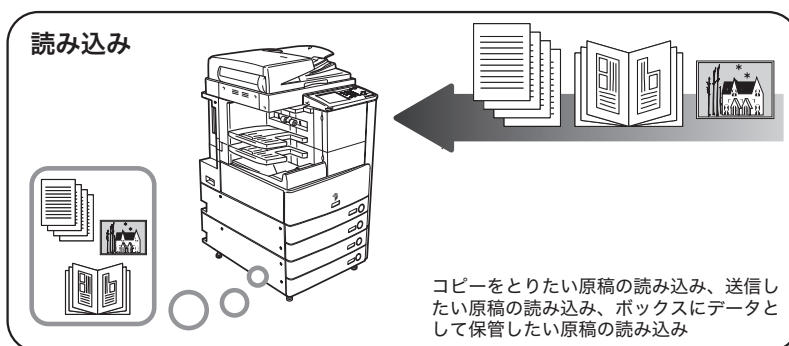
本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り、iR3045 に DADF-M1、フィニッシャー・S1、フィニッシャー用追加トレイ・B1、2 段カセットペディスタル・Y3 が装着されている場合のものです。



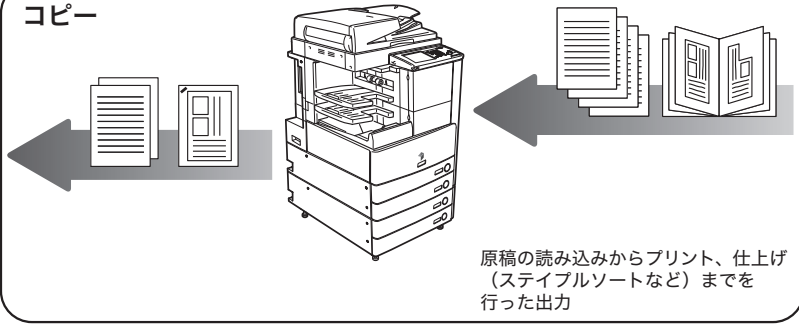
# 本製品の動作と本書で用いる用語について

本製品は効率よくプリント処理を行えるように、メモリを有効に活用しています。たとえば、コピーをとりたい原稿の読み込みが終了すれば、次にコピーをとりたい方は順番を待たずに原稿の読み込みを済ませることができます。また、コピー以外の機能を使って本製品からプリントさせることもできます。本製品はこれらの動作が複合的に処理されますので、コピーに限らずいろいろなプリントが順番を待っていたりプリントされたりします。

本文中での混乱をさけるために、この取扱説明書では「読み込み」、「プリント」、「コピー」を以下のように定義して、コピーをとるとき原稿の読み込みとプリントをしている状況を使い分けて説明する場合があります。



コピー



原稿の読み込みからプリント、仕上げ  
(ステイプルソートなど) までを  
行った出力

# 規制について

## 本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（）内の名称で登録されている場合があります。

iR3045/iR3045F、iR3035/iR3035F (F145400)

iR3025/iR3025F (F143300)

## 電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

## 高調波の抑制について

本機器は社団法人 日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

## 国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

## 物質エミッションに関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しておりますキヤノン NPG-25/NPG-26 トナーを使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3～5 に基づき試験を実施しました。)

## 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Novell NetWare® : NetWare

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

## 商標について

Canon、Canon ロゴ、imageRUNNER、imageWARE、iR、MEAP、MEAP ロゴはキヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。

AppleTalk は、米国 Apple Computer,Inc. の商標です。

Active Directory、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Netware®およびNovellは、米国Novell, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Roman, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801

©Copyright 1987, Bitstream Inc. Cambridge Massachusetts USA.

All rights reserved.

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

### ■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

### ■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

### ■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

#### 【関係法律】

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

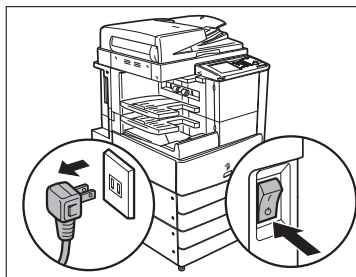
# ⚠️ 安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

## 設置について

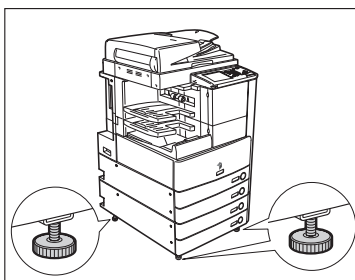
### ⚠️ 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。  
製品内部に入った場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
  - ネックレスなどの金属物
  - コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器



## ▲ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・ 湿気やほこりの多い場所
  - ・ 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・ 直射日光のあたる場所
  - ・ 高温な場所
  - ・ 火気に近い場所
- 設置したあとは、製品固定用のストッパは外さないでください。製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。





### ⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っばったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行って下さい。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  - 〈アース線を接続してもよいもの〉  
電源コンセントのアース端子  
接地工事（D種）が行われているアース端子
  - 〈アース線を接続してはいけないもの〉  
水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。  
ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。  
電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100 V15 A以上のものを使用してください。使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

### ⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

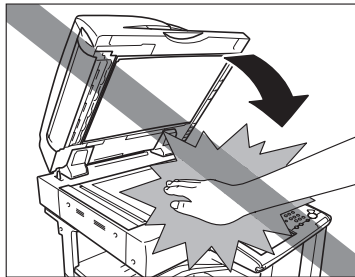
## 取り扱いについて

### ⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 異常な音が出たり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜き、インターフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると電源コードやインターフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

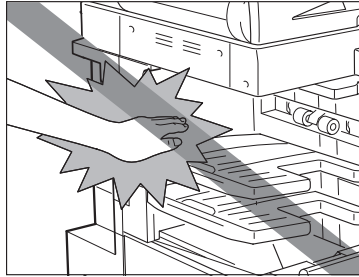
### ⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 原稿台カバー、フィードは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

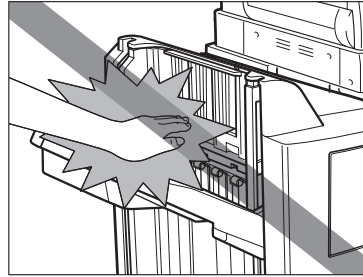


- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、原稿台カバー、フィードを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- コピー、プリント中は、フィニッシャのトレイに触れたりしないでください。フィニッシャのトレイはコピー、プリント中に位置が移動するため、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため操作部電源スイッチを切ってください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてください。
- 左側面など、本製品の排紙部にあるローラには手を近づけないでください。動作中でなくても、プリントなどのため急に動き出し、衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

- フィニッシャーを装着しているときは、トレイ内のステイブルされる場所やローラ部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

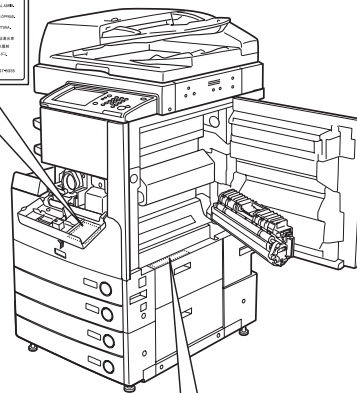


フィニッシャー・S1



フィニッシャー・AE1/  
サドルフィニッシャー・AE2

- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- 本製品に貼ってある以下の注意ラベルをはがさないでください。



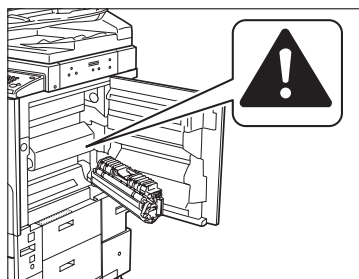
- この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。
- 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

### ⚠ 警告

- 清掃のときは、操作部電源スイッチを切り、本体右側面にある主電源スイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナー容器を火中に投げないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

### ⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やトナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するとき、原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- トナー容器を補給口から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

## 消耗品について

### ⚠ 警告

- トナー容器を火中に投げないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナー容器を廃棄する場合は、トナー容器を袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

### ⚠ 注意

- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

## その他

### ⚠ 警告

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

- 本製品から微弱な電磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。


# 資源再利用のお願い

---

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いいたします。


## ■ 使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	<p>キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。</p> <p>使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。</p> <p>なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。</p>
---	--

## ■ 使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの廃棄について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	<p>キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。</p> <p>使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。</p> <p>なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。</p>
---	---

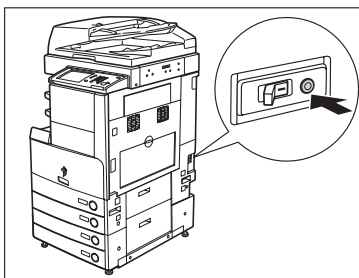
# ブレーカーの定期点検

本製品には感電防止のため、過電流や漏電を検知するブレーカーが装着されています。  
以下の手順に従って、月に1～2度必ずブレーカーの定期点検を行ってください。

- 重要**
- ブレーカーの定期点検は、本製品の主電源スイッチがOFFの状態で行ってください。
  - ブレーカーの定期点検を行って正常に動作しなかった場合は、担当サービスにご連絡ください。

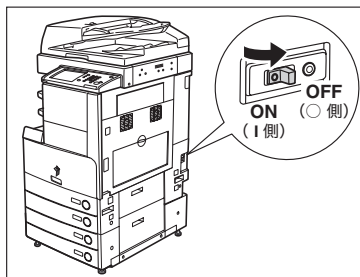
## ブレーカーのチェックのしかた

- 1** ボールペンの先などでブレーカーのテストボタンを押します。



- 重要** テストボタンを押すときは、押し続けしないですぐに離してください。
- メモ**
- ブレーカーは本製品の背面にあります。
  - ブレーカーの位置の詳細については、「本体内部」(→P.1-13)を参照してください。

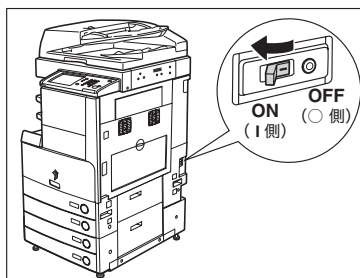
## 2 ブレーカースイッチが OFF (○側) の方へ倒れることを確認します。



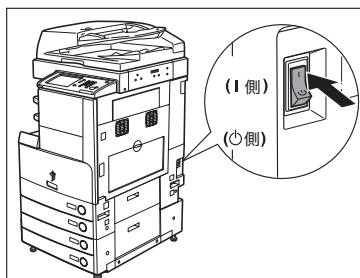
### 重要

- 主電源を ON/OFF する目的でテストボタンを使用しないでください。
- ブレーカースイッチが OFF (○側) の方へ倒れない場合は、手順 1 をもう一度行います。
- 手順 1 を 2～3 度繰り返してもブレーカースイッチが OFF (○側) の方へ倒れない場合は、担当サービスにご連絡ください。

## 3 ブレーカースイッチを ON (I側) へ戻します。



## 4 主電源スイッチを「I」側へ倒します。



## 5 次頁のブレーカー点検チェックシートにテストの日時を記入します。



# iR3045/iR3035/iR3025 シリーズブレーカー点検チェックシート

ブレーカー点検チェックシートはコピーをとって使用してください。また使用したあとも本製品のそばに置いて、大切に保管してください。

## ■ ブレーカーの定期点検のしかた

月に1～2度、「ブレーカーの定期点検」(→ P.xxix)に従って行ってください。

## ■ ブレーカー点検チェックシートの記入のしかた

点検を行った日と点検者の名前を記入してください。

点検の結果、異常がなければOKの欄をチェックしてください。異常があった場合は、担当サービスに連絡してください。(NGの欄をチェックしてください。)

点検日	点検者名	点検結果	
		OK	NG

点検日	点検者名	点検結果	
		OK	NG



# お使いになる前に

本体各部の名称とはたらきや電源の入れかたなど、本製品をお使いになる前に知っておいてほしいことを説明しています。

---

設置場所と取り扱いについて .....	1-2
設置場所のご注意 .....	1-2
取扱上のご注意 .....	1-8
本体各部の名称とはたらき .....	1-11
本体外観 .....	1-11
本体内部 .....	1-13
操作パネル各部の名称とはたらき .....	1-14
主電源と操作部電源について .....	1-15
主電源の入れかた .....	1-15
操作部電源スイッチについて .....	1-20
主電源の切りかた .....	1-20
本製品のシステム設定について .....	1-25
ライセンス登録が必要なオプション機能をお使いになるには .....	1-26
ライセンスキーを取得する .....	1-27
ライセンス登録をする (ライセンス登録) .....	1-28

# 設置場所と取り扱いについて

1

お使いになる前に

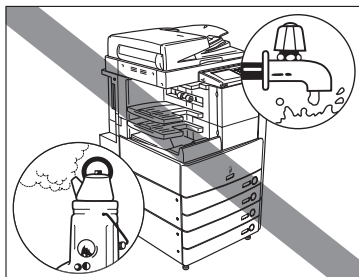
設置場所と取り扱いについての注意事項を記載しています。お使いになる前に必ずお読みください。

## 設置場所のご注意

次のような場所への設置は避けてください

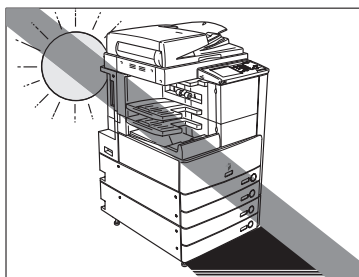
### ■ 低温、低湿または高温、高湿の場所

水道の蛇口、湯沸器、加湿器、エアコン、ヒータ、ストーブなどの近く。



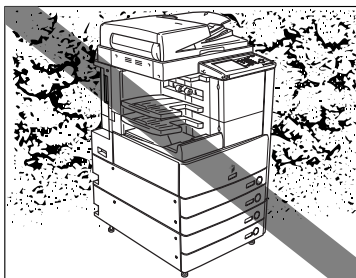
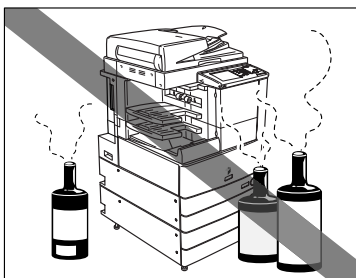
### ■ 直射日光の当たる場所

やむをえない場合はカーテンなどで遮光してください。カーテンが製品の通気口をふさいだり、電源コードや電源プラグにかぶさらないように注意してください。

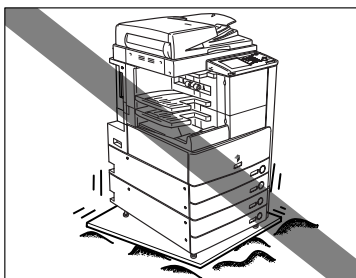


**■ 換気の悪い場所**

使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

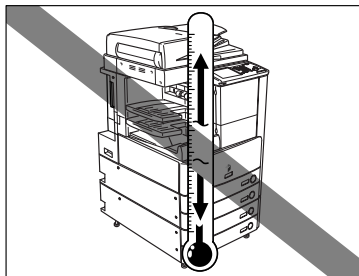
**■ ホコリ、チリなどの多い場所****■ アンモニアガスの発生する場所****■ アルコール、シンナーなどの近く****■ 振動の多い場所**

床や土台などが不安定な場所



**■ 温度が急に变化する場所**

冷えきった部屋を急激に暖めたときなど、製品内部に水滴がつき（結露現象）、画像が著しく損なわれたり、原稿が正しく読み取られなかったり、プリント画像が写らないことがあります。

**■ コンピュータなどの電子機器や精密機械の近く**

電気的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

**■ テレビ、ラジオなどの電子機器の近く**

テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラツキや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。製品とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

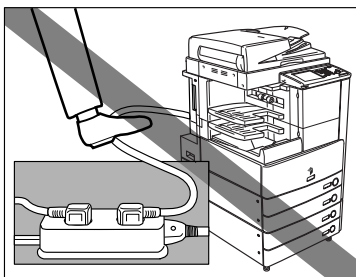
**■ 本体固定用のストッパについて**

一度設置したあとは、本体固定用のストッパは外さないでください。

カセットや本体ユニットをすべて引き出した状態で、機械前部に荷重をかけると、機械が前方に倒れる恐れがあり大変危険です。ストッパは必ず固定しておいてください。

## 電源は安全な場所から

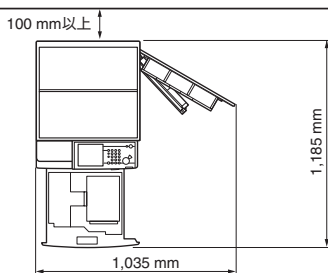
- 電源は 100 V (90 V ~ 110 V) 15 A 以上のコンセントに製品の電源プラグを接続してください。
- 製品への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。
- 同じコンセントには、ほかの電気製品を接続しないでください。
- テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。



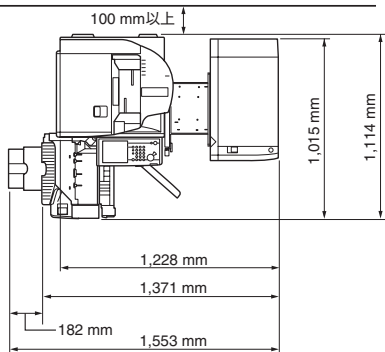
## 設置スペースにはゆとりを

- 製品の左右と前面には、操作に十分なスペースをとってください。

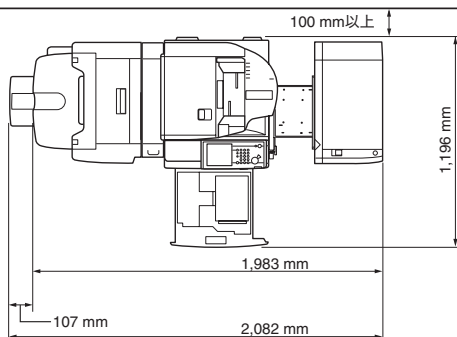
### オプション非装着時



### DADF-M1+ フィニッシャー・S1+ サイドペーパーデッキ・Q1



### DADF-M1+ サドルフィニッシャー・AE2+バンチャーユニット・L1+バッファバスユニット・E2+ サイドペーパーデッキ・Q1



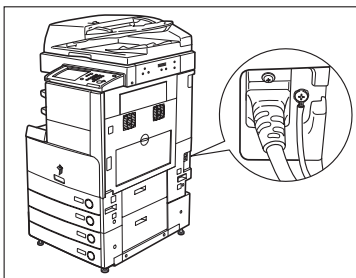
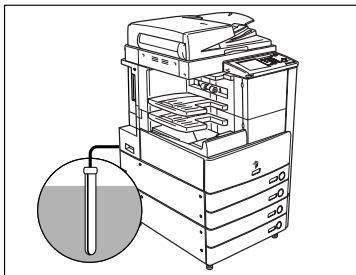
1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に



## アース線の接続を忘れずに

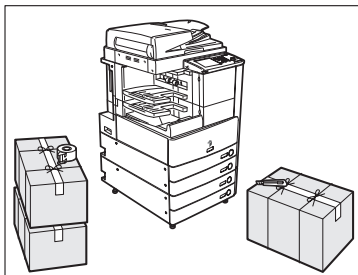
■ 感電防止のため必ずアース線を接続してください。



- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いて行ってください。
- アース線を接続してよいもの
  - ・電源コンセントのアース端子
  - ・接地工事（第D種）が行われているアース端子
- アース線を接続してはいけないもの
  - ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
  - ・水道管（配管途中がプラスチックになっている場合があります、その場合はアースの役目を果たしません。ただし水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。）
  - ・電話線のアースや避雷針（落雷のときに大量の電流が流れ危険です。）

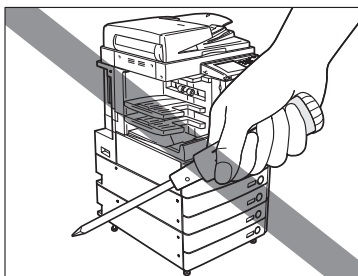
## 移動の際はご連絡を

- 製品の移動は、お客様ご自身で行わず、必ず担当サービスにご連絡ください。

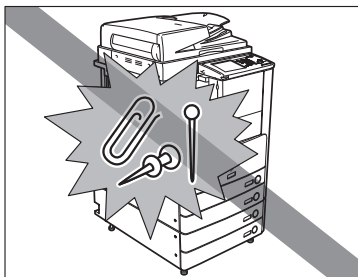


## 取扱上のご注意

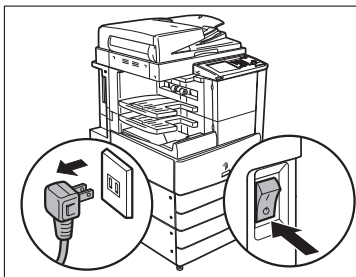
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。



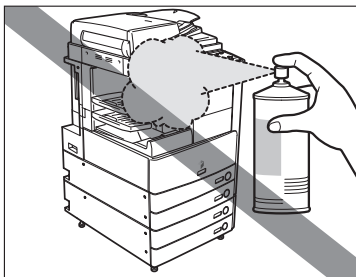
- 製品の内部には高温、高圧になる部分があります。内部点検の際は十分に注意してください。また、この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。
- 製品の内部にクリップなどの異物を落とさないでください。また水などの液体をこぼさないでください。これらが電圧部分に接触すると、短絡や漏電などが起き、火災や感電の原因になる恐れがあります。



- 異常な音がしたり煙が出たりした場合は、直ちに主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、担当サービスにご連絡ください。また、いつでも電源プラグが引き抜けるよう、電源プラグの周りには物を置かないようにしてください。



- 動作中に主電源スイッチを切ったり、前カバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。火災の原因になります。



- 使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。
- 夜間など長時間製品をご使用にならない場合は、操作部電源スイッチを切ってください。



■ モジュラーケーブルには、3m 以内の長さのものを使用してください。

**⚠ 注意** 万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

# 本体各部の名称とはたらき

本体外観と内部、操作パネル、タッチパネルディスプレイについて、各部の名称とはたらきを説明します。

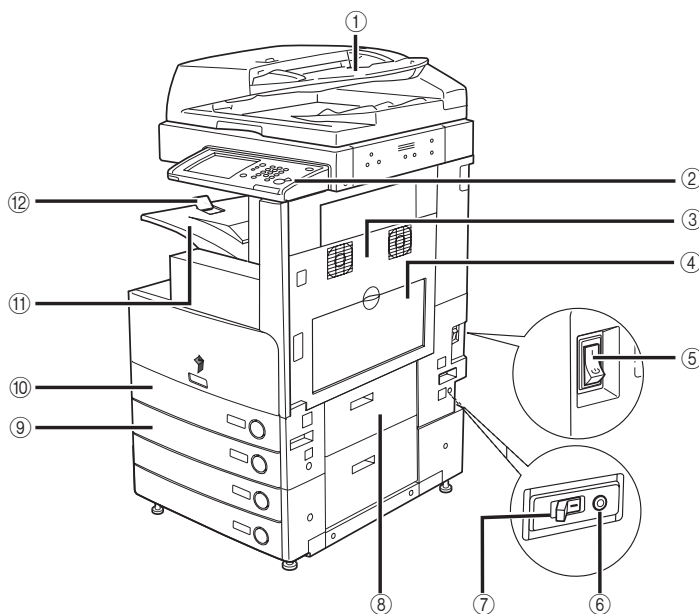
また、オプションを装着した場合の本製品の構成についても紹介します。オプション機器と、その各部の名称とはたらきの詳細については、「第3章 オプション機器について」を参照してください。

1

お使いになる前に

## 本体外観

### フィーダ (DADF-M1) +2 段カセットペディスタル・Y3 装着時



#### ① フィーダ (オプション)

まとめてセットした原稿を 1 枚ずつ原稿台に送って読み込みます。また、両面原稿を読み込む場合は、原稿を反転して送ります。F モデルはフィーダが標準装備で装着されています。

#### ② 操作パネル

本製品を操作するのに必要な、キーやタッチパネルディスプレイ、ランプなどがあります。(→ 操作パネル各部の名称とはたらき : P.1-14)

#### ③ 本体右カバー

紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。(→ 紙づまりが起こったときの表示 : P.8-4)

#### ④ 手差しトレイ

手差しで用紙がセットできます。郵便はがきや封筒はここにセットします。(→ 手差しトレイの用紙にプリントする : P.2-40)

#### ⑤ 主電源スイッチ

「I」側を押すと主電源が入ります。(→ 主電源と操作部電源について : P.1-15)

**⑥ テストボタン**

ブレーカーの定期点検をするときに押します。

**⑦ ブレーカー**

ブレーカーの定期点検をするときに操作します。漏電防止用ブレーカーです。(→ブレーカーの定期点検：P. xxix)

**⑧ カセット右上カバー**

紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

**メモ**

本製品に装着するオプションの詳細については、「第3章 オプション機器について」を参照してください。

**⑨ カセット 2**

550 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) または 650 枚 (64g/m<sup>2</sup>) の用紙をセットできます。

**⑩ カセット 1**

550 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) または 650 枚 (64g/m<sup>2</sup>) の用紙をセットできます。

**⑪ 排紙トレイ**

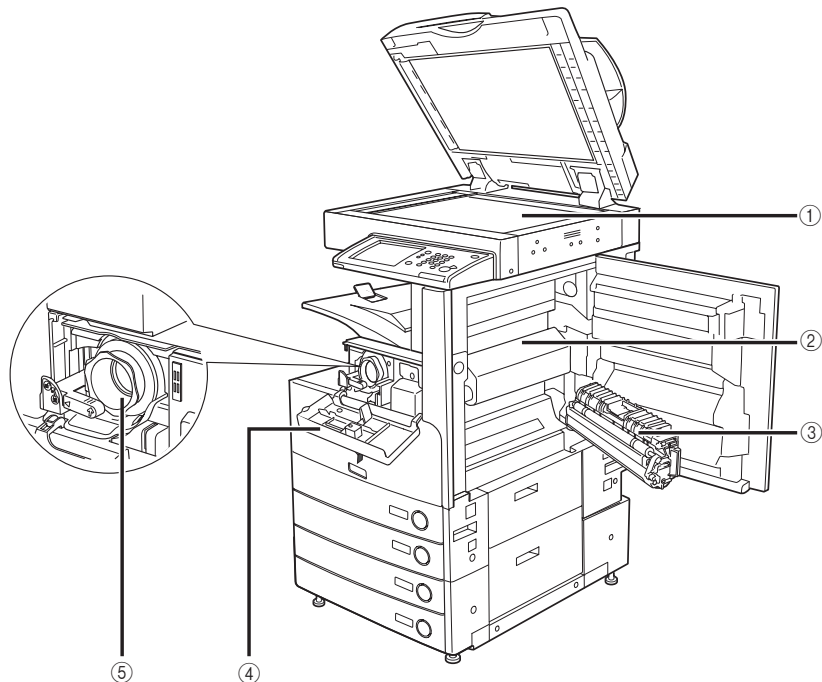
プリントされた用紙が排紙されます。

**⑫ 排紙トレイガイド**

プリントされた用紙が落ちないように排紙トレイガイドを起こします。

## 本体内部

### フィーダ (DADF-M1) +2 段カセットペディスタル・Y3 装着時



#### ① 原稿台ガラス

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込むときに使用します。

#### ② 定着ユニット上部カバー

定着ユニットの紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。(→ 紙づまりが起こったときの表示 : P.8-4)

#### ③ 両面ユニット

両面ユニットに紙がつまった場合は、このユニットの紙づまりを取り除きます。(→ 紙づまりが起こったときの表示 : P.8-4)

#### ④ トナー補給カバー

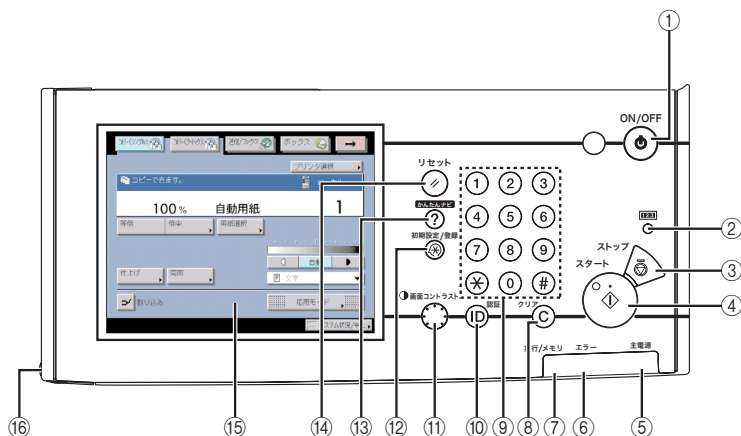
トナー容器を交換するときに開けます。

#### ⑤ トナー容器

トナー容器を交換するときに引き出します。

# 操作パネル各部の名称とはたらき

1  
お使いになる前に



## ① 操作部電源スイッチ (サブ電源)

操作部の電源を ON/OFF するときを押します。3 秒以上長押しすると、シャットダウンモードに移行します。(→ 主電源の切りかた：P.1-20) OFF のとき、本製品はスリープ状態になります。

## ② カウンタ確認キー

タッチパネルディスプレイにコピーやプリントの総枚数を表示するときを押します。

## ③ ストップキー

読み込みジョブ、コピージョブ、ファクスジョブ (読み込みのみ) などの進行中の動作を止めるときに押します。

## ④ スタートキー

動作 (読み込み) を開始するときを押します。

## ⑤ 主電源ランプ

本体主電源が ON のときは点灯、OFF のときは消灯しています。

## ⑥ エラーランプ

本製品にトラブルが発生したときに点滅または点灯します。点滅の場合はタッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従ってトラブルの対処をしてください。エラーランプが赤色に点灯し続ける場合は担当サービスへ連絡してください。

## ⑦ 実行/メモリランプ

本製品が動作中は緑色に点滅します。待機中のジョブやメモリ受信文書があるときは緑色に点灯します。

## ⑧ クリアキー

入力した数字や文字を取り消すときに押します。

## ⑨ テンキー

数値を入力するときを押します。

## ⑩ ID (認証) キー

部門別 ID 管理を設定しているときに押します。

## ⑪ 画面コントラストダイヤル

画面の明るさを調整します。

## ⑫ 初期設定/登録キー

仕様を設定するときを押します。

## ⑬ かんたんナビキー

かんたんナビ画面をタッチパネルディスプレイに表示させるときを押します。

## ⑭ リセットキー

設定したモードを標準モードに戻すときに押します。

## ⑮ タッチパネルディスプレイ

各機能の設定画面が表示されます。

## ⑯ 操作ペン

文字入力などタッチパネルディスプレイを操作するとき 사용합니다。操作ペンを紛失した場合は、担当サービスにお問い合わせください。タッチパネルをシャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。



# 主電源と操作部電源について

本製品には主電源スイッチと操作部電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。また、過電流や漏電を検知するブレーカーが装着されています。

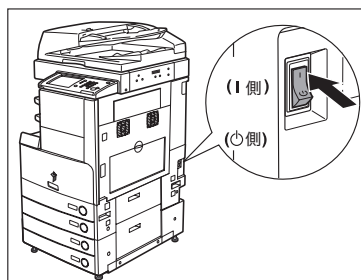
## 主電源の入れかた

主電源の入れかたについて説明します。

### 1 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているかを確認します。

- 警告** 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 注意** アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

### 2 本体右後側面にある主電源スイッチを「I」側へ倒して電源を入れます。



操作パネルの主電源ランプが点灯します。

- 重要** 主電源スイッチが入っているのに操作パネルの主電源ランプが点灯しない場合は、ブレーカーが OFF になっていないか必ず確認してください。(→ 電源が入らないとき (ブレーカーの確認) : P.8-91)

### 3 読み込みできる状態になるまでの画面が表示されます。

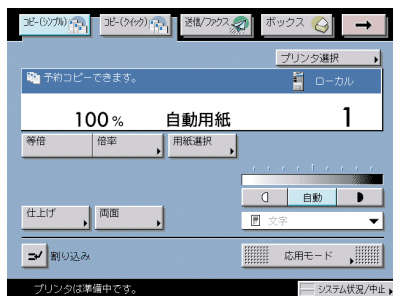
- SDL や SSO のログインサービスによる認証を設定せず、[機能の表示設定] で MEAP 以外を選択した場合

- 読み込みできる状態になるまで本製品の起動画面が表示されます。



タッチパネルディスプレイにメッセージが表示された場合は、手順 4 へ進みます。

- 読み込みできる状態になると下の画面が表示されます。



約 30 秒で、読み込みできる状態になります。

 メモ

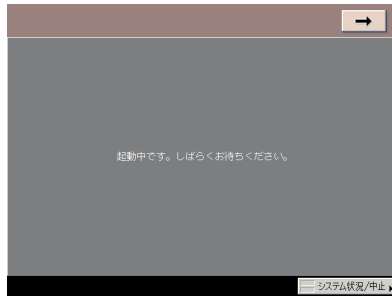
- 「予約コピーできます。」というメッセージが表示されている間に、ジョブの予約をすることができます。(→ コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」)
- このとき、モードは標準モードが設定されています。
- コピー標準モードの設定内容は以下のとおりです。
  - ・コピー倍率：等倍
  - ・用紙選択：自動用紙選択
  - ・濃度調節：自動濃度調節
  - ・コピー枚数：1枚
  - ・コピー：片面原稿 → 片面コピー
- コピー、ボックス、送信/ファクスの標準モードの設定内容は、お好みに応じて変更することができます。(→ コピー/ボックスガイド「第8章 使いかたにあわせた仕様の設定」、送信/ファクスガイド「第9章 送信/受信仕様の設定/登録」)
- 初期設定/登録の設定によって、表示させる画面を選択することができます。(→ 初期画面を設定する：P.4-25)
- 本製品の起動直後に [→] を押しても、画面が変わりません。少ししてからもう一度押してください。
- 本製品を起動する際に、シャットダウンされたMacintoshがUSBケーブルにより接続されている場合、本製品とともにMacintoshも起動することがあります。この場合は、USBケーブルによる接続を取り外してください。(本製品とMacintoshの間にUSBハブを使用すると、この問題が解決される場合があります。)

● SDL や SSO のログインサービスによる認証を設定せず、【機能の表示設定】で MEAP を選択した場合

- 読み込みできる状態になるまで本製品の起動画面が表示されます。



- 本製品の起動画面の終了後、MEAP の起動画面が表示されます。



[→] を押すと、MEAP 以外の基本画面に移動することができます。

- MEAP の基本画面が表示されます。



## ● SDL や SSO のログインサービスによる認証をしている場合

- 本製品の起動画面が表示されます。



- 本製品の起動画面の終了後、[機能の表示設定]にかかわらず、MEAP の起動画面が表示されます。



### 👉 重要

- 主電源スイッチをいったん切って入れなおす場合は、10 秒以上待ってから行ってください。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15)を参照してください。
- オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合は、主電源スイッチは切らないでください。ファクス/Iファクスの送受信ができなくなります。
- ログインサービスに SDL または SSO を設定している場合、読み込みできる状態になるまで時間がかかります。

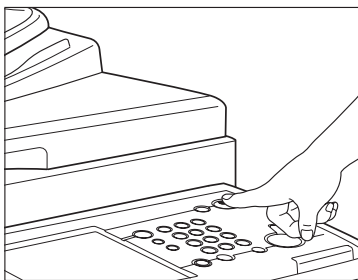
## 4 ログインサービスを使用する場合は、それぞれの手順に従ってログインしてください。

### 📌 メモ

- オプションのカードリーダー-C1を使用して部門別ID管理をしている場合は、「本体を使用する前の操作」(→ P.3-42)を参照してください。
- 部門別 ID 管理をしている場合は、「部門 ID と暗証番号を入力する」(→ P.2-26)を参照してください。
- SDL や SSO を設定している場合は、「SDL や SSO の認証画面でログインする」(→ P.2-29)を参照してください。なお、IC カードを利用したユーザログインサービス (Single Sign-On IC Card Smart Card) をご利用の場合は、「IC カード認証機能拡張キットユーザズガイド」を参照してください。

## 操作部電源スイッチについて

スリープ状態を解除してコピーやボックス、送信／ファクスなどの操作をするときに操作パネル上の操作部電源スイッチを押します。



- メモ**
- スリープ状態のときでもパソコンからのデータ受信プリントやIファクス、ファクスの受信は可能です。
  - スリープ状態が解除されてから、コピー／プリントができるまでには約 10 秒かかります。
  - [スリープ時の消費電力] を [少ない] に設定したときは、操作部電源スイッチを押してからタッチパネルディスプレイが表示されるまで、10 秒以上かかる場合があります。

## 主電源の切りかた

主電源の切りかたについて説明します。本製品の主電源を切る際に実行中のジョブがある場合や、MEAP アプリケーションなどが起動中の場合、ジョブを確認しながらキャンセル処理を行い、ハードディスクへのアクセスを制限します。この処理を行うことによって本製品のハードディスクを保護することができます。本製品の主電源の切断は必ず以下の手順に従って行ってください。

### 1 操作部電源スイッチを 3 秒以上長押しします。

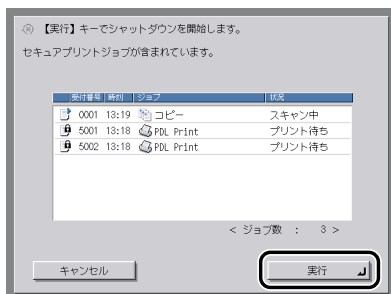
スリープ状態の場合は、操作部電源スイッチを押してスリープ状態を解除したあと、再度 3 秒以上の長押しをしてください。

ジョブ確認画面が表示され、シャットダウンモードに移行します。

**重要** フォントダウンロード中は、シャットダウンモードに移行しないでください。

- メモ**
- (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [シャットダウンモード] を押しても、シャットダウンモードに移行することができます。
  - 以下の場合は、シャットダウンモードに移行することができません。
    - ・ 機器情報の受信中
    - ・ 機器情報の参照中
    - ・ 本製品に対しリモート UI からインポートまたはエクスポート中
  - 上記の動作中以外で、まれに操作部電源スイッチを 3 秒以上長押ししてもシャットダウンモードに移行できないことがあります。その場合は、画面の指示に従って本製品の主電源を切ってください。
  - シャットダウンモード実行中にプリントデータが送信されると、プリントデータの大きさによっては iR 本体がデータを受信する場合があります。その場合にはプリントデータの印刷はされません。

## 2 実行中または待機中のジョブを確認したあと、[実行] を押します。



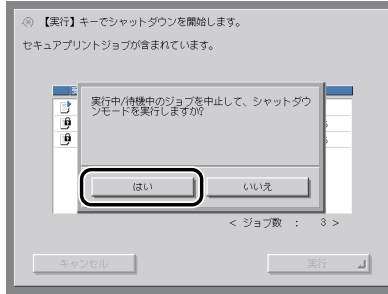
ジョブは、[実行] を押すまではそのまま動作を続けます。

シャットダウンモードを終了するには、[キャンセル] を押します。

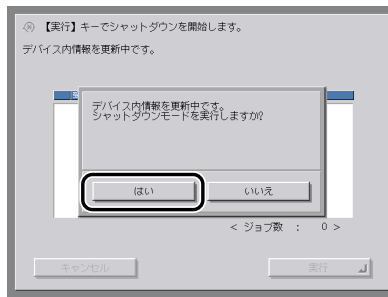
実行中のジョブがない場合は、[実行] を押したあと手順 4 へ進みます。

- メモ**
- ジョブ確認画面に表示されるジョブは、以下のとおりです。
    - ・ 実行中のコピージョブ、プリントジョブ、ファクスジョブ
    - ・ 待機中のコピージョブ、プリントジョブ
  - ジョブ確認画面には、実行中のジョブを先頭に、受付順に 7 件までのジョブが表示されません。

### 3 表示されたメッセージを確認したあと、[はい] を押します。



実行中または待機中のジョブがある場合

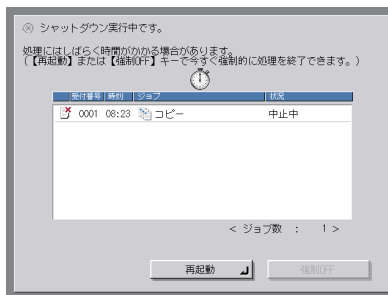


機器情報配信中の場合など

確認画面に表示されている実行中/待機中のジョブは、すべてキャンセルされます。また、ハードウェアの終了処理とネットワーク関連の通信処理も終了準備に移ります。

実行画面が表示されます。

### 4 以下の画面が表示されるので、シャットダウンが終了するまで待ちます。





シャットダウン開始後、都合により本体をすぐに動作させたい場合は [再起動] → [はい] を押します。

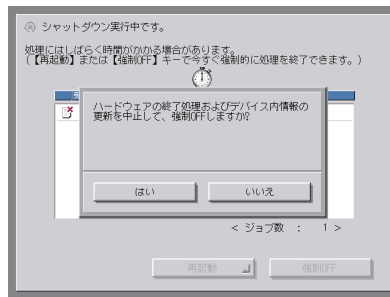
デバイス内情報の更新中に [再起動] を押すと、確認画面が表示されます。表示されたメッセージを確認したあと、[はい] を押します。

### 注意

[強制 OFF] を押して強制終了（正しい終了処理を省略）させることもできます。ネットワーク通信処理中に [強制 OFF] を押すと確認画面が表示されるので [はい] を押します。ただし、最悪の場合、通信中のデータを破壊してしまう可能性もありますので、どうしても必要な場合を除き使用しないことをおすすめします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

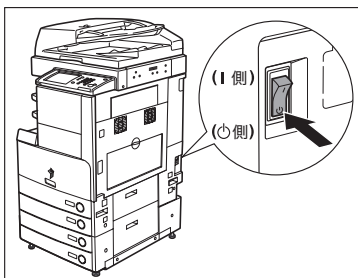
### メモ

- 通信しているネットワークの状況によっては、終了までの処理に時間がかかる場合があります。
- 次の状態で [強制 OFF] を押すと、以下の画面が表示されます。
  - ・デバイス内情報の更新中



## 5 終了画面を確認したあと、主電源スイッチを「」側へ倒します。

本体右側面の主電源を切ってください。



### 重要

シャットダウン実行中、またはシャットダウン終了後にしばらく製品が動作し続ける場合があります。本製品の機器音が止まるまでコンセントを抜かないでください。

# 本製品のシステム設定について

本製品をネットワーク上で使用したり、プリンタやファクスとして使用する場合は、お使いになる前に各種設定をする必要があります。

以下の該当項目を参照してください。

## ■ ネットワークとの接続や設定について

「ネットワークガイド」を参照してください。

## ■ プリンタドライバのインストールなどについて

「ソフトウェアガイド」を参照してください。

## ■ 送信機能の設定について

「送信／ファクスガイド」を参照してください。

## ■ ファクス機能の設定について

「送信／ファクスガイド」を参照してください。

## ■ 日付／時刻の設定について

「日付／時刻を設定する（日付／時刻設定）」（→ P.6-19）を参照してください。

## ■ システム管理者情報の設定について

「システム管理者情報を設定する（システム管理者情報の設定）」（→ P.6-3）を参照してください。

# ライセンス登録が必要なオプション機能をお使いになるには

ライセンス登録が必要なオプション機能を使用するために必要な手続きや操作の説明をします。以下のオプション製品は、ご利用になる前にライセンスキーの取得、登録を行う必要があります。

- LIPS LX プリンタ & スキャナキット
- LIPS V 拡張キット
- ダイレクトプリント拡張キット
- Send 拡張キット
- 暗号化 PDF 拡張キット
- サーチャブル PDF 拡張キット
- 機器署名 PDF 拡張キット
- ユーザ署名 PDF 拡張キット
- タイムスタンプ PDF 拡張キット
- 地紋拡張キット
- HDD データ上書消去キット
- ウェブブラウザ拡張キット
- 暗号化セキュアプリントキット
- IC カード認証機能拡張キット
- Access Management System 拡張キット

**📌 重要** ライセンスキーを取得、登録しても、単独ではご利用になれないオプション機能もあります。詳しくは、「システムオプション」(→ P.3-6)、「組み合わせ可能なオプション」(→ P.3-10)を参照してください。

## ライセンスキーを取得する

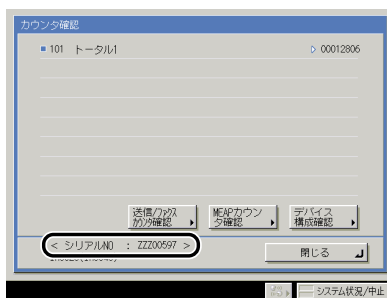
本製品に登録するライセンスキーは、Web ブラウザからライセンス管理システムにアクセスし、取得します。以下の URL へアクセスしてください。

<http://www.canon.com/lms/license/>

### ■ ライセンスキー取得に必要な管理番号

画面に表示される指示に従ってライセンスキーを取得してください。ライセンスキーを取得するには、以下の管理番号が必要になります。

- ライセンスアクセス番号：  
パッケージに同梱されている「ライセンスアクセス番号証書」をご確認ください。
- デバイスシリアル No.：  
本製品のカウンタ確認キーを押したときに画面左下に表示される [シリアル NO] をご確認ください。



1

お使いになる前に

# ライセンス登録をする（ライセンス登録）

オプションの機能を有効にするために、ライセンスの登録を行います。

1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

1 ⑥(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ライセンス登録] を押します。

2 ①～⑨(テンキー) でライセンスキーを入力したあと、[実行] を押します。

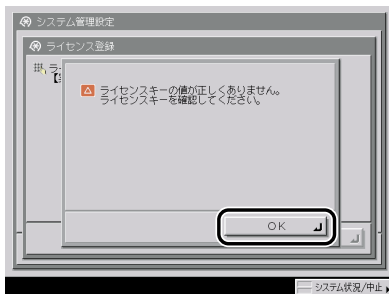


表示される項目

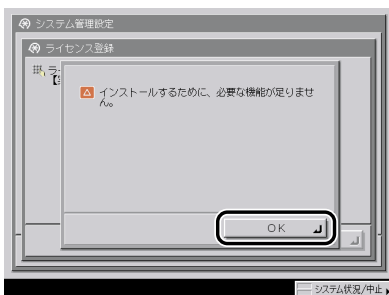
[◀] [▶] : カーソルを移動するときに押します。

[バックスペース] : 数字を押し間違えたときに押します。カーソル位置の手前の数字が消去されて、正しい数字が入力できます。

次の画面が表示されたときは、[OK] を押したあと、正しいライセンスキーを入力しなおしてください。



次の画面が表示されたときは、ライセンスキーを登録することができません。[OK] を押したあと、登録を中止してください。



### 3 [OK] を押します。

#### 重要

登録した機能は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに使用できる状態になります。(→主電源と操作部電源について：P.1-15)

# 1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に



# おもな機能と基本的な使いかた

# 2

## CHAPTER

本製品のおもな機能や基本的な使いかたについて説明しています。

---

iR3045/iR3035/iR3025 シリーズのおもな機能	2-2
こんなことができます	2-5
タッチパネルディスプレイの表示について	2-5
新機能を追加することができます	2-7
使いかたにあわせて仕様の設定ができます	2-8
消費電力を抑えることができます	2-9
ジョブの確認や操作ができます	2-10
かんたんナビ画面を表示させることができます	2-12
ネットワーク管理者からのメッセージを知ることができます	2-14
その他ご紹介しておきたい機能	2-15
タッチパネルディスプレイの操作について	2-18
タッチパネルディスプレイでよく使うキーについて	2-18
タッチパネルディスプレイのキー表示について	2-18
タッチパネルディスプレイの明るさを調節する	2-20
タッチパネルディスプレイから文字を入力する	2-21
文字を入力する	2-21
文節の区切りを変更する	2-23
インチ入力のしかたについて	2-25
部門 ID と暗証番号を入力する	2-26
SDL や SSO の認証画面でログインする	2-29
原稿をセットする	2-33
原稿サイズについて	2-33
原稿の「タテ置き」と「ヨコ置き」について	2-34
原稿台ガラスにセットする	2-35
フィーダにセットする (DADF-M1)	2-37
手差しトレイの用紙にプリントする	2-40
複合動作について	2-51
使用できる用紙について	2-53

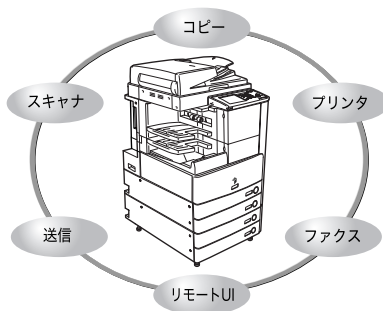
---

# iR3045/iR3035/iR3025 シリーズのおも な機能

2

おもな機能と基本的な使いかた

デジタル複合機に求められる多くの要素を実現しています。



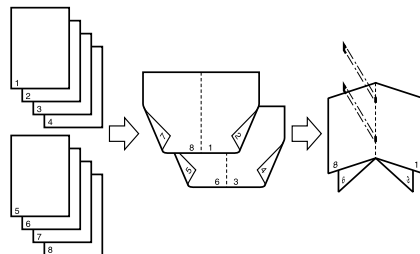
iR3045/iR3035/iR3025 シリーズは、さまざまなドキュメントの入出力環境を効率化する機能を搭載しています。ご使用の環境やお客様のニーズに応じて機能を追加することによって、オフィスにおけるドキュメントワークを最適化することができる、新発想のデジタル複合機です。

\* マークは、オプション装着時に使用できる機能です。各機能に必要なオプション製品と同時装着に必要なオプションおよび制限については「組み合わせ可能なオプション」(→ P.3-10) を参照してください。

## コピーする

→コピー/ボックスガイド

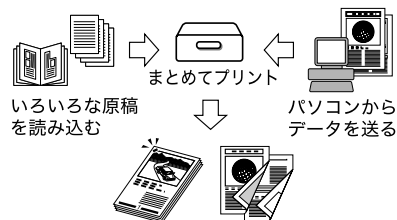
従来のコピー機能に加え、ミスコピーを防止する「試しコピー」、複数枚の原稿を小冊子になるようにコピーする「製本」、異なるサイズ of 原稿を一度にセットしてコピーできる「原稿サイズ混載」など、さらに便利な機能で生産性を高めます。



## ボックスを活用する

→コピー/ボックスガイド

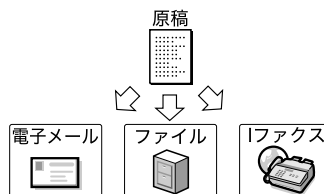
スキャナ部から取り込んだ紙文書データやパソコンで作成したデータを保存できます。保存されたデータは、必要なときにプリントしたり、別べつに保管されているデータやパソコンで作成したデータとまとめてプリントすることもできます。



## 送信機能を活用する\*

→送信/ファクスガイド

スキャナ部で取り込んだ紙文書データを電子メールやIファクスで送ったり、ファイルサーバに保存できます。ファイル形式 (PDF、TIFF) が指定できるので、受け取り側の環境にあわせて自由に設定できます。



## ファクスする\*

→送信/ファクスガイド

ファクス本来の機能の他、スーパー G3 にも対応しているので遠距離通信に威力を発揮し、従来のファクスに比べ、大幅な通信コストの削減も実現します。マルチFAXボードを装着することによって、回線を増設することもできます。(F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備)

オプションのG4FAXボードはISDN回線を使用して、スーパーG3より早い速度で通信できます。また、モバイル環境なら外出先からファクス文書の確認もできます。

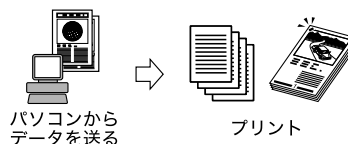


## プリントする\*

→プリンタガイド

専用のLIPS LX プリント&スキャナキット (F モデルは標準装備) を有効にすることでプリンタドライバとプリンタコントローラで印刷処理の負荷を分散する技術 (負荷分散プリンティングシステム) を搭載した高速プリンタへと進化します。さらに、LIPS V 拡張キットを有効にすることで、豊富なLIPS対応ソフトウェア資産を生かしたプリント環境を実現します。

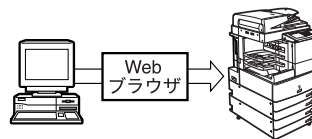
また、別売りのダイレクトプリント拡張キットを有効にした場合は、TIFF やPDF のダイレクトプリントが可能となります。



## リモート UI を活用する

→リモート UI ガイド

本製品の状態やジョブの操作、ボックスに保存した文書データのプリント指示の操作などを、パソコンの Web ブラウザからコントロールできます。



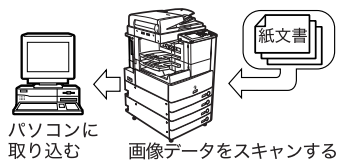
2

おもな機能と基本的な使いかた

## スキャンする\*

→ Network ScanGear ユーザーズガイド

プリンタ拡張された iR3045/iR3035/iR3025 シリーズは標準でパソコンへの画像取り込みに対応しています。iR3045/iR3035/iR3025 シリーズの原稿台を、最大 A3 サイズ 600 dpi のスキャナとして利用できます。



## 2

おもな機能と基本的な使いかた

# こんなことができます

本製品を使つての操作は、おもにタッチパネルディスプレイから行います。タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従つてキーを押していくと本製品の機能を活用することができます。

**注意** タッチパネルディスプレイは指または操作ペンで軽く押してください。シャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。タッチパネルディスプレイの表面に傷がついたり破損の恐れがあります。

**メモ** タッチパネルディスプレイに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

## タッチパネルディスプレイの表示について

タッチパネルディスプレイの上部には各機能を切り替えるキーが表示されています。各機能を使用する際には、まずこれらのボタンを押します。また、タッチパネルディスプレイの下部に表示されるメッセージやボタンでは、本製品の状態を確認することができます。

### タッチパネルディスプレイの表示を切り替えることができます

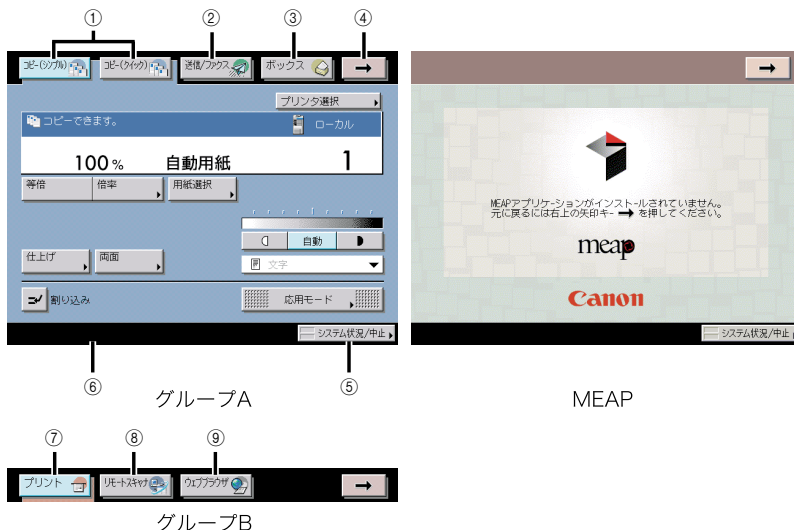
本製品の電源を入れると、以下の画面がタッチパネルディスプレイに表示されます。タッチパネルディスプレイの [コピー]、[送信 / ファクス]、[ボックス]、[プリント]、[システム状況 / 中止] などのキーで画面を切り替えることができます。(→ 初期画面を設定する：P.4-25)

タッチパネルディスプレイから操作するMEAPのアプリケーションを表示する場合は、[→] を押してください。

- メモ**
- 各キーの表示については、「オプション装着状態による画面の違いについて」(→ P.2-7) を参照してください。
  - 電源投入時の画面は初期設定 / 登録で変更することができます。設定できるのは、コピー、送信 / ファクス、ボックス、プリント、MEAP、システム状況 / 中止の各画面です。

## ■ タッチパネルディスプレイに表示されるキー

以下の画面はコピー基本画面を例に表示します。



### ① コピー

コピー機能を使用するときには押します。(→ コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」)

### ② 送信/ファクス

送信/ファクス機能を使用するときには押します。(→ 送信/ファクスガイド「第1章 送信機能について」)

### ③ ボックス

ボックス機能を使用するときには押します。(→ コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」)

### ④ →

[→] を押すことで、表示されるキーを切り替えることができます。表示されるキーはグループA、MEAP、グループBに分けることができます。キーの並び順や切り替わるグループの順序は、初期設定/登録で変更することができます。(→ 初期画面を設定する：P.4-25)

### ⑤ システム状況/中止

ジョブの変更、確認、中止をするときやジョブ履歴の確認、プリントをするときに押します。(→ 第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認)

### ⑥ ジョブ/プリント状況表示部

コピーや他の機能のジョブの状況やデバイスの状態を表示します。また、ご利用になるログインサービスによっては、部門IDやユーザ名などを表示することができます。(→ ログインしている部門ID/ユーザ名を表示する(ID/ユーザ名表示のON/OFF)：P.6-44)

### ⑦ プリント

プリントジョブの確認、中止をするときやジョブ履歴の確認、プリントをするときに押します。(→ 第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認)

### ⑧ リモートスキャナ


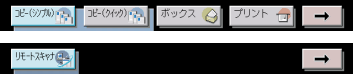


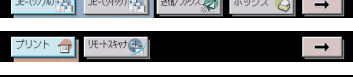
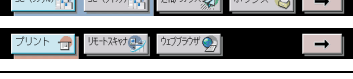
リモートスキャン機能を使用するときには押します。(→ Network ScanGear ユーザーズガイド)

### ⑨ ウェブブラウザ

ウェブページを閲覧するときには押します。

## オプション装着状態による画面の違いについて

タッチパネルディスプレイ上部の表示は、オプションの装着状態によって切り替わります。以下にオプション装着時とタッチパネルディスプレイの例を表示します。


オプション装着状態	タッチパネルディスプレイ上部の表示
オプション非装着時 (iR3045、iR3035、iR3025)	
LIPS LX プリンタ&スキャナキット有効	
LIPS LX プリンタ&スキャナキット +Send 拡張キット有効	
スーパー G3FAX ボード装着時 +LIPS LX プリンタ &スキャナキット有効	
スーパー G3FAX ボード装着時 +LIPS LX プリンタ &スキャナキット + Send 拡張キット有効	
スーパー G3FAX ボード + ウェブブラウザ拡張キット装着時 + LIPS LX プリンタ&スキャナキット + Send 拡張キット有効	

## 新機能を追加することができます

本製品は MEAP (Multifunctional Embedded Application Platform) に対応しています。MEAP とは、本製品に Java プラットフォームを搭載し、Java アプリケーションをインストールできるシステムです。MEAP を利用することにより、以下のことが可能になります。

### ■ アプリケーションのインストール/アンインストール

MEAP 対応アプリケーションをインストールすることにより、新たな機能を利用できるようになります。また、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることができます。

 **メモ** MEAP 対応アプリケーションのインストールおよびアンインストール方法は、「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。

### ■ ログインサービスによる使用者の管理と特定

ログインサービスによって本製品を利用するユーザを管理することができます。次の 3 種類のログインサービスが利用可能です。

#### ● Default Authentication

本製品の初期設定/登録で部門別 ID 管理を「ON」にした場合、1 つの部門に対して 7 桁の部門 ID と部門 ID ごとの暗証番号を登録することにより、番号を入力したユーザのみ本製品を使えるようにします。(→部門別 ID 管理を設定する(部門別 ID 管理):P.6-5)

- SDL (Simple Device Login)

本製品単体で使用できるログインサービスです。Web ブラウザを使って本製品にユーザ情報を登録することができます。(詳細は「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。)

- SSO (Single Sign-On)

Active Directory環境ネットワークのドメイン上および本製品単体で運用できるログインサービスです。次の3つのユーザ認証方式があります。(詳細は「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。)

- ・「ドメイン認証」
- ・「ローカルデバイス認証」
- ・「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」

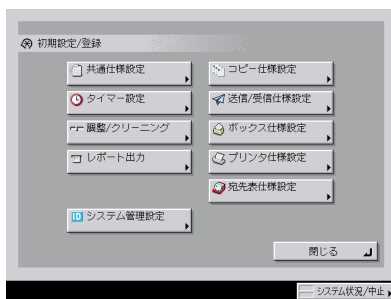
**重要** SSOでドメイン認証(「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む)を使用する場合は、Active DirectoryをインストールしたWindowsサーバとSecurity Agentが必要です。Security Agentは、本体に付属しているソフトウェアCD-ROMに同梱されています。インストールの方法は、Readme.pdfを参照してください。

**メモ** 工場出荷時は、Default Authenticationに設定されています。ログインサービスの選択および設定については、「MEAPアプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。

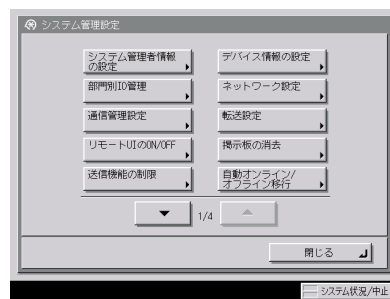
## 使いかたにあわせて仕様の設定ができます

Ⓞ(初期設定/登録)を押すと初期設定/登録画面が表示されます。初期設定/登録では本製品に共通の設定や各機能ごとの設定を、使用する条件や環境にあわせて変更することができます。また、本書に記載されていない設定方法については、下記の各ガイドを参照してください。

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| ●コピー仕様設定：           | コピー/ボックスガイド |
| ●送信/受信仕様設定、宛先表仕様設定： | 送信/ファクスガイド  |
| ●ボックス仕様設定：          | コピー/ボックスガイド |
| ●プリンタ仕様設定：          | プリンタガイド     |
| ●ネットワーク設定：          | ネットワークガイド   |



初期設定/登録画面



システム管理設定画面



- **メモ** ● 初期設定／登録で設定した内容は、Ⓜ(リセット)を押しても変更されません。
- 仕様の設定方法については、「第4章 使いかたにあわせた仕様の設定」を参照してください。
- システム管理設定については、「第6章 システム管理設定」を参照してください。
- [プリンタ仕様設定] の設定については、プリンタガイドを参照してください。
- [ネットワーク設定] の設定については、ネットワークガイドを参照してください。
- [送信／受信仕様設定]、[宛先表仕様設定] は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合のみ表示されます。
- システム管理設定画面の [通信管理設定]、[転送設定]、[送信機能の制限]、[LDAP サーバの登録] は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合のみ表示されます。
- [自動オンライン／オフライン移行] は、オプションの LIPS LX プリンタ&スキャナキット (F モデルは標準装備) を有効にした場合のみ表示されます。

## 消費電力を抑えることができます

本製品が動作していないときや、ご使用になっていないときに、以下の機能で効率的に節電することができます。

- **重要** ● 主電源スイッチを「OFF」にした場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- **メモ** ● 以下の各機能が働くと、タッチパネルディスプレイの表示は消えた状態になります。
- 以下の各機能が働いている状態でも、パソコンからデータを送ってプリントしたり、1ファクスや、ファクスの受信をすることはできます。

### ■ スリープモードについて

操作部電源スイッチを押すことで、好きなときにスリープモードにすることができます。操作を再開する場合は再度、操作部電源スイッチを押してください。

- **メモ** ● 条件によっては、完全なスリープ状態に移行しないことがあります。詳細は、「スリープ時の消費電力を設定する」(→P.4-33)を参照してください。
- 夜間など長時間製品を使用しない際には、操作部電源スイッチを切ってください。
- 本製品がスリープ状態から復帰する際に、シャットダウンされたMacintoshがUSBケーブルにより接続されている場合、本製品とともに Macintosh も起動することがあります。この場合は、USB ケーブルによる接続を取り外してください。(本製品と Macintosh の間に USB ハブを使用すると、この問題が解決される場合があります。)
- 自動的にスリープ状態になるまでの時間は10秒～4時間の範囲で設定できます。工場出荷時は「2」分に設定されています。(→オートスリープタイムの設定をする：P.4-51)
- [スリープ時の消費電力] を [少ない] に設定したときは、操作部電源スイッチを押してからタッチパネルディスプレイが表示されるまで、10秒以上かかる場合があります。

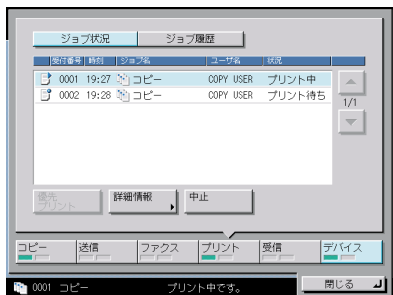
### ■ ウィークリータイマーについて

ウィークリータイマーで設定された曜日、時刻になると自動的にスリープモードになります。操作を再開する場合は、操作部電源スイッチを押します。

- **メモ** ● ウィークリータイマーは日曜日～土曜日、00:00～23:59の範囲で設定できます。(→ウィークリータイマーの設定をする：P.4-52)

## ジョブの確認や操作ができます

システム状況画面では、システムの状況の確認やジョブの中止、優先プリントの指定などを行うことができます。



システム状況画面（プリント）



システム状況画面（デバイス）

プリント画面では、プリントジョブの状況の確認や中止、優先プリントの指定などを行うことができます。




プリント画面

2

おもな機能と基本的な使いかた

 **メモ**

- 機能と説明については、「第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認」、送信／ファクスガイド「第8章 送信／受信状況の確認と変更」を参照してください。
- 画面の左下に表示される以下のアイコンはそれぞれ次の状況を示しています。

アイコン (ジョブの種類)	説明
	コピージョブ
	送信／ファクスジョブ
	ボックスジョブ
	プリンタジョブ
	レポートジョブ
	リモートスキャン
	リモートコピージョブ
	初期設定／登録ジョブ

アイコン (本製品の種類)	説明
	エラー
	紙づまり
	針づまり
	トナー容器交換

## かんたんナビ画面を表示させることができます


②(かんたんナビ) を押すと、本製品の機能をより有効に活用するためのかんたんナビ画面が表示されます。画面に従ってやりたいことを選択していくと、機能の説明や設定方法を表示します。

### ■ トップ画面

②(かんたんナビ) を押すと最初に表示される画面です。

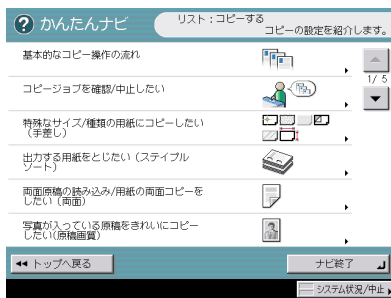


[かんたんナビの使いかた] を押すと、かんたんナビの使いかたの説明を表示します。

 **メモ** コピー機能またはボックス機能で、ある機能の選択後②(かんたんナビ) を押すと、その機能の詳細説明画面が表示される場合があります。

### ■ リスト表示画面

トップ画面で選択した機能の一覧を表示します。

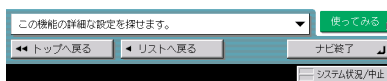


## ■ 詳細説明画面

リスト表示画面で選択した項目の、詳細な説明を表示します。




90°やラベル紙などにプリントするときは、手差しトレイにセットします。手差しトレイにコピーしたい面を下にセットして、スライドガイドを用紙の幅に合わせてください。



[使ってみる] を押すと、表示している機能の設定画面に移動します。

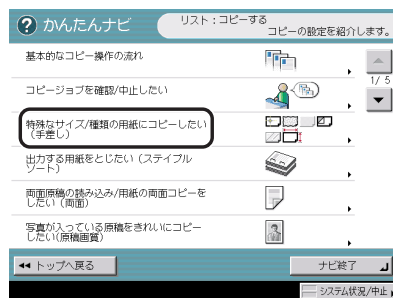
[この機能の詳細な設定を探せます。] を押すと、さらに詳しい説明や関連項目を表示します。

 **メモ** [使ってみる] は、コピー機能の一部の詳細説明画面でのみ表示されます。

例：

写真をコピーする場合の手順

## 1 [コピーする] → [特殊なサイズ / 種類の用紙にコピーしたい (手差し)] を押します。



## 2 機能の詳細を確認します。

すぐに機能を使用するときは、[使ってみる] → [はい] を押します。

## ネットワーク管理者からのメッセージを知ることができます

「掲示板」とは、ネットワーク管理者が、リモート UI から本製品の使用者に知らせておきたい内容などをメッセージにして、タッチパネルディスプレイに表示する機能です。(→ リモート UI ガイド「第3章 使いかたにあわせた設定」)

- ✎ **メモ** ● 掲示板は、ネットワークに接続している場合のみ使用することができます。
- 掲示板の消去方法は「掲示板を消去する(掲示板の消去)」(→ P.6-17)を参照してください。

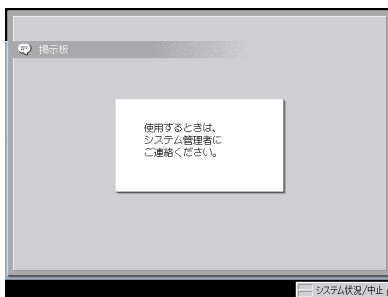
## 2

おもな機能と基本的な使いかた

### 掲示板の種類について

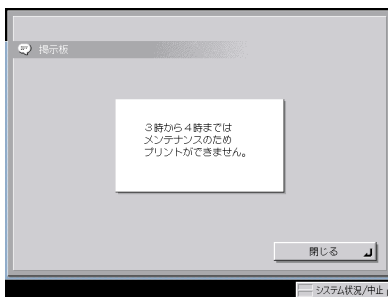
掲示板には以下の3つの種類があります。

#### ■【閉じる】のないもの



#### ■【閉じる】のあるもの

【閉じる】を押して掲示板を閉じれば通常の実行を行うことができます。本製品の主電源スイッチを入れなおしたときや、オートクリア機能が働くと再び同じ掲示板が表示されます。



- ✎ **メモ** オートクリアする時間を「0」分に設定すると、オートクリアしません。(→ オートクリアタイムの設定をする：P.4-52)

## ■ タッチパネルディスプレイの一番下の行に表示されるもの




## その他のご紹介しておきたい機能

先に説明した機能の他に、知っておいていただきたい機能について、以下に説明します。


### ■ オートカセットチェンジ機能について

選択中の給紙箇所用の用紙がなくなったとき、他に同じサイズ用の紙がセットされている給紙箇所があれば、その給紙箇所から自動的に給紙を始めます。

-  **メモ** それぞれの給紙箇所をオートカセットチェンジの対象にするかどうかを、機能ごとに設定することができます。工場出荷時は、手差しが「OFF」に、他はすべて「ON」に設定されています。(→カセットオート選択のON/OFFを設定する：P.4-29)


### ■ オートクリア機能について

プリント終了後、またはキー操作後、約2分間何の操作も行わなかった場合は、設定した機能が自動的に「標準モード」になります。

-  **メモ** オートクリアする時間は0～9分の範囲で1分間隔で設定できます。工場出荷時は「2分」に設定されています。(→オートクリアタイムの設定をする：P.4-52)

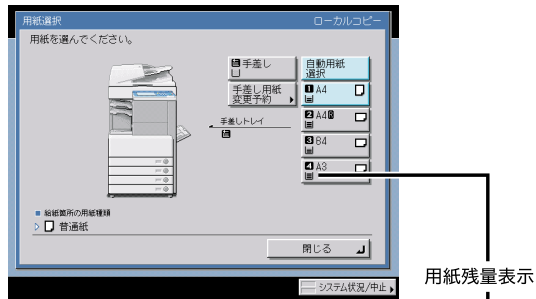
### ■ プリント待ち時間表示機能について

共通仕様設定（初期設定／登録）でプリント待ち時間表示を「ON」に設定すると、プリント終了までの待ち時間を表示させることができます。

-  **メモ** 待ち時間が1分以下の場合は、待ち時間表示を「ON」にしても表示されません。(→プリント待ち時間表示を設定する：P.4-48)

## ■ 用紙残量表示について

用紙選択時や連続プリント中に用紙がなくなったときに、それぞれの給紙箇所用の紙残量を表示します。(→コピー/ボックスガイド「第3章 基本的なコピー/ボックスの使いかた」)



用紙選択のときの画面



用紙切れのときの画面

表示には、次の4種類があります。

表示	用紙残量
	カセット容量の 100 % ～約 50 %
	カセット容量の約 50 % ～約 10 %
	カセット容量の約 10 % 以下
	用紙なし



### ■ オートタテヨコ回転機能について

原稿サイズと倍率などから計算された画像を自動的に回転させ、セットしてある用紙にプリントします。

回転させても画像が用紙にあわない場合は、画像を回転させずに、画像の一部が欠けたままでプリントします。

オートタテヨコ回転機能を「ON」に設定していても、原稿サイズ混載、表紙／合紙、ダブルステイプル、OHP 中差し、XY 独立ズーム、移動、イメージリポートなどのモードが設定されている場合は、回転が実行されません。(→コピー／ボックスガイド「第8章 使いかたにあわせた仕様の設定」)

# タッチパネルディスプレイの操作について

タッチパネルディスプレイでよく使うキーや表示方法、タッチパネルディスプレイの明るさの調節方法について記載しています。

2

おもな機能と基本的な使いかた

**⚠ 注意** タッチパネルディスプレイは指または操作ペンで軽く押してください。シャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。タッチパネルディスプレイの表面に傷がついたり破損の恐れがあります。

**メモ** タッチパネルディスプレイに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

## タッチパネルディスプレイでよく使うキーについて

タッチパネルディスプレイでよく使う以下のキーについて説明します。


- 設定取消** ある機能（モード）を設定中、またはすでに設定された機能を解除するときに押します。
- キャンセル** モードの設定中に設定内容はそのままの状態、現在の画面を閉じるときに押します。
- 次へ** ある機能（モード）の設定を確定して、次の設定手順へ進むときに押します。
- 戻る** 機能（モード）の設定中、現状の設定内容はそのままの状態、前の設定手順に戻りたいときに押します。
- 閉じる** いま開いている画面を閉じるときに押します。
- OK** ある機能（モード）の設定を確定するときに押します。

## タッチパネルディスプレイのキー表示について





タッチパネルディスプレイのキーを押すと、キーに色がつき、対応する機能（モード）が設定されます。モードを設定すると、キーに表示されている文字がグレーアウトされることがあります。グレーアウトされたキーは押せないで、あらかじめ設定したモードと組み合わせでこれらのモード設定することはできません。

### ■ 機能（モード）設定キー

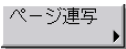
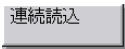
キーの状態	モードの設定状態
	ページ連写が設定されていない状態です。選択できません。
 (キーに色がついている状態)	ページ連写が設定されている状態です。選択できます。

キーの状態	モードの設定状態
 (文字がグレーになっている状態です。 取扱説明書の中では、グレーアウトと記載してあります。)	先に設定した機能（モード）と同時に設定できない機能のため、ページ連写が設定できません。



### ■ キーを押すと設定の ON/OFF が切り替わるキー

設定 OFF	設定 ON
	 (チェックマークがつく)
	 (色がつく)

右下に▶がついているキーを押すと、設定項目画面が表示され、ついていないキーを押すと設定の ON/OFF が切り替わります。




設定画面が表示されるキー	設定の ON/OFF を切り替えるキー
	

設定登録画面で右下の▲に色がついているキーは設定が登録されています。

登録されているキー	登録されていないキー
	



### ■ キーを押すとドロップダウンリストが表示されるキー

右側に▼がついているキーを押すと、選択するリストが表示されます。

選択前	ドロップダウンリスト	選択後
		

## ■ テンキーアイコンについて

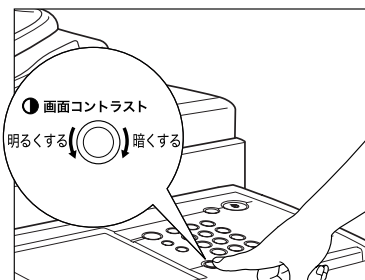
タッチパネルディスプレイにアイコンが表示されたときは、操作パネルのテンキーを使用して入力できます。

 テンキーでも入力できます。	タッチパネルディスプレイから入力できますが、同様に操作パネルのテンキーからも入力できます。
 テンキーで入力してください。	操作パネルのテンキーで入力します。

## 2

## タッチパネルディスプレイの明るさを調節する

タッチパネルディスプレイの表示が見づらいときは、操作パネルの画面コントラストダイヤルを使用し、明るさを調節してください。



メモ

明るくする場合は、ダイヤルを反時計回りに回します。暗くする場合は、ダイヤルを時計回りに回します。

# タッチパネルディスプレイから文字を入力する

名称の入力を促す画面が表示されたら、次のように文字を入力してください。

文字の入力はタッチパネルディスプレイに表示されるキーや操作パネルの①～④(テンキー)を使います。

- **メモ** ● 「かな漢」、「カタカナ」、「記号(全角)」、「コード入力」で入力する場合は、共通仕様設定(初期設定/登録)の表示言語の切替を「OFF」にしてください。(→表示言語の切り替えをする:P.4-45)
- SDLやSSOの認証画面やMEAPアプリケーションの機能から文字を入力するときは、操作画面が異なる場合があります。
- タッチパネルディスプレイを表示させるまでの手順は、各機能の操作説明を参照してください。



## 文字を入力する

- 1 入力モードドロップダウンリストを押して入力モードを選択したあと、文字を入力します。



入力モードと入力手順は以下のとおりです。

入力モード	入力例	入力手順
カタカナ	キヤノン	ローマ字で「kiyanonn」と入力します。 ● かな漢モードで入力する場合は、[かな / カナ] → [確定] を押します。
英字	canon	「canon」と入力します。
記号	%	「%」を押します。

入力モード	入力例	入力手順
ひらがな	ぎやのん	ローマ字で「kiyanonn」と入力します。 [確定] を押します。  • キーボード画面上的の  を押しても確定することができます。
かな漢	中島	ローマ字で「nakajima」と入力します。 [スペース / 変換 (次候補)] を押します。 目的の漢字に変換された場合は、[確定] を押します。  • キーボード画面上的の  を押しても確定することができます。  目的の漢字に変換されない場合は、再度 [スペース / 変換 (次候補)] を押したあと、目的の漢字の番号を押します。
コード入力	鯨	「1619」を入力  • 区点コードは「JIS 漢字コード表」(→ P.9-26) の縦列と横列の数字の和になります。  • 「鯨」の区点コード：1616+3 → 1619  • コード表にない番号を入力すると、「変換できません。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

文字の入力方法はローマ字入力です。

半角のカタカナ、記号を入力する場合は、[半角] を押します。

アルファベットの大文字を入力する場合は、[シフト] を押します。

スペースを入れる場合は、[スペース] を押します。

カーソルは [◀] [▶] を押すと移動させることができます。

他の入力モードで続けて入力する場合は、[OK] を押す前に入力モードドロップダウンリストを押して、入力モードを切り替えて入力します。

#### メモ

- 入力を間違えた場合は、[◀] [▶] を押してカーソルを移動したあと、[バックスペース] を使って間違えた文字を削除して入力しなおします。
- Ⓞ (クリア) を押すと、入力した文字をすべて取り消すことができます。
- 登録できる名称の文字モード (かな漢、カタカナ、英字、記号、コード入力) や文字数は設定する内容によって異なります。「カタカナ (半角)」で入力した濁点 (゛) 、半濁点 (゜) は半角 1 文字分に数えます。

## 2 すべての文字を入力したあと、[OK] を押します。

## 文節の区切りを変更する

例：「三田会館」を入力します。

- 1 入力モードドロップダウンリストを押したあと、[かな漢] を押します。
- 2 ローマ字で「mitakaikann」と入力します。  
文字の入力方法はローマ字入力です。(→ ローマ字入力表：P.9-25)
- 3 [スペース / 変換 (次候補)] を押します。  
入力した文字の一部の漢字候補が表示されます。
- 4 [◀] [▶] を押して、変換する文節の長さを変更します。




[◀] を押すと文節を短く、[▶] を押すと文節を長くすることができます。

2

おもな機能と基本的な使いかた

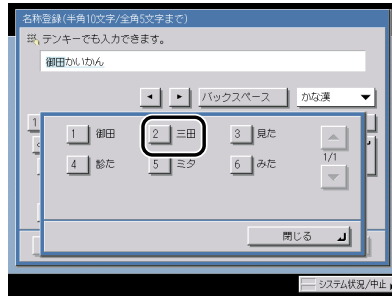
**● 目的の漢字に変換された場合**

- [確定] を押します。

キーボード画面上の  を押しても確定することができます。

**● 目的の漢字に変換されない場合**

- 再度 [スペース / 変換(次候補)] を押したあと、目的の漢字の番号を押します。



候補の漢字が一度に表示できない場合は、[▼] [▲] を押して候補の表示を切り替えて目的の漢字を表示してください。

①～⑨(テンキー) で目的の漢字の番号を押して選択することもできます。

**5** 手順 3～4 を繰り返し、すべての文字を漢字に変換します。**6** すべての文字を入力したあと、[OK] を押します。

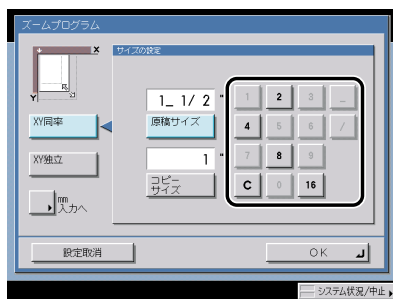


## インチ入力のしかたについて

数値入力が必要なモードを設定する場合にインチ単位で入力するときには、共通仕様設定（初期設定／登録）で、インチ入力の ON/OFF を「ON」に設定しておきます。（→インチ入力をするかどうか設定する：P.4-29）数値入力が必要な画面中の [インチ入力へ] を押すと、インチ単位で入力することができるようになります。

例：ズームプログラムモードで原稿サイズ 1\_1/2" を入力する。

### 1 画面のテンキーを [1] → [ ] → [1] → [/] → [2] の順に押します。



メモ

- 間違っ て入力した場合は、[C] を押して正しい数値を入力します。
- 分母として入力できる数値は、2、4、8、16 のみです。
- 本製品は、インチ入力された数値を mm に換算して計算を行います。そのため、指定した数値とコピー結果に若干のずれが生じることがあります。
- mm 単位で入力する場合は、[mm 入力へ] を押します。

2

おもな機能と基本的な使いかた

# 部門 ID と暗証番号を入力する

部門別 ID 管理をしている場合は、本製品を使用する前に部門 ID と暗証番号を入力する必要があります。

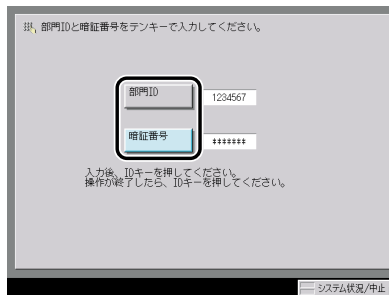
2

おもな機能と基本的な使いかた

- **メモ** 部門 ID と暗証番号の登録については、「部門別 ID 管理を設定する（部門別 ID 管理）」（→ P.6-5）を参照してください。
- オプションのコントロールカードを使用している場合は、「コントロールカードをセットしてください。」というメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。コントロールカードをカードリーダーに差し込んでください。（→カードリーダー - C1：P.3-41）
- ファンクション制限を設定している場合は、本製品を使用している最中にも、部門 ID を入力する画面、またはコントロールカードをセットする画面が表示されることがあります。そのときは、メッセージの指示に従ってください。
- ログインサービスにSDLやSSOを設定している場合は、「SDLやSSOの認証画面でログインする」（→ P.2-29）を参照してください。

## 1 部門 ID と暗証番号を①～⑨（テンキー）で入力します。

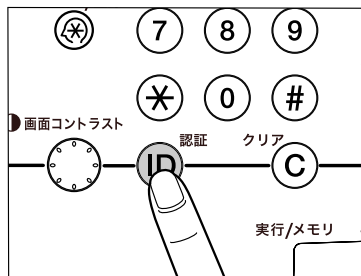
- [部門 ID] を押したあと、部門 ID を入力します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。



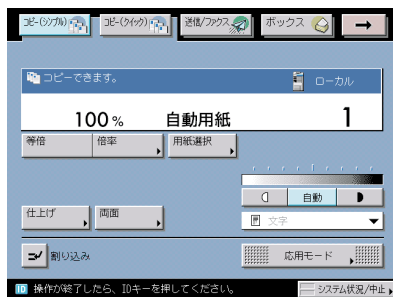
暗証番号が設定されていない場合は、暗証番号を入力せずに手順 2 へ進んでください。  
入力した暗証番号は「\*\*\*\*\*」マークで表示されます。

- **メモ** 部門 ID、暗証番号を間違えた場合は、⓪（クリア）を押して正しい番号を入力します。

## 2 ①D(認証) を押します。



タッチパネルディスプレイに選択した機能の基本画面が表示されます。

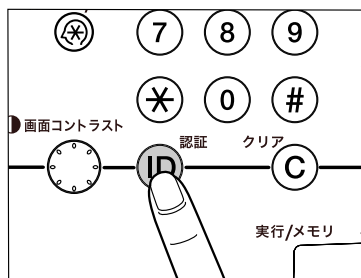


メモ

部門 ID か暗証番号が間違っている場合は、「この番号は登録されていません。再入力してください。」と表示されます。手順 1 からやりなおしてください。

## 3 本製品の使用終了後、操作パネル上の①D(認証) を押します。

オプションのコントロールカードを使用している場合は、コントロールカードを抜き取ります。(→カードリーダー - C1 : P.3-41)



部門 ID と暗証番号を入力する画面に戻ります。



メモ

- 再度本製品を使用する場合は、再び部門 ID と暗証番号を入力します。
- Ⓜ**(認証) を押さないと、以後の操作も現在の部門 ID に枚数がカウントされます。
- 操作終了後、**Ⓜ**(認証) を押し忘れても一定時間がたつと自動的に暗証番号を入力する画面が表示されます。(→オートクリアタイムの設定をする：P.4-52)
- Ⓜ**(認証) を押すと、すべての設定が解除され、本製品は標準モードに戻ります。

## 2

### おもな機能と基本的な使いかた

# SDL や SSO の認証画面でログインする

SDL (Simple Device Login) や SSO (Single Sign-On) のログインサービスを使って本製品を管理している場合は、本製品を使用する前にユーザ名とパスワードを入力します。

- メモ**
- ここでは SDL (Simple Device Login) と SSO (Single Sign-On) を例に操作の説明を行います。他のログインサービスを使用しているときは、手順が異なる場合があります。
  - ログインサービスの選択および設定に関しては、「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。
  - SDL および SSO のローカルデバイス認証のユーザ登録は「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。
  - SSO のドメイン認証（「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）のユーザ名称についてはネットワーク管理者にお尋ねください。

2

おもな機能と基本的な使いかた

## 1 ユーザ名の入力部分を押しします。

ログインサービスに SDL を設定している場合は、以下のような画面が表示されます。

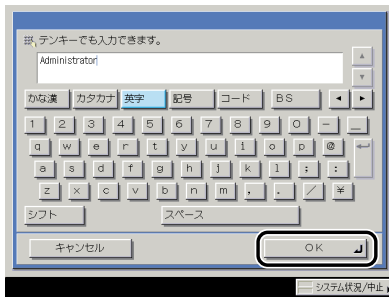
ログインサービスに SSO を設定している場合は、以下のような画面が表示されます。

**重要**

- SSO でドメイン認証（「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）を使用する場合は、Active Directory をインストールした Windows サーバと Security Agent が必要です。
- SSO のドメイン認証（「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）でログインする場合は、Active Directory が載っているパソコンと本製品の時刻をあわせておく必要があります。パソコンの時計と本製品の時刻の設定が 30 分以上ずれていると、SSO でのログイン時にエラーが発生します。本製品の日付と時刻の設定に関しては「日付/時刻を設定する(日付/時刻設定)」(→ P.6-19)を参照してください。

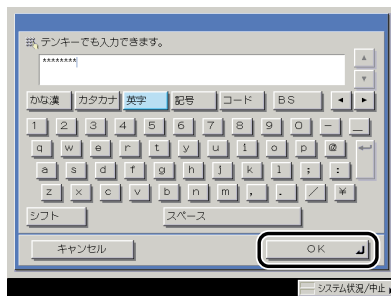
**メモ**

- ログインしたユーザの履歴を示すドロップダウンリストから選択するよう設定することもできます。（詳細は「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。）
- SDL を使用する場合はユーザ名、パスワードは半角英数字で設定してください。
- SSO でドメイン認証（「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）を使用する場合はユーザ名は、半角英数字および .（ピリオド）、-（ハイフン）、\_（アンダーバー）、%（パーセント）で設定してください。使用できない文字を設定すると、ログインできません。
- SSO でローカルデバイス認証（「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でローカルデバイス認証を使用する場合も含む）を使用する場合はユーザ名、パスワードは半角英数字で設定してください。

**2 ユーザ名を入力したあと、[OK] を押します。****3 パスワードの入力部分を押しします。**

SDL の画面

## 4 パスワードを入力したあと、[OK] を押します。

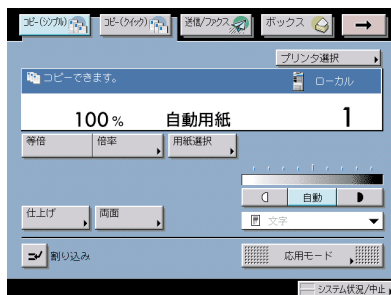
**メモ**

SSO でドメイン認証（「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）を使用する場合は、ログイン先をドロップダウンリストから選択します。ログイン先の選択方法については、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照ください。

## 5 [ログイン] を押します。

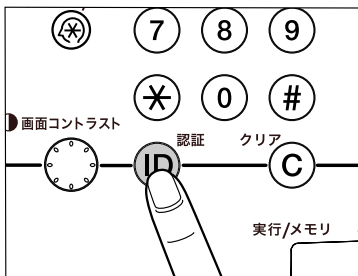
⑩(認証) を押してログインすることもできます。

タッチパネルディスプレイに選択した機能の基本画面が表示されます。



ユーザ名かパスワードが間違っているときは、確認を促すメッセージが表示されます。手順1からやりなおしてください。

## 6 本製品の使用終了後、操作パネル上の $\text{ID}$ (認証) を押します。



ユーザ名とパスワードを入力する画面に戻ります。


### メモ

- 再度本製品を使用する場合は、再びユーザ名とパスワードを入力します。
- $\text{ID}$  (認証) を押さないと、以後の操作も現在のユーザに枚数がカウントされます。
- 操作終了後、 $\text{ID}$  (認証) を押し忘れても一定時間がたつと自動的にパスワードを入力する画面が表示されます。(→ オートクリアタイムの設定をする：P.4-52)
- $\text{ID}$  (認証) を押すと、すべての設定が解除され、本製品は標準モードに戻ります。



# 原稿をセットする

原稿は、サイズや種類、使用する機能のモードに応じて、次の場所にセットしてください。

 **メモ** 原稿がたくさんあって一度にセットできない場合は、応用モードの連続読込モードを設定します。(→コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」、送信/ファクスガイド「第4章 便利な読み取り機能」)

## ■ 原稿台ガラス

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込む場合はここにセットします。

## ■ フィーダ (自動原稿送り装置)

シート状の原稿をまとめて読み込む場合、原稿をフィーダにセットして●(スタート)を押すと自動的に読み込みを開始します。また、両面原稿を自動的に反転送りして両面読み込みすることもできます。

## 原稿サイズについて

本製品は原稿サイズを自動的に検知して読み込みます。ファクスの場合、受信側にセットされた記録紙のサイズが読み込んだ原稿サイズと異なるときは、受信側の記録紙サイズにあわせて縮小されるか、分割されて送信されることがあります。

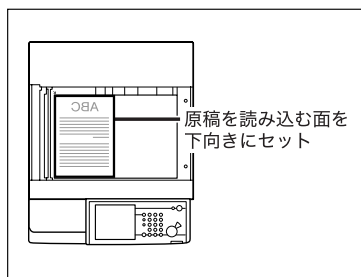
また、フリーサイズの原稿や本などの厚みのある原稿の場合、原稿サイズを正しく検知できないことがあります。

この場合は、読み込む原稿のサイズをあらかじめ指定してください。(→送信/ファクスガイド「第3章 基本的な読み取り機能」)

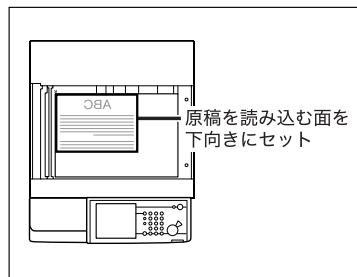
## 原稿の「タテ置き」と「ヨコ置き」について

原稿の置きかたには、「タテ置き」と「ヨコ置き」の2とおりがあります。いずれの場合も原稿の天部（上側）が奥側になるようにセットしてください。

### 原稿台ガラスの場合

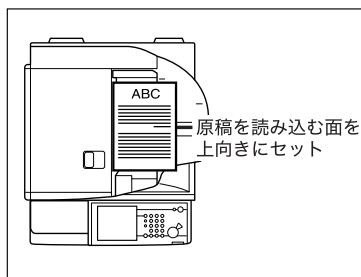


タテ置き

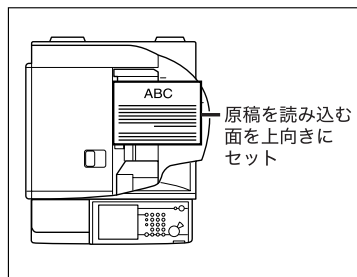


ヨコ置き

### フィーダの場合



タテ置き




ヨコ置き

### メモ

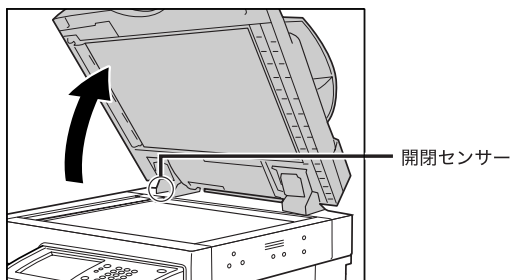
- 原稿の天部を奥側にしてセットしないと、モードによっては正しく読み込みできません。
- 以下のサイズの原稿は、ヨコ置き・タテ置きの両方とも可能ですが、ヨコ置きはタテ置きに比べ、読み込みスピードがやや遅くなります。ヨコ置きはA4→A3などの定形変倍を設定してコピーするときなどにお使いください。
  - ・ 原稿台ガラスの場合： A4、B5、A5
  - ・ フィーダの場合： A4、B5
- A4、B5、A5サイズのヨコ置きを、A4R、B5R、A5Rと呼びます。
- A3、B4サイズの原稿は、ヨコ置きのみ可能です。
- B5サイズの原稿をタテ置きでファクスを送信するときは、B4短尺で送信されます。ヨコ置きのときは、A4で送信されます。


## 原稿台ガラスにセットする

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込む場合はここにセットします。また、用紙いっぱい画像がある A3 サイズの原稿を、画像が欠けないように読み込む場合も原稿台ガラスにセットします。(→コピー/ボックスガイド「第 1 章 コピーについて」、「第 3 章 基本的なコピー/ボックスの使いかた」、送信/ファクスガイド「第 3 章 基本的な読み取り機能」)

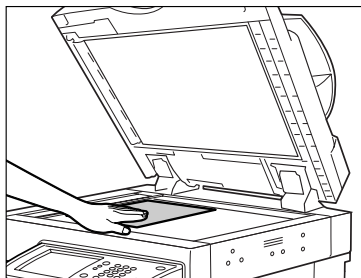
 **メモ** A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5 サイズをセットすると、原稿サイズの検知をします。

### 1 フィーダ/原稿台カバーを開きます。

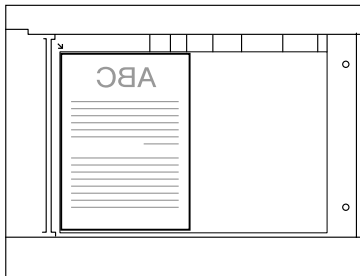


 **重要** 本製品にはフィーダ/原稿台カバーの開閉センサーが装着されています。原稿台ガラスに原稿をセットする場合は、フィーダ/原稿台カバーをセンサーから離れる位置まで（約 30 cm）開いてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズを正しく検知できないことがあります。

### 2 読み込む面を下向きにして、原稿をセットします。



原稿は読み込む面を下向きにして、原稿台ガラス面の左奥（矢印マーク）に原稿の角をあわせてセットします。



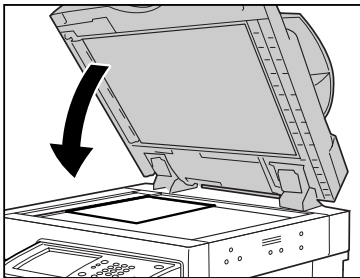
ブック原稿も同様にセットします。



メモ

A4、B5、A5 サイズの原稿を A3、B4 サイズ用紙に拡大コピーするときは、原稿を A4R、B5R または A5R の指標にあわせ、ヨコ置きにセットします。

### 3 フィーダ／原稿台カバーを静かに閉じます。



注意

- フィーダ／原稿台カバーは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- 厚いブック原稿などをフィーダ／原稿台カバーで強く押さないでください。原稿台ガラスが破損して、負傷する恐れがあります。
- フィーダ／原稿台カバーを閉じるときには、ランプが光りまぶしいことがあるのでご注意ください。

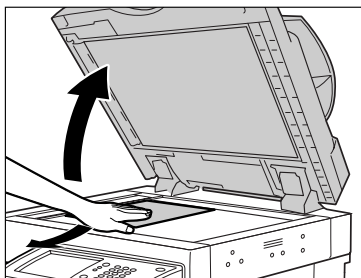


重要

原稿台ガラスに原稿をセットした場合の原稿サイズの検知は、フィーダ／原稿台カバーを閉じてから実行されます。フィーダ／原稿台カバーは必ず閉じてください。



- 読み込みが終了した原稿は、原稿台ガラスから取り除いてください。



- A5R、A6R、はがきサイズをセットした場合は原稿サイズを検知することができません。  
 ◎（スタート）を押したあとに表示される画面のメッセージに従って原稿サイズを指定してください。または、マニュアル用紙選択をしてください。



## フィードにセットする (DADF-M1)

シート状の原稿をまとめて読み込む場合、原稿をフィードにセットして◎（スタート）を押すと自動的に読み込みを開始します。また、両面原稿を自動的に反転送りして両面読み込みすることもできます。

原稿給紙トレイには、次のような原稿をセットすることができます。

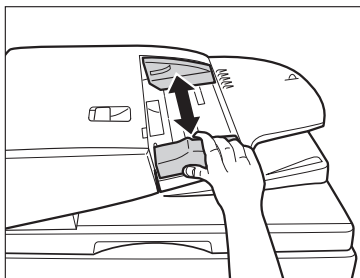
- 原稿の厚さ：
  - ・片面読み込み： 42g/m<sup>2</sup> ~ 128 g/m<sup>2</sup>
  - ・両面読み込み： 50g/m<sup>2</sup> ~ 128 g/m<sup>2</sup>
- 原稿のサイズ： A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6
- 原稿給紙トレイに一度に  
 セットできる枚数： 100枚 (80 g/m<sup>2</sup>) まで



- 薄い原稿は、高温高湿の使用環境ではしわになることがあります。
- 次のような原稿の使用は避けてください。
  - ・破れや大きなとじ穴などがあいた原稿
  - ・大きくカールしたり、ひどく折れた部分のある原稿
  - ・クリップやステイプル針などでとめてある原稿
  - ・カーボン紙など、すべりの悪い原稿
  - ・OHP フィルムなどの透明度の高い原稿

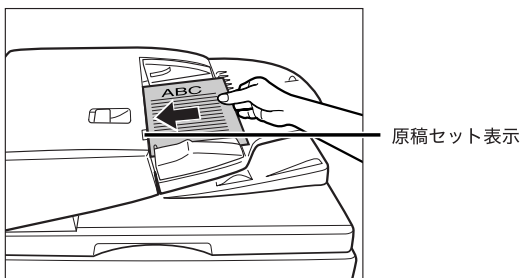
- 同じ原稿を繰り返して読み込む場合の使用頻度は、30 回程度（紙質により回数は異なります。）を目安にしてください。使用頻度が多くなると、原稿が折れたり、しわになったりして、原稿が送りにくくなることがあります。
- 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで原稿給紙ローラが汚れた場合は、フィーダのクリーニングを行ってください。（→ フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）：P.7-51）
- 折られている原稿をセットする場合は、原稿の折り部分を修正してからフィーダにセットしてください。

## 1 スライドガイドを原稿のサイズにあわせませす。

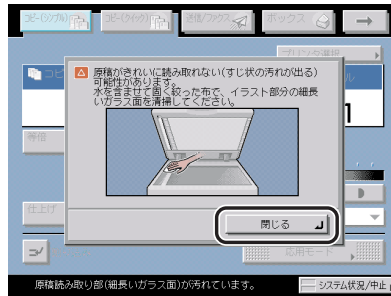


## 2 原稿をそろえ、読み込む面を上向きにして原稿給紙トレイの上にセットします。

原稿は、原稿セット表示が点灯するまでつき当ててセットしてください。

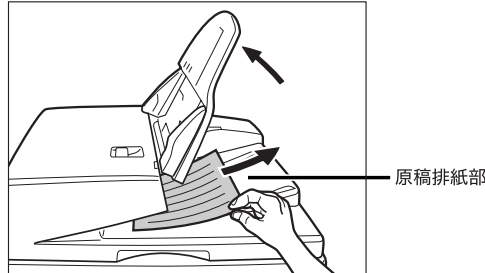


原稿をセットしたときに、原稿読み取り部が汚れている場合は、以下のような画面が表示されます。原稿読み取り部を清掃してください。[閉じる]を押して原稿の読み込みを行うこともできます。原稿読み取り部の清掃については、「フィーダを清掃する」(→P.7-47)を参照してください。



### 重要

- 読み込み中にセットした原稿を抜き取ったり追加したりしないでください。
- 読み込みが終了した原稿は、順次原稿排紙部から取り除いてください。紙づまりの原因になります。



### メモ

- A4、B5 サイズの原稿を A3、B4 サイズの用紙に拡大コピーするときなどは、原稿をヨコ置きにセットします。
- 読み込みが終了した原稿は、セットした順番どおりに原稿排紙部に排紙されます。
- フィーダを使用して読み込むとき「原稿サイズ混載」を設定すると、異なるサイズの原稿を一度にセットできます。(→コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」、送信/ファクスガイド「第4章 便利な読み取り機能」)

# 手差しトレイの用紙にプリントする

封筒や郵便はがきなどにプリントするときは、手差しトレイにセットします。

## 重要

- 手差しする用紙については次の点に注意してください。
  - ・用紙枚数：1枚～約50枚（80 g/m<sup>2</sup>、高さ約5 mm）
  - ・用紙サイズ：99 × 148 mm～297 × 432 mm
  - ・用紙の厚さ：64～128 g/m<sup>2</sup>
  - ・カールした用紙は、必ずカールをなおしてから使用してください。（カール量：用紙10 mm以下、厚紙5 mm以下）紙質によっては紙送りされない場合があります。
- 異なるサイズの用紙を同時にセットしないでください。
- はがきは郵便はがきをご使用ください。ただし、インクジェット用の郵便はがきは使用できません。
- 第2原図用紙は1枚ずつセットし、排紙されることにトレイから取り除いてください。一度に複数枚セットすると、紙づまりの原因となります。
- 厚紙の種類によっては、手差しトレイに複数枚セットした場合に紙づまりが起きることがあります。その場合は1枚ずつセットしてください。
- 用紙の両面にプリントする場合は、両面モードを指定してプリントしてください。用紙の吸湿状態によって、プリントした用紙がしわになることがあります。
- すでにプリントされた用紙のウラ面にプリントする場合は、用紙を手差しトレイにセットし、用紙種類の選択画面で「両面2面目」を設定してください。
- 用紙の種類は必ず正しく設定してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく設定されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もありますので、必ず正しく設定してください。
- 封筒にプリントした場合は、10枚排紙されることにトレイから封筒を取り除いてください。
- コピー機能使用時にフリーサイズを選択した場合は、自動変倍、全面コピー、XY独立自動、仕上げ、片面▶両面、両面▶両面、ページ連写両面、ページ連写、表示/合紙、縮小レイアウト、移動、製本、OHP中差し、イメージリピート、イメージ合成、ページ印字/部数印字、スタンプ/日付印字、地紋印字、ジョブ結合、ボックス保存の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」）
- コピー機能使用時に封筒、郵便はがきを選択した場合は、仕上げ、片面▶両面、両面▶両面、ページ連写両面、ページ連写、表紙/合紙、縮小レイアウト、製本、OHP中差し、イメージ合成、ジョブ結合の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」）
- ボックス文書プリント時にフリーサイズを選択した場合は、仕上げ、両面プリント、表紙/合紙、表紙/仕切紙、製本、イメージ合成、ページ印字/部数印字、スタンプ/日付印字、地紋印字の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」）
- ボックス文書プリント時に封筒、郵便はがきを選択した場合は、仕上げ、両面プリント、表紙/合紙、表紙/仕切紙、製本、イメージ合成の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」）

2

おもな機能と基本的な使いかた



- メモ**
- 次のような原稿を読み込む場合は、原稿のサイズを指定してください。
    - ・ OHP フィルムなどの透明度の高い原稿
    - ・ 地色が極端に濃い原稿
  - 封筒にプリントする場合、プリントした封筒にしわができることがあります。
  - 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。

### ■ 定形サイズ

A/B サイズまたはインチサイズの定形サイズの内紙がセットできます。ただし、A5、STMT サイズの内紙は必ずヨコ置きにセットしてください。

### ■ フリーサイズ

フリーサイズ (99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm) の内紙がセットできます。

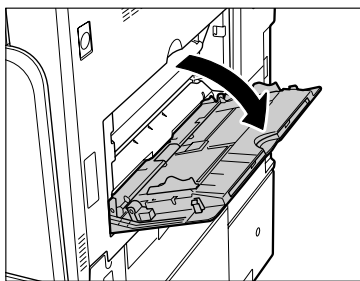
### ■ 封筒

洋形 4 号 (105 × 235 mm)、COM10 No.10 (104.7 × 241.3 mm)、Monarch : Catalog Glove No.8 (98.4 × 190.5 mm)、DL (110 × 220mm)、ISO-B5 (176 × 250 mm)、ISO-C5 (162 × 229 mm) の封筒がセットできます。

### ■ 郵便はがき

はがき (100 × 148 mm)、往復はがき (148 × 200 mm)、4 面はがき (296 × 200 mm) がセットできます。

## 1 手差しトレイを開きます。



- メモ**
- セットする用紙と異なる用紙が手差し用紙の標準モードで登録されている場合は、共通仕様設定 (初期設定 / 登録) の手差し用紙の標準モード登録を「OFF」にしてください。  
(→ 手差し用紙の標準モードを登録する : P.4-42)

### ● 指定する用紙がすでに手差しトレイにセットされている場合

- [用紙選択] → [手差し] を押して指定したあと、手順 6 へ進みます。

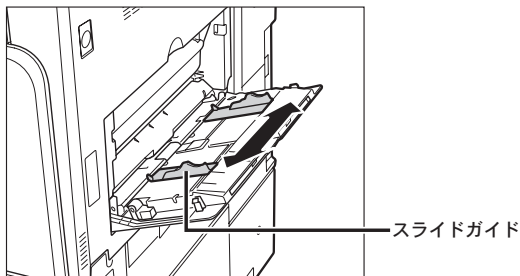
### ● 指定する用紙と異なる用紙が手差しトレイにセットされている場合

- 予約されているジョブがあるかどうかを確認してください。(→ジョブ状況やデバイス状況を確認する：P.5-4)

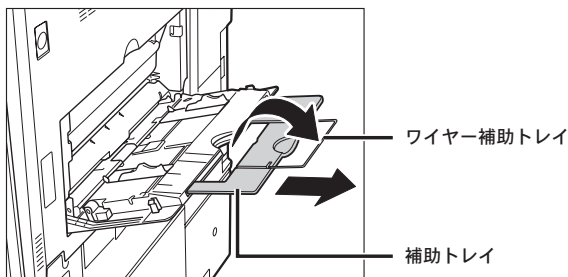
予約されているジョブがあるときは手差し用紙変更予約を行ってください。(→コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」)

予約されているジョブがないときは、セットされている用紙を取り除いたあと、手順2以降を続けます。

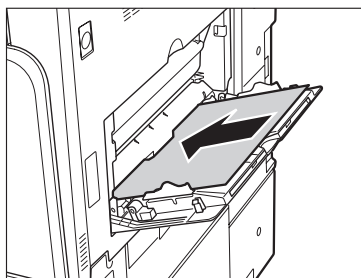
## 2 セットする用紙サイズにあわせて、スライドガイドを調節します。



用紙が大きいときは補助トレイを引き出します。

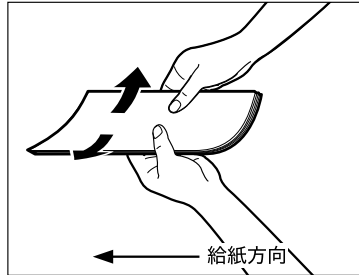


## 3 用紙を手差しトレイにセットします。

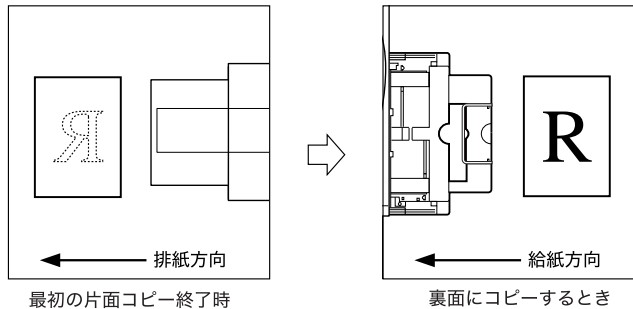


積載制限表示 (≡) を越えないようにセットしてください。

手差しコピーをするときは、用紙がカールしていると、紙づまりを起こしやすくなります。そのため、図のようにカールをなおしてから手差しトレイにセットしてください。



一度コピーした用紙の裏面に手差しコピーをするときは、カールをなおしたあと、コピーする面を下向きにして、また、最初のコピーで後に排紙された辺が給紙方向になるように、用紙をセットしてください。



### 重要

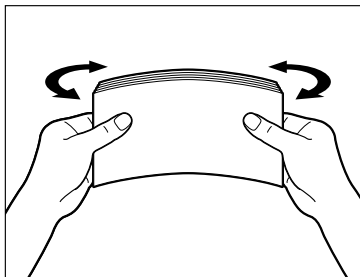
- 手差しトレイに用紙をセットする場合は、用紙のかどをきちんとそろえてセットしてください。正しくセットしないと、紙づまりを起こしやすくなります。

### メモ

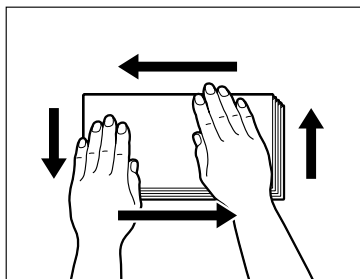
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- 手差しトレイに用紙をセットする場合は、プリントする面を下にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については、「原稿向きと用紙向きの関係について」(→ P.9-22)を参照してください。

## ● 封筒をセットする場合

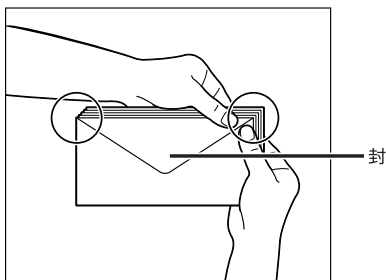
- 封筒を 5 枚ほど手にとり、よくさばいて揃えます。この操作を 5 回繰り返します。



- 封筒を清潔で平坦な場所に置いて、矢印の方向に手で伸ばします。この操作を 5 回繰り返します。



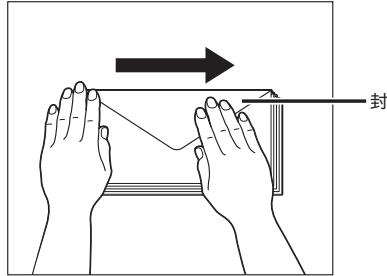
ISO-B5、ISO-C5、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL の封筒を使用する場合は、封の部分がめくれないように封筒の四隅をよく押さえます。



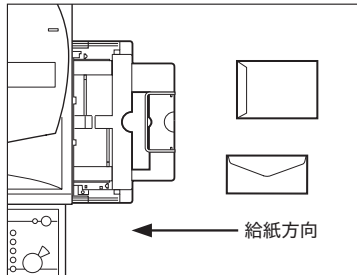
洋形 4 号の封筒を使用する場合は、封の部分は折り曲げずにセットしてください。

**重要**

- 封の部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力により、のりが溶けることがあります。
- 特に通紙方向（← →）を念入りに行ってください。
- 封筒のウラ面（封の部分）にはプリントしないでください。
- 封筒の中に空気が入ってふくらんでいるときは、手でならして空気抜きをしてからセットしてください。



□ 下の図のようにセットします。



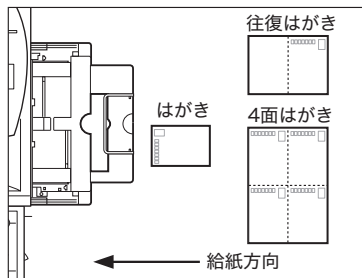
宛先面にプリントする場合

**重要**

- 手差しトレイに一度にセットできる封筒は5枚までです。
- ここまでの手順を行っても正しく通紙されない場合は、同様の手順を1枚ずつ行ってください。
- 封筒にプリントする場合、プリントした封筒にしわがでることがあります。

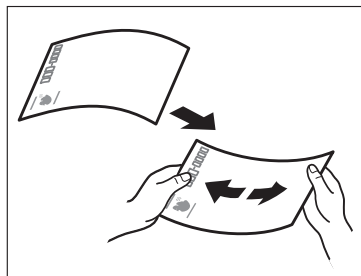
## ● 郵便はがきをセットする場合

- 下の図のようにセットします。



宛先面にプリントする場合

郵便はがきの両面にプリントする場合は、一面目にプリントしたあと、再び手差しトレイにセットし、二面にプリントしてください。一面目にプリントしたあと、カールがってしまった場合はカールをなおしてからプリントしてください。



### 👉 重要


- 郵便はがきは下向きにカールしていると、紙づまりを起こしやすくなります。
- 正しくセットしてもはがきの給紙がうまくいかないときは、担当サービスにご連絡ください。
- はがきは郵便はがきをご使用ください。ただし、インクジェット用の郵便はがきは使用できません。

## 4 用紙サイズを選択します。

### ● A/B サイズの用紙を選択する場合

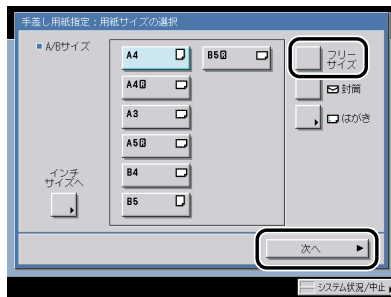
- 「A/B サイズ」から用紙を選択したあと、[次へ] を押します。



-  **メモ** インチサイズを選択する場合は、[インチサイズへ] を押します。

### ● 定形サイズ以外の用紙を選択する場合

- [フリーサイズ] を押したあと、[次へ] を押します。

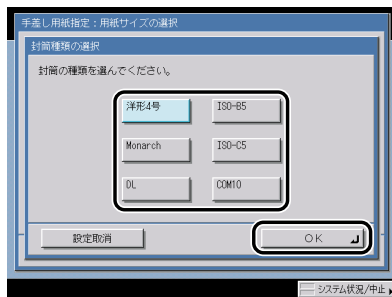


### ● 封筒を選択する場合

- [封筒] を押します。



共通仕様設定（初期設定／登録）の手差し封筒種指定が「ON」の場合は、封筒の種類を選択したあと、[OK] を押します。



共通仕様設定（初期設定／登録）の手差し封筒種指定が「OFF」の場合は、封筒種類の選択はできません。[封筒] を押したときに、自動的に洋形 4 号が選択されます。

**重要** 封筒の種類は正しく選択してください。紙づまりの原因になることがあります。

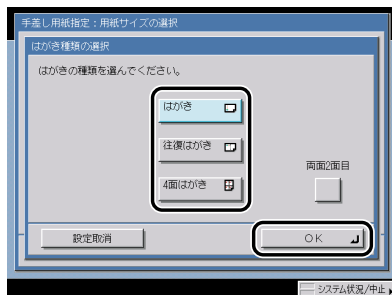
□ [OK] を押したあと、手順 6 に進みます。

### ● 郵便はがきを選択する場合

□ [はがき] を押します。



□ 郵便はがきの種類を選択したあと、[OK] を押します。

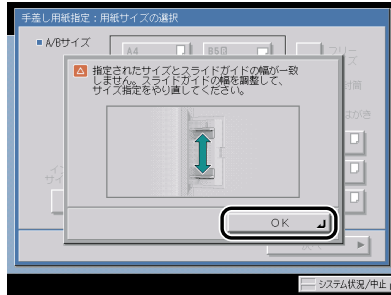


すでにプリントされた郵便はがきのウラ面にプリントする場合は、[両面 2 面目] を押します。

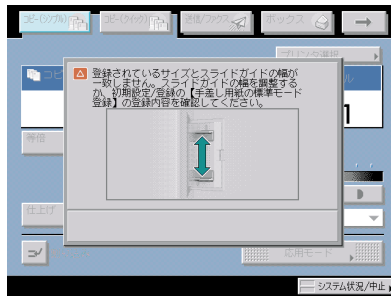


□ [OK] を押したあと、手順 6 に進みます。

下の画面が表示されたときは、スライドガイドの幅を調節してサイズを設定したあと、[OK] を押してください。

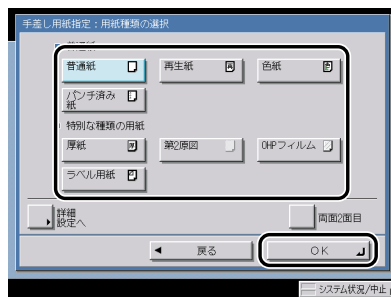


下の画面が表示されたときは、スライドガイドの幅を手差し用紙の標準モードとして登録した用紙サイズにあわせるか、共通仕様設定（初期設定／登録）で手差し用紙の標準モード登録を「OFF」にしてください。（→手差し用紙の標準モードを登録する：P.4-42）



**重要** 用紙サイズは、手差しトレイにセットした用紙と同じサイズを選択してください。

## 5 用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。



リストにない用紙の種類を使用したい場合は、[詳細設定] を押して、用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。



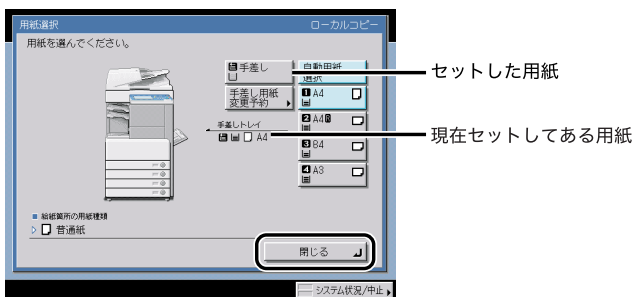
すでにプリントされた用紙のウラ面にプリントする場合は、[両面2面目] を押します。



メモ

- A4 の用紙を設定したときのみ、OHP フィルムを選択することができます。
- 用紙種類の詳細については「使用できる用紙について」(→P.2-53) を参照してください。
- [用紙種類の選択] の詳細設定のリストにない用紙の種類を登録することができます。用紙種類の登録については、「ユーザ定義の用紙種類を登録／編集する(用紙種類の管理設定)」(→P.6-53) を参照してください。

## 6 [閉じる] を押します。



[手差し用紙変更予約] を押すと、手順 4 の画面が再度表示され、セットする用紙を設定しなおすことができます。

## 7 コピー機能選択時は原稿をセットして、読み込むモードを設定します。

ボックス文書プリント時はこの操作は必要ありません。

## 8 (スタート) を押します。

ボックス文書プリント時は、[プリント開始] を押します。

読み込みが開始されます。



メモ

他の読み込むモードと一括して設定を解除するには、(リセット) を押します。(標準モードの設定になります。)

# 複合動作について

本製品はプリンタ、送信など、複数の機能を備えている複合機です。それぞれの機能を同時に行うこと（複合動作）ができるようになっています。詳細は以下の表のとおりです。

○：実行可能 ×：実行不可 △：条件付き

		受信			送信		読み込み		プリント			コピー読み込み&プリント
		ネットワーク受信	ファクス受信	プリントデータ蓄積	ネットワーク送信	ファクス送信	コピー/ボックス読み込み	送信読み込み	コピープリント	受信文書プリント	プリントデータプリント	
受信	ネットワーク受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ファクス受信	○	△ *4	○	○	△ *4	○	○	○	○	○	○
	プリントデータ蓄積	○	○	○ *3	○	○ *3	○	○ *3	○	○ *3	○ *3	○
送信	ネットワーク送信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ファクス送信	○	△ *4	○ *3	○	△ *4	○ *1	○ *1 *3	○	○ *1 *3	○ *1 *3	○ *1
読み込み	コピー/ボックス読み込み	○	○	○	○	○ *1	×	×	○	○ *1	○ *1	×
	送信読み込み	○	○	○ *3	○	○ *1 *3	×	×	○	○ *1 *3	○ *1 *3	×

プリント	コピープリント	○	○	○	○	○	○	○	×	△ +2	△ +2	×
	受信文書プリント	○	○	○ +3	○	○ +1 +3	○ +1	○ +1 +3	△ +2	△ +2 +3	△ +2 +3	△ +2
	プリントデータ プリント	○	○	○ +3	○	○ +1 +3	○ +1	○ +1 +3	△ +2	△ +2 +3	×	△ +2
コピー読み込み& プリント		○	○	○	○	○ +1	×	×	×	△ +2	△ +2	×

\*1：画像処理（圧縮、拡大／縮小、回転など）が必要な場合、動作性能が低下することがあります。

\*2：オプションのフィニッシャの装着状態によって、競合したジョブの出力順が変わります。

フィニッシャ装着時： 1部ごと交互に出力


フィニッシャ非装着時： 1枚ごと交互に出力

\*3：動作性能が低下することがあります。

\*4：装着しているファクスボードにより異なります。

スーパー G3FAX ボード：×













マルチ FAX ボード、G4FAX ボード：○（3ジョブ目以降は、ジョブ予約のみ可能です。）

-  **メモ**
- ネットワークの送信／受信は複数のジョブが同時に行われている場合、動作性能が低下することがあります。
  - ボックスからプリントするときは「プリントデータプリント」と同じ動作になります。
  - リモートコピーや重連コピーをするときは、「コピープリント」と同じ動作になります。

# 使用できる用紙について

本製品には次のような用紙をセットしてプリントすることができます。セットした用紙の種類を本製品で登録すると、どの給紙箇所にもどの種類の用紙をセットしたかひとめでわかるように、アイコン表示させることができます。(→給紙箇所の用紙種類を登録する：P.4-31)

○：使用可能      ×：使用不可

用紙の種類		給紙箇所 (用紙セット位置)		
		カセット (64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> )	手差しトレイ (64 ~ 128 g/m <sup>2</sup> )	サイドペーパーデッキ (64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> )
普通紙 <sup>*1</sup>		○	○	○
再生紙 <sup>*1</sup>		○	○	○
色紙		○	○	○
パンチ済み紙		○	○	○
厚紙 <sup>*2</sup>		×	○	×
第2原図		×	○ <sup>*3</sup>	×
OHPフィルム <sup>*4</sup>		×	○	×
ラベル用紙		×	○	×
はがき		×	○ <sup>*5</sup>	×
往復はがき		×	○ <sup>*5</sup>	×
4面はがき		×	○ <sup>*5</sup>	×
封筒		○ <sup>*6</sup>	○	×

\*1：普通紙、再生紙は 64 ~ 90 g/m<sup>2</sup> の用紙です。81 g/m<sup>2</sup> 以上の用紙は手差しトレイを使用してください。再生紙は古紙配合率 100% の再生紙が使用できます。

\*2：厚紙は 91 ~ 128 g/m<sup>2</sup> の用紙です。

\*3：第2原図用紙の種類によっては使用できないものもあります。

\*4：OHP フィルムは本製品専用の A4 の用紙です。

\*5：インクジェット用を除く郵便はがきが使用できます。

\*6：カセット 1 にオプションの封筒カセット・C2 を装着した場合にセットすることができます。

○：使用可能      ×：使用不可

用紙サイズ	タテ×ヨコ	給紙箇所（用紙セット位置）			
		カセット 1	カセット 2、3、4	手差し トレイ	サイド ペーパー デッキ
A3	297 × 420 mm	×	○	○	×
A4	297 × 210 mm	○	○	○	○
A4R	210 × 297 mm	○	○	○	×
A5R	148 × 210 mm	○	○	○	×
B4	257 × 364 mm	○	○	○	×
B5	257 × 182 mm	○	○	○	×
B5R	182 × 257 mm	○	○	○	×
はがき	100 × 148 mm	×	×	○	×
往復はがき	148 × 200 mm	×	×	○	×
4面はがき	296 × 200 mm	×	×	○	×
封筒	洋形4号	○ <sup>*1</sup>	×	○	×
	COM10 No.10	○ <sup>*1</sup>	×	○	×
	Monarch : Catalog Glove No.8	○ <sup>*1</sup>	×	○	×
	DL	○ <sup>*1</sup>	×	○	×
	ISO-B5	○ <sup>*1</sup>	×	○	×
	ISO-C5	○ <sup>*1</sup>	×	○	×
フリーサイズ	(99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm)	×	×	○	×

\*1：カセット1にオプションの封筒カセット・C2を装着した場合にセットすることができます。



- 用紙をセットする方法は、次を参照してください。
  - ・カセット → カセットに用紙を補給する：P.7-2
  - ・サイドペーパーデッキ → サイドペーパーデッキに用紙を補給する：P.7-9
  - ・手差しトレイ → 手差しトレイの用紙にプリントする：P.2-40
- カセット3、4、サイドペーパーデッキはオプションです。

# オプション機器について

オプション機器の各部の名称やはたらきについて説明しています。

システムの構成	3-3
オプション機器	3-3
オプション装着例	3-5
システムオプション	3-6
組み合わせ可能なオプション	3-10
ユーティリティソフトウェア	3-13
2 段カセットベディスタル・Y3	3-15
各部の名称とはたらき	3-15
別売付属品	3-16
サイドペーパーデッキ・Q1	3-17
各部の名称とはたらき	3-17
封筒カセット・C2	3-18
各部の名称とはたらき	3-18
DADF-M1	3-19
各部の名称とはたらき	3-19
フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1	3-20
各部の名称とはたらき	3-20
フィニッシャの機能	3-21
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 / パンチャーユニット・L1	3-26
各部の名称とはたらき	3-26
フィニッシャの機能	3-27
インナー 2 ウェイトレイ・D1	3-32
各部の名称とはたらき	3-33
コピートレイ・J1	3-35
各部の名称とはたらき	3-35
ハンドセット・G2	3-37
電話をかける	3-37
電話をうける	3-39
カードリーダー - C1	3-41

### 3. オプション機器について

---

本体を使用する前の操作.....	3-42
本体の使用終了後の操作.....	3-42
カードリーダー - C1 使用時の部門別 ID 管理について .....	3-43

## 3

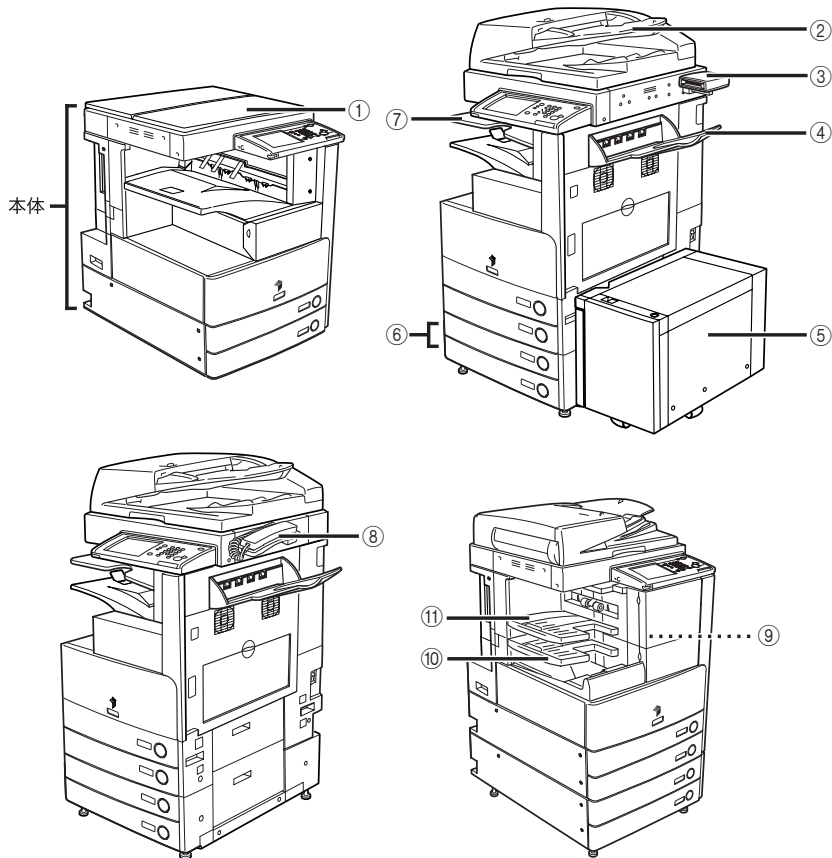
### オプション機器について



# システムの構成

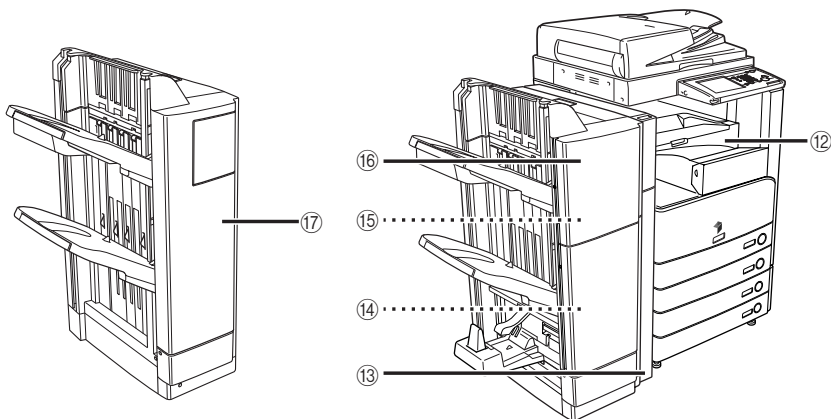
ここでは、本製品に装着できるオプション機器とオプションを装着した例を記載しています。

## オプション機器



3

オプション機器について



### ① 原稿台カバータイプ L

原稿台ガラスにセットした原稿を押さえます。Fモデルにこのオプションはありません。

### ② フィーダ (DADF-M1)

まとめてセットした原稿を 1 枚ずつ原稿台に送って読み込みます。また、両面原稿を読み込む場合は、原稿を反転して送ります。Fモデルは標準でフィーダが装着されています。

### ③ カードリーダー - C1

カードリーダー - C1 を装着すると、コントロールカードを使用して部門別 ID 管理を行うことができます。

### ④ コピートレイ・J1

フィニッシャー・S1 やインナー 2 ウェイトレイ・D1 と組み合わせることで排紙先のトレイを 1 つ増やすことができます。

### ⑤ サイドペーパーデッキ・Q1

サイドペーパーデッキ・Q1 を装着すると、給紙箇所を 1 つ追加することができます。サイドペーパーデッキ・Q1 には、3000 枚 (64 g/m<sup>2</sup>) または 2700 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) の用紙がセットできます。

### ⑥ 2 段カセットペディスタル・Y3

2 段カセットペディスタル・Y3 を装着すると、給紙箇所を 2 つ追加することができます。各カセットに 650 枚 (64 g/m<sup>2</sup>) または 550 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) の用紙をセットできます。

### ⑦ インナー 2 ウェイトレイ・D1

インナー 2 ウェイトレイ・D1 は次の機能を備えています：ソート、グループ、回転

### ⑧ ハンドセット・G2

ファクスを手動で送信することができます。また、電話の受話器としても使用することができます。

### ⑨ インナーパンチャーキット・Q1

フィニッシャー・S1 にインナーパンチャーキット・Q1 を装着すると、パンチ穴をあけることができます。

### ⑩ フィニッシャー・S1

フィニッシャー・S1 は次の機能を備えています：ソート、グループ、ステイプルソート (コーナー)

### ⑪ フィニッシャー用追加トレイ・B1

フィニッシャー・S1 にフィニッシャー用追加トレイ・B1 を装着することで排紙先のトレイを 1 つ増やすことができます。

### ⑫ バッファパスユニット・E2

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 を装着する場合は、バッファパスユニット・E2 も装着する必要があります。

### ⑬ パンチャーユニット・L1

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 にパンチャーユニット・L1 を装着すると、パンチ穴をあけることができます。

### ⑭ ステイプル・D2 またはステイプル・D3

オプションのサドルフィニッシャー・AE2 に装着する中とじ用の針カートリッジです。

### ⑮ ステイプル・J1

オプションのフィニッシャーに装着するコーナーステイプル、ダブルステイプル用の針カートリッジです。

### ⑯ サドルフィニッシャー・AE2

サドルフィニッシャー・AE2 は次の機能を備えています：ソート、グループ、ステイプルソート（コーナー／ダブル／中とじ）

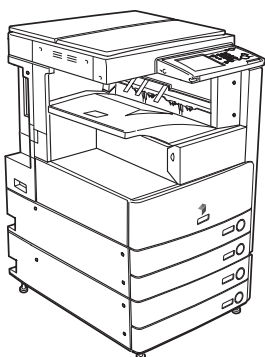
### ⑰ フィニッシャー・AE1

フィニッシャー・AE1 は次の機能を備えています：ソート、グループ、ステイプルソート（コーナー／ダブル）

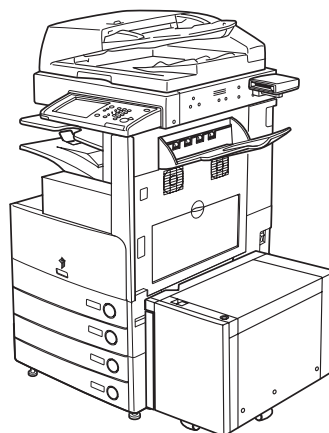
## オプション装着例

本製品には以下のようなオプション機器を装着することができます。ここで記載しているのは一部の例です。組み合わせ可能なオプション機器については、お求めになった販売店にお問い合わせください。

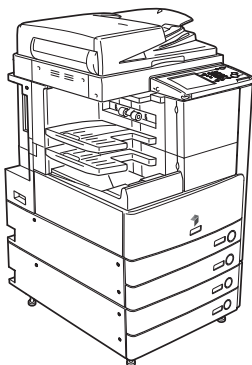
### 原稿台カバータイプL+2 段カセット ペディスタル・Y3 装着時



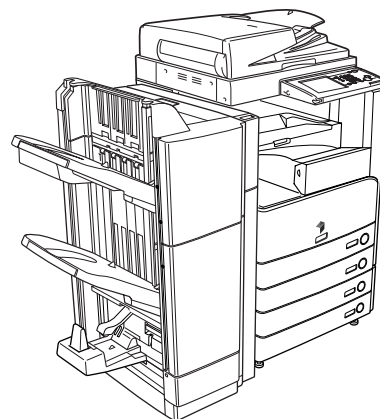
### DADF-M1+ インナー 2 ウェイトレイ・D1+ コピーレイ・J1+2 段カセットペディスタル・ Y3+ サイドペーパーデッキ・Q1+ カードリ ダ - C1 装着時



### DADF-M1+ フィニッシャー・S1+ フィニッシャー用追加トレイ・B1+ 2 段カセットペディスタル・Y3 装着時



### DADF-M1+ サドルフィニッシャー・AE2+ パ ンチャーユニット・L1 +パッファバスユニッ ト・E2 + 2 段カセットペディスタル・Y3 装着時



3


オプション機器について

## システムオプション

システム関連のオプション製品を装着することで、本製品の性能を高めることができます。ここでは、本製品に装着できるシステム関連のオプション製品とその機能について説明します。


### ■ LIPS LX プリンタ&スキャナキット

LIPS LX プリンタとして使用するための拡張オプションです。また、LIPS プリンタとして使用するための LIPS V 拡張キットやダイレクトプリント拡張キットを使用/装着するためのベースキットです。

 **メモ** Fモデルは標準で LIPS LX プリンタ&スキャナキットが装着されています。


### ■ LIPS V 拡張キット

LIPS プリンタとして使用するための拡張オプションです。

 **メモ** LIPS プリント機能を使用できるようにするには、あらかじめ LIPS LX プリンタ&スキャナキットを有効にしたあと、LIPS V 拡張キットを有効にする必要があります。

### ■ ダイレクトプリント拡張キット

リモート UI から PDF や TIFF/JPEG 画像のダイレクトプリントを行うための拡張オプションです。


 **メモ** ダイレクトプリント機能を使用できるようにするには、あらかじめ LIPS LX プリンタ&スキャナキットを有効にしたあと、ダイレクトプリント拡張キットを有効にする必要があります。

### ■ PCI バス拡張キット

MEAP インターフェースボード (USB) を装着するときに必要な拡張オプションです。

### ■ MEAP インターフェースボード (USB)

IC カード認証機能拡張キットを有効にするときに必要となる拡張オプションです。

 **メモ** MEAP インターフェースボード (USB) を装着するには、あらかじめ PCI バス拡張キットを装着する必要があります。

### ■ iR256MB 拡張 RAM

本製品に標準で搭載されているメモリ (512MB) を増やすための拡張オプションです。いくつかのオプションを使用する際には、iR256MB 拡張 RAM を搭載し、本製品のメモリを 768MB にする必要があります。

## ■ スーパー G3FAX ボード

スーパー G3FAX ボードを装着すると、ファクスの送受信ができるようになります。アプリケーションで作成された文書を直接パソコンからネットワークを経由してファクス送信することもできます。

- F モデルは標準でスーパー G3FAX ボードが装着されています。
- スーパー G3FAX ボードにはファクスドライバが同梱されています。これにより、本製品を経由してパソコンからファクス送信できます。
- マルチ FAX ボードまたは G4FAX ボードと同時に装着することはできません。

## ■ マルチ FAX ボード

上記のスーパー G3FAX ボードの機能に加え、2 回線を使用してファクスの送受信ができるようになります。

- スーパー G3FAX ボードまたは G4FAX ボードと同時に装着することはできません。

## ■ G4FAX ボード

ISDN 回線を使用して複数の受信機を接続し、用途に応じて受信する機械を選択することができます。また、スーパー G3FAX ボードよりファクスの通信時間が早くなります。

- スーパー G3FAX ボードまたはマルチ FAX ボードと同時に装着することはできません。

## ■ Send 拡張キット

送信機能を使用するための拡張オプションです。読み込んだ文書を電子メールやファクス文書として送信したり、ファイルサーバやボックスに保存することができます。

- 送信機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。

## ■ 暗号化 PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、安全に送信するために PDF を暗号化して、パスワードを設定することができます。

- 暗号化 PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。


## ■ サーチャブル PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、読み込んだ文書に OCR（光学式文字読取装置）処理をかけて、テキスト検索を行える PDF ファイル（サーチャブル PDF）を生成することができます。

- サーチャブル PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。


### ■ 機器署名 PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、どのデバイスで読み込みされた文書かを受信者に対して証明することができます。

 **メモ** 機器署名 PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。


### ■ ユーザ署名 PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、どのユーザによって署名された文書かを受信者に対して証明することができます。

 **メモ** ユーザ署名 PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。

### ■ タイムスタンプ PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、PDF データがスタンプされた時刻に存在していたことを受信者に対して証明することができます。

 **メモ** タイムスタンプ PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。

### ■ 地紋拡張キット


コピーすると浮き出す文字列を隠し文字列として、出力紙の背景に埋め込んでコピー／プリントするためのオプションです。「コピー禁止」などの文言や、日時、部署などを隠し文字列として埋め込むことで、出力紙がコピーされたときにこれらの文字列が浮かび上がるようになります。

### ■ HDD データ暗号化キット

本製品のハードディスク内に保存されるすべてのデータを暗号化することによって、大切なデータの漏洩を防ぐための拡張オプションです。暗号化することで本製品から抜き出されたハードディスク内のデータを不正に読み取られることを防ぎます。

### ■ HDD データ上書消去キット

本製品のハードディスク内に保存されたデータを完全消去することができるセキュリティオプションです。

 **メモ** データを完全消去する機能を使用できるようにするには、HDD データ上書消去キットを有効にする必要があります。

## ■ ウェブブラウザ拡張キット

ウェブページを本製品のタッチパネルディスプレイで閲覧するために用いる拡張オプションです。

- **メモ** ウェブページ、PDF ファイルのプリントをするには、LIPS LX プリンタ&スキャナキット（F モデルは標準装備）と、ダイレクトプリント拡張キットが必要です。
- Flash コンテンツを表示するには、本製品に搭載されたメモリを 768 MB にする必要があります。

## ■ IC カード認証機能拡張キット

IC カードでのユーザ認証やセキュアプリント（暗号化）を行う場合に必要な拡張オプションです。

- **メモ** IC カードユーザー用（5 枚セット）、IC カード管理者用、PCI バス拡張キット、MEAP インターフェイスボード（USB）が必要です。
- カードリーダー -C1 と同時に使用することはできません。

## ■ IC カード認証クライアントソフトウェア

IC カードでのユーザ認証やセキュアプリント（暗号化）を行う場合にパソコン側に必要な拡張オプションです。

## ■ 暗号化セキュアプリントキット

セキュアプリントするデータをパソコンで暗号化し、本製品で復号することによって、セキュリティを強化するための拡張オプションです。暗号化セキュアプリントキットを使用すると、プリント内容を他のユーザに見られることを防ぎ、大切なデータの漏洩を防ぐことができます。

- **メモ** 暗号化セキュアプリントキットを使用できるようにするには、あらかじめ LIPS LX プリンタ&スキャナキット（F モデルは標準装備）を有効にする必要があります。また、LIPS V 拡張キットと同時に使用することもできます。
- IC カードでのセキュアプリントを行う場合には、暗号化セキュアプリントキット、IC カード認証機能拡張キット、IC カード認証クライアントソフトウェアが必要です。

## ■ Access Management System 拡張キット

コピー、プリント、ボックス、送信など各機能の使用を、ユーザごとに制限するための拡張オプションです。送信機能の使用を制限することによって情報漏洩のリスクを軽減したり、複数ページ文書の片面印刷を制限することによってコスト削減を実現したりすることができます。

## ■ Workflow Composer

本製品の機能を組み合わせることで登録することのできるオプションの機能拡張キットです。

読み込み、プリント、送信などの複数の機能を組み合わせることで登録することができます。原稿を読み込んで送信したり、ボックスに保存された文書を文書結合して製本プリントしたりなど、複数の機能を 1 つのファンクションフローとして実行することができます。

## 組み合わせ可能なオプション

各機能に必要なオプション製品と、同時装着に必要なオプションおよび制限を以下に示します。

機能	必要なオプション	同時装着に必要なオプションおよび制限	
		必要なオプション	制限
コピー機能	原稿台カバータイプ L または、DADF-M1	—	原稿台カバータイプ L と DADF-M1 は同時に装着できません。また、原稿台カバータイプ L が装着されている場合は、使用できない機能があります。
ボックス機能	原稿台カバータイプ L または、DADF-M1	—	原稿台カバータイプ L と DADF-M1 は同時に装着できません。また、原稿台カバータイプ L が装着されている場合は、使用できない機能があります。
送信機能	原稿台カバータイプ L または、DADF-M1	—	原稿台カバータイプ L と DADF-M1 は同時に装着できません。また、原稿台カバータイプ L が装着されている場合は、使用できない機能があります。
	Send 拡張キット	—	送信機能を使用するには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。
	暗号化 PDF 拡張キット	Send 拡張キット	暗号化 PDF 機能を使用するには、Send 拡張キットを有効にした状態で、暗号化 PDF 拡張キットを有効にする必要があります。
	サーチャブル PDF 拡張キット	Send 拡張キット	サーチャブル PDF 機能を使用するには Send 拡張キットを有効にした状態でサーチャブル PDF 拡張キットを有効にする必要があります。
	機器署名 PDF 拡張キット	Send 拡張キット	機器署名 PDF 機能を使用するには、Send 拡張キットを有効にした状態で、機器署名 PDF 拡張キットを有効にする必要があります。
	ユーザ署名 PDF 拡張キット	Send 拡張キット	ユーザ署名 PDF 機能を使用するには、Send 拡張キットを有効にした状態で、ユーザ署名 PDF 拡張キットを有効にする必要があります。
	タイムスタンプ PDF 拡張キット	Send 拡張キット	タイムスタンプ PDF 機能を使用するには、Send 拡張キットを有効にした状態で、タイムスタンプ PDF 拡張キットを有効にする必要があります。



ファクス機能	原稿台カバータイプ L または、DADF-M1	—	原稿台カバータイプ L と DADF-M1 は同時に装着できません。また、原稿台カバータイプ L が装着されている場合は、使用できない機能があります。	
	スーパースーパー G3FAX ボード、マルチ FAX ボードまたは G4FAX ボード	—	複数の FAX ボードを同時に装着することはできません。	
	ハンドセット・G2	スーパー G3FAX ボード (F モデルは標準装備) またはマルチ FAX ボード	お客さまがお使いの電話機とハンドセット・G2 を同時に装着することはできませんが、同時に使用することはできません。	
追加排紙トレイ	本体右側面排紙	コピートレイ・J1	—	フィニッシャー・AE1 またはサドルフィニッシャー・AE2 を同時に装着することはできません。
	胴内排紙	インナー 2 ウェイトレイ・D1		フィニッシャー・S1、フィニッシャー・AE1、サドルフィニッシャー・AE2 を同時に装着することはできません。
		フィニッシャー用追加トレイ・B1	フィニッシャー・S1	インナー 2 ウェイトレイ・D1、フィニッシャー・AE1、サドルフィニッシャー・AE2 を同時に装着することはできません。
地紋印字	地紋拡張キット	—	地紋印字を使用するには、地紋拡張キットを有効にする必要があります。	
LIPS プリント機能	LIPS V 拡張キット	LIPS LX プリンタ & スキャナキット	LIPS プリント機能を使用するには、LIPS LX プリンタ & スキャナキットと LIPS V 拡張キットを有効にする必要があります。	
LIPS LX プリント機能	LIPS LX プリンタ & スキャナキット	—	LIPS LX プリンタドライバからのプリントのみ使用できます。	
PDF/TIFF/JPEG ダイレクトプリント機能	ダイレクトプリント拡張キット	LIPS LX プリンタ & スキャナキット	PDF/TIFF/JPEG ダイレクトプリント機能を使用するには、ダイレクトプリント拡張キットを有効にする必要があります。	
ソートグループシフトステイプル	フィニッシャー・S1、フィニッシャー・AE1 または、サドルフィニッシャー・AE2	バッファパスユニット・E2 <sup>1</sup>	コピートレイ・J1 とフィニッシャー・AE1 またはサドルフィニッシャー・AE2 を同時に装着することはできません。	

パンチ	パンチャーユニット・L1	フィニッシャー・AE1 または、サドルフィニッシャー・AE2、 バッファパスユニット・E2	フィニッシャー・S1 と同時に装着することはできません。
	インナーパンチャーキット・Q1	フィニッシャー・S1	フィニッシャー・AE1 またはサドルフィニッシャー・AE2 と同時に装着することはできません。
部門別 ID 管理 <sup>*2</sup>	カードリーダー-C1	—	—
追加給紙カセット	2 段カセットペディスタル・Y3	—	—
大型給紙カセット	サイドペーパーデッキ・Q1	2 段カセットペディスタル・Y3	—
セキュリティ管理 (データの暗号化)	HDD データ暗号化キット	—	—
セキュリティ管理 (データの完全消去)	HDD データ上書消去キット	—	データの完全消去機能を使用できるようにするには、HDD データ上書消去キットを有効にする必要があります。
ウェブページの表示	閲覧	ウェブブラウザ拡張キット	—
	ウェブページ / PDF ファイルのプリント	LIPS LX プリンタ & スキャナキットとダイレクトプリント拡張キット	—
セキュア文書のセキュリティ強化 (暗号化)	暗証番号を入力する場合	暗号化セキュアプリントキット	LIPS LX プリンタ & スキャナキット
	IC カードを使う場合		LIPS LX プリンタ & スキャナキット、IC カード認証機能拡張キット、PCI バス拡張キット、MEAP インターフェースボード (USB)
			セキュア文書のセキュリティ強化機能を使用できるようにするには、LIPS LX プリンタ & スキャナキットを有効にする必要があります。
			カードリーダー・C1 と同時に使用することはできません。

\*1: フィニッシャー・S1 を装着する場合は、バッファパスユニット・E2 は必要ありません。

\*2: 部門別 ID 管理機能は本製品に標準で搭載されています。オプションのカードリーダー-C1 が装着されていると、部門別 ID 管理機能が自動で作動し、部門 ID とパスワードを手動で入力する必要がありません。カードリーダー-C1 があるとタッチパネルディスプレイ上で、プリントトータルとトータル残数が表示されます。

## ユーティリティソフトウェア

以下のユーティリティソフトウェアを使用すると、ネットワークに接続されているキヤノンデバイスの各種設定をコンピュータ上で行うことができます。

### ■ NetSpot Device Installer

ネットワーク上に接続されたキヤノン製デバイスの初期設定を行うユーティリティソフトウェアです。NetSpot Device Installer は、コンピュータへのインストールが不要なソフトウェアで、簡単にデバイスの初期設定を行うことができます。

### ■ imageWARE Enterprise Management Console

ネットワーク上に接続されたデバイスを一元管理するユーティリティソフトウェアです。デバイスの一覧表示、デバイス状態の表示や通知、複数のデバイスのタスク管理など、Web ブラウザ上でさまざまな操作を行うことができます。また、imageWARE Enterprise Management Console から本製品のリモート UI に直接ジャンプして、本製品の各種設定を行えます。

### ■ imageWARE Document Manager

画像データや各種アプリケーションで作成した文書を管理/閲覧するためのソフトウェアです。デバイスとネットワーク経由で組み合わせることによって、高機能な文書管理を行うことができます。保存された文書は、Document Manager のキャビネットに作成されたフォルダの中で管理されます。

### ■ imageWARE Document Manager Gateway

Windows 上で動作する文書格納用のソフトウェアです。デバイスでスキャンした文書やファクス受信した文書を、Document Manager のキャビネットに作成されたフォルダへ送信し、格納することができます。

### ■ imageWARE Publishing Manager

デバイスの機能を最大限に活用して、簡単に印刷を行うためのアプリケーションです。ページレイアウトや印刷方法を設定して、さまざまなドキュメントを作成、印刷することができます。

### ■ imageWARE Access Management System

デバイスの使用制限を管理するためのシステムです。使用制限情報をユーザやユーザグループに割り当てることで、デバイスに搭載された機能の使用を制限することができます。

#### 📌 重要

- NetSpot Device Installer は、iR3045、iR3035、iR3025 には同梱されていません。(オプションの LIPS LX プリンタ&スキャナキット (F モデルは標準装備)、LIPSV 拡張キットに同梱されている CD-ROM に収録されています。) これらのオプションをお使いでない場合は、キヤノン株式会社およびキヤノンマーケティングジャパン株式会社のホームページ (<http://canon.jp>) からダウンロードしてください。
- imageWARE Enterprise Management Console は、同梱されていません。キヤノン株式会社およびキヤノンマーケティングジャパン株式会社のホームページ (<http://canon.jp>) からダウンロードしてください。または担当サービスにお問い合わせください。



メモ

- NetSpot Device Installer の動作環境と使用方法については、「LIPS LX ソフトウェアガイド」、「LIPS V ソフトウェアガイド」を参照してください。ソフトウェアをダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルに含まれている Readme ファイルまたはユーザーズガイド（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- imageWARE Enterprise Management Console の動作環境と使用方法については、ダウンロードしたファイルに含まれている「imageWARE Enterprise Management Console インストールガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

### 3

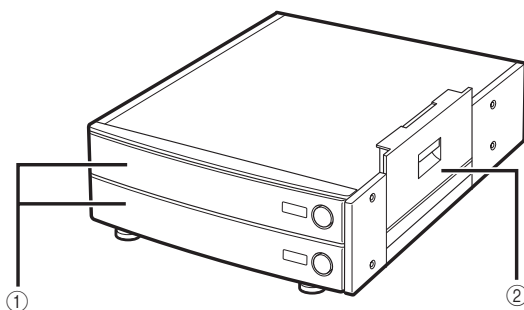
#### オプション機器について

## 2 段カセットペディスタル・Y3

2 段カセットペディスタル・Y3 を装着すると、本製品に装備されているカセットの用紙サイズに加え、2 種類の用紙サイズが追加できます。

カセットの各段には、650 枚 (64 g/m<sup>2</sup>) または 550 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) まで用紙がセットできます。

### 各部の名称とはたらき



#### ① カセット

各段に 650 枚 (64 g/m<sup>2</sup>) または 550 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) の用紙をセットできます。

#### ② 右下カバー

紙づまりを処理するとき、このカバーを開けます。

3

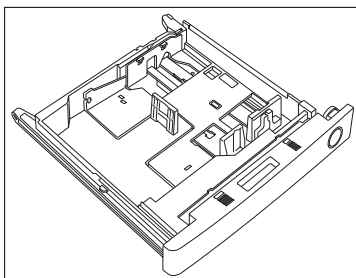
オプション機器について

## 別売付属品

### ■ FL カセット・Y1

セットする用紙にあわせて、サイズ切り替えができます。(→カセットの用紙サイズを変更する：P.7-6)

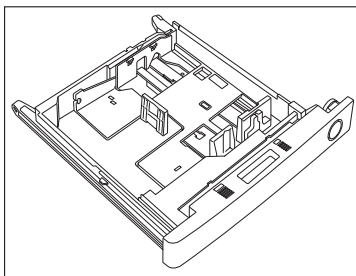
- セットできる位置：カセット 2、3、4
- セットできる用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R



### ■ FL カセット・Z1

セットする用紙にあわせて、サイズ切り替えができます。(→カセットの用紙サイズを変更する：P.7-6)

- セットできる位置：カセット 1
- セットできる用紙サイズ：B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R



# サイドペーパーデッキ・Q1

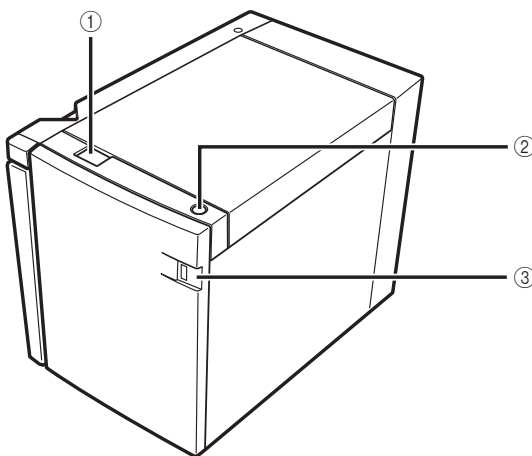
サイドペーパーデッキ・Q1 を装着すると、本体に標準装備されているカセットの用紙サイズに加え、1 種類の用紙サイズが追加できます。

サイドペーパーデッキ・Q1 には、3000 枚 (64 g/m<sup>2</sup>) または 2700 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) まで用紙がセットできます。

**重要** 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

**メモ** サイドペーパーデッキの用紙サイズは、A4 に固定されています。

## 各部の名称とはたらき



### ① リリースレバー

本体からサイドペーパーデッキを引き離すときに押します。

### ② オープンボタン

用紙を補給するとき、紙づまりが起きたときに押します。

### ③ 用紙残量表示

用紙の残量を確認できます。

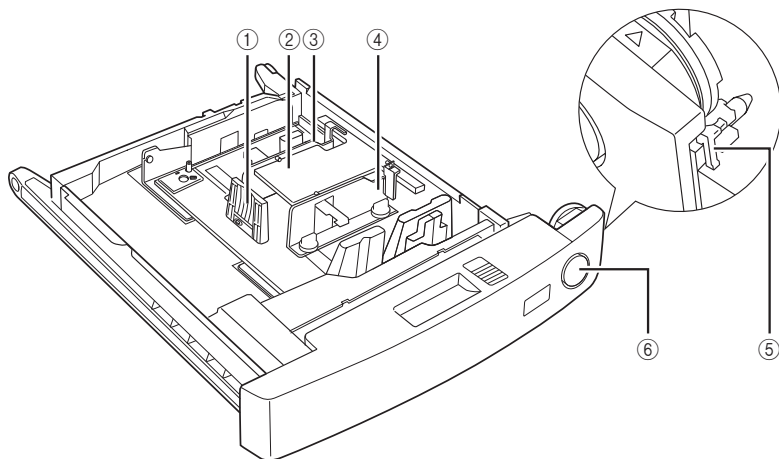
# 封筒カセット・C2

カセット 1 にオプションの封筒カセット・C2 を装着することにより、カセット 1 から封筒を給紙することができます。

セットできる用紙は以下の 6 種類です：

- 洋形 4 号 (105 × 235mm)
- COM10 No.10 (104.7 × 241.3mm)
- Monarch : Catalog Glove No.8 (98.4 × 190.5mm)
- DL (110 × 220mm)
- ISO-B5 (176 × 250mm)
- ISO-C5 (162 × 229mm)

## 各部の名称とはたらき



### ① 左側ガイド

セットする封筒の長さにあわせます。

### ② 封筒受け台

封筒受け台が封筒を上押しすることで、セットされている封筒が少なくなった場合でも正しく給紙されます。

### ③ 後側ガイド

封筒の幅にあわせて、ネジでこのガイドを固定します。

### ④ 前側ガイド

封筒の幅にあわせて、ネジでこのガイドを固定します。

### ⑤ 用紙サイズ系列スイッチ

封筒をセットした場合は、「ENV.1」または「ENV.2」にあわせます。

### ⑥ オープンボタン

カセットを引き出すときに押します。



# DADF-M1

原稿給紙トレイにセットした原稿を、自動的に原稿台に送ることができます。また自動的に反転送りして、原稿の両面を読み取ることもできます。

**⚠注意** 原稿給紙トレイのすき間に手を入れないでください。けがをする恐れがあります。また、すき間にクリップなどの物を落とさないでください。

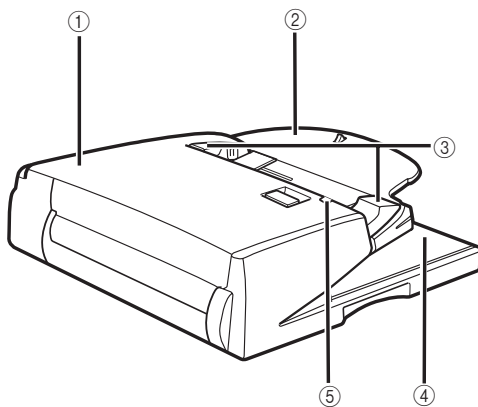
**📌重要**

- 原稿台ガラスに本や雑誌などの厚い原稿をセットしてコピーや読み込みを行うときは、フィーダを強く押さないでください。
- 排紙口がふさがれると、原稿を破損する恐れがありますので、原稿排紙部には物などを置かないでください。

**🔧メモ**

- Fモデルは標準でフィーダが装着されています。
- フィーダにオプションのスタンプユニット・A1を装着することができます。

## 各部の名称とはたらき



### ① フィーダカバー

紙づまりを処理するとき、このカバーを開けます。

### ② 原稿給紙トレイ

原稿をセットすると、1枚ずつ自動的に原稿台に送ることができます。原稿は、読み込む面を上向きにして、セットしてください。

### ③ スライドガイド

原稿の幅にあわせ、このガイドを調節します。

### ④ 原稿排紙部

原稿給紙トレイから読み込んだ原稿が排紙されます。

### ⑤ 原稿セット表示

原稿給紙トレイに原稿がセットされると点灯します。

# フィニッシャー・S1 / インナーパンチャー キット・Q1

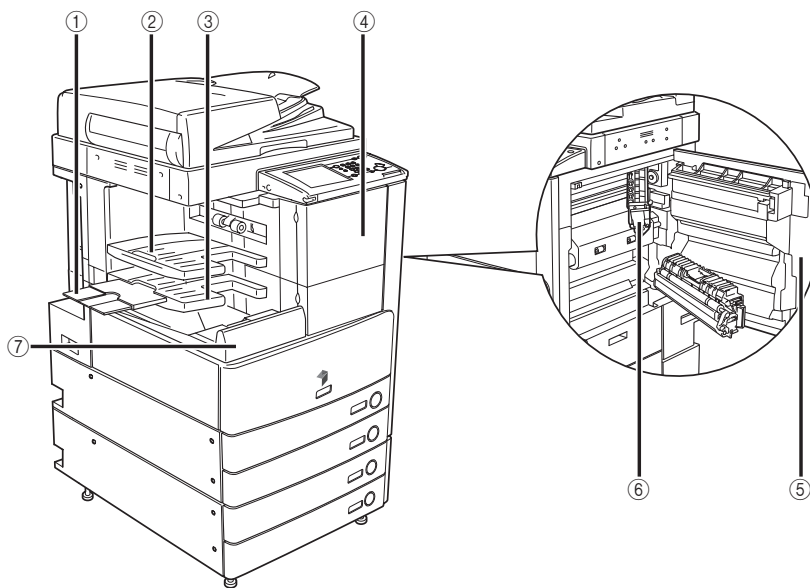
フィニッシャー・S1 は、ソート機能、グループ機能、シフト機能、ステイブルソート機能を備えています。(→フィニッシャの機能：P.3-21)

インナーパンチャーキット・Q1 を装着すると、パンチ穴をあけることができます。

フィニッシャー・S1 を装着している場合は、オプションのフィニッシャー用追加トレイ・B1 と本体右側にオプションのコピートレイ・J1 を装着して、排紙トレイを3箇所を増やすことができます。

**重要** フィニッシャー・S1 を装着している場合は、オプションのインナー2 ウェイトレイ・D1 を装着することはできません。

## 各部の名称とはたらき



### ① 補助トレイ

大きいサイズ用の紙 (A3、B4、A4R) にプリントするときには引き出します。

### ② フィニッシャー用追加トレイ・B1

フィニッシャー・S1 にフィニッシャー用追加トレイ・B1 を装着することで排紙先のトレイを1つ増やすことができます。

### ③ 排紙トレイ

プリント用紙がここに排紙されます。

### ④ 前カバー

ステイブルユニットの針カートリッジを交換するときや、針づまりが起きたときに開きます。(→針ケースの交換：P.7-27、フィニッシャー・S1 の針づまりの処理 (オプション)：P.8-64)

### ⑤ 本体右カバー

紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。(→紙づまりが起こったときの表示:P.8-4)

### ⑥ 排紙ユニット

紙づまりを処理するとき、このユニットを引き出します。(→フィニッシャー・S1の紙づまりの処理(オプション):P.8-33)

### ⑦ 引きハンドル

フィニッシャー・S1を引き出すときや元の位置に戻すときに、このハンドルを持ちます。

## フィニッシャの機能

フィニッシャー・S1は以下の機能を備えています。

- メモ** ソート、グループを設定している場合、トレイはプリント用紙束排出ごとに下降していき、下限位置に達したとき、給紙した用紙を排出したあとに、プリント動作は一時停止します。トレイにあるすべての用紙を取り除くと、残りのプリントが再開されます。

### ■ ソート機能

プリント用紙を自動的にページぞろえして排紙する機能です。

### ■ グループ機能

原稿の各ページのプリント用紙を、ページごとに仕分けて排紙する機能です。

### ■ シフト機能

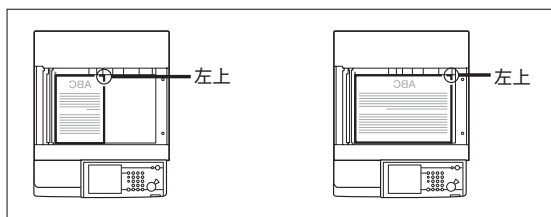
プリント用紙を手前にずらして排紙する機能です。プリント用紙は、排紙トレイの前後に交互にずらして排紙されます。

- メモ** ソート機能、グループ機能選択時に[シフト]を押してプリントした場合、出力された用紙束をずらして排紙します。

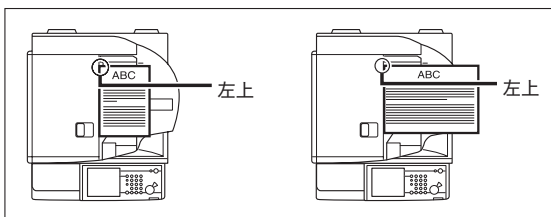
### ■ ステイブルソート機能

1部プリント後、自動的にステイブラで綴じて排紙する動作を連続して行う機能です。ステイブルされる箇所は次のようになります。

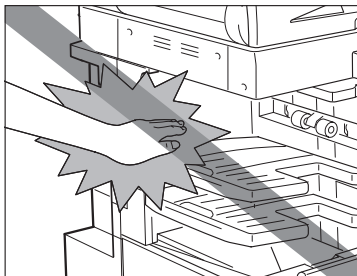
- 原稿台ガラスにセットした場合



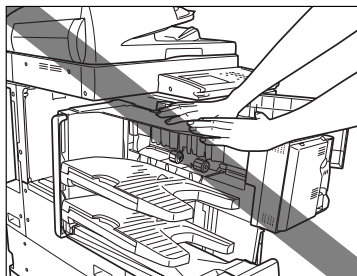
- フィーダにセットした場合



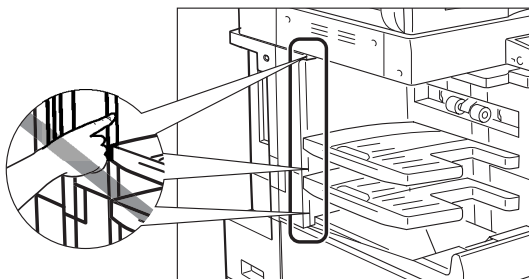
- ⚠ 注意** • フィニッシャを装着しているときは、トレイ内のステイブルされる場所やローラ部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。



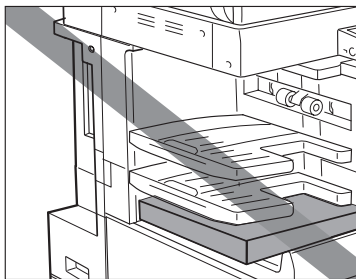
- フィニッシャを引き出している時は、上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。



- フィニッシャの動作中は、動作部に手や指を触れないでください。けがやフィニッシャの故障の原因になることがあります。



- フィニッシャのトレイはコピー、プリント中に位置が移動するため、トレイの下には物を置かないで下さい。トレイの故障や破損の原因になります。



**重要**

- ステイブルソートを設定している場合、トレイはプリント用紙束排出ごとに下降していき、下限位置に達したとき、または 30 部プリントして、給紙した用紙を排出したあとに、プリント動作は一時停止します。トレイにあるすべての用紙を取り除くと、残りのプリントが再開され、ステイブル動作を続行します。
- ステイブルできる用紙サイズは、A3、B4、A4、A4R、B5 です。
- 郵便はがき、封筒、OHP フィルム、第 2 原図、ラベル用紙にはステイブルできません。

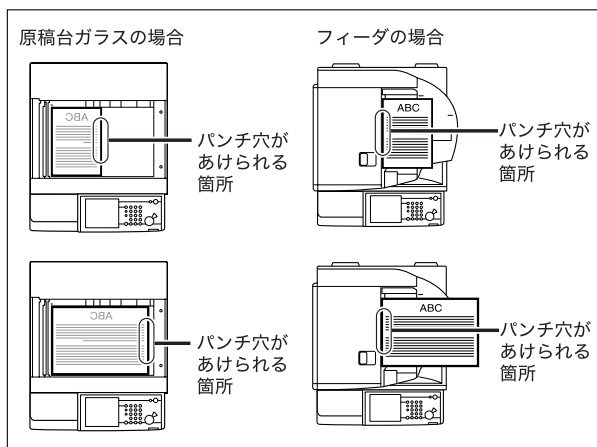
**メモ**

- ステイブルできる用紙の枚数は、A3、B4、A4R の場合は 30 枚、A4、B5 の場合は 50 枚までです（表紙含む）。
- ステイブルの途中でフィニッシャが停止し、「ステイブラの針を補給してください。」と表示された場合は、針が残り少なくなり針ケースの交換が必要となっています。針ケースを交換してください。（→針ケースの交換：P.7-27）

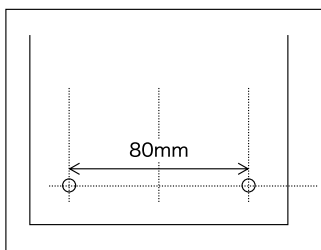
**パンチ機能**

プリントされた用紙にパンチ穴をあける機能です。

- パンチ穴をあけられる箇所は次のようになります。



- パンチ穴の間隔は次のようになります。



- 重要** ● A5R の用紙はパンチ穴をあけることはできません。
- 郵便はがき、封筒、パンチ済み紙、OHP フィルム、第 2 原図、ラベル用紙にはパンチ穴をあけることはできません。

**メモ**

本製品の排紙トレイに排紙できる用紙サイズは次のようになります。ただし、設定した機能によっては排紙できない場合があります。

○：使用可能      ×：使用不可

用紙サイズ		排紙トレイ
A3		○
A4		○
A4R		○
A5R		○
B4		○
B5		○
B5R		○
はがき		○
往復はがき		○
4面はがき		○
封筒	洋形4号	○
	COM10 No.10	○
	Monarch : Catalog Glove No.8	○
	DL	○
	ISO-B5	○
	ISO-C5	○
フリーサイズ	99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm	○

**3**

オプション機器について

# フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 / パンチャーユニット・L1

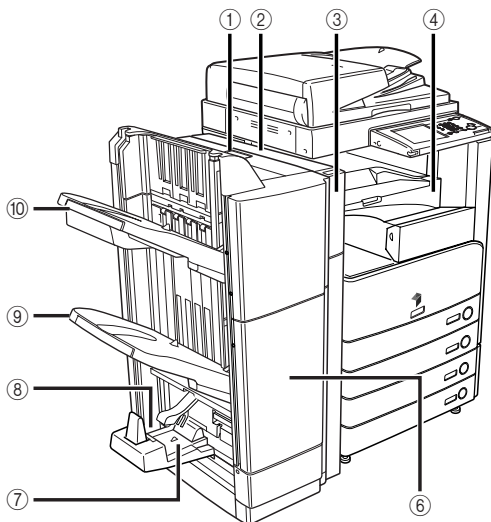
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 は、ソート機能、グループ機能、シフト機能、ステイブルソート機能を備えています。

また、サドルフィニッシャー・AE2 は中とじステイブル機能も備えています。

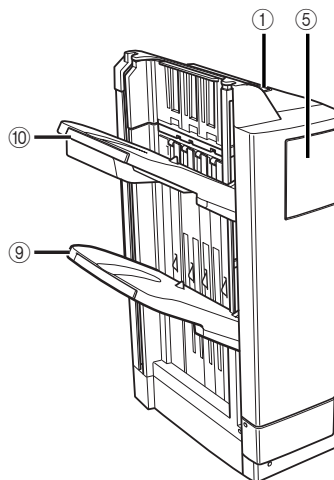
パンチャーユニット・L1 を装着すると、パンチ穴をあけることができます。

**重要** フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 を装着する場合は、バッファパスユニット・E2 も装着する必要があります。

## 各部の名称とはたらき



サドルフィニッシャー・AE2 + パンチャーユニット・L1 +  
バッファパスユニット・E2



フィニッシャー・AE1

### ① 上カバー

紙づまりが起きたときに開きます。(→フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-46)

### ② 上カバー (パンチャーユニット・L1)

紙づまりが起きたときに開きます。(→パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-55)

### ③ 前カバー (パンチャーユニット・L1)

パンチ屑の処理をするときや、パンチャーユニットで紙づまりが起きたときに開きます。(→パンチ屑の処理 : P.7-39、パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-55)

### ④ バッファパスユニット・E2

紙づまりが起きたときに開きます。(→フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のバッファパスユニットの紙づまりの処理 (オプション) : P.8-48)



## ⑤ 前カバー（フィニッシャー・AE1）

ステイブルユニットの針カートリッジを交換するときや、針づまりが起きたときに開きます。（→ステイブルユニット針ケースの交換：P.7-33、フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のステイブルユニットの針づまりの処理（オプション）：P.8-68）

⑥ 前カバー  
（サドルフィニッシャー・AE2）

ステイブルユニットの針カートリッジの交換や、紙づまりが起きたとき、ステイブルユニットや中とじユニットで針づまりが起きたときに開きます。（→ステイブルユニット針ケースの交換：P.7-33、中とじユニット針カートリッジの交換：P.7-36、サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部の紙づまりの処理（オプション）：P.8-50、サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの紙づまりの処理（オプション）：P.8-52、フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のステイブルユニットの針づまりの処理（オプション）：P.8-68、サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの針づまりの処理（オプション）：P.8-71）

⑦ 製本トレイ  
（サドルフィニッシャー・AE2）

ここに中とじ紙折製本された出力紙が排紙されます。

⑧ 製本トレイガイド  
（サドルフィニッシャー・AE2）

製本トレイに出力する用紙サイズにあわせてセットします。（→フィニッシャの機能：P.3-27）

## ⑨ 下部トレイ

ここに出力紙が排紙されます。排紙トレイの設定により出力種類の設定を行うことができます。（→機能ごとの排紙トレイを設定する：P.4-35）

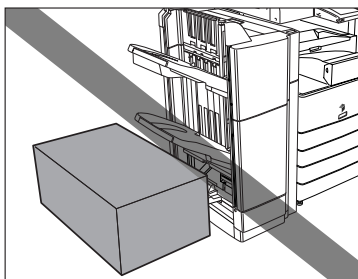
## ⑩ 上部トレイ

ここに出力紙が排紙されます。排紙トレイの設定により出力種類の設定を行うことができます。（→機能ごとの排紙トレイを設定する：P.4-35）

## フィニッシャの機能

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 は以下の機能を備えています。

- ⚠ 注意**
- フィニッシャのトレイの上には排紙された用紙以外は載せないでください。トレイが破損する恐れがあります。
  - フィニッシャの下に物を置かないで下さい。トレイが破損する恐れがあります。



- メモ**
- ソート、グループを設定している場合、トレイはプリント用紙排出ごとに下降していき、積載制限に達すると自動的に排紙可能なトレイに排紙先が移ります。排紙可能なトレイがすべて積載制限に達すると、プリント動作は一時停止します。この状態でプリント用紙を取り除くと、トレイが上昇し、残りのプリントが再開されます。

### ■ ソート機能

プリント用紙を自動的にページそろえて排紙する機能です。

## ■ グループ機能

原稿の各ページのプリント用紙を、ページごとに仕分けて排紙する機能です。

## ■ シフト機能

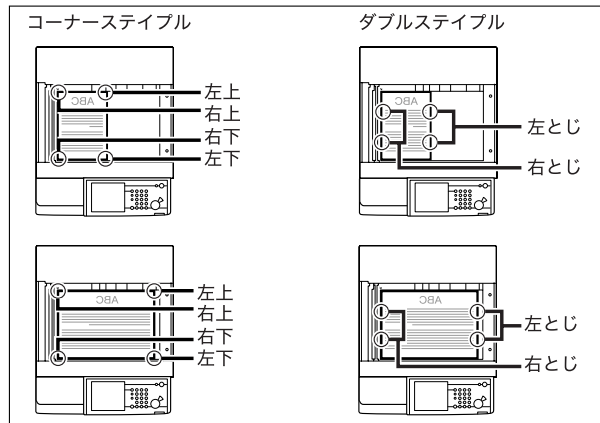
プリント用紙を手前にずらして排紙する機能です。プリント用紙は、排紙トレイの前後に交互にずらして排紙されます。

**メモ** ソート機能、グループ機能選択時に [シフト] を押してプリントした場合、出力された用紙束を約 30 mm ずらして排紙します。

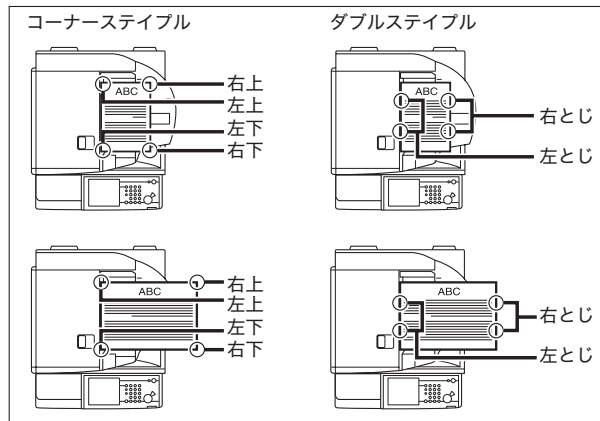
## ■ ステイブルソート機能

1 部プリント後、自動的にステイプラーで綴じて排紙する動作を連続して行う機能です。ステイブルされる箇所は次のようになります。

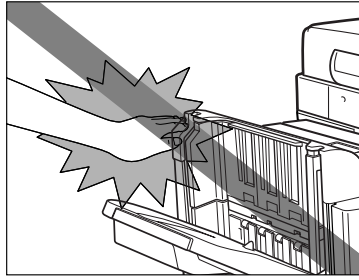
- 原稿台ガラスにセットした場合



- フィーダにセットした場合



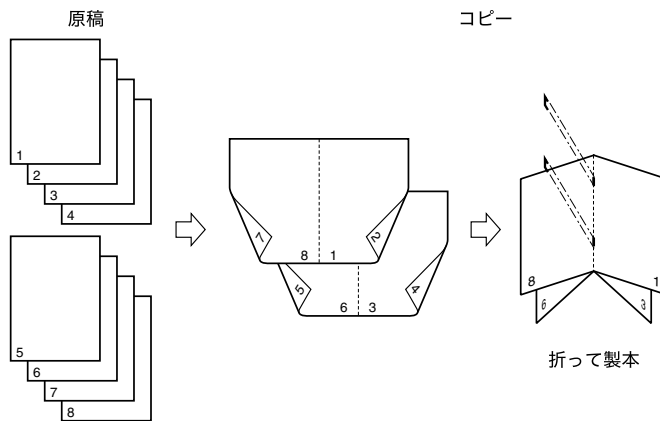
**注意** フィニッシャーを装着しているときは、トレイ内のステイブルされる場所やローラ部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。



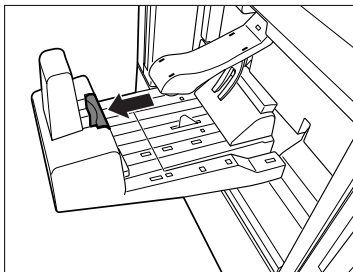
- 重要**
- トレイはプリント用紙束排出ごとに下降していき、ある位置に達したときにプリント動作とステイブル動作は一時停止します。トレイにあるすべての用紙を取り除くと残りのプリントが再開され、ステイブル動作を続行します。
  - ステイブルできる用紙サイズは、A3、B4、A4、A4R、B5 です。
  - 郵便はがき、封筒、OHP フィルム、第 2 原図、ラベル用紙にはステイブルできません。
  - ステイブル処理中の用紙束は途中で取り除かず完全にトレイに排紙されてから取り除いてください。
- メモ**
- ステイブルできる用紙の枚数は、A3、B4、A4R の場合は 30 枚、A4、B5 の場合は 50 枚までです（表紙含む）。
  - ステイブルの途中でフィニッシャが停止して、「ステイブラの針を補給してください。」と表示された場合は、針が残り少なくなり針カートリッジの交換が必要となっています。針カートリッジを交換してください。（→ステイブルユニット針ケースの交換：P.7-33）

### ■ 中とじステイブル機能

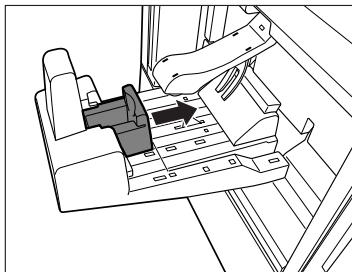
プリントされた用紙を、中とじステイブルする機能です。



- 重要**
- 中とじステイブルは、サドルフィニッシャー・AE2 のみの機能です。
  - 中とじステイブルできる用紙の枚数は 15 枚 (60 ページ、80 g/m<sup>2</sup>) までです (表紙含む)。ステイブルできる用紙枚数を変更したい場合は、担当サービスにご連絡ください。
  - 中とじステイブルできる用紙サイズは、A3、B4、A4R です。
  - 中とじステイブルを設定した場合、紙の種類や枚数によって折り具合が変わることがあります。
  - 出力する前に、出力する用紙サイズにあわせて製本トレイガイドを以下の位置にセットしてください。



A3/B4



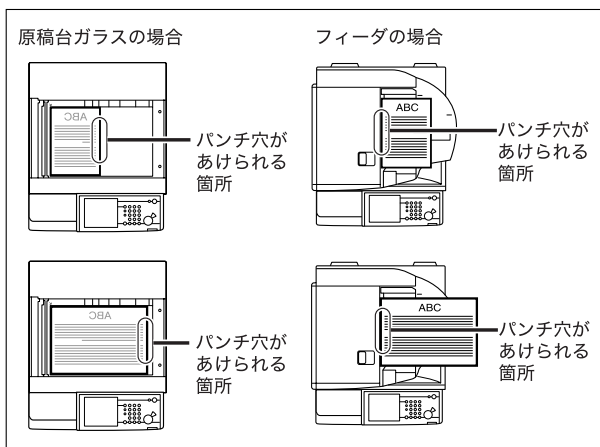
A4R

- 製本トレイガイドが用紙サイズにあわせて正しくセットされていないと、紙づまりの原因になることがあります。

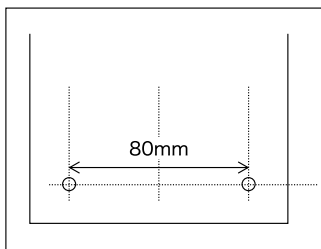
### ■ パンチ機能

プリントされた用紙にパンチ穴をあける機能です。

- パンチ穴をあけられる箇所は次のようになります。



- パンチ穴の間隔は次のようになります。



#### 👉 重要

- A5R の用紙はパンチ穴をあけることはできません。
- 郵便はがき、封筒、パンチ済み紙、OHP フィルム、第 2 原図、ラベル用紙にはパンチ穴をあけることはできません。

#### 📝 メモ

- 本製品の排紙トレイに排紙できる用紙サイズは次のようになります。ただし、設定した機能によっては排紙できない場合があります。

○：使用可能    ×：使用不可

用紙サイズ		排紙トレイ			
		トレイ A	トレイ B	トレイ C	製本トレイ
A3		○	○	○	○
A4		○	○	○	×
A4R		○	○	○	○
A5R		○	○	○	×
B4		○	○	○	○
B5		○	○	○	×
B5R		○	○	○	×
はがき		○	○	○	×
往復はがき		○	○	○	×
4面はがき		○	○	○	×
封筒	洋形 4 号	○	○	○	×
	COM10 No.10	○	○	○	×
	Monarch : Catalog Glove No.8	○	○	○	×
	DL	○	○	○	×
	ISO-B5	○	○	○	×
	ISO-C5	○	○	○	×
フリーサイズ	99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm	○	○	×	×

●製本トレイは、サドルフィニッシャー・AE2 装着時のみ使用できます。

# インナー 2 ウェイトレイ・D1

インナー 2 ウェイトレイ・D1 を装着した場合は、本体トレイとインナートレイの 2 箇所に排紙することができます。さらに、本体右側にオプションのコピートレイ・J1 を装着した場合は、3 箇所に排紙することができます。

インナー 2 ウェイトレイ・D1 を装着しているときには、以下の機能を使用することができます。

**重要** インナー 2 ウェイトレイ・D1 を装着している場合は、オプションのフィニッシャを装着することはできません。

## ■ ソート機能

プリント用紙を自動的にページぞろえして排紙する機能です。

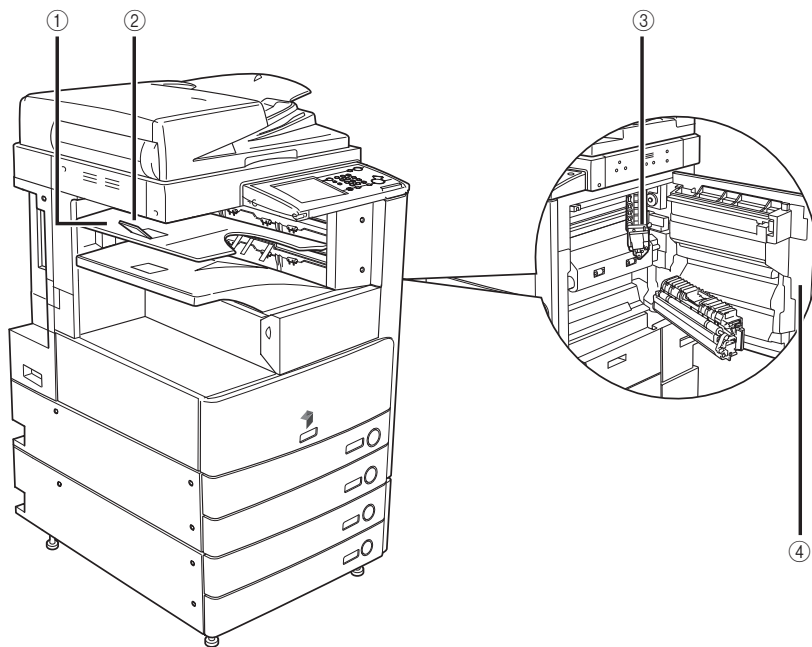
## ■ グループ機能

原稿の各ページのプリント用紙を、ページごとに仕分けて排紙する機能です。

## ■ 回転機能

同じサイズの用紙をセットした場合、ページぞろえを行い、一部ずつ交互に方向を変えて排紙する機能です。

## 各部の名称とはたらき



### ① インナートレイ

ここに出力紙が排紙されます。

### ② 排紙トレイガイド

プリントされた用紙が落ちないように排紙トレイガイドを起こします。

### ③ 排紙ユニット

紙づまりを処理するとき、このユニットを引き出します。(→インナー2 ウェイトレイ・D1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-58)

### ④ 本体右カバー

紙づまりを処理するとき、このカバーを開けます。(→紙づまりが起こったときの表示:P.8-4)

## 3

### オプション機器について



メモ

本製品の排紙トレイに排紙できる用紙サイズは次のようになります。ただし、設定した機能によっては排紙できない場合があります。

○：使用可能      ×：使用不可

用紙サイズ		排紙トレイ	
		トレイ A	トレイ B
A3		○	○
A4		○	○
A4R		○	○
A5R		○	○
B4		○	○
B5		○	○
B5R		○	○
はがき		○	○
往復はがき		○	○
4面はがき		○	○
封筒	洋形 4 号	○	○
	COM10 No.10	○	○
	Monarch : Catalog Glove No.8	○	○
	DL	○	○
	ISO-B5	○	○
	ISO-C5	○	○
フリーサイズ	99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm	○	○

3

オプション機器について



# コピートレイ・J1

コピートレイ・J1 を装着しているときには、以下の機能を使用することができます。

## ■ ソート機能

プリント用紙を自動的にページぞろえして排紙する機能です。

## ■ グループ機能

原稿の各ページのプリント用紙を、ページごとに仕分けて排紙する機能です。

## ■ 回転機能

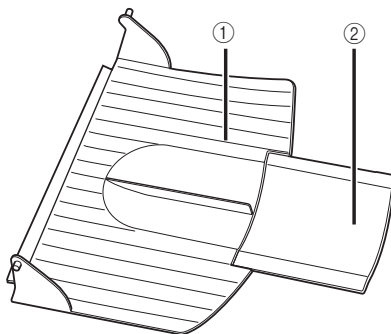
同じサイズの内紙をセットした場合、ページぞろえを行い、一部ずつ交互に方向を変えて排紙する機能です。



**メモ**

回転機能は、オプションの内紙2 ウェイトレイ・D1 とあわせて装着している場合のみ使用することができます。

## 各部の名称とはたらき



### ① 排紙トレイ

ここに出力紙が排紙されます。

### ② 補助トレイ

大きいサイズの用紙 (A3、B4、A4R) にプリントするときに引き出します。



メモ

本製品の排紙トレイに排紙できる用紙サイズは次のようになります。ただし、設定した機能によっては排紙できない場合があります。

○：使用可能      ×：使用不可

用紙サイズ		排紙トレイ
A3		○
A4		○
A4R		○
A5R		○
B4		○
B5		○
B5R		○
はがき		×
往復はがき		×
4面はがき		×
封筒	洋形4号	×
	COM10 No.10	×
	Monarch : Catalog Glove No.8	×
	DL	×
	ISO-B5	×
	ISO-C5	×
フリーサイズ	99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm	×

3

オプション機器について

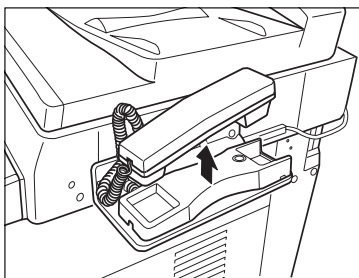
# ハンドセット・G2

本製品は電話を受信すると電話機に、ファクスを受信するとファクスに切り替わる FAX/TEL 切り替え機能を持っています。このため、本製品に電話機またはオプションのハンドセット・G2 を接続すると通常の電話と同じように電話をかけたり、電話を受けたりすることができます。FAX/TEL 機能を使うためには、初期設定/登録の受信モード選択を「FAX/TEL 切替」に設定してください。

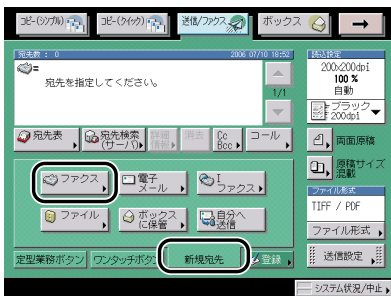
- 重要** ● システム管理設定（初期設定/登録）の送信機能の制限で、新規宛先の制限を「ON」に設定している場合は、ハンドセット・G2 を使用して電話をかけることができません。
  - 回線を増設した場合、この設定が機能するのは回線 1（標準回線）のみです。回線 1（標準回線）にてお使いください。
  - 通話するには、本製品に電話機またはオプションのハンドセット・G2 を接続する必要があります。
  - ハンドセット・G2 がハウリングする場合は、アラーム音量、通信音量の設定を下げてください。（→送信/ファクスガイド「第 9 章 送信/受信仕様の設定/登録」）
- メモ** ● ハンドセット・G2 を使用するには、オプションの G3FAX ボード（F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備）が必要です。

## 電話をかける

### 1 ハンドセットを上げます。

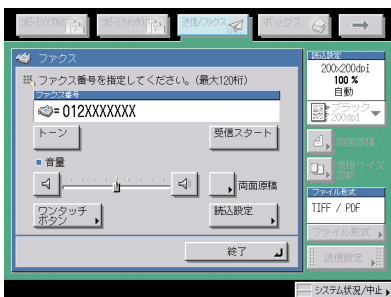


## 2 [新規宛先] を押したあと、[ファクス] を押します。



**メモ** 送信画面が表示されていて宛先が1件も指定されていないときは、[ファクス]を押さずに①～⑨、\*、#(テンキー)を押すと、手順3の画面が表示され、電話番号を入力することができます。

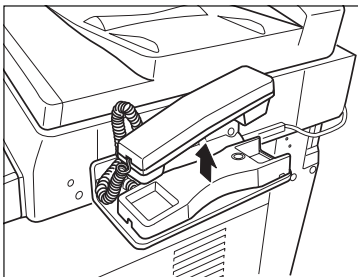
## 3 ①～⑨、\*、#(テンキー) で相手先の電話番号を入力します。



**メモ** ①(スタート)を押す必要はありません。

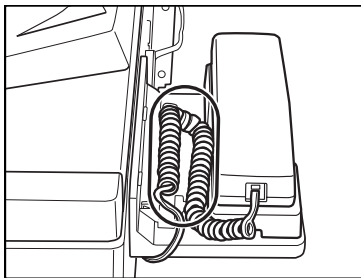
## 4 相手の声が聞こえたら、通話します。

## 5 通話が終わったら、ハンドセットを戻します。





ハンドセットを戻すときは、コードを正しい位置に戻してください。

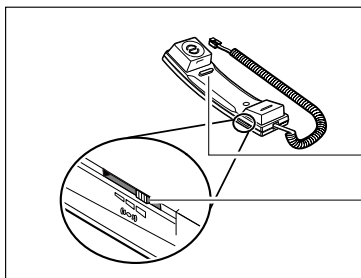


## 電話をうける

### 1 呼び出し音がなります。



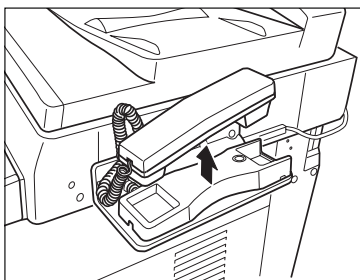
ハンドセットの形状が異なることがありますが、機能や性能は変わりありません。呼び出し音量は大、小、切の3段階で調整できます。シャープペンシルの先などで、呼び出し音量スイッチを切り替えてください。



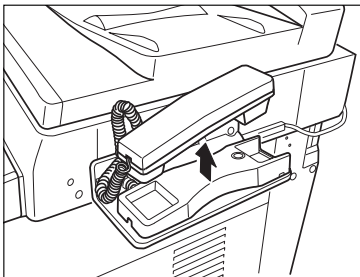
フックボタン

呼び出し音量スイッチ

### 2 ハンドセットを上げ通話します。

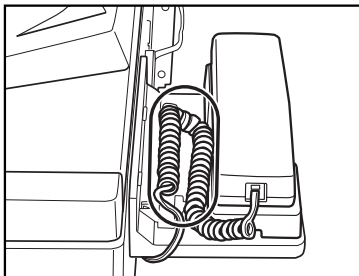


### 3 通話が終わったら、ハンドセットを戻します。



メモ

ハンドセットを戻すときは、コードを正しい位置に戻してください。

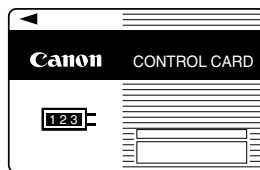


# カードリーダー - C1

オプションのカードリーダー - C1 が装着されている場合は、本体を使用する前にコントロールカードをセットしてください。コントロールカードを使用して部門別 ID 管理を行います。

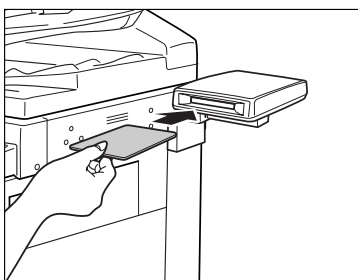
- 重要**
  - 部門管理 ID 以外のログインサービスを使っている場合は、ファンクション制限の設定はご使用になれません。
  - IC カード認証機能拡張キットを使用している場合は、カードリーダー - C1 を使用することはできません。
  - ログインサービスに SSO を設定している場合は、カードリーダー - C1 をご使用になれません。
  - ログインサービスに SDL を設定している場合は、カード ID 欄にお手持ちのカード番号を入力してください。詳しくは、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。
- メモ**
  - コントロールカードを差し込んでもタッチパネルディスプレイに基本画面が表示されないときは、次のような点をチェックしてください。
    - ・差し込む向きは正しいですか
    - ・十分に奥まで差し込まれていますか
    - ・使用不可能なコントロールカードが挿入されていませんか  
(破損したコントロールカード、使用禁止のコントロールカード)
  - 使用可能なコントロールカードを正しく挿入してください。
  - 電源を入れるまでの操作は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。
  - カードリーダー - C1 装着時は、以下のカードを使用することができます。磁気式カードは 1000 部門まで管理できます。

磁気式カード

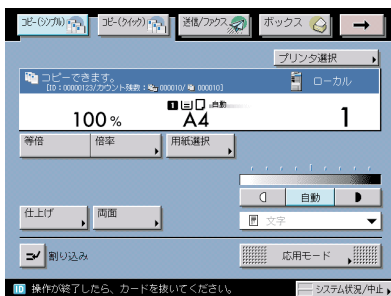


## 本体を使用する前の操作

- 1 コントロールカードを差し込み口に、正しい向きで差し込みます。

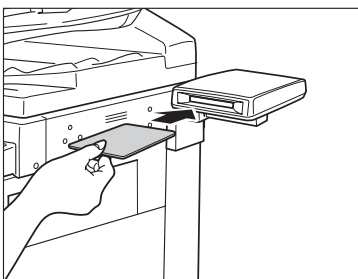


タッチパネルディスプレイに基本画面が表示されます。



## 本体の使用終了後の操作

- 1 本体の使用終了後、コントロールカードを抜き取ります。



コントロールカードをセットする画面に戻ります。

**重要** コントロールカードを抜き取ると、再度差し込むまで本体を使用することはできません。



# カードリーダー - C1 使用時の部門別 ID 管理について

カードリーダー - C1 使用時の暗証番号、制限面数の変更、およびカウント情報の確認について説明します。

- ☞ **メモ** 暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下ようになります。  
例：「321」と入力 → 「0000321」と設定されます。

## 初期設定／登録の操作の流れ

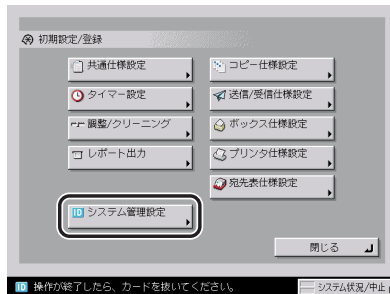
カードリーダー - C1 使用時の初期設定／登録画面の操作の流れについて説明します。

- ☞ **メモ** 初期設定／登録で設定した内容は、Ⓜ(リセット) を押しても変更されません。

3

オプション機器について

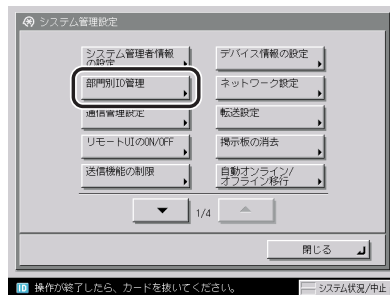
- 1 Ⓜ(初期設定／登録) → [システム管理設定] を押します。



システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が設定されている場合は、[システム管理設定] を押したあとにシステム管理部門 ID と暗証番号を ⓐ～ⓑ(テンキー) で入力して ⓓ(暗証) を押します。

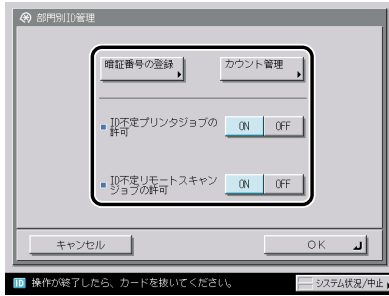
システム管理設定画面が表示されます。

- 2 [部門別 ID 管理] を押します。

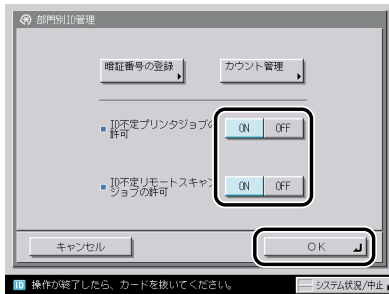


- ☞ **メモ** 目的の画面が表示されていない場合は、[▼] [▲] を押して画面を表示させます。

### 3 設定するモードを選択します。



### 4 項目を設定したあと、[OK] を押します。

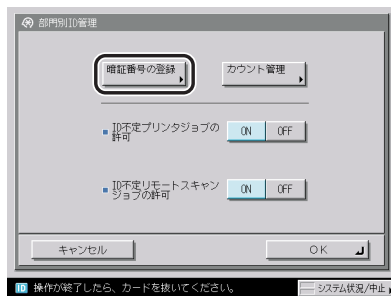


### 5 基本画面に戻るまで [閉じる] を押していきます。

## 暗証番号と制限面数を変更する

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

## 2 [暗証番号の登録] を押します。



## 3 [▼] [▲] を押して、暗証番号を変更する部門を表示させて選択したあと、[編集] を押します。



[▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

## 4 ①～⑨ (テンキー) で暗証番号を入力します。



- [暗証番号] を押します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。

- [確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字を暗証番号として登録することはできません。また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「000002」として設定されます。



メモ

- (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 部門 ID の変更はできません。
- システム管理設定 (初期設定 / 登録) の機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF を「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→ 機密情報の入力時に伏せ字で表示する (機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF) : P.6-47)

## 5 [制限の ON/OFF と制限面数の設定] を押します。

### 6 制限面数を設定します。

- 面数を制限する項目の [ON] を押します。

制限を解除する場合は、[OFF] を押します。



メモ

「トータルプリント」は「コピー」と「プリント」の制限面数の合計です。

- 面数を制限する項目の [□] を押して、①～⑨ (テンキー) で制限面数を入力します。



重要

- ファクス送信中に、「スキャン制限」が制限面数に達した場合、送信は中止されます。
- フィーダからの原稿読み込み中にスキャン制限が上限に達した場合、ジョブは中止されます (読み込まれた分のスキャンはカウントされません)。



メモ

- (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 制限面数の入力範囲は 0～999999 です。設定した数値を超えるコピー / スキャン / プリントはできません。
- 制限面数とは、プリント面に対しての数です。1 枚の用紙に両面プリントした場合は面数は 2 になります。

- [OK] → [OK] を押します。



## 7 特定の機能を制限する場合は、[ファンクション制限] を押します。

## 8 コピー以外で部門別 ID 管理の対象とするファンクションを選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

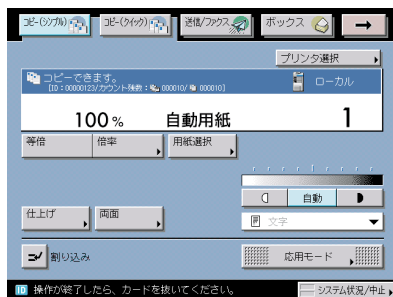
[ON]：すべての機能が部門別 ID 管理の対象になります。

[OFF]：プリント機能のみ部門別 ID 管理の対象になります。

[送信 / ファクス] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボード（F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備）を装着している場合に表示されます。Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[送信] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、[ファクス] と表示されます。


## 9 [閉じる] → [OK] を押します。


制限面数の設定を ON にすると、以下の画面にカウント残数（制限面数－カウント面数）が表示されます。

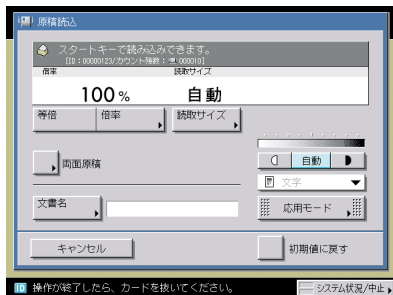


コピー基本画面

表示される項目


: トータルプリント残数

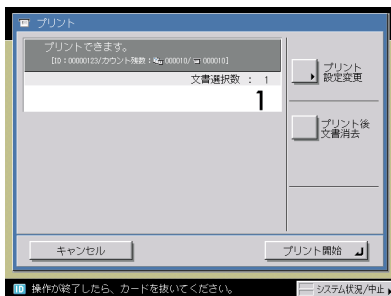
: コピー残数



読み込み画面


表示される項目


: スキャン残数



プリント設定画面

表示される項目


: トータルプリント残数

: プリント残数



送信画面

表示される項目

: スキャン残数



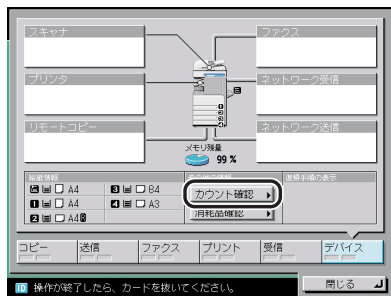
- ON に設定されている制限項目のみ表示されます。
- 送信画面は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) 装着時に表示されます。

## 現在使用しているコントロールカードのカウンタ情報を確認する

現在使用しているコントロールカード (部門 ID) のカウンタ面数と制限面数を確認することができます。

### 1 [システム状況 / 中止] を押します。

## 2 [カウント確認] を押します。



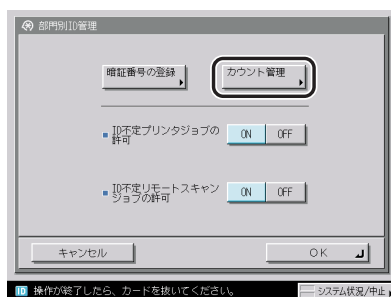
## 3 カウントを確認したあと、[閉じる] → [閉じる] を押します。

### カウント情報の確認とプリントをする

部門ごとに使用したプリント面数のカウントを表示したり、リストをプリントすることができます。

## 1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

## 2 [カウント管理] を押します。




## 3 カウントの確認、またはプリントをします。

部門 ID が空欄 (表示なし) のプリント面数は部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリント (ID 不定ジョブ) です。

部門 ID が空欄 (表示なし) のスキャン面数は部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャン (ID 不定ジョブ) です。

### ● 確認だけの場合


[▼] [▲] を押して任意の部門を表示させたあと、内容を確認します。

-  **メモ** [▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

### ● 表示されているカウントをプリントする場合

[カウントプリント] を押します。


[はい] を押します。

-  **メモ**
- プリントを中止する場合は、[中止] を押します。
  - プリント中の画面を閉じる場合は、[閉じる] を押します。
  - 共通仕様設定（初期設定／登録）のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で ON に設定されている給紙箇所、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。（→カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-29）

## 4 [閉じる] → [OK] を押します。

### カウント情報を消去する

登録されている部門のカウント数を消去します。

**1**  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

**2** [カウント管理] を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「カウント情報の確認とプリントをする」(P.3-49) の手順 2 を参照してください。

**3** [オールクリア] を押します。

部門ごとに消去したい場合は、[▼] [▲] を押して、消去したい部門を表示させて選択したあと、[クリア] を押します。


**4** [はい] を押します。


**5** [閉じる] → [OK] を押します。



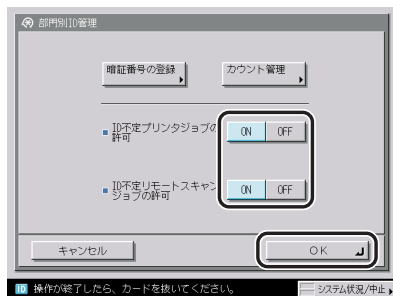
## ID 不定のプリントジョブ/スキャンジョブを受け付けるかどうか設定する

部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントや、パソコンからのリモートスキャンをさせるか、させないかの設定をします。

 **メモ** [ID 不定プリントジョブの許可]、[ID 不定リモートスキャンジョブの許可] は、プリンタ機能、リモートスキャン機能を装備している場合のみ設定が有効になります。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



< ID 不定プリントジョブの許可 >

[ON] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントを行います。

[OFF] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントを行いません。

< ID 不定リモートスキャンジョブの許可 >

[ON] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行います。

[OFF] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行いません。

### 3

### オプション機器について

# 使いかたにあわせた仕様の 設定

# 4

## CHAPTER

工場出荷時の設定を、使いかたにあわせて変更する方法について説明しています。

初期設定／登録画面の操作の流れ.....	4-3
初期設定／登録一覧表.....	4-5
各機能に共通の仕様を設定する（共通仕様設定）.....	4-25
初期画面を設定する.....	4-25
オートクリア後の表示画面を設定する.....	4-27
ブザーを設定する.....	4-28
用紙残量を表示するかどうかを設定する.....	4-28
インチ入力をするかどうかを設定する.....	4-29
カセットオート選択の ON/OFF を設定する.....	4-29
封筒カセットを登録する.....	4-30
給紙箇所の用紙種類を登録する.....	4-31
用紙種類選択の簡易／詳細設定画面のどちらを優先するかを設定する（用紙選択画面の優先表示）.....	4-32
スリープ時の消費電力を設定する.....	4-33
機能ごとの排紙トレイを設定する.....	4-35
プリント優先順位を設定する.....	4-37
イメージ合成のフォームを登録する.....	4-38
ページ印字／スタンプの文字列を登録する.....	4-41
手差し封筒種指定を設定する.....	4-42
手差し用紙の標準モードを登録する.....	4-42
給紙方法の切り替えをする.....	4-44
ローカルプリントの標準モードを設定する.....	4-45
表示言語の切り替えをする.....	4-45
画面色反転を設定する.....	4-46
ジョブ間シフトを設定する.....	4-46
ジョブ間仕切紙を設定する.....	4-47
部数間仕切紙を設定する.....	4-47
プリント待ち時間表示を設定する.....	4-48
排紙トレイの用紙混載を設定する.....	4-48
原稿読み取り部の清掃表示を設定する.....	4-49
機能制限モードを設定する.....	4-49

## 4. 使いかたにあわせた仕様の設定

---

共通仕様設定を初期化する.....	4-50
<b>各種タイマーを設定する（タイマー設定）.....</b>	<b>4-51</b>
時刻の微調整をする.....	4-51
オートスリープタイムの設定をする.....	4-51
オートクリアタイムの設定をする.....	4-52
ウイークリータイマーの設定をする.....	4-52
<b>調整をする（調整／クリーニング）.....</b>	<b>4-53</b>
ズーム微調整をする.....	4-53
中とじユニットの針の頭出しをする.....	4-53
中とじ位置を変更する.....	4-54
濃度を補正する.....	4-54
文字／背景のコントラスト調整.....	4-55
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）.....	4-57

# 初期設定／登録画面の操作の流れ

初期設定／登録では本製品のさまざまな設定を使用する条件や環境にあわせて変更することができます。

- **重要** ● SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが一般ユーザの場合はシステム管理設定モードを操作することができません。
- SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが管理者の場合はシステム管理設定モードを操作することができます（システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されたときは、該当項目を入力してください）。

● **メモ** ● 初期設定／登録で設定した内容は、Ⓜ（リセット）を押しても変更されません。

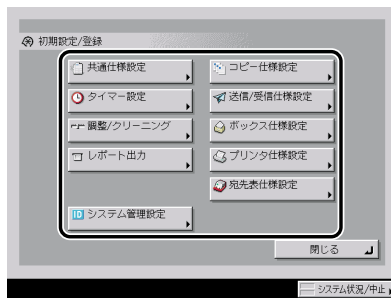
4

使いかたにあわせた仕様の設定

## 1 Ⓜ（初期設定／登録）を押します。

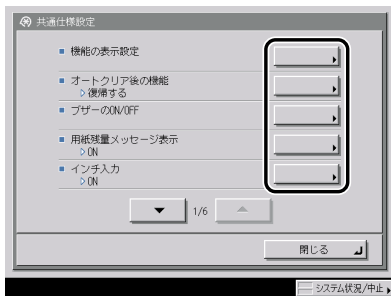
初期設定／登録画面が表示されます。

## 2 初期設定／登録画面から設定の種類を選択します。



システム管理設定を選択するときにシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が設定されている場合は、[システム管理設定] を押したあとにシステム管理部門 ID と暗証番号を ⓐ～ⓑ（テンキー）で入力して ⓒ（認証）を押します。

### 3 設定するモードを選択します。



各キーを押して設定できる内容は、「初期設定／登録一覧表」(→ P.4-5) を参照してください。

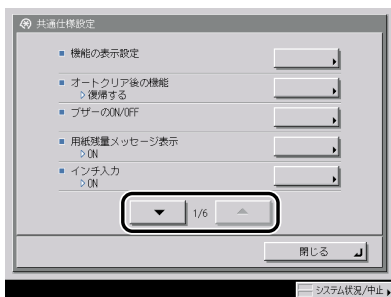
## 4

使いかたにあわせた仕様の設定

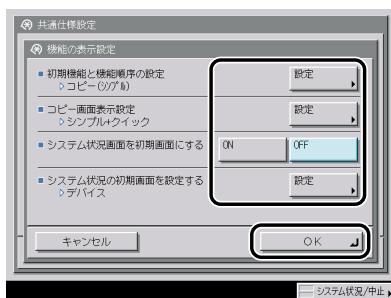


メモ

共通仕様設定、調整／クリーニング、システム管理設定、コピー仕様設定、送信／受信仕様設定は、いくつかの項目にわかれています。[▼] [▲] を押して、目的の項目を選択してください。



### 4 項目を設定したあと、[OK] を押します。



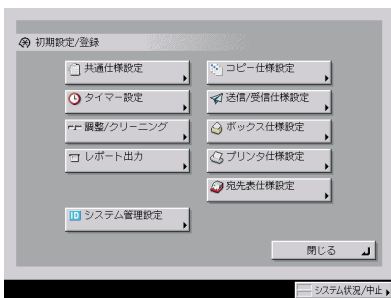
指定したモードが設定されます。

### 5 基本画面に戻るまで【閉じる】を押していきます。

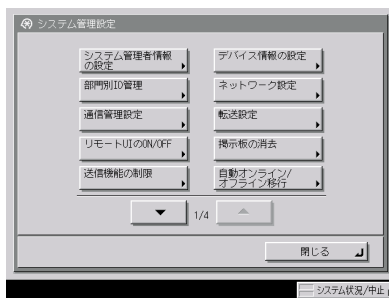
# 初期設定／登録一覧表

仕様設定で登録／設定できる項目を以下に示します。（\* マークは工場出荷時の設定です。）  
本書に記載されていない設定方法については、下記の各ガイドを参照してください。

- コピー仕様設定： コピー／ボックスガイド
- レポート出力、送信／受信仕様設定、宛先表仕様設定： 送信／ファクスガイド
- ボックス仕様設定： コピー／ボックスガイド
- プリンタ仕様設定、レポート出力： プリンタガイド
- ネットワーク設定、レポート出力： ネットワークガイド



初期設定／登録画面



システム管理設定画面

## ■ 共通仕様設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照 ページ
機能の表示設定		×	P.4-25
初期機能と機能順序の設定	コピー*、送信／ファクス、ボックス、プリント、MEAP		
コピー画面表示設定	シンプルのみ、シンプル＋クイック*、クイックのみ シンプル画面の優先表示：ON*、OFF		
システム状況画面を初期画面にする	ON、OFF*		
システム状況の初期画面を設定する	コピー、送信、ファクス、プリント、受信、デバイス*		
オートクリア後の機能	復帰する*、復帰しない	○	P.4-27
ブザーの ON/OFF	入力音：ON*、OFF 入力無効音：ON、OFF* 補給予告音：ON、OFF* 警告音：ON*、OFF ジョブ終了音：ON*、OFF	○	P.4-28
用紙残量メッセージ表示	ON*、OFF	×	P.4-28
インチ入力	ON、OFF*	○	P.4-29
カセットオート選択の ON/OFF	コピー、プリンタ、ボックス、受信／ファクス、その他 (手差し：ON、OFF*、その他の給紙箇所：ON*、OFF) コピー：用紙の種類を考慮する：する、しない*	×	P.4-29
封筒カセットの登録	ENV.1： 洋形4号*、COM10 No.10、Monarch：Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5 ENV.2： 洋形4号、COM10 No.10*、Monarch：Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5	○	P.4-30
用紙種類の登録	普通紙*、再生紙、色紙、パンチ済み紙	×	P.4-31
用紙選択画面の優先表示	簡易*、詳細	×	P.4-32
スリープ時の消費電力	少ない*、多い	○	P.4-33

## 4

使いかたにあわせた仕様の設定



初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照 ページ
排紙トレイの設定 <sup>*1</sup>	<p>コピートレイ・J1 装着時</p> <p>トレイ A: コピー<sup>*</sup>、ボックス<sup>*</sup>、プリンタ、受信、ファクス、その他 トレイ B: コピー、ボックス、プリンタ<sup>*</sup>、受信、ファクス<sup>*</sup>、その他<sup>*</sup></p> <p>インナー 2 ウェイトレイ・D1 装着時</p> <p>トレイ A: コピー<sup>*</sup>、ボックス<sup>*</sup>、プリンタ、受信、ファクス、その他 トレイ B: コピー、ボックス、プリンタ<sup>*</sup>、受信、ファクス<sup>*</sup>、その他<sup>*</sup></p> <p>インナー 2 ウェイトレイ・D1+ コピートレイ・J1 装着時</p> <p>トレイ A: コピー<sup>*</sup>、ボックス<sup>*</sup>、プリンタ、受信、ファクス、その他 トレイ B: コピー、ボックス、プリンタ、受信、ファクス、その他 トレイ C: コピー、ボックス、プリンタ、受信、ファクス<sup>*</sup>、その他<sup>*</sup></p> <p>フィニッシャー・S1+ フィニッシャー用追加トレイ・B1 装着時</p> <p>トレイ A: コピー<sup>*</sup>、ボックス<sup>*</sup>、プリンタ<sup>*</sup>、受信、ファクス、その他 トレイ B: コピー、ボックス、プリンタ<sup>*</sup>、受信、ファクス<sup>*</sup>、その他<sup>*</sup></p> <p>フィニッシャー・S1 + コピートレイ・J1 装着時</p> <p>トレイ A: コピー<sup>*</sup>、ボックス<sup>*</sup>、プリンタ<sup>*</sup>、受信、ファクス、その他 トレイ B: コピー、ボックス、プリンタ、受信、ファクス<sup>*</sup>、その他<sup>*</sup></p> <p>フィニッシャー・S1+ フィニッシャー用追加トレイ・B1+ コピートレイ・J1 装着時</p> <p>トレイ A: コピー<sup>*</sup>、ボックス<sup>*</sup>、プリンタ、受信、ファクス、その他 トレイ B: コピー、ボックス、プリンタ<sup>*</sup>、受信、ファクス、その他 トレイ C: コピー、ボックス、プリンタ、受信、ファクス<sup>*</sup>、その他<sup>*</sup></p>	○ <sup>*3</sup>	P.4-35

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照 ページ
排紙トレイの設定*1	フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2+ バップファバスユニット・E2 装着時  トレイ A: コピー*、ボックス*、プリンタ、受信、ファクス、その他 トレイ B: コピー、ボックス、プリンタ*、受信、ファクス、その他 トレイ C: コピー、ボックス、プリンタ、受信、ファクス*、その他* トレイ基本位置: トレイ A*、トレイ B、指定しない	○*3	P.4-35
プリント優先順位	コピー: 1*、2、3 プリンタ: 1、2*、3 ボックス、受信、ファクス、その他: 1、2、3*	○	P.4-37
イメージ合成の フォーム登録	登録 (全面合成/すかし合成)、消去、チェックコピー、 詳細情報	×	P.4-38
ページ印字/スタン プの文字列登録	登録、編集、消去	○	P.4-41
手差し封筒種指定	ON、OFF*	○	P.4-42
手差し用紙の標準 モード登録	ON、OFF*	×	P.4-42
給紙方法切替	スピード優先*、プリント面優先	×	P.4-44

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照 ページ
ローカルプリントの標準モード		×	P.4-45
用紙選択	自動用紙選択*、給紙位置選択		
プリント部数	1部*～9999部		
仕上げ	<p>フィニッシャ非装着時、インナー2 ウェイトレイ・D1 装着時</p> <p>ノンソート、ソート*、回転ソート、グループ、回転グループ</p> <p>フィニッシャー・S1 装着時</p> <p>ノンソート、ソート、シフトソート*、グループ、シフトグループ、ステイプル（コーナー）</p> <p>フィニッシャー・S1+ インナーパンチャーキット・Q1 装着時</p> <p>ノンソート、ソート、シフトソート*、グループ、シフトグループ、ステイプル（コーナー）、パンチ穴</p> <p>フィニッシャー・AE1 /サドルフィニッシャー・AE2+ パッファパスユニット・E2 装着時</p> <p>ノンソート、ソート、シフトソート*、グループ、シフトグループ、ステイプル（コーナー（左上、左下、右上、右下）、ダブル（左、右））</p> <p>フィニッシャー・AE1 /サドルフィニッシャー・AE2+ パッファパスユニット・E2+ パンチャーユニット・L1 装着時</p> <p>ノンソート、ソート、シフトソート*、グループ、シフトグループ、ステイプル（コーナー（左上、左下、右上、右下）、ダブル（左、右））、パンチ穴</p>		
両面プリント	ON、OFF*		
プリント後文書消去	ON、OFF*		
文書結合	ON、OFF*		
表示言語の切替	ON、OFF*	×	P.4-45
画面色反転	ON、OFF*	×	P.4-46
ジョブ間シフト* <sup>1</sup>	ON*、OFF	○	P.4-46
ジョブ間仕切紙	ON、OFF*	○	P.4-47

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照 ページ
部数間仕切紙	ON、OFF*	×	P.4-47
プリント待ち時間表示	コピー：ON、OFF* ボックス：ON、OFF* その他：ON、OFF*	×	P.4-48
排紙トレイの用紙混載 <sup>*1</sup>	ON*、OFF	○	P.4-48
原稿読み取り部の清掃表示 <sup>*2</sup>	ON*、OFF	×	P.4-49
機能制限モード <sup>*1</sup>	ON、OFF*	○	P.4-49
シャットダウンモード	実行キー	×	P.1-20
共通仕様設定の初期化	初期化	×	P.4-50

\* マークは工場出荷時の設定です。

\*1：オプション装着時に表示される項目です。

\*2：iR3045、iR3035、iR3025ではオプション装着時に表示される項目です。（Fモデルは標準装備）

\*3：機器情報の配信する機器と受信する機器で、排紙トレイの数が同じ場合に配信します。

## ■ タイマー設定

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
時刻微調整	00:00 ~ 23:59 (1分間隔)	×	P.4-51
オートスリープタイム	10秒、1*、2、10、15、20、30、40、 50分、1時間、90分、2、3、4時間	○	P.4-51
オートクリアタイム	0分(なし)、1~9分(1分間隔)・2分*	○	P.4-52
ウィークリータイマーの設定	日~土曜まで 00:00 ~ 23:59(1分間隔)	○	P.4-52

\* マークは工場出荷時の設定です。

## ■ 調整/クリーニング

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
ズーム微調整	X: - 1.0 % ~ + 1.0 % (0.1 % 間隔) ・ 0 %* Y: - 1.0 % ~ + 1.0 % (0.1 % 間隔) ・ 0 %*	×	P.4-53
中とじ針頭出し* <sup>1</sup>	開始キー	×	P.4-53
中とじ位置変更* <sup>1</sup>	位置: - 2.0 mm ~ + 2.0 mm (0.25 mm 間隔) ・ 0 mm*	○	P.4-54
濃度補正	コピー/ボックス、送信 各: 9 段階 ・ 5 段階*	×	P.4-54
文字/背景のコントラスト調整* <sup>1</sup>	相対コントラスト値: - 7 ~ +7 ・ 1* (iR3045/ iR3035 シリーズ) ・ - 1* (iR3025 シリーズ)、 サンプルプリント、プリント設定 基準値の設定: 0 ~ 64 (4 刻み) ・ 16* (iR3045/ iR3035 シリーズ) ・ 28* (iR3025 シリーズ) 潜像部の濃度: 0 ~ 36 ・ 7* (iR3045/iR3035 シリーズ) ・ 11* (iR3025 シリーズ)	×	P.4-55
フィーダのクリーニング* <sup>2</sup>	開始キー	×	P.4-57

\* マークは工場出荷時の設定です。

\*<sup>1</sup>: オプション装着時に表示される項目です。

\*<sup>2</sup>: iR3045、iR3035、iR3025 ではオプション装着時に表示される項目です。(F モデルは標準装備)

## ■ レポート出力

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
<b>仕様設定：送信<sup>*2</sup></b>			送信／ファクス ガイド
送信結果レポート	エラー時のみ*、ON、OFF 送信原稿の表示：ON*、OFF	○	
通信管理レポート		○	
100通信で自動プリント	ON*、OFF		
指定時刻プリント	ON、OFF* 時刻指定：00:00～23:59		
送信／受信分離	する、しない*		
<b>仕様設定：ファクス<sup>*2</sup></b>			送信／ファクス ガイド
ファクス送信結果レポート	エラー時のみ*、ON、OFF 送信原稿の表示：ON*、OFF	○	
ファクス通信管理レポート		○	
40通信で自動プリント	ON*、OFF		
指定時刻プリント	ON、OFF* 時刻指定：00:00～23:59		
送信／受信分離	する、しない*		
ファクス受信結果レポート	エラー時のみ、ON、OFF*	○	
ファクスボックス受信レ ポート	ON*、OFF	○	
<b>リストプリント：送信<sup>*2</sup></b>			
宛先表リスト	宛先表1～10、ワンタッチボタ ン リストプリント：プリント	×	
ユーザデータリスト	プリント	×	
<b>リストプリント：ファクス<sup>*2</sup></b>			
ユーザデータリスト	プリント	×	

\* マークは工場出荷時の設定です。

\*2 : iR3045、iR3035、iR3025 ではオプション装着時に表示される項目です。(Fモデルは標準装備)

## ■ システム管理設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
<b>システム管理者情報の設定</b>			P.6-3
システム管理部門 ID	最大 7 桁	○	
システム管理暗証番号	最大 7 桁		
システム管理者名	半角 32 文字、全角 16 文字		
メールアドレス	半角 64 文字		
連絡先	半角 32 文字、全角 16 文字		
コメント	半角 32 文字、全角 16 文字		
<b>部門別 ID 管理</b>			
部門別 ID 管理	ON、OFF*	○	
暗証番号の登録	登録、編集、消去、ファンクション制限	○	
カウント管理	クリア、カウントプリント、オールクリア	×	
ID 不定プリンタジョブの許可	ON*、OFF	○	
ID 不定リモートスキャンジョブの許可	ON*、OFF	○	

# 4

使いかたにあわせた仕様の設定

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
<b>通信管理設定</b>			送信/ファクス ガイド
電子メール/ I ファクス設定 <sup>*1</sup>		○	
送信データサイズ上限値	0= なし、1 ~ 99MB・3MB*		
Full モードの送信タイムアウト	1 ~ 99 時間・24 時間*		
分割受信タイムアウト	0 ~ 99 時間・24 時間*		
省略時の件名	半角 40 文字、全角 20 文字・Attached Image*		
MDN/DSN 受信時の印刷	ON、OFF*		
受信エラーは必ず通知	ON*、OFF		
サーバの経路を使用	ON、OFF*		
サーバを経由しない MDN を許可	ON*、OFF		
ファクス設定 <sup>*2</sup>			
送信スタートスピード	33600bps*、14400bps、9600bps、7200bps、4800bps、2400bps	○	
受信スタートスピード	33600bps*、14400bps、9600bps、7200bps、4800bps、2400bps	○	
受信パスワード	最大 20 桁	×	
FIS スイッチ	ON、OFF*	○	
システムボックス設定			
システムボックス暗証番号	最大 7 桁	×	
ファクスメモリ受信を使用 <sup>*2</sup>	ON、OFF*	○	
I ファクスメモリ受信を使用 <sup>*1</sup>	ON、OFF*	○	
メモリ受信開始時刻	毎日指定、曜日指定、指定しない*	○	
メモリ受信終了時刻	毎日指定、曜日指定、指定しない*	○	
<b>リモート UI の ON/OFF</b>	ON*、OFF SSL を使用 : ON、OFF*	○ <sup>*4</sup>	P.6-15



初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
<b>送信機能の制限</b>			送信/ファクス ガイド
宛先表の暗証番号 <sup>*2</sup>	最大 7 桁	○	
宛先表のアクセス番号管理 <sup>*2</sup>	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
新規宛先の制限 <sup>*2</sup>	ファクス：ON、OFF <sup>*</sup> 電子メール：ON、OFF <sup>*</sup> Iファクス：ON、OFF <sup>*</sup> ファイル：ON、OFF <sup>*</sup>	○	
ファクスドライバからの送信を許可 <sup>*2</sup>	ON <sup>*</sup> 、OFF	○	
ファクス番号入力時の確認入力 <sup>*2</sup>	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
電子メール/Iファクスの送信ドメイン制限 <sup>*1</sup>	送信先ドメインを制限：ON、OFF <sup>*</sup> 送信許可ドメイン：登録、詳細/編集、消去	○	
有効期限切れ証明書使用時の PDF 送信を許可 <sup>*1</sup>	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
PDF 送信時に機器署名を必ずつける <sup>*1</sup>	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
<b>デバイス情報の設定</b>			P.6-16
デバイス名	半角 32 文字、全角 16 文字	×	
設置場所	半角 32 文字、全角 16 文字	×	
<b>転送設定<sup>*2</sup></b>	受信手段、条件の ON/OFF、登録、条件なし転送の登録、電子メールの重要度 <sup>*1</sup> 、詳細/編集、消去、リストプリント	○ <sup>*5</sup>	送信/ファクス ガイド
<b>掲示板の消去</b>	消去	×	P.6-17
<b>自動オンライン/オフライン移行<sup>*2</sup></b>			P.6-18
自動オンライン移行	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
自動オフライン移行	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
<b>日付/時刻設定</b>	設定 (12 桁の数字) タイムゾーン: GMT - 12:00 ~ GMT + 12:00・GMT + 09:00 <sup>*</sup> サマータイム: ON、OFF <sup>*</sup>	×	P.6-19

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
<b>LDAP サーバの登録</b> <sup>*2</sup>	登録、詳細／編集、消去、LDAP 検索 属性の登録／編集、リストプリント	×	送信／ファクス ガイド
<b>ライセンス登録</b>	半角 24 文字	×	P.1-28
<b>部数印字拡張の設定</b>	ON、OFF <sup>*</sup> ID / ユーザ名 : ON、OFF <sup>*</sup> 日付 : ON、OFF <sup>*</sup> 文字 : ON、OFF <sup>*</sup>	○	P.6-21
<b>システム状況画面の制限</b>			
認証前のジョブ状況の表示	ON <sup>*</sup> 、OFF	×	P.6-23
プリント状況からセキュア プリントを許可	ON、OFF <sup>*</sup>	×	P.6-24
ジョブ履歴の表示	ON <sup>*</sup> 、OFF 管理ソフトからのジョブ履歴取得 : 許可する、許可しない <sup>*</sup>	×	P.6-24
<b>MEAP 設定</b>			
HTTP を使用	ON <sup>*</sup> 、OFF SSL を使用 : ON、OFF <sup>*</sup>	○ <sup>*4</sup>	P.6-26
システム情報のプリント	プリント	×	P.6-27
<b>機器情報配信の設定</b>			
配信先の登録	自動検索／登録、登録、詳細情報、消 去、リストプリント		P.6-31
自動配信設定	毎日指定、曜日指定、指定しない <sup>*</sup> 初期設定／登録の設定値 : ON、OFF <sup>*</sup> ネットワーク設定 : 含む、含まない <sup>*</sup> 部門 ID : ON、OFF <sup>*</sup> 宛先表 : ON、OFF <sup>*</sup> プリンタ仕様設定 : ON、OFF <sup>*</sup>		P.6-35

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
手動配信	初期設定／登録の設定値：ON、OFF* ネットワーク設定：含む、含まない* 部門 ID：ON、OFF* 宛先表：ON、OFF* プリンタ仕様設定：ON、OFF*		P.6-37
配信元による受信制限	ON*、OFF		P.6-38
データの復帰	初期設定／登録の設定値、部門 ID、宛先表、プリンタ仕様設定		P.6-38
機能毎受信制限	初期設定／登録の設定値：ON*、OFF 部門 ID：ON*、OFF 宛先表：ON*、OFF プリンタ仕様設定：ON*、OFF		P.6-39
通信履歴	詳細情報、リストプリント、レポート設定 100 通信で自動プリント：ON*、OFF 指定時刻プリント：ON、OFF* 指定時刻：00:00～23:59 種別で分離：する、しない*		P.6-40
<b>全データ／設定の初期化</b>	初期化	×	P.6-42
<b>ID / ユーザ名表示の ON / OFF</b>	ON*、OFF	×	P.6-44
<b>USB 設定</b>			
USB デバイスを使用	ON*、OFF	○	P.6-45
USB ホストを使用	ON*、OFF	○	P.6-45
<b>暗号化セキュアプリント設定<sup>*1</sup></b>			
暗号化セキュアプリントジョブのみ受付	ON、OFF*	○	P.6-46
IC カード使用時の自動プリント	ON、OFF*	○	P.6-46
<b>機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF</b>	ON*、OFF	○	P.6-47
<b>強制地紋印字モード<sup>*1</sup></b>	コピー：設定しない*、設定する ボックス：設定しない*、設定する プリンタ：設定しない*、設定する	○	P.6-48
<b>ユーザボックス一括設定</b>			

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
文書の自動消去までの時間	0 = なし、1、2、3、6、12 時間、1、2、3*、7、30 日	×	P.6-51
プリンタドライバから保存時のプリント	ON、OFF*	×	P.6-52
<b>用紙種類の管理設定</b>	詳細/編集 名称、種別、坪量、表面性、形状	○	P.6-53
	複製、消去	×	

\* マークは工場出荷時の設定です。

\*1 : オプション装着時に表示される項目です。

\*2 : iR3045、iR3035、iR3025 ではオプション装着時に表示される項目です。(F モデルは標準装備)

\*4 : SSL を使用 : ×

\*5 : 受信手段 : ×  
電子メールの重要度 : ×  
詳細/編集 : ×  
消去 : ×  
リストプリント : ×

#### ■ コピー仕様設定

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
クイック画面の用紙選択キー設定	大*4 つまで (手差し/手差し用紙変更予約/給紙段 1 / 給紙段 2 / 給紙段 3 / 給紙段 4 / 給紙段 5)、小	×	コピー/ボックスガイド
シンプル画面のお好みキー 1、2 の設定	各モード (設定なし*)	×	
クイック画面のお好みキーの設定	お好みキー表示数 : 5 個*/10 個 各モード (設定なし*)	×	
自動ソート*2	ON*、OFF	○	
オートタテヨコ回転	ON*、OFF	○	
印画紙写真モード	ON、OFF*	○	
標準モードの変更	登録、初期化	×	
リモートコピープリンタの登録	登録 (7 台まで) / 詳細情報/消去/優先	×	
リモートコピー送信タイムアウト	5 ~ 30 秒・30 秒*	○	
コピー仕様設定の初期化	初期化	×	

\* マークは工場出荷時の設定です。

\*2 : iR3045、iR3035、iR3025 ではオプション装着時に表示される項目です。(F モデルは標準装備)

## ■ 送信／受信仕様設定 \*2

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
<b>共通設定：送信機能設定</b>			送信／ファクス ガイド
発信人名称の登録*2	01 ～ 99：登録／編集、消去	×	
ユーザ略称の登録	半角 24 文字、全角 12 文字	×	
FTP 送信指定に ASCII コード以外を許可*2	ON、OFF*	○	
エラー文書クリア	ON*、OFF	○	
転送エラー文書の処理	常にプリント、保存／プリント、OFF*	○	
印画紙写真モード	ON、OFF*	○	
リトライ回数*1	0 ～ 5 回・3 回*	○	
送信機能の標準モード の変更	読取モード：ブラック 200 × 200dpi ファイル形式：TFF 済スタンプ：押さない	×	
定型業務ボタンの登録	登録／編集、消去（18 個）、コメントの表 示：ON、OFF*	○	
定型業務ボタン呼出時 の確認表示	ON*、OFF	×	
PDF（OCR）設定*1	原稿向き自動検知：ON*、OFF 文書名 OCR の文字数設定：1 ～ 24・24*	○	

# 4

使いかたにあわせた仕様の設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
機器署名の証明書確認 <sup>*1</sup>	証明書詳細情報：証明書検証	×	送信／ファクス ガイド
ユーザ署名の証明書確認 <sup>*1</sup>	証明書詳細情報：証明書検証	×	
ICカード署名送信時の確認 表示 <sup>*1</sup>	ON <sup>*</sup> 、OFF	×	
送信画面の初期表示	定型業務ボタン、ワンタッチボタン、新 規宛先 <sup>*</sup>	×	
発信元記録	つける <sup>*</sup> 、つけない  FAX ボード（F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備）装着時 発信記録：つける 印字位置：画像の外側 相手先略称の表示：ON 電話番号マーク：FAX	○	
WebDAV 送信時にチャン ク分割送信を使用 <sup>*1</sup>	ON <sup>*</sup> 、OFF	○	
送信機能設定の初期化	初期化	×	
<b>共通設定：受信機能設定</b>			
両面記録	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
カセット選択	スイッチ A：ON <sup>*</sup> 、OFF スイッチ B：ON <sup>*</sup> 、OFF スイッチ C：ON <sup>*</sup> 、OFF スイッチ D：ON <sup>*</sup> 、OFF	○	
画像縮小	ON <sup>*</sup> 、OFF ON 設定時 縮小モード：自動変倍 縮小率：90% 縮小方向：縦のみ	○	
受信情報記録	つける、つけない <sup>*</sup>	○	
2 in 1 記録	ON、OFF <sup>*</sup>	○	

初期設定／登録項目	設定項目	対応ファクスモデル項目	機器情報配信項目	参照ページ
<b>ファクス設定：基本登録</b>				送信／ファクスガイド
ユーザ電話番号の登録	最大 20 桁		×	
回線種類の選択	ダイヤル 20PPS*、ダイヤル 10PPS、プッシュ	G3	×	
音量調整	アラーム音量：0～8・4* 通信音量：0～8・4*		○	
オフフックアラーム <sup>*1</sup>	ON*、OFF	G3	○	
<b>ファクス設定：送信機能設定</b>				
ECM 送信	ON*、OFF		○	
ポーズ時間セット	1～15 秒・2 秒*	G3	○	
自動リダイヤル	ON*、OFF ON 設定時 リダイヤル回数：1～15回・2回* リダイヤル間隔：2～99分・2回* 送信エラー時リダイヤル： 1 ページとエラーページ*、 全ページ、OFF		○	
送信前のダイヤルトーン確認	ON*、OFF	G3	○	
通信モード	G3-G4*、G3 のみ	G4	○	
<b>ファクス設定：受信機能設定</b>				
ECM 受信	ON*、OFF		○	
受信モード選択	自動受信*、FAX/TEL 切替 FAX/TEL 切替設定時 呼出開始時間：0～30 秒・8 秒* 呼出時間：15～300 秒・17 秒* 呼出後の動作：終了、受信* 音声応答：ON、OFF*	G3	○	
着信呼出	ON、OFF* ON 設定時 呼出回数：1～99 回・2 回*	G3	○	

初期設定/登録項目	設定項目	対応ファクスモデル項目	機器情報配信項目	参照ページ
リモート受信	ON、OFF* ON 設定時 リモート受信 ID:00 ~ 99・25*	G3	×	送信/ファクスガイド
自動受信切替	ON、OFF* ON 設定時 呼出秒数: 1 ~ 99 秒・15 秒*	G3	○	
相手発信元記録 (G4)	つける*、つけない 画像の内側、画像の外側*	G4	○	
<b>ファクス設定: 増設回線設定<sup>*1</sup></b>				
ユーザ電話番号の登録	最大 20 桁	G3	×	
ユーザ略称の登録	半角 24 文字	G3	×	
回線種類の選択	ダイヤル 20PPS*、ダイヤル 10PPS、ブッシュ	G3	×	
送信回線の選択	回線 1: 優先送信*、送信禁止 回線 2: 優先送信、送信禁止	G3	×	

\* マークは工場出荷時の設定です。

\*1: オプション装着時に表示される項目です。

\*2: iR3045、iR3035、iR3025 ではオプション装着時に表示される項目です。(F モデルは標準装備)



## ■ ボックス仕様設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
ユーザボックスの設定／ 登録	ボックス No. : 00 ~ 99 名称 : 半角 24 文字、全角 12 文字以内 暗証番号 : 7 桁 文書の自動消去 : 1、2、3、6、12 時 間、1、2、3 <sup>*</sup> 、7、30 日、なし URL 送信設定 <sup>*1</sup> プリンタドライバから保存時のプリン ト : ON、OFF <sup>*</sup> 初期化	○ <sup>*6</sup>	コピー／ボックス ガイド
印画紙写真モード	ON、OFF <sup>*</sup>	○	
読み込み設定の標準モード	登録、初期化	×	
ファクスボックスの設定 ／登録 <sup>*2</sup>	ボックス No. : 00 ~ 49 名称 : 半角 24 文字、全角 12 文字以内 暗証番号 : 最大 7 桁 URL 送信設定 <sup>*1</sup> 初期化	○ <sup>*6</sup>	

\* マークは工場出荷時の設定です。

\*1 : オプション装着時に表示される項目です。

\*2 : iR3045、iR3035、iR3025 ではオプション装着時に表示される項目です。(F モデルは標準装備)

\*6 : 暗証番号が設定されているボックス、初期化 : ×

## ■ 宛先表仕様設定\*2

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
宛先の登録	新規宛先の登録、詳細／編集、消去	○	送信／ファクス ガイド
宛先表の名称登録	名称登録	○	
ワンタッチボタンの登録	登録／編集、消去	○	

\*2 : iR3045、iR3035、iR3025 ではオプション装着時に表示される項目です。(F モデルは標準装備)

- 重要**
- SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが一般ユーザの場合はシステム管理設定モードを操作することができません。
  - SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが管理者の場合はシステム管理設定モードを操作することができます(システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されたときは、該当項目を入力してください)。
- メモ**
- 機器情報配信項目の表示は以下のとおりです。機器情報配信機能については、「機器情報配信の設定をする(機器情報配信の設定)」(→ P.6-29)を参照してください。
    - ・ ○ : 機器情報配信対象
    - ・ × : 機器情報配信対象外
  - 対応ファクスモデル項目は以下のファクス回線に対応します：
    - ・ 空欄 : G4、G3 共通の項目です。
    - ・ G4 : G4 ご利用の場合のみ表示される項目です。
    - ・ G3 : G3 ご利用の場合のみ表示される項目です。(ファクス設定の増設回線設定は、回線を増設している場合のみ表示されます。)

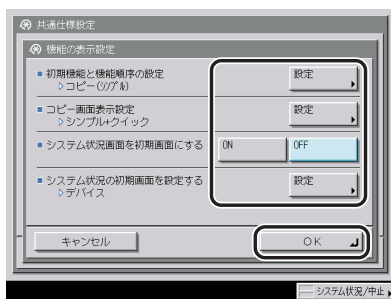
# 各機能に共通の仕様を設定する（共通仕様設定）

コピーやボックス、送信、ファクスなどの各機能に共通する仕様の設定をします。

## 初期画面を設定する

電源を入れたときやオートクリア後に表示する画面の設定をします。

- 1 ⑧（初期設定／登録）→【共通仕様設定】→【機能の表示設定】を押します。
- 2 各項目を設定したあと、【OK】を押します。



### ● 初期機能と機能順序の設定をする場合

- 【設定】を押します。
- 機能切替キーを選択します。

選択した機能の画面を初期画面に設定する場合は、【初期機能にする】を押します。

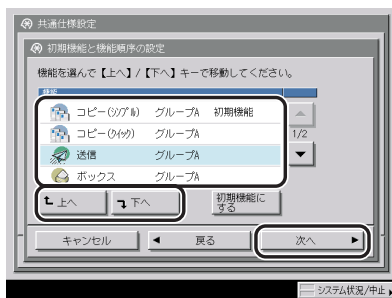


【MEAP】を初期画面に設定した場合は、多少、起動に時間がかかります。また、MEAPアプリケーションが1つもインストールされていない場合は、それを表すメッセージが表示されます。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

- [上へ] または [下へ] を押したあと、[次へ] を押します。

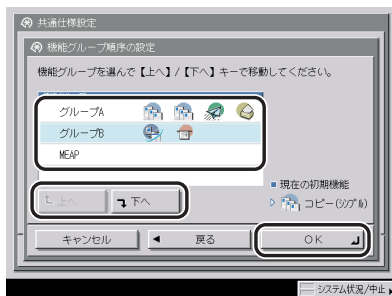


機能切替キーは次のようにグループ分けされます。

グループ A：1/2 の画面に機能切替キーが表示されます。

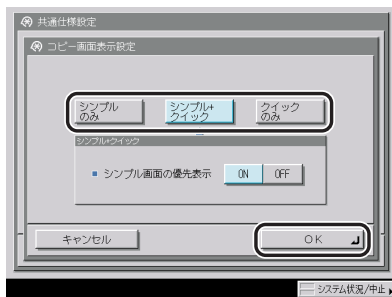
グループ B：2/2 の画面に機能切替キーが表示されます。

- 機能グループを選択します。
- [上へ] または [下へ] を押したあと、[OK] を押します。



#### ● コピー画面表示設定をする場合

- [設定] を押します。
- [シンプルのみ]、[シンプル + クイック] または [クイックのみ] を選択したあと、[OK] を押します。



[シンプル + クイック] を選択した場合は、シンプル画面の優先表示の [ON] または [OFF] を選択します。

[ON]：電源を入れたとき、コピー（シンプル）画面が表示されます。コピー（クイック）画面を表示させるには、[コピー（クイック）] ボタンを押します。

[OFF]：電源を入れたとき、コピー（クイック）画面が表示されます。

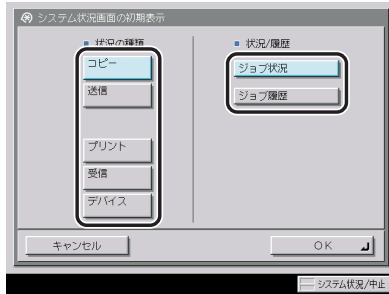
### ● システム状況画面を初期画面にする場合

[ON] を押します。

### ● システム状況の初期画面を設定する場合

[設定] を押します。

状況の種類を選択したあと、状況/履歴を選択します。



[OK] を押します。

## オートクリア後の表示画面を設定する

オートクリアしたあとに、初期機能で設定した機能の画面を表示させるかどうかを設定します。

**メモ** オートクリアするまでの時間は、変更することができます。（→ オートクリアタイムの設定をする：P.4-52）

**1** (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [オートクリア後の機能] を押します。

**2** [復帰する] または [復帰しない] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[復帰する]：オートクリア後、「初期機能」で設定した機能の画面を表示させます。例えば、「初期機能」で「システム状況画面」を指定した場合、ボックス機能を設定中の画面などでオートクリアするとシステム状況画面に戻ります。

[復帰しない]：オートクリア前の機能の画面に戻ります。例えば、「初期機能」で「システム状況画面」を指定した場合でも、ボックス機能を設定中の画面などでオートクリアするとボックス選択画面に戻ります。

## ブザーを設定する

次に示す 5 種類のブザーを必要に応じて ON/OFF できます。それぞれのブザーは次の状態で鳴ります。

- 入力音： 操作部上のキーやタッチパネルディスプレイ上のキーを押したとき
- 入力無効音： 操作部やタッチパネルディスプレイ上の無効なキーを押したとき、または入力制限文字数を超えたとき
- 補給予告音： トナーが残り少なくなったとき
- 警告音： 機械にトラブル（紙づまり、誤操作など）が発生したとき
- ジョブ終了音： ジョブが終了（排紙終了、ステイプル終了、ファクス出力終了など）したとき

### 4

使いかたにあわせた仕様の設定

- 1 **Ⓞ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ブザーの ON/OFF] を押します。
- 2 各ブザーの [ON] または [OFF] をそれぞれ選択したあと、[OK] を押します。


## 用紙残量を表示するかどうかを設定する

カセットにセットされている用紙の残量が、残り少なくなったことを示すメッセージを表示するかどうかを設定します。

- 1 **Ⓞ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [用紙残量メッセージ表示] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

## インチ入力をするかどうか設定する

数値入力を行うモードの画面でインチ入力キーを表示させることができます。


-  **メモ** インチ入力を「ON」に設定した場合でも、[mm 入力へ] を押すと数値を mm 単位で入力することができます。


**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [インチ入力] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

## カセットオート選択の ON/OFF を設定する

自動用紙選択とオートカセットチェンジの対象となる給紙箇所を各段ごとに設定することができます。また、この設定はそれぞれの機能ごとに設定できます。機能ごとに給紙箇所を使い分ける場合に設定してください。

-  **メモ** 「ON」に設定した給紙箇所は、次の機能の選択時に対象となります。
- ・自動用紙選択： プリント時に自動的に適切な用紙（給紙箇所）を選ぶ機能です。
  - ・オートカセットチェンジ： 連続プリント中に給紙箇所の用紙がなくなった場合に、同じサイズの内紙がセットされている他の給紙箇所から自動的に給紙する機能です。

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [カセットオート選択の ON/OFF] を押します。

**2** [コピー]、[プリンタ]、[ボックス]、[受信 / ファクス] または [その他] を選択します。

[プリンタ] は、オプションの LIPS LX プリンタ&スキャナキット (F モデルは標準装備) を有効にした場合のみ表示されます。

[受信 / ファクス] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合に表示されます。Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[受信] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、[ファクス] と表示されます。

[その他] は、レポート出力時に対象となるカセットの設定を行います。

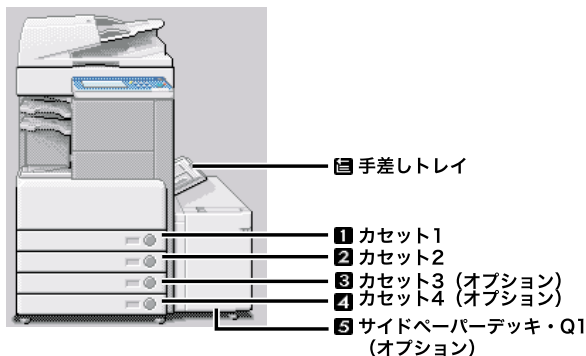
### 3 各給紙箇所について [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : 給紙箇所をオート選択の対象にします。

[OFF] : 給紙箇所をオート選択の対象にしません。

給紙箇所の各番号はそれぞれ以下の場所を示しています。



2 段カセットペディスタル・Y3+ サイドペーパーデッキ・Q1 装着時

#### メモ

- 手差し以外の給紙箇所をすべて「OFF」に設定することはできません。
- [コピー] を選択した場合は、用紙の種類を考慮するかどうか設定することができます。
  - ・ [用紙の種類を考慮する] を「ON」にした場合は、プリント中に用紙がなくなったときに、サイズが同じであっても登録されている用紙の種類が異なる場合は、他の給紙箇所から給紙を行いません。登録されている用紙の種類については、「給紙箇所の用紙種類を登録する」(→ P.4-31) を参照してください。
  - ・ [用紙の種類を考慮する] を「OFF」にした場合は、プリント中に給紙箇所の用紙がなくなったときに、サイズが同じ用紙がセットされていれば、他の給紙箇所から給紙を行います。
- 手順 2 で [プリンタ] を選択した場合、■ は表示されません。

## 封筒カセットを登録する


封筒カセットにどの規格の封筒をセットするかを登録します。用紙カセットを封筒カセットとして使用する場合には、必ずここに示すように登録を行ってください

- 👉 **重要** オプションの封筒カセット・C2 を装着していない場合は、封筒カセットの登録を設定する必要はありません。

- 1 Ⓞ (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [封筒カセットの登録] を押します。





## 2 [ENV.1] または [ENV.2] を押して、登録する封筒の種類を選択したあと [OK] を押します。

 **メモ** 封筒カセットで設定した用紙サイズ系列スイッチと封筒の種類は、同じものを選択してください。

### 給紙箇所用の紙種類を登録する

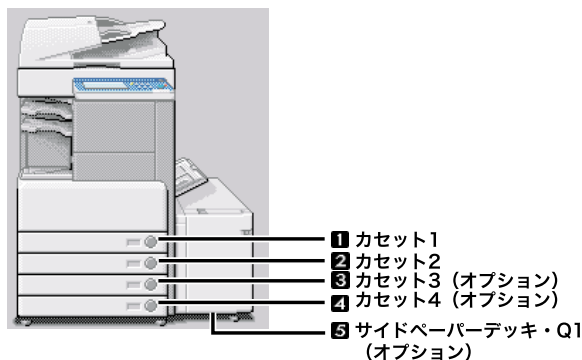
本製品にセットした用紙の種類を登録することができます。

 **重要** 用紙の種類は必ず正しく登録してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく登録されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もあります。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [用紙種類の登録] を押します。

2 用紙種類を登録する給紙箇所を選択します。

給紙箇所の各番号はそれぞれ以下の場所を示しています。



2段カセットベディスタル・Y3+ サイドペーパーデッキ・Q1 装着時

### 3 セットする用紙種類を選択したあと、[OK] を押します。

登録した用紙種類と同じ種類の用紙をセットしてください。



- 用紙種類の詳細については、「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。
- [用紙種類の選択] の詳細設定のリストにない用紙の種類を登録することができます。用紙種類の登録については、「ユーザ定義の用紙種類を登録/編集する (用紙種類の管理設定)」(→ P.6-53) を参照してください。
- ここで設定した用紙種類は、各機能の用紙選択時に、下の画面のように表示されます。



## 用紙種類選択の簡易/詳細設定画面のどちらを優先するかを設定する (用紙選択画面の優先表示)

用紙サイズを選択画面から、用紙種類の選択画面を表示する際に、用紙種類の簡易設定画面を優先するか、詳細設定画面を優先するかを設定します。

1 (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [用紙選択画面の優先表示] を押します。

2 [簡易] または [詳細] を選択したあと、[OK] を押します。

## スリープ時の消費電力を設定する

スリープ状態のときの消費電力を設定することができます。




- 初期設定／登録の BMLinkS を使用が「ON」に設定されている場合は、完全なスリープ状態に移行しません。
- インストールされている MEAP アプリケーションの種類や状態によっては、完全なスリープ状態に移行しないことがあります。
- タイマー指定のジョブ（タイマー送信に予約されたジョブ）がある場合には、そのジョブの動作まで 10 分以上の時間がなければ完全なスリープ状態に移行しません。
- ネットワークを経由して、本製品の設定や状態などを閲覧または管理できるアプリケーションを利用している場合、完全なスリープ状態に移行しません。
- 本製品を Windows のプリンタとして使用している場合、お使いの Windows で SNMP ステータスが有効な設定になっていると、完全なスリープ状態に移行しません（コンピュータの電源 OFF 時を除く）。  
SNMP ステータスを無効にする方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 以下のいずれかの場合に本製品がスリープモードに入ると、消費電力を「少ない」に設定していても、「多い」に設定した場合と同じになります。  
各機能の設定については、「送信／ファクスガイド」、「ネットワークガイド」または「プリンタガイド」を参照してください。
  - ・動作中のジョブがある場合（転送ジョブ、レポートジョブ、受信ジョブ、転送終了通知を含む）
  - ・初期設定／登録で以下の設定をしている場合

レポート出力		
仕様設定	送信	通信管理レポートで「指定時刻プリント」が「ON」に設定されている <sup>*1</sup>
	ファクス	ファクス通信管理レポートで「指定時刻プリント」が「ON」に設定されている <sup>*1</sup>
システム管理設定		
通信管理設定	システムボックス設定	メモリ受信で有効時間の指定がある <sup>*1</sup>
ネットワーク設定	TCP/IP 設定	DHCP が「ON」に設定されている
	NetWare 設定	NetWare を使用が「ON」に設定されている
	AppleTalk 設定	AppleTalk を使用が「ON」に設定されている
	SMB 設定	SMB 印刷を使用がアクティブに設定されている
	電子メール、1ファクス設定	POP 発行間隔が 10 分以上に設定されている（発行間隔の設定が「0」の場合を除く）

送信/送信仕様設定		
ファクス設定	受信機能設定	電話機を接続している場合に設定する [受信モード選択] が [FAX/TEL 切替] に設定されている [リモート受信] が「ON」に設定されている

\*1 動作まで 10 分以上の時間がある場合は、消費電力を「少ない」に設定したとりの消費電力になります。

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [スリープ時の消費電力] を押します。

**2** [少ない] または [多い] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[少ない]：スリープ時の消費電力は少なくなりますが、復帰時間は長くなります。

[多い]：スリープ時の消費電力は多くなりますが、復帰時間は短くなります。

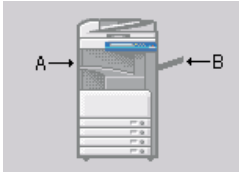
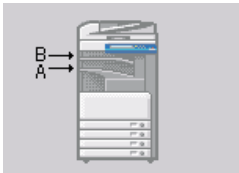
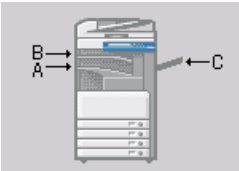
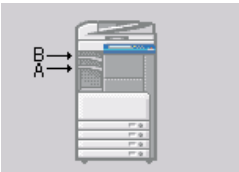

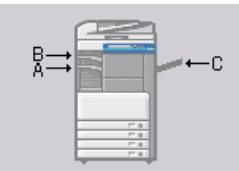


メモ

[少ない] に設定したときは、操作部電源スイッチを押してからタッチパネルディスプレイが表示されるまで、10 秒以上かかる場合があります。

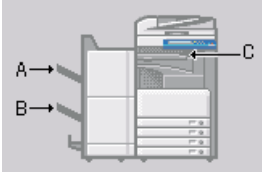
## 機能ごとの排紙トレイを設定する


用紙排出先の各トレイを、どの機能の排紙トレイとして使用するかを設定します。  
オプションの装着状態により、トレイ A/B/C の示す排紙トレイは異なります。

オプション装着状態	工場出荷時の設定	トレイ A/B/C
コピートレイ・J1	トレイ A：コピー、ボックス トレイ B：プリンタ、受信、ファクス、 その他	
インナー 2 ウェイトレイ・D1	トレイ A：コピー、ボックス トレイ B：プリンタ、受信、ファクス、 その他	
インナー 2 ウェイトレイ・D1 +コピートレイ・J1	トレイ A：コピー、ボックス トレイ B：プリンタ トレイ C：受信、ファクス、その他	
フィニッシャー・S1 +フィ ニッシャー用追加トレイ・B1	トレイ A：コピー、ボックス トレイ B：プリンタ、受信、ファクス、 その他	
フィニッシャー・S1 +コピー トレイ・J1	トレイ A：コピー、ボックス、プリンタ トレイ B：受信、ファクス、その他	
フィニッシャー・S1 +フィ ニッシャー用追加トレイ・B1 +コピートレイ・J1	トレイ A：コピー、ボックス トレイ B：プリンタ トレイ C：受信、ファクス、その他	

### 4


使いかたにあわせた仕様の設定

オプション装着状態	工場出荷時の設定	トレイ A/B/C
フィニッシャー・AE1 / サドル フィニッシャー・AE2 + パッ ファバスユニット・E2	トレイ A：コピー、ボックス トレイ B：プリンタ トレイ C：受信、ファクス、その他 トレイ基本位置：トレイ A	

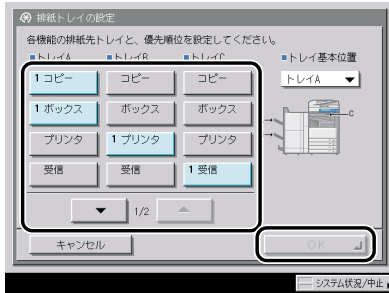
 **メモ** 1つのトレイを、複数の機能の排紙先として設定することもできます。

## 4

使いかたにあわせた仕様の設定

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [排紙トレイの設定] を押します。

2 トレイ A/B/C に排紙する機能を選択したあと、[OK] を押します。



サドルフィニッシャー・AE2 装着時

リモートコピーの受信プリントは [コピー] に含まれます。

[プリンタ] は、オプションの LIPS LX プリンタ&スキャナキット (F モデルは標準装備) を有効にした場合のみ表示されます。


[その他] は、レポートをプリントする場合に選択します。

[受信] は、オプションの Send 拡張キットを有効している場合に表示されます。

[ファクス] は、オプションの FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合に表示されます。

オプションのマルチ FAX ボードを装着している場合は、ファクスを 2 種類 (ファクス 1、ファクス 2) を設定することができます。

1つのトレイを、1つの機能のみの排紙先として設定する場合、その機能のみを選択します。

-  **重要**
- 複数のトレイを同じ機能の排紙先として設定した場合は、トレイの積載制限に達すると、自動的に排紙可能なトレイに排紙先が移ります。ただし、ファクスや1ファクスの受信プリントは紛失を防ぐために排紙先を一箇所のみとすることをおすすめします。
  - フィニッシャー・S1 とコピートレイ・J1 を装着している場合に、ステイプルソートを設定してプリントするときは、排紙トレイの設定にかかわらずトレイ A へ出力されます。

- フィニッシャー・S1 とコピートレイ・J1 を装着している場合に、フリーサイズ、封筒、はがき、厚紙、OHP フィルム、第 2 原図、ラベル用紙を選択してプリントするときは、排紙トレイの設定にかかわらずコピートレイ・J1 以外の排紙トレイに出力されます。
  - インナー 2 ウェイトレイ・D1 とコピートレイ・J1 を装着している場合に、フリーサイズ、封筒、はがき、厚紙、OHP フィルム、第 2 原図、ラベル用紙を選択してプリントするときは、コピートレイ・J1 を排紙先に設定した場合もコピートレイ・J1 以外の排紙トレイに出力されます。
- **トレイ基本位置を設定する場合 (オプションのフィニッシャー・AE1、サドルフィニッシャー・AE2 またはフィニッシャー・S1+ フィニッシャー用追加トレイ・B1 装着時)**
- トレイ基本位置ドロップダウンリストを押して、ジョブ待機中の排紙トレイの基本位置を選択します。**

選択する項目

[トレイ A] : トレイ A が排紙部に近くなります。

[トレイ B] : トレイ B が排紙部に近くなります。

[指定しない] : トレイの基本位置が設定されません。プリント動作が終了した位置で排紙トレイがとまります。

## プリント優先順位を設定する

プリントの優先順位を設定できます。優先順位を高く設定した機能のジョブが、現在実行中のジョブの次に優先してプリントされます。



**メモ** 優先順位が高く設定されていても、現在出力中のジョブが終了するまでジョブはプリント開始されません。ただし、現在出力中のジョブが中断され待機中になった場合、待機中のジョブの設定によっては、優先順位が高く設定されている機能のジョブに限り、プリントが開始されることがあります。

**1** (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [プリント優先順位] を押します。

**2** **プリント優先順位を選択したあと、[OK] を押します。**

[1] を選ぶと、最優先に設定されます。

リモートコピーの受信プリントは [コピー] に含まれます。


[プリンタ] は、オプションの LIPS LX プリンタ&スキャナキット (F モデルは標準装備) を有効にした場合のみ表示されます。

[受信/ファクス] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合に表示されます。

Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[受信] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、[ファクス] と表示されます。


[その他] は、レポートをプリントする場合に選択します。


MEAP アプリケーションからの PDL プリントはプリンタに、ローカルプリントはボックスに含まれます。

-  **メモ** 複数の機能に対して同じ順位を設定したときは、プリント動作を早く始めた方からプリントします。


## イメージ合成のフォームを登録する


イメージ合成のフォーム画像を登録すると、コピーモード、ボックスモードの「イメージ合成」機能を使用することができます。「イメージ合成」機能については、コピー／ボックスガイド「第 4 章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

-  **重要**
- フォーム画像は、最大 100 枚まで登録することができます。ただし、ハードディスクの使用状況によって、登録できる枚数は異なります。
  - フォーム画像として読み込む原稿は、必ず原稿台ガラスにセットしてください。フィーダからの読み込みはできません。

-  **メモ** フォーム画像は、パソコンから登録することもできます。

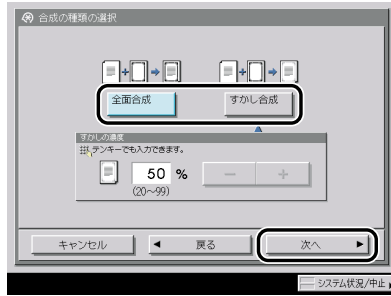
## イメージ合成のフォーム登録

- 1**  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [イメージ合成のフォーム登録] を押します。
- 2** [登録] を押します。
- 3** フォーム画像として読み込む原稿サイズを選択したあと、[次へ] を押します。

-  **メモ**
- はがきを選択する場合は、[はがき] を押します。
  - インチサイズを選択する場合は、[インチサイズへ] を押します。

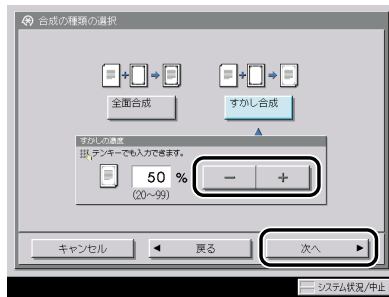


## 4 フォームの種類を選択して、[次へ] を押します。



### ● すかし合成を選択した場合

- すかしの濃度を [-] [+] で設定したあと、[次へ] を押します。



## 5 読み込むモードを設定します。

倍率を変更して読み込むときは、[倍率] を押します。(→ コピー/ボックスガイド「第3章 基本的なコピー/ボックスの使いかた」)

読み込み濃度を変更するときは、[□] [●] を押します。(→ コピー/ボックスガイド「第3章 基本的なコピー/ボックスの使いかた」)

画質を選択して読み込むときは、画質選択ドロップダウンリストから原稿タイプを選択します。(→ コピー/ボックスガイド「第3章 基本的なコピー/ボックスの使いかた」)




ネガポジ反転、シャープネス、画質調整を設定して読み込むときは、[応用モード] を押したあと、それぞれの設定をします。(→ コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」)

フォーム画像に名称をつけるときは、[フォーム名] を押します。



- 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。
- フォーム名を入力していないときは、フォーム名には日付と時刻が表示されます。


## 6 原稿台ガラスにフォーム画像として読み込む原稿をセットしたあと、 Ⓞ(スタート) を押します。

-  **メモ** 画面に表示されるアイコンには次の2種類があります。
- ・  : すかし合成
  - ・  : 全面合成

### フォーム画像の詳細情報を確認する


#### 1 Ⓞ(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [イメージ合成のフォーム登録] を押します。

#### 2 詳細情報を確認するフォーム画像を選択したあと、[詳細情報] を押します。

-  **メモ** 登録したフォームの画像をチェックするときは、[チェックコピー] を押してフォームをプリントすることができます。(→ コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」)

#### 3 詳細情報を確認したあと、[閉じる] を押します。


フォーム画像の名称を変更するときは、[フォーム名を変更する] を押します。

-  **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。

### フォーム画像の消去

#### 1 Ⓞ(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [イメージ合成のフォーム登録] を押します。


#### 2 消去するフォーム画像を選択したあと、[消去] を押します。

-  **メモ** 登録したフォームの画像をチェックするときは、[チェックコピー] を押してフォームをプリントすることができます。(→ コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」)


#### 3 [はい] を押します。

## ページ印字／スタンプの文字列を登録する


ページ印字／スタンプの文字列を登録することができます。コピーモード、ボックスモードの「ページ印字」、「スタンプ」、地紋印字の「スタンプ」機能を使用するとき、いつも同じ文字列を印字、またはスタンプする場合に便利です。「ページ印字」、「スタンプ」、地紋印字の「スタンプ」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

 **メモ** 文字列は、30 件まで登録することができます

### ページ印字／スタンプの文字列の登録


**1**  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [ページ印字 / スタンプの文字列登録] を押します。

**2** [登録] を押して文字列を入力したあと、[OK] を押します。

 **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。


**3** [閉じる] を押します。

### ページ印字／スタンプの文字列の編集

**1**  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [ページ印字 / スタンプの文字列登録] を押します。


**2** 編集する文字列を選択したあと、[編集] を押します。

**3** 新しい文字列を入力したあと、[OK] を押します。

 **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。

**4** [閉じる] を押します。

## ページ印字/スタンプの文字列の消去


- 1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ページ印字/スタンプの文字列登録] を押します。
- 2 消去する文字列を選択したあと、[消去] を押します。
- 3 [はい] を押します。
- 4 [閉じる] を押します。

4

使いかたにあわせた仕様の設定



### 手差し封筒種指定を設定する

手差し用紙を指定する画面で [封筒] を選択したときに、封筒の種類を選択する画面を表示するかしないかの設定をします。

- 1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [手差し封筒種指定] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。  
自動的に洋形 4 号を選択するには、[OFF] を押します。  
封筒の種類を選択する画面を表示させるには、[ON] を押します。

### 手差し用紙の標準モードを登録する

手差し用紙の標準モードを登録しておくこと、カセットと同様に手差しトレイを利用することができます。手差しトレイにいつも同じサイズ、種類の用紙をセットする場合に便利です。ファクスをご使用の場合は、標準モードを登録しておくこと、手差し用紙を使用して受信することができます。

-  **重要** 用紙の種類は必ず正しく登録してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく登録されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もあります。
-  **メモ** コピー、ボックス、受信/ファクスで手差しトレイを給紙段としてお使いになる場合は、手差しトレイをカセットオート選択の対象にしておく必要があります。(→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する : P.4-29)

1 ④(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [手差し用紙の標準モード登録] を押します。


2 [ON] → [登録] を押します。

[OFF] を押した場合は、そのまま手順 5 へ進みます。

3 用紙サイズを選択します。

● A/B サイズの用紙を選択する場合

「A/B サイズ」から用紙を選択したあと、[次へ] を押します。

 **メモ** インチサイズを選択する場合は、[インチサイズへ] を押します。

● 定形サイズ以外の用紙を選択する場合

[フリーサイズ] を押します。


[次へ] を押します。

● 封筒を選択する場合

[封筒] を押します。

共通仕様設定(初期設定/登録)の手差し封筒種指定が「ON」の場合は、封筒の種類を選択したあと、[OK] を押します。

共通仕様設定(初期設定/登録)の手差し封筒種指定が「OFF」の場合は、封筒種類の選択はできません。[封筒] を押したときに、自動的に洋形 4 号が選択されます。

 **重要** 封筒の種類は正しく選択してください。紙づまりの原因になることがあります。

[OK] を押したあと、手順 5 に進みます。

● 郵便はがきを選択する場合

[はがき] を押します。

郵便はがきの種類を選択したあと、[OK] を押します。

[OK] を押したあと、手順 5 に進みます。

## 4 用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。



- A4 の用紙を設定したときのみ、OHP フィルムを選択することができます。
- 用紙の種類については、「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。
- [用紙種類の選択] の詳細設定のリストにない用紙の種類を登録することができます。用紙種類の登録については、「ユーザ定義の用紙種類を登録/編集する (用紙種類の管理設定)」(→ P.6-53) を参照してください。

## 5 [OK] を押します。

### 給紙方法の切り替えをする

本製品にセットする用紙の給紙方法を切り替えることができます。あらかじめロゴなどが印刷されている用紙を使用する場合に、給紙箇所用の用紙向きを変更することなく片面プリント、両面プリントを行うことができます。



- 表裏や上下の向きを考慮する必要がある用紙 (あらかじめロゴが印刷されている用紙など) をセットする給紙箇所は、[プリント面優先] に設定しておくことをおすすめします。

1 (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [給紙方法切替] を押し  
ます。

2 各給紙箇所について [スピード優先] または [プリント面優先] を選択  
したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[スピード優先] : 片面プリント : カセットでは上向き、サイドペーパーデッキまたは手  
差しトレイでは下向きにセットされた面がオモテ面と  
なります。

両面プリント : カセットでは下向き、サイドペーパーデッキまたは手  
差しトレイでは上向きにセットされた面がオモテ面と  
なります。


[プリント面優先] : カセットでは下向き、サイドペーパーデッキまたは手差しトレイでは  
上向きにセットされた面がオモテ面となります。

[プリント面優先] が設定されている給紙段は、オート用紙選択、オートカセットチェンジ  
の設定は無効となります。また、片面プリント時のプリントスピードが遅くなります。

## ローカルプリントの標準モードを設定する

プリント時の標準モードを設定することができます。ここで設定した内容は次の場合に適用されます。

- ボックス内にある文書を、設定を変えずにそのままプリントする場合
- ボックス内にある複数の文書を、文書結合してプリントする場合
- パソコンからボックスに記録した文書を、プリント時に設定した内容をリセットしてプリントする場合

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ローカルプリントの標準モード] を押します。


**2** 各モードを設定したあと、[閉じる] を押します。


表示される項目

- [用紙選択] : 用紙を選択します。
- [プリント部数] : 部数を設定します。部数は 1 ~ 9999 部まで設定できます。
- [仕上げ] : ソートの種類を選択します。
- [両面プリント] : 両面プリントをするかどうか設定します。
- [プリント後文書消去] : プリントしたあとに文書を消去するかどうか設定します。
- [文書結合] : 複数の文書を選択したときに文書結合をするかどうか設定します。

## 表示言語の切り替えをする

画面に表示される言語を日本語以外の言語に切り替えることができます。

-  **メモ**
- 表示言語の切替を「ON」に設定すると、入力できる文字が制限されます。すべての文字入力を行えるようにする場合は、「OFF」に設定してください。
  - 表示言語を切り替えても、一部切り替わらない表示もあります。

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [表示言語の切替] を押します。

**2** [ON] を押して、表示言語を選択したあと、[OK] を押します。

表示言語の切り替えをしない場合は、[OFF] を押します。

[常に切替キーを表示] を押すと、[システム状況 / 中止] のとなりに、[表示言語の切替] へのショートカットを表示することができます。

**重要**

- 表示言語を切り替えた場合、一部の機能のメッセージなどが切り替えた言語で正しく表示されないことがあります。このような場合は、電源を入れなおしてください。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15)を参照してください。
- ログインサービスにSDLを設定している場合、ユーザ情報の[表示名]に半角英数字以外で入力を行った場合は、本製品の表示言語を日本語にしておく必要があります。本製品の表示言語が日本語以外になっている場合、電子メールの受信側で送信元の欄に登録した表示名が表示されません。
- ログインサービスにSSOを設定している場合、Active Directoryの言語設定と本製品の表示言語の設定内容が異なると、電子メールの送信先に送信者のフルネームが表示されません。

## 画面色反転を設定する

「ON」に設定すると、タッチパネルディスプレイの色調を変更することができます。画面の明るさを調整しても表示が見づらい場合など、ご利用にあわせて設定してください。

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [画面色反転] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : タッチパネルディスプレイの画面色を反転表示します。


[OFF] : タッチパネルディスプレイの画面色を通常表示します。

## ジョブ間シフトを設定する

ジョブ間シフトとは、複数のジョブをプリントしたときにジョブごとに仕分けする機能です。複数のジョブをプリントする場合に、仕分けし忘れることを防ぐことができます。

**メモ**

ジョブ間シフトは、オプションのフィニッシャを装着している場合のみ表示されます。

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ジョブ間シフト] を押します。


**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



## ジョブ間仕切紙を設定する

プリントジョブの先頭ページに指定した給紙段の用紙を挿入します。複数のジョブをプリントする場合に、プリントした文書を仕分けることができます。

**重要** 製本または中とじを設定している場合は、ジョブ間仕切紙は挿入されません。

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ジョブ間仕切紙] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択します。

● [ON] を選択した場合

- [用紙選択] を押して仕切紙の給紙箇所を選択したあと、[OK] を押します。
- [OK] を押します。


● [OFF] を選択した場合

- [OK] を押します。

## 部数間仕切紙を設定する



ソート、シフトソート、またはステイプルソートを設定しているとき、指定した部数を出力したあと、指定した給紙段の用紙を挿入します。プリントした文書を仕分けることができます。

**重要** 回転ソート、ノンソート、グループ、グループソート、製本、中とじを設定している場合は、部数間仕切紙は挿入されません。

**1**  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [部数間仕切紙] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択します。

● [ON] を選択した場合


- [用紙選択] を押して仕切紙の給紙箇所を選択したあと、[OK] を押します。
-  ~  (テンキー) で、部数を入力します。
- [OK] を押します。

## ● [OFF] を選択した場合

□ [OK] を押します。


## プリント待ち時間表示を設定する

プリント待ち時間表示を「ON」にすると、ジョブに必要な時間（プリント待ち時間）を1分単位で表示できます。

-  **メモ** ● プリント待ち時間は、プリント中に表示される画面で「出力時間」として表示されます。本製品の状態により、誤差が生じることがあります。
- 待ち時間が1分以下の場合は、待ち時間表示を「ON」にしている場合でも表示されません。

## 4


使いかたにあわせた仕様の設定


1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [プリント待ち時間表示] を押します。

2 [コピー]、[ボックス] および [その他] の [ON] または [OFF] をそれぞれ選択したあと、[OK] を押します。

## 排紙トレイの用紙混載を設定する

排紙トレイに異なるサイズの用紙を一緒に積載するかどうかの設定をします。


-  **重要** 排紙トレイの用紙混載は、オプションのフィニッシャを装着している場合のみ表示されません。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [排紙トレイの用紙混載] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

[OFF] に設定したときに、「排紙トレイの紙を取り除いてください。」と表示された場合は、排紙トレイの用紙を取り除くとプリントされます。

原稿サイズ混載とステイブルソートを組み合わせるときは、排紙トレイの用紙混載の設定に関わらず、ステイブルソートされます。

-  **メモ** ● コピートレイ・J1 または バッファパスユニット・E2 に排紙する場合、[OFF] に設定しても、[ON] に設定したときと同じように異なるサイズの用紙が一緒に積載されます。
- [OFF] に設定しても、排紙トレイ上の用紙枚数が少量のときは、[ON] に設定したときと同じように異なるサイズの用紙が一緒に積載される場合があります。

## 原稿読み取り部の清掃表示を設定する

フィーダの原稿読み取り部分に付着するゴミなどを読み取ってしまい、コピーの出力紙にスジ状の汚れが出てしまう場合に、本製品が汚れを検知して原稿読み取り部の清掃を促すメッセージを表示することができます。このメッセージは、フィーダに原稿をセットしたときに表示されます。フィーダの原稿読み取り部の清掃を行う場合は、「フィーダを清掃する」(→ P.7-47) の手順 9 を参照してください。

**重要** 原稿読み取り部の清掃表示は、オプションのフィーダ (DADF-M1) (F モデルは標準装備) を装着している場合のみ表示されます。

**1** **Ⓢ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [原稿読み取り部の清掃表示] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

## 機能制限モードを設定する

フィニッシャのシフトやステイプルソートを設定してプリントするときに何度も失敗する場合は、フィニッシャのシフトやステイプルソートの機能を一時的に使用しないように設定することができます。

また、サービスコール画面から一時的な処置として機能制限モードを設定した場合も、本設定を「OFF」にすることで機能制限を解除できます。ただし、エラーの原因が解決されていない場合は、再びサービスコールが表示されます。(→ サービスコール画面から機能制限モードを設定する：P.8-89)

**メモ** 機能制限モードは、オプションのフィニッシャを装着している場合のみ表示されます。


**1** **Ⓢ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [機能制限モード] を押します。


**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

**メモ** 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。

## 共通仕様設定を初期化する

共通仕様設定の内容を、工場出荷時の設定に戻します。

-  **メモ** ● 共通仕様設定（初期設定／登録）の表示言語の切替を「ON」に設定して言語を切り替えているときに共通仕様設定を初期化した場合、設定は「OFF」（工場出荷時）に戻りますが、選択した言語は戻りません。（→表示言語の切り替えをする：P.4-45）
- 共通仕様設定（初期設定／登録）の機能制限モードを「ON」に設定している場合、共通仕様設定を初期化しても設定は「OFF」（工場出荷時）に戻りません。
- イメージ合成のフォーム登録で登録したフォーム画像は消去されません。

**1**  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [共通仕様設定の初期化]  
を押します。

**2** [はい] を押します。

4


使  
い  
か  
た  
に  
あ  
わ  
せ  
た  
仕  
様  
の  
設  
定

# 各種タイマーを設定する (タイマー設定)

時刻の微調整やスリープ状態になるまでの時間の設定などを行います。

## 時刻の微調整をする

現在の時刻を微調整することができます。日付と時刻の設定については、「日付／時刻を設定する (日付／時刻設定)」(→ P.6-19) を参照してください。


**1**  (初期設定／登録) → [タイマー設定] → [時刻微調整] を押します。


**2** [-] [+] を押して時刻を調整したあと、[OK] を押します。

 **メモ** 00:00 を 23:59、23:59 を 00:00 のように調整しても、日付は変わりません。

## オートスリープタイムの設定をする

「オートスリープ」とは、プリント終了後、またはキー操作終了後、一定時間以上何の操作も行われなかった場合に、節電のために自動的に操作部電源スイッチを OFF にしてスリープ状態になる機能です。


-  **メモ**
- 初期設定／登録の BMLinkS を使用が「ON」に設定されている場合は、完全なスリープ状態に移行しません。
  - スリープ状態の詳細については、「スリープ時の消費電力を設定する」(→ P.4-33) を参照してください。


**1**  (初期設定／登録) → [タイマー設定] → [オートスリープタイム] を押します。

**2** [▼] [▲] を押してオートスリープタイムを設定したあと、[OK] を押します。

## オートクリアタイムの設定をする


「オートクリア」とは、本製品の操作を終了してから、一定時間以上何の操作も行われなかった場合に、タッチパネルディスプレイの表示を自動的に基本画面（標準モード）に戻す機能です。




 「0」分に設定すると、オートクリアを行いません。

- 1  (初期設定/登録) → [タイマー設定] → [オートクリアタイム] を押します。
- 2 [-] [+] を押してオートクリアタイムを設定したあと、[OK] を押します。

## ウィークリータイマーの設定をする

自動的にスリープ状態にする時刻を曜日ごとに設定することができます。

 オートスリープタイムとウィークリータイマーが同時に設定されている場合は、オートスリープタイムが優先されます。


- 1  (初期設定/登録) → [タイマー設定] → [ウィークリータイマーの設定] を押します。
- 2 曜日を選択して、 ~  (テンキー) で時刻を入力したあと、[OK] を押します。

時刻は「時」「分」を連続した4桁の数字で入力します。時刻の表示形式は24時間制です。

例： 7時5分 → 0705

23時18分 → 2318

入力を間違えたときは、再度4桁の数字を入力します。


 (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。

# 調整をする (調整/クリーニング)

プリント画像や中とじ位置の微調整およびクリーニングをします。  
クリーニングは定期的に行ってください。

## ズーム微調整をする

コピーやボックス内文書のプリントをしたときに、原稿の画像の大きさとプリント画像の大きさにわずかな違いが生じた場合、この誤差を減らすためプリント時の画像サイズを微調整することができます。



**1**  (初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [ズーム微調整] を押します。


**2** [-] [+] を押して % を調整したあと、[OK] を押します。

X (左右方向) または Y (上下方向) のどちらか一方のみ調整したい場合は、その方向のみ調整します。

## 中とじユニットの針の頭出しをする

中とじユニットの針づまり処理終了後または、中とじユニットへの針補給後、中とじユニットに用紙を送り数回ステイプルして、針の頭出しを行います。


-  **重要**
  - 頭出しを行うときは、A3 または B4、A4R の用紙をセットしてください。
  - 頭出しを行うときは、製本トレイに排紙されている用紙を取り除いてください。
-  **メモ**
  - 頭出しは、オプションのサドルフィニッシャー・AE2 を装着している場合のみ設定できます。
  - 頭出しに必要な用紙は、自動的に給紙されます。


**1**  (初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [中とじ針頭出し] を押します。

**2** [開始] を押します。


## 中とじ位置を変更する

オプションのサドルフィニッシャー・AE2 の中とじ機能を使用していて、折りの位置と用紙の中心にわずかな違いが生じた場合、この誤差を減らすために微調整をすることができます。

 **メモ** 中とじ位置の変更は、オプションのサドルフィニッシャー・AE2 を装着している場合のみ設定できます。

**1**  (初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [中とじ位置変更] を押します。


**2** 中とじ位置を変更する用紙サイズを選択します。


 **メモ** 日本国内で使用されない用紙サイズも表示されます。

**3** [▼] [▲] を押して中とじ位置を調整したあと、[OK] を押します。

## 濃度を補正する

濃度調節目盛りを中央に設定した状態でプリントしたときに、原稿画像とプリント画像の濃度に違いが生じた場合は、濃度補正で濃度の違いを補正することができます。

 **メモ** [送信] はオプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着した場合に表示されます。

**1**  (初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [濃度補正] を押します。

**2** [うすく] [こく] を押して濃度を調整したあと、[OK] を押します。



## 文字／背景のコントラスト調整

地紋印字を設定してコピー／プリントする場合の文字と背景のコントラスト値を設定することができます。「地紋印字」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

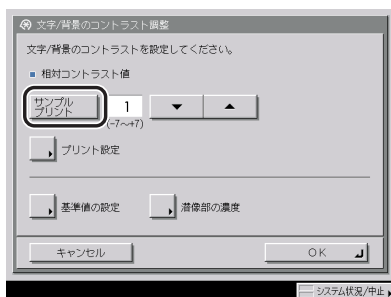
**重要** サンプルプリントを行うときは、A3、A4、LTR または 11" × 17" の普通紙または厚紙をセットしてください。

**メモ** 文字／背景のコントラスト調整は、オプションの地紋拡張キットを有効にしている場合のみ表示されます。

### 1 ④(初期設定／登録) → [調整／クリーニング] → [文字／背景のコントラスト調整] を押します。

文字／背景のコントラスト調整は、コピー、ボックス機能の応用モードにある [地紋印字] から設定することもできます。

### 2 [サンプルプリント] → [はい] を押します。

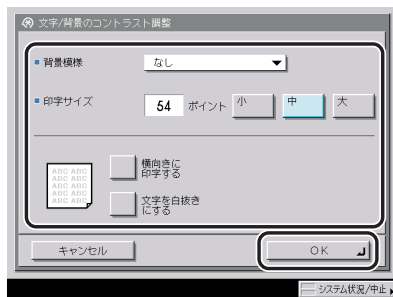


相対コントラスト値の設定範囲は、基準値の設定により次のようになります。

基準値	相対コントラスト値
0	0 ~ +7
4	-4 ~ +7
8 ~ 56	-7 ~ +7
60	-7 ~ +4
64	-7 ~ 0

#### ● サンプルプリントのプリント設定をする場合

[プリント設定] を押して各項目を設定したあと、[OK] を押します。



背景模様、印字サイズ、文字列の向きや白抜きの設定ができます。

### 3 サンプルプリントの印刷結果から、文字が目立ちにくいイメージの相対コントラスト値を [▼] [▲] を押して設定します。

#### ● 文字が目立ちにくいイメージが見つからない場合

- [基準値の設定] → [サンプルプリント] → [はい] を押します。



- 基準値サンプルプリントの印刷結果から、外側の四角と内側の四角の濃度が最も均一な地紋イメージの数値を [-] [+] を押して設定します。
- [OK] を押したあと、手順2に戻ります。

#### ● 文字（潜像部）の濃度調整をする場合


- [潜像部の濃度] を押したあと、[-] [+] を押して設定します。
- [OK] を押したあと、手順2に戻ります。


### 4 [OK] を押します。


文字と背景のコントラストが均一な地紋は、地紋印字の効果が高くなりますが、コピー後の文字の浮き上がりが弱くなります。コントラスト調整後、地紋印字した原稿をコピーして、文字の浮き上がり方を確認することをおすすめします。

## フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）

フィーダを使用して原稿を読み取ったときに、ローラについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされていることがあります。この場合は、フィーダにセットした白紙原稿（用紙）を使用して原稿給紙ローラの汚れをクリーニングします。

 **重要** オプションのフィーダ（DADF-M1）（Fモデルは標準装備）を装着している場合のみ表示されます。

 **メモ** フィーダのクリーニングは約 15 秒間かかります。


**1**  (初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [フィーダのクリーニング] を押します。

**2** フィーダに白紙を 10 枚くらいセットしたあと、[開始] を押します。

用紙はよくさばいてください。

A4 サイズ（60～80 g/m<sup>2</sup>）の用紙をセットしてください。

フィーダのクリーニングが終わったら、読み込みを再度行ってください。

 **メモ** フィーダのクリーニングを中止する場合は、[中止] を押します。

4

使  
い  
か  
た  
に  
あ  
わ  
せ  
た  
仕  
様  
の  
設  
定

## 4

使いかたにあわせた仕様の設定

# いろいろなジョブの操作と デバイス状況の確認

システムの状況を確認したり、プリントジョブの確認や変更などのしかたについて説明しています。

---

カウンタを確認する .....	5-2
ジョブ状況やデバイス状況を確認する .....	5-4
システム状況画面からの操作 .....	5-5
プリント画面からの操作 .....	5-7
ジョブの詳細情報を確認する .....	5-9
コピー、プリントジョブの詳細情報を確認する .....	5-9
コピー、プリントジョブ履歴をプリントする .....	5-11
優先プリントする .....	5-13
システム状況画面からの操作 .....	5-13
プリント画面からの操作 .....	5-14

# カウンタを確認する

コピーやプリントのカウンタを確認することができます。  
MEAP アプリケーションごとのコピーやプリントなどのカウンタを見ることもできます。

## 1 操作パネルの⊙(カウンタ確認) を押します。



タッチパネルディスプレイにカウンタが表示されます。

## 2 送信/ファクスカウンタ、MEAP カウンタを確認する場合は、次の操作を行います。

### ● 送信/ファクスカウンタを確認する場合

- [送信 / ファクスカウンタ確認] を押します。

[送信 / ファクスカウンタ確認] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合に表示されます。Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[送信カウンタ確認] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、[ファクスカウンタ確認] と表示されます。

- [閉じる] を押します。

### ● MEAP カウンタを確認する場合

- [MEAP カウンタ確認] を押します。
- 表示したいアプリケーションをアプリケーション名ドロップダウンリストから選択します。

アプリケーションのバージョン情報、MEAP システムのバージョン情報などを確認する場合は、[バージョン情報] を押します。

- [閉じる] を押します。

## 3 [閉じる] を押します。

# ジョブ状況やデバイス状況を確認する


[システム状況 / 中止] を押すとシステム状況画面が表示され、コピージョブ、送信ジョブ、ファクスジョブ、プリントジョブ、受信ジョブの状況を確認したり、変更することができます。

例えば、ジョブのプリント優先順位の変更、ジョブの中止、ジョブに関する詳細の確認などを行うことができます。

それぞれのジョブタイプごとに、ジョブリストを表示することにより、現在処理中または待機中のジョブを確認でき、履歴リストを表示することにより、処理済みまたは処理中のジョブを確認できます。また、ファクスの送信と受信に関するレポートをシステム状況画面からプリントすることもできます。

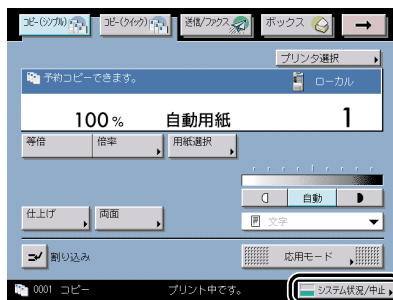
プリントジョブの状況確認や変更は、[プリント] を押して表示されるプリント画面から行うこともできます。

システム状況画面では、本製品の情報をすばやく入手することもできます。カセットやオプションのサイドペーパーデッキにセットされている用紙の残量や本製品のメモリ残量、エラーメッセージなども確認できます。

-  **メモ**
- 部門別 ID 管理や SSO・SDL などのログインサービスを設定している場合、システム管理設定（初期設定 / 登録）の「認証前のジョブ状況の表示」を「OFF」にすることで、ログイン前に [システム状況 / 中止] を押してもデバイス状況画面しか表示されないようにすることができます。（→ システム状況 / 中止の使用制限を設定する（認証前のジョブ状況の表示）：P.6-23）
  - システム管理設定（初期設定 / 登録）のジョブ履歴の表示を「OFF」に設定している場合、下記の項目は表示 / 選択できません。
    - ・システム状況画面：  
受信の（受信ジョブ履歴）[詳細情報]、（受信ジョブ履歴）[リストプリント]  
コピー / 送信 / ファクス / プrintの [ジョブ履歴]
    - ・プリント画面：  
[ジョブ履歴]
  - プリント機能と連携した場合の [プリント] の操作については、プリンタガイドを参照してください。
  - ジョブの確認 / 変更は、リモート UI でも行うことができます。（→ リモート UI ガイド「第 2 章 いろいろな機能の確認 / 管理」）
  - システム状況画面の下に並んでいるキーには、それぞれ緑色と赤色のランプがついています。本製品がジョブを処理している間は、各キーに緑色のランプが点滅し、ジョブ待機中は点灯します。赤色のランプはエラーが発生した場合に点滅します。エラーが発生した場合の対処方法については、「第 8 章 困ったときには」を参照してください。
  - 送信機能を使用するには、オプションの Send 拡張キットを有効にする必要があります。
  - ファクスを使用するには、オプションの FAX ボード（F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備）が必要です。



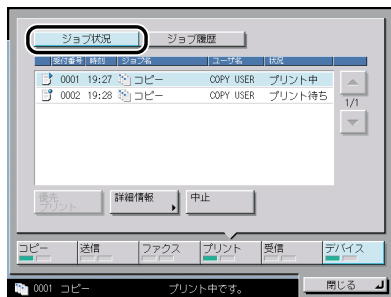
## 1 [システム状況 / 中止] を押します。



読み込み側でリモート／重連コピーを中止する場合は、システム状況の [コピー] から中止します。

## 2 システム状況画面の下に並んでいるキーから、確認または変更するジョブタイプを選択するか、[デバイス] を押して本製品の現在の状況を表示させます。

- ジョブタイプ (コピー、送信、ファクス、プリント、受信) を選択した場合
  - 現在処理中または待機中のジョブを確認するには、[ジョブ状況] を押します。



ここでは、[プリント] を選択しています。

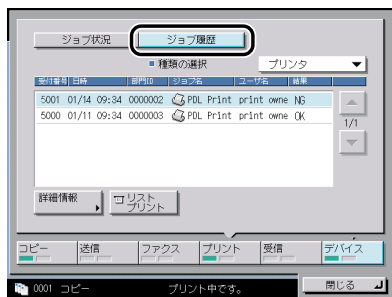
[ファクス] を選択した場合は、[送信ジョブ状況] または [受信ジョブ状況] を押します。

[受信] を選択した場合は、[転送ジョブ状況] を押します。



送信、ファクス、受信ジョブの状況確認の詳細については、送信／ファクスガイド「第8章 送信／受信状況の確認と変更」を参照してください。

- すでに処理済みのジョブを確認するには、[ジョブ履歴] を押します。



プリントのジョブ履歴は、ジョブの種類ごとに保存されています。種類の選択ドロップダウンリストを押したあと、確認するジョブの種類を選択します。

[受信] を選択した場合は、受信ジョブ履歴が最初から表示されています。



メモ

- 受信ジョブは、ジョブ履歴のみ確認できます。
- 画面に表示される以下のアイコンはそれぞれ次の状況を示しています。

アイコン (ジョブ状況)	説明
	実行中
	待機中
	エラー
	中止中
	一時停止中
	セキュア文書
	送信終了

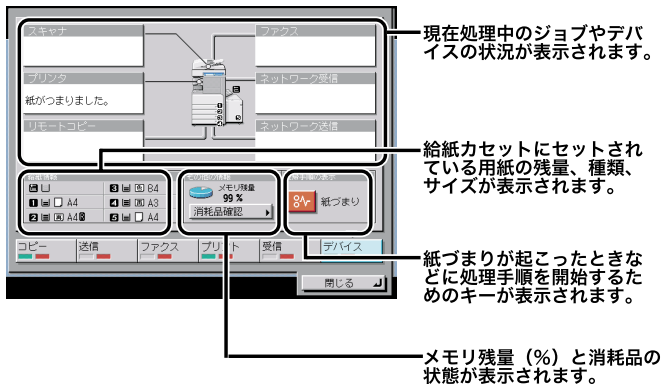
アイコン (ジョブの種類)	説明
	コピージョブ
	送信/ファクスジョブ
	ボックスジョブ
	プリンタジョブ
	レポートジョブ

- ジョブ履歴には、コピー/ファクス/プリントは 100 件、送信/受信はあわせて 100 件のジョブが表示されます。

## 5

## ● デバイスを選択した場合

- 本製品の状況を確認します。



- トナーやステイプル針の残量を確認するには、[消耗品確認] を押します。
- 確認が終了したら、[閉じる] を押します。

**メモ** 残量の表示はおおよその目安です。

## 3 [閉じる] を押します。

# プリント画面からの操作

## 1 [プリント] を押します。



## 2 ジョブ状況やジョブ履歴を確認します。

- 現在処理中または待機中のジョブを確認するには、[ジョブ状況] を押します。



- ☎ **メモ** ログインサービスを利用している場合は、[マイジョブ状況] が表示されます。現在ログインしているユーザのジョブのみ表示されます。

- すでに処理済みのジョブを確認するには、[ジョブ履歴] を押します。



- 種類の選択ドロップダウンリストを押したあと、確認するジョブの種類を選択します。

- ☎ **メモ** 画面に表示されるアイコンは「システム状況画面からの操作」(→ P.5-5) を参照してください。

# ジョブの詳細情報を確認する

ジョブの受付日時やページ数などの、詳細情報を確認します。

- **メモ** ● システム管理設定（初期設定／登録）のジョブ履歴の表示を「OFF」に設定している場合、下記の項目は表示／選択できません。
  - ・システム状況画面：  
受信の（受信ジョブ履歴）[詳細情報]、（受信ジョブ履歴）[リストプリント]  
コピー／送信／ファクス／プリントの [ジョブ履歴]
  - ・プリント画面：  
[ジョブ履歴]
- プリント機能と連携した場合の [プリント] の操作については、プリンタガイドを参照してください。
- プrint画面からの操作は、プリントジョブのみ対象となります。

## コピー、プリントジョブの詳細情報を確認する

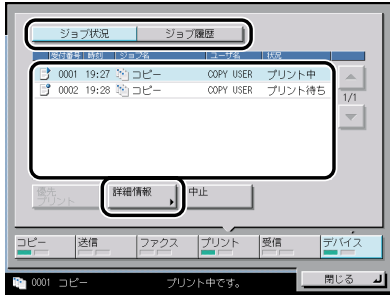
### システム状況画面からの操作

- 1 [システム状況 / 中止] を押したあと、ジョブタイプ（[コピー]、[プリント]）を選択します。



- **重要** ● MEAPアプリケーションの場合は、コピージョブの場合も [プリント] を選択してください。

- 2 [ジョブ状況] または [ジョブ履歴] を押して、詳細を表示するジョブを選択したあと、[詳細情報] を押します。



- 3 詳細情報を確認したあと、基本画面に戻るまで [閉じる] を押していきます。

## プリント画面からの操作

- 1 [プリント] を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「プリント画面からの操作」(→P.5-7)の手順1を参照してください。

- 2 [ジョブ状況] または [ジョブ履歴] を押して、詳細を表示するジョブを選択したあと、[詳細情報] を押します。



- 3 詳細情報を確認したあと、[閉じる] を押します。

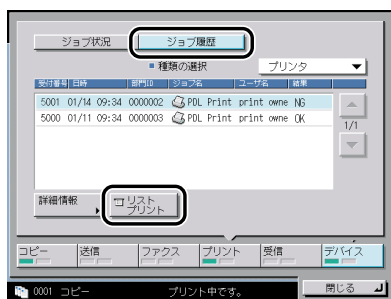
# コピー、プリントジョブ履歴をプリントする

## システム状況画面からの操作


- 1 [システム状況 / 中止] を押したあと、ジョブタイプ ([コピー]、[プリント]) を選択します。

この手順の画面を確認する場合は、「システム状況画面からの操作」(→ P.5-9) の手順 1 を参照してください。

- 2 [ジョブ履歴] → [リストプリント] を押します。




[プリント] を選択した場合は、種類の選択ドロップダウンリストを押して、ジョブの種類を選択したあと、[リストプリント] を押します。

-  **メモ** 共通仕様設定 (初期設定 / 登録) のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。(→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する : P.4-29)

- 3 [はい] を押します。

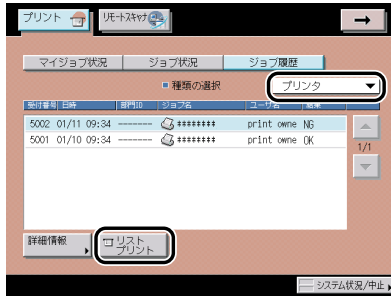
[コピー] の場合は「コピー履歴レポート」、[プリント] の場合は「プリント履歴レポート」がプリントされます。

- 4 [閉じる] を押します。

-  **メモ** コピー履歴レポート、プリント履歴レポートの詳細については、「レポートサンプル」(→ P.9-3) を参照してください。

## プリント画面からの操作

- 1 [プリント] → [ジョブ履歴] を押します。
- 2 種類の選択ドロップダウンリストを押して、ジョブの種類を選択したあと、[リストプリント] を押します。



- 3 [はい] を押します。

5

いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認



# 優先プリントする

優先プリントを行うと、現在プリント中のジョブの次にプリントを開始します。

## システム状況画面からの操作

- 1 [システム状況 / 中止] → [プリント] を押します。
- 2 [ジョブ状況] を押して、優先プリントするジョブを選択したあと、[優先プリント] を押します。



- 3 [閉じる] を押します。

5

いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

## プリント画面からの操作

- 1 [プリント] → [ジョブ状況] を押します。
- 2 優先プリントするジョブを選択したあと、[優先プリント] を押します。



5

いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

# システム管理設定

運用を管理するシステム管理者などを対象とする設定について説明しています。

---

システム管理者情報を設定する（システム管理者情報の設定）.....	6-3
部門別 ID 管理を設定する（部門別 ID 管理）.....	6-5
部門 ID / 暗証番号 / 制限面数の登録.....	6-6
暗証番号と制限面数を変更する.....	6-9
部門を消去する.....	6-10
カウント情報の確認とプリントをする.....	6-11
カウント情報を消去する.....	6-13
ID 不定のプリントジョブ / スキャンジョブを受け付けるかどうかを設定する.....	6-13
リモート UI の設定をする（リモート UI の ON/OFF）.....	6-15
デバイス情報を設定する（デバイス情報の設定）.....	6-16
掲示板を消去する（掲示板の消去）.....	6-17
ネットワークの自動接続 / 切断を設定する（自動オンライン / オフライン移行）... ..	6-18
自動オンライン移行を設定する（自動オンライン移行）.....	6-18
自動オフライン移行を設定する（自動オフライン移行）.....	6-18
日付 / 時刻を設定する（日付 / 時刻設定）.....	6-19
部数印字拡張を設定する（部数印字拡張の設定）.....	6-21
システム状況画面の制限を設定する（システム状況画面の制限）.....	6-23
システム状況 / 中止の使用制限を設定する（認証前のジョブ状況の表示）.....	6-23
プリント状況画面からのセキュアプリントの設定をする（プリント状況からセキュア プリントを許可）.....	6-24
システム状況画面のジョブ履歴の表示を設定をする（ジョブ履歴の表示）.....	6-24
MEAP の設定をする（MEAP 設定）.....	6-26
HTTP サーバを使用するかを設定する（HTTP を使用）.....	6-26
インストールされているアプリケーションの情報を印刷する（システム情報のプリント）..	6-27
機器情報配信の設定をする（機器情報配信の設定）.....	6-29
機器情報の配信先を登録 / 消去する.....	6-31
自動配信の設定をする.....	6-35
手動配信の設定をする.....	6-37
配信元による受信制限を設定する.....	6-38

---

## 6. システム管理設定

---

機器情報のデータを更新前に戻す.....	6-38
配信されたデータの受信を制限する.....	6-39
通信履歴を確認プリントする.....	6-40
データを完全に消去する（全データ/設定の初期化）.....	6-42
ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示する（ID / ユーザ名表示の ON/OFF）	. 6-44
USB の設定をする（USB 設定）.....	6-45
USB デバイスを使用するかどうかを設定する（USB デバイスを使用）.....	6-45
USB ホストを使用するかどうかを設定する（USB ホストを使用）.....	6-45
暗号化セキュアプリントの設定をする（暗号化セキュアプリント設定）.....	6-46
暗号化セキュアプリントジョブのみを受け付けるかどうかを設定する（暗号化セキュア プリントジョブのみを受付）.....	6-46
IC カード使用時に自動でプリントをする（IC カード使用時の自動プリント）.....	6-46
機密情報の入力時に伏せ字で表示する（機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF）	. 6-47
強制地紋印字モードを設定する（強制地紋印字モード）.....	6-48
ユーザボックスの設定をする（ユーザボックス一括設定）.....	6-51
文書の自動消去までの時間を設定する（文書の自動消去までの時間）.....	6-51
プリンタドライバからの保存結果をプリントする（プリンタドライバから保存時のプ リント）.....	6-52
ユーザ定義の用紙種類を登録/編集する（用紙種類の管理設定）.....	6-53
ユーザ定義の用紙種類を登録する.....	6-53
ユーザ定義の用紙種類を編集する.....	6-54
ユーザ定義の用紙種類を消去する.....	6-55

### 6

# システム管理者情報を設定する (システム管理者情報の設定)

本製品のシステム管理者情報を設定します。

システム管理部門 ID を設定すると、システム管理設定モードに対して、制限をかけることができます。

- 重要**
  - カードリーダー-C1 を装着すると、すでに登録済のシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号は消去されます。
  - 設定しているログインサービスによっては、部門別 ID 管理を「OFF」にし、システム管理者を設定していないときは、すべてのユーザが管理者ユーザになる場合があります。
  - ログインサービスとして SDL や SSO を設定している場合、システム管理設定モードは、ユーザタイプによって以下のように制限されます。
    - ・「一般ユーザ」として登録されたユーザは、システム管理部門 ID の設定に関わらず、システム管理設定を変更することができません。
    - ・「管理者」として登録されたユーザは、正しいシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するか、あらかじめユーザ情報として登録しておくことでシステム管理設定を変更することができます。
- メモ**
  - カードリーダー-C1 装着時は、それぞれのカードに割りあてられている数字 (工場出荷時は 1 ~ 1000) をシステム管理部門 ID として登録することができません。
  - 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。
  - システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下ようになります。  
例：「321」と入力 → 「0000321」と設定されます。

- 1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [システム管理者情報の設定] を押します。

## 2 各項目を設定したあと、[OK] を押します。

[システム管理部門 ID] :

[システム管理部門 ID] を押して、システム管理部門 ID として設定または変更する 7 桁以内の数字を **①**～**⑦** (テンキー) で入力します。本製品の操作を管理するために、システム管理部門 ID は必ず設定してください。

[システム管理暗証番号] :

[システム管理暗証番号] を押したあと、システム管理暗証番号として設定または変更する 7 桁以内の数字を、[暗証番号] を押して **①**～**⑦** (テンキー) で入力します。確認のため、[確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字をシステム管理部門 ID または暗証番号として登録することはできません。また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「0000002」として設定されます。

[システム管理者名] :

[システム管理者名] を押して、システム管理者の名称を入力したあと、[OK] を押します。

[メールアドレス] :

[メールアドレス] を押して、システム管理者のメールアドレスを入力したあと、[OK] を押します。

[連絡先] :

[連絡先] を押して、システム管理者の連絡先を入力したあと、[OK] を押します。

[コメント] :

[コメント] を押して、システム管理者のコメントを入力したあと、[OK] を押します。

### メモ

- **③** (クリア) を押すと、入力した文字 (数字) を取り消すことができます。
- システム管理設定 (初期設定 / 登録) の機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF を「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→ 機密情報の入力時に伏せ字で表示する (機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF) : P.6-47)

# 部門別 ID 管理を設定する (部門別 ID 管理)

1つの部門に対して7桁の部門IDと部門IDごとの暗証番号を登録することにより、番号を入力した場合のみ本製品が使えるように設定することができます。この機能を部門別ID管理と呼びます。部門IDと暗証番号は1000部門まで登録でき、部門ごとのコピー/スキャン/プリントのカウントを確認できます。

ここでは、以下の設定/登録、およびカウント情報の確認を行います。

- 部門別ID管理をするかしないかの設定
- 部門IDと暗証番号の登録
- スキャン、プリント、およびコピーの制限面数の設定
- ボックス、送信/ファクス、およびリモートスキャン機能を部門別ID管理の対象とするかしないかの設定(コピー機能は部門別ID管理が設定されていれば自動的に対象となります)
- コピー/スキャン/プリントの制限の設定

**重要** ● SSOのドメイン認証(「ドメイン認証+ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用している場合も含む)と部門別ID管理を同時に使うためには、オプションのimageWARE Accounting Managerが必要です。imageWARE Accounting Managerと連携していない状態でログインサービスにSSOのドメイン認証を設定している場合は、部門別ID管理を「ON」にしないでください。ログインできなくなります。

● SSOのドメイン認証を使用しているときに部門別ID管理を「ON」にしてログインできなくなった場合は、一度ログインサービスをDefault Authenticationに変更して部門別ID管理を「OFF」にしてください。ログインサービスを設定する方法は、MEAPアプリケーション管理機能ガイド「第3章 MEAPシステムの管理」を参照してください

● オプションのカードリーダー-C1を装着し、ログインサービスにDefault AuthenticationまたはSDLを設定している場合は、コントロールカードで部門別ID管理を行います。(→カードリーダー-C1:P.3-41)

● ログインサービスにSDLやSSOを設定している場合は、登録されているユーザ名に対応した部門IDに対して、部門別ID管理を行います。

● SDLおよびSSOのローカルデバイス認証に登録している情報と部門別ID管理のユーザ情報とパスワードを一致させる必要があります。機器情報配信などによって、登録されている部門ID/暗証番号が変わった場合は、SDLおよびSSOのローカルデバイス認証のユーザ情報もあわせて変更してください。SDLおよびSSOのローカルデバイス認証のユーザ情報の設定については、「MEAP認証システム設定ガイド」を参照してください

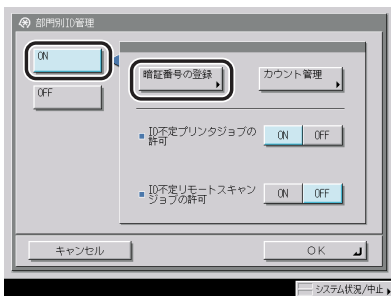
● ログインサービスにSDLやSSOを設定している場合は、ファンクション制限の設定はご使用になれません。

**メモ** ● 部門IDや暗証番号は7桁まで登録できます。7桁に満たない場合は以下ようになります。例:「321」と入力→「0000321」と設定されます。

● 本製品では、部門別ID管理以外にもSDL(Simple Device Login)やSSO(Single Sign-On)を使ってユーザの情報を管理することができます。

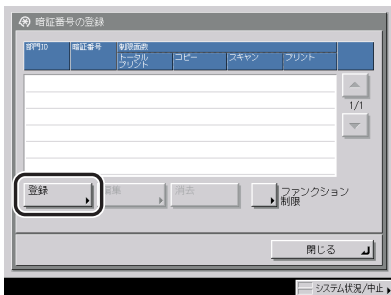
## 部門 ID / 暗証番号 / 制限面数の登録

- 1 **◎** (初期設定 / 登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [ON] → [暗証番号の登録] を押します。



暗証番号を登録しない場合は、手順 10 へ進みます。

- 3 [登録] を押します。

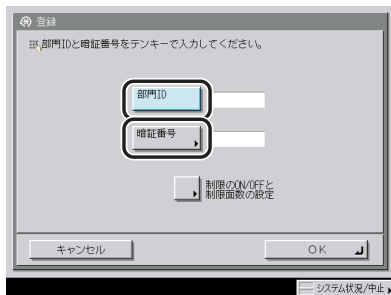


6

システム管理設定



## 4 部門 ID と暗証番号を①～⑨(テンキー) で入力します。



- [部門 ID] を押したあと、部門 ID を入力します。
- [暗証番号] を押します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。
- [確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字を登録することはできません。また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「000002」として設定されます。



メモ

- (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 暗証番号を登録しない場合は、部門IDを入力しただけで、本製品が使えるようになります。
- システム管理設定(初期設定/登録)の機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF を「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→ 機密情報の入力時に伏せ字で表示する(機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF) : P.6-47)

## 5 [制限の ON/OFF と制限面数の設定] を押します。

### 6 制限面数を設定します。

- 面数を制限する項目の [ON] を押します。

制限を解除する場合は、[OFF] を押します。



メモ

「トータルプリント」は「コピー」と「プリント」の制限面数の合計です。

- 面数を制限する項目の [ ] を押したあと、①～⑨(テンキー) で制限面数を入力します。



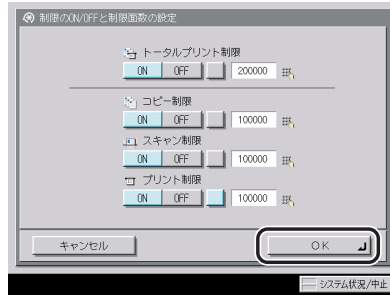
重要

- ファクス送信中に、「スキャン制限」が制限面数に達した場合、送信は中止されます。
- フィーダからの原稿読み込み中にスキャン制限が上限に達した場合、ジョブは中止されず(読み込まれた分のスキャンはカウントされません)。



- (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 制限面数の入力範囲は 0～999999 です。設定した数値を超えるコピー／スキャン／プリントはできません。
- 制限面数とは、プリント面に対しての数です。1 枚の用紙に両面プリントした場合は面数は 2 になります。

□ [OK] → [OK] を押します。



**7** 特定の機能を制限する場合は、[ファンクション制限] を押します。

**8** コピー以外で部門別 ID 管理の対象とするファンクションを選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : すべての機能が部門別 ID 管理の対象になります。

[OFF] : プリント機能のみ部門別 ID 管理の対象になります。

[送信 / ファクス] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボード (F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備) を装着している場合に表示されます。Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[送信] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、[ファクス] と表示されます。

**9** [閉じる] を押します。

**10** [OK] を押します。



手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

## 暗証番号と制限面数を変更する

登録されている暗証番号と制限面数を変更します。

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [ON] → [暗証番号の登録] を押します。
- 3 [▼] [▲] を押して、暗証番号を変更する部門を表示させて選択したあと、[編集] を押します。



[▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

### 4 ①～⑨(テンキー) で暗証番号を入力します。

- [暗証番号] を押します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。
- [確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字を暗証番号として登録することはできません。また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「000002」として設定されます。



- ①(クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 部門 ID の変更はできません。
- システム管理設定(初期設定/登録)の機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF を「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→ 機密情報の入力時に伏せ字で表示する(機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF) : P.6-47)

**5** [制限の ON/OFF と制限面数の設定] を押します。

**6** 必要に応じて制限面数を変更します。

- 対象とする項目の [ON] を押します。
- 対象とする項目の [□] を押したあと、①～⑨ (テンキー) で制限面数を入力します。
- [OK] → [OK] を押します。

項目ごとに制限の ON/OFF を切り替えることもできます。



- ① (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 制限面数の入力範囲は 0 ~ 999999 です。設定した数値を超えるプリントはできません。
- 制限面数とは、プリント面に対しての数です。1 枚の用紙に両面プリントした場合は面数は 2 になります。

**7** [閉じる] → [OK] を押します。



- 手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

## 部門を消去する

登録されている部門を消去します。



- カードリーダー -C1 で部門別 ID 管理をしている場合は、部門 ID の消去はできません。

**1** ④ (初期設定 / 登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

**2** [ON] → [暗証番号の登録] を押します。

- 3 [▼] [▲] を押して、消去する部門を表示させて選択したあと、[消去] を押します。



- メモ** [▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

- 4 [はい] を押します。

- 5 [閉じる] → [OK] を押します。

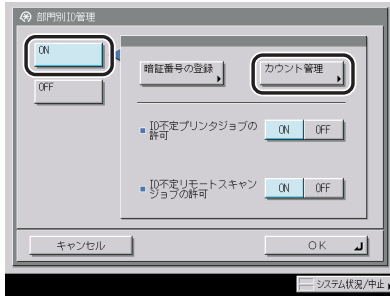
- メモ** 手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

## カウント情報の確認とプリントをする

部門ごとに使用したプリント面数のカウントを表示したり、リストをプリントすることができます。

- 1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

## 2 [ON] → [カウント管理] を押します。




## 3 カウントの確認、またはプリントをします。

部門 ID が空欄（表示なし）のプリント面数は部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリント（ID 不定ジョブ）です。

部門 ID が空欄（表示なし）のスキャン面数は部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャン（ID 不定ジョブ）です。

### ● 確認だけの場合


[▼] [▲] を押して任意の部門を表示させたあと、内容を確認します。

 **メモ** [▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

### ● 表示されているカウントをプリントする場合


[カウントプリント] を押します。

[はい] を押します。

 **メモ**


- プリントを中止する場合は、[中止] を押します。
- プリント中の画面を閉じる場合は、[閉じる] を押します。
- 共通仕様設定（初期設定／登録）のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所には、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。（→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-29）

## 4 [閉じる] → [OK] を押します。

 **メモ** 手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

## カウント情報を消去する

登録されている部門のカウント数を消去します。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

**2** [ON] → [カウント管理] を押します。


この手順の画面を確認する場合は、「カウント情報の確認とプリントをする」(→ P.6-11)の手順 2 を参照してください。

**3** [オールクリア] を押します。

部門ごとに消去したい場合は、[▼] [▲] を押して、消去したい部門を表示させて選択したあと、[クリア] を押します。


**4** [はい] を押します。


**5** [閉じる] → [OK] を押します。

 **メモ** 手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

## ID 不定のプリントジョブ/スキャンジョブを受け付けるかどうかを設定する

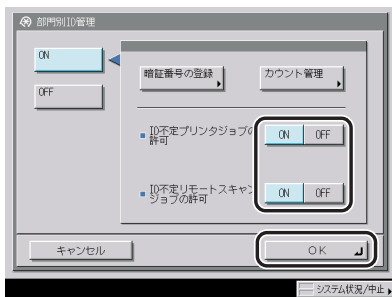
部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントやパソコンからのリモートスキャンなどをさせるか、させないかの設定をします。

 **メモ** [ID 不定プリンタジョブの許可]、[ID 不定リモートスキャンジョブの許可] は、プリンタ機能、リモートスキャン機能を装備している場合のみ設定が有効になります。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

**2** [ON] を押します。

### 3 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



< ID 不定プリンタジョブの許可 > :

[ON] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントを行います。

[OFF] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントは行いません。

< ID 不定リモートスキャンジョブの許可 > :

[ON] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行います。

[OFF] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行いません。





手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。



# リモート UI の設定をする (リモート UI の ON/OFF)

リモート UI を使用して本製品の設定や操作を可能にするかどうかの設定をします。

 **メモ** リモート UI の詳しい内容については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [リモート UI の ON/OFF] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON] : リモート UI からの設定を有効にします。

[OFF] : リモート UI からの設定を無効にします。

● [ON] を選択した場合

[ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。


< SSL を使用 > :

[ON] : SSL のセキュア通信を使用します。

[OFF] : SSL のセキュア通信を使用しません。

● [OFF] を選択した場合

[OK] を押します。

 **メモ**

- 「ON」に設定するには、ネットワーク設定 (初期設定/登録) で、あらかじめ使用鍵設定を行う必要があります。(→ ネットワークガイド 「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用する」)
- 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。
- 「SSL を使用」の設定変更は、MEAP 設定 (システム管理設定) の「HTTP を使用」にある「SSL を使用」にも適用されます。

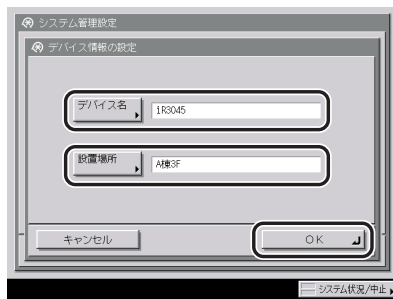
# デバイス情報を設定する (デバイス情報の設定)


本製品の名称と設置されている場所を設定します。

1 ④ (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [デバイス情報の設定] を押します。

2 本製品の名称と設置場所を登録します。

- [デバイス名] を押して、本製品の名称を入力したあと [OK] を押します。
- [設置場所] を押して、本製品の設置場所を入力したあと、[OK] を押します。
- [OK] を押します。




 **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。


# 掲示板を消去する（掲示板の消去）

---

「掲示板」とは、ネットワーク管理者が、リモート UI から本製品の使用者に知らせておきたい内容などをメッセージにして、タッチパネルディスプレイに表示する機能です。掲示板の設定はリモート UI から行いますが、メッセージの消去は本製品からも行うことができます。


 **メモ** メッセージを作成する方法については、リモート UI ガイド「第 3 章 使いかたにあわせた設定」を参照してください。

---

- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [掲示板の消去] を押します。
- 2 [はい] を押します。


# ネットワークの自動接続／切断を設定する（自動オンライン／オフライン移行）

リモートスキャン機能などを使用する場合、ネットワークをオンラインに切り替える必要があります。ここでは、オンライン／オフラインの切り替え方法を設定します。

-  **メモ**
- 自動オンライン／オフライン移行は、オプションの LIPS LX プリンタ&スキャナキット (Fモデルは標準装備) を有効にした場合のみ表示されます。
  - リモートスキャン機能については、「Network ScanGear ユーザーズガイド」を参照してください。


## 自動オンライン移行を設定する（自動オンライン移行）


自動オンライン移行を「ON」に設定すると、基本画面の [リモートスキャナ] を押すだけで、自動的にネットワークをオンラインに切り替えることができます。

- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [自動オンライン / オフライン移行] → [自動オンライン移行] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

## 自動オフライン移行を設定する（自動オフライン移行）

ネットワークがオンラインの状態では、コピー、ボックスでの読み込みなどの操作を行うことができない場合があります。自動オフライン移行を「ON」に設定しておくと、本製品は自動的にオフラインに移行します。


- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [自動オンライン / オフライン移行] → [自動オフライン移行] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

-  **メモ**
- 「ON」に設定した場合は、タイマー設定（初期設定／登録）のオートクリアタイムで設定した時間が経過すると、自動的にオフラインに移行します。オートクリアをしない (0分) に設定してある場合は約 2 分でオフラインに移行します。(→ オートクリアタイムの設定をする : P.4-52)

# 日付／時刻を設定する（日付／時刻設定）


現在の日付と時刻を設定します。設定した時刻と日付は、時刻指定機能の基準時刻になります。



- GMT：グリニッジ標準時を GMT（Greenwich Mean Time）と呼びます。
- タイムゾーン：世界の地域別標準時間帯は、GMT（±0 時）からの時差（±12 時間以内）を使用して各国の標準時間帯としています。この時差を使用している地域をタイムゾーンといいます。日本の標準時はこれより 9 時間先行しているため、[GMT+09:00] を設定します。
- サマータイム：国によっては、夏季に時間を進める夏時間を採用しています。この夏時間をサマータイムと呼びます。

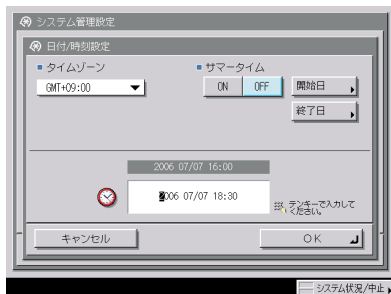
 **メモ** 初期設定／登録の設定によって、ネットワーク上のサーバとの日付／時刻あわせを自動的に行うこともできます。（→ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」）

6

システム管理設定

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [日付／時刻設定] を押します。


2  ~  (テンキー) で、現在の日付（西暦、月、日）と時刻を入力します。



年は西暦の 4 桁を入力します。

月日、時刻は 0 を含む数字 4 桁を入力します。時刻の表示形式は 24 時間制です。

例： 5 月 6 日 → 0506  
7 時 5 分 → 0705  
23 時 18 分 → 2318


 **メモ** 入力を間違えたときは、Ⓞ(クリア) を押して、西暦から入力しなおしてください。

● **タイムゾーンを設定する場合**

- タイムゾーンドロップダウンリストを押したあと、タイムゾーンを選択します。

● **サマータイムを設定する場合**

- [ON] → [開始日] を押します。
- 月、日のドロップダウンリストを押したあと、設定する項目を選択します。
- [-] [+] を押して時刻を設定したあと、[OK] を押します。
- [終了日] を押して、開始日と同じように終了日の設定をしたあと、[OK] を押します。

 **メモ** サマータイムを設定すると、開始日から終了日までの一定期間、本製品の基準時刻を自動的に1時間進めることができます。

**3** [OK] を押します。

**6**

# 部数印字拡張を設定する (部数印字拡張の設定)

部数印字拡張から、コピーモード、ボックスモードの「部数印字」機能の詳細を設定することができます。「部数印字」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

1 ⑧(初期設定／登録) → [システム管理設定] → [部数印字拡張の設定] を押します。

2 部数印字拡張の [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON] : [全面に印字]、[5 箇所]に印字] がグレーアウトして、選択することができません。

印字サイズは次のようになります。

[小] : 10.5 ポイント [中] : 12 ポイント [大] : 14 ポイント

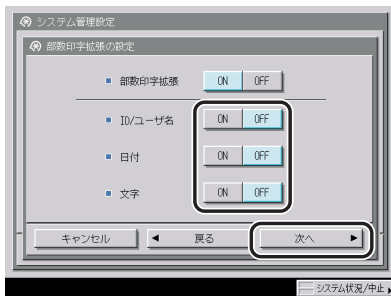
[OFF] : [全面に印字]、[5 箇所]に印字] を選択することができます。

印字サイズは次のようになります。

[小] : 12 ポイント [中] : 24 ポイント [大] : 36 ポイント

## ● [ON] を選択した場合

各項目の [ON] または [OFF] を選択したあと、[次へ] を押します。



< ID /ユーザ名 > :

[ON] : 部門管理 ID を印字します。部門 ID 管理以外のログインサービスを使用している場合はユーザ名を印字します。

[OFF] : ユーザ名を印字します。

< 日付 > :

[ON] : 日付を印字します。

[OFF] : 日付を印字しません。

<文字> :

[ON] : 任意の文字列を印字します。

[OFF] : 文字列を印字しません。

- 日付を [ON] に設定している場合は、日付（年月日の表示形式）の設定を選択したあと、[次へ] を押します。

[OFF] に設定している場合は、次の手順に進みます。

- 文字を [ON] に設定している場合は、[入力] を押して印字する文字列を入力したあと、[OK] → [次へ] を押します。

[OFF] に設定している場合は、次の手順に進みます。

共通仕様設定（初期設定／登録）のページ印字／スタンプの文字列登録で登録した文字列から選択することもできます。

- 文字列のそろえかたを選択したあと、[OK] を押します。

- [OFF] を選択した場合

- [OK] を押します。

## 6




# システム状況画面の制限を設定する（システム状況画面の制限）

システム状況画面での操作を制限するかどうかの設定をします。

## システム状況／中止の使用制限を設定する（認証前のジョブ状況の表示）

ログインサービスを利用している場合に、システム状況画面の使用を制限することができます。


**1**  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [システム状況画面の制限] → [認証前のジョブ状況の表示] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

「認証前のジョブ状況の表示」を [OFF] に設定した場合

○：表示 ×：非表示

部門別 ID 管理や SSO・SDL などの ログインサービス	システム状況画面	
	プリント、コピー、送信、ファクス、受信画面	デバイス状況画面
ログイン前	×	○
ログイン後	○	○

 **重要** ログインサービスを利用していない場合は、「OFF」に設定してもシステム状況画面の使用は制限されません。

## プリント状況画面からのセキュアプリントの設定をする（プリント状況からセキュアプリントを許可）

プリントのジョブ状況画面からのセキュアプリントをするかどうかを設定します。

- 1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [システム状況画面の制限] → [プリント状況からセキュアプリントを許可] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

## システム状況画面のジョブ履歴の表示を設定をする（ジョブ履歴の表示）

システム状況画面のジョブ履歴を表示するかどうかを設定します。

- 1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [システム状況画面の制限] → [ジョブ履歴の表示] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON] : ジョブ履歴を表示します。

[OFF] : ジョブ履歴を表示しません。

「OFF」に設定している場合、下記の項目は表示/選択できません。

- システム状況画面 : 受信の（受信ジョブ履歴）[詳細情報]、（受信ジョブ履歴）[リストプリント]  
コピー/送信/ファクス/プリントの [ジョブ履歴]
- プrint画面 : [ジョブ履歴]

- [ON] を選択した場合  
 [OK] を押します。

● **【OFF】 を選択した場合**

- (管理ソフトからのジョブ履歴取得) [許可する] または [許可しない] を選択したあと、[OK] を押します。

<管理ソフトからのジョブ履歴取得> :

[許可する] : 管理ソフトが行うジョブ履歴の集計を許可する

[許可しない] : 管理ソフトが行うジョブ履歴の集計を許可しない


# MEAP の設定をする (MEAP 設定)

MEAP に関する設定を行います。

## HTTP サーバを使用するか設定する (HTTP を使用)

Web ブラウザから本製品にアクセスして MEAP 機能を使用する場合に設定します。

- 重要**
  - SDL でユーザ管理/設定を行う場合には「ON」に設定してください。
  - SSO のローカルデバイス認証のユーザ管理を行う場合は「ON」に設定してください。
  - SSO のユーザ認証方式 (ドメイン認証、ドメイン認証+ローカルデバイス認証、ローカルデバイス認証) を変更する場合には「ON」に設定してください。
  - リモート UI を使用する場合は、「ON」に設定してください。
- メモ**
  - MEAP 機能や MEAP アプリケーションが HTTP を使用する場合に設定します。MEAP 機能以外で HTTP を使用する場合は、ネットワーク設定の「HTTP を使用」を「ON」に設定してください。(→ネットワークガイド「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用する」)
  - ネットワーク設定の「HTTP を使用」を「ON」に設定している場合、MEAP 機能や MEAP アプリケーションが使用する HTTP のポート番号は「8000」になります。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [MEAP 設定] → [HTTP を使用] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON] : HTTP を使用します。

[OFF] : HTTP を使用しません。

● [ON] を選択した場合

[ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

< SSL を使用 > :

[ON] : SSL のセキュア通信を使用します。

[OFF] : SSL のセキュア通信を使用しません。

● [OFF] を選択した場合

[OK] を押します。



- 「ON」に設定するには、ネットワーク設定（初期設定／登録）で、あらかじめ使用鍵設定を行う必要があります。（→ ネットワークガイド「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用する」）
- 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」（→ P.1-15）を参照してください。
- 「SSL を使用」の設定変更は、リモート UI の ON/OFF（システム管理設定）にある「SSL を使用」にも適用されます。

## インストールされているアプリケーションの情報を印刷する (システム情報のプリント)

MEAP 上にインストールされているアプリケーション、および一部のシステムアプリケーションの情報を印刷することができます。



この情報はレポートプリントとして印刷されます。

**1** (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [MEAP 設定] → [システム情報のプリント] を押します。

**2** [はい] を押します。

```

*****
*** System Information ***
*****
MEAP Specifications : 5,6,7,9,10,11,13
MEAP Contents : 00.40

Application Name : DSL Installer Service
Application ID/System Application Name : 2ca34a18-7f8a-4fd9-8de9-511e2963b733
Application Version : 2.1.1
Status : Active
Installed on : Fri Sep 15 03:31:33 GMT-04:00 2006
Vendor : Canon Inc.
License Status : Installed
Maximum Memory Usage : 1500
Registered Service :

```

アプリケーションごとにプリントされる項目は以下のとおりです。

- MEAP Specifications : MEAP の機能を示す情報が印刷されます。
- MEAP Contents : MEAP のバージョンが印刷されます。
- Application Name : アプリケーションの名称が印刷されます。
- Application ID/System Application Name : システムアプリケーションの場合はファイル名、一般のアプリケーションの場合はアプリケーション ID が印刷されます。
- Application Version : アプリケーションのバージョン名が印刷されます。
- Status : アプリケーションの状態が印刷されます。

・ Installed :	インストール済み
・ Active :	起動中
・ Stopped :	停止中
● Installed on :	アプリケーションをインストールした日時が印刷されます。
● Vendor :	アプリケーションの開発メーカー名が印刷されます。
● License Status :	ライセンスの状態が印刷されます。
・ Installed :	インストール済み
・ Invalid :	失効
・ Overlimit :	超過
● License Expires After :	ライセンス期限が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
● License Upper Limit :	カウンタごとの上限枚数が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
● Counter Value :	カウンタごとの現在値が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
● Maximum Memory Usage :	アプリケーションの最大メモリ使用量が印刷されます。印刷された数値の単位は K バイトです。
● Registered Service :	アプリケーションから MEAP のシステムに登録しているサービスが印刷されます。該当するデータがない場合は印刷されません。



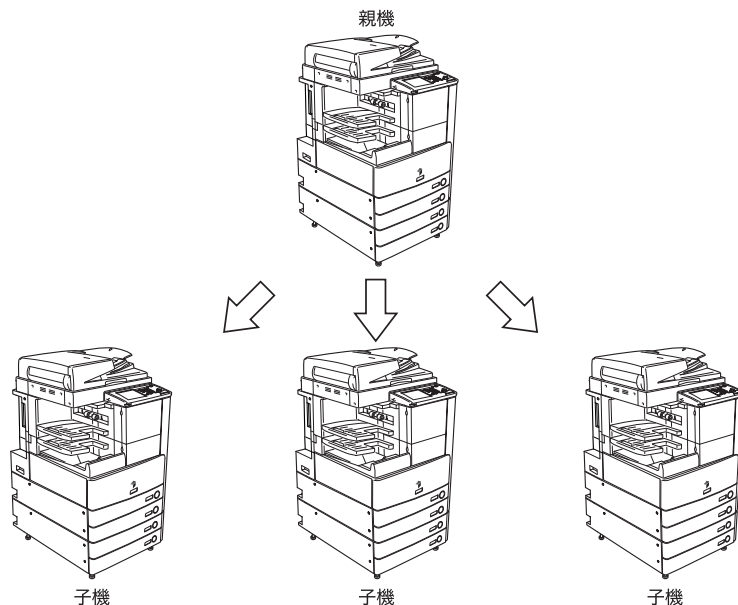
## メモ

- プリントされる項目は製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
- プリントサンプルは、「PortalService」というアプリケーションがインストールされている状態のものです。「PortalService」は MEAP Administration Software CD-ROM に入っているファイルを使用して、インストールすることができます。

# 機器情報配信の設定をする（機器情報配信の設定）

ネットワーク上に接続されている複数の imageRUNNER/Color imageRUNNER シリーズ（以下、iR 機と呼びます。）間では、1 台の親機に機器情報（管理データ）を登録するだけで子機に同じ情報を配信することができます。機器情報を配信された子機は、情報を受信して、更新します。機器情報を登録する手間や時間を省くことができ、複数の iR 機を同時に管理、運用することができます。

本製品は、機器情報を配信または受信することができます。



配信できる機器情報は以下のとおりです。

配信項目	配信内容	備考
宛先表	宛先表、転送設定、定型業務ボタンの設定	<ul style="list-style-type: none"><li>既に登録されている宛先をすべて消去してから、配信されたデータの内容が登録されます。</li><li>宛先表の配信、受信は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボード（F モデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備）を装着している場合のみ利用できます。</li></ul>

配信項目	配信内容	備考
部門 ID	システム管理者設定、 部門別 ID 管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>子機にだけ存在する部門 ID は消去されます。</li> <li>子機に同じ部門 ID がある場合は、パスワード、カウンタ上限値の上書きを行います。カウンタ値の上書きは行いません。</li> <li>親機にあって、子機にない部門 ID の場合は、部門 ID、パスワード、カウンタ上限値の追加を行います。カウンタ値は初期化して登録されます。</li> <li>親機と子機で、カードリーダー-C1 の装着状態が異なる場合は、システム管理者情報の設定のみ配信が行われず。</li> </ul>
プリンタ仕様設定	プリンタ仕様設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>配信されない項目もあります。詳しくは、「プリンタガイド」を参照してください。</li> </ul>
初期設定／登録の 設定値	上記以外の初期設定 ／登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>配信されない項目もあります。詳しくは、「初期設定／登録一覧表」（→ P.4-5）を参照してください。</li> <li>パスワード付きボックスの情報は配信されません。また、子機側のパスワード付きボックスの情報も上書きされません。</li> <li>初期設定／登録の設定値と宛先表を同時に配信しないと、ボックス仕様設定の「URL 送信設定」は設定内容が消えてしまうことがあります。</li> </ul>

**注意** 配信の準備および受信後の更新に数分かかることがあります。これらの動作が完了するまで、本製品の主電源は切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。


- 重要**
- この機能は同一機種グループ間（iR3045/iR3045F、iR3035/iR3035F、iR3025/iR3025F）で有効です。ただし、オプションの装着状態によっては、一部の情報は正常に配信されない場合があります。
  - この機能は、受信側設定の「配信元による受信制限」を「OFF」にした場合、同一機種グループ以外からの配信を受け付けます。（→ 配信元による受信制限を設定する：P.6-38）ただし、一部の情報は正常に配信されない場合があります。
  - 子機側で親機とは異なるシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を登録している場合、子機に機器情報は配信されません。

**メモ** IP アドレスなどの固有の情報は配信されません。




## 機器情報の配信先を登録／消去する

機器情報の配信先を登録／消去します。

 **メモ** 配信先は、100 件まで登録することができます。

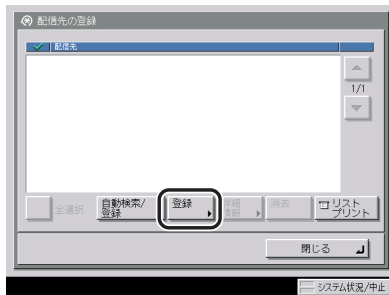
### 機器情報の配信先を登録する

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定]  
→ (配信側設定) [配信先の登録] を押します。


2 配信先を登録します。

#### ● 手動で登録する場合

[登録] を押します。



IP アドレスまたは FQDN (starfish.organization.company.com のような形式) を入力したあと、[OK] を押します。

 **メモ**

- 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。
- 登録する配信先が以下の場合、「登録するデバイスの詳細情報が取得できませんでした。配信先として登録しますか？」というメッセージが表示されます。[はい] を押すと、詳細情報の「配信が可能なもの」が空欄で登録されます。
  - ・電源が OFF になっている
  - ・ネットワークに接続されていない
  - ・機能毎受信制限がすべて「ON」に設定されている

#### ● 自動検索で登録する場合

[自動検索 / 登録] を押します。

[自動検索開始] を押します。

検索の深さ (ルータ) を設定する場合は、[-] [+ ] を押します。



- 検索時にはSLPプロトコルを使用しているため、ルータの設定がSLPプロトコルの通過を禁止している場合は、検索の深さを増やしても検索範囲は広がりません。
- 検索する配信先が以下の場合は、検索できません。
  - ・電源がOFFになっている
  - ・ネットワークに接続されていない
  - ・使用鍵設定をしていない
  - ・機能毎受信制限がすべて「ON」に設定されている

□ 登録する配信先を選択したあと、[OK] を押します。



配信先をすべて選択するには、[全選択] を押します。(配信先を選択しているときは、[選択解除] に変わります。)



- 選択した配信先を解除する場合は、もう一度配信先を選択してチェックマークを解除します。
- 配信先の選択をすべて解除するには、[選択解除] を押します。(このとき [選択解除] は、[全選択] に変わります。)

**3** [閉じる] を押します。

## 機器情報の配信先の設定状況を確認する


- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [配信先の登録] を押します。

## 2 確認する配信先を選択したあと、[詳細情報] を押します。



## 3 詳細情報を確認したあと、[OK] を押します。

配信先の機能毎受信制限の設定を変更した場合などは、[情報の取得] を押して、情報を更新します。

-  **メモ** 確認する配信先が以下の場合、詳細情報の「配信可能なもの」が空欄で表示されます。
- ・電源が OFF になっている
  - ・ネットワークに接続されていない
  - ・機能毎受信制限がすべて「ON」に設定されている

## 機器情報の配信先を消去する

### 1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [配信先の登録] を押します。

### 2 消去する配信先を選択したあと、[消去] を押します。



配信先をすべて選択するには、[全選択] を押します。(配信先を選択しているときは、[選択解除] に変わります。)

- **メモ** 選択した配信先を解除する場合は、もう一度配信先を選択してチェックマークを解除します。
- 配信先の選択をすべて解除するには、[選択解除] を押します。(このとき [選択解除] は、[全選択] に変わります。)

### 3 [はい] を押します。

## 機器情報の配信先をプリントする

- **メモ** 機器情報配信先リストの詳細については、「機器情報配信先リスト」(→ P.9-5) を参照してください。

### 1 ⑧(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [配信先の登録] を押します。

### 2 [リストプリント] を押します。



- **メモ** 共通仕様設定 (初期設定/登録) のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所に、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。(→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する : P.4-29)

### 3 [はい] を押します。

## 自動配信の設定をする

指定した時刻になると、自動的に機器情報を配信するように設定できます。また、配信する情報を指定することができます。

- 重要**
- 機器情報の配信時、次のような状態にある子機は機器情報の更新を行いません。
    - ・送信ジョブの動作中
    - ・リモート UI からのインポート/エクスポート中
    - ・初期設定/登録の操作中
  - 上記に加え、宛先表を操作中の子機または送信ジョブ動作中の子機は宛先表の更新を、プリントジョブ動作中の子機はプリンタ仕様設定の更新を行いません。
  - 電源断やネットワーク障害のため機器情報を受信できなかった子機は、復旧後の最初の自動配信まで機器情報は更新されません。

**メモ** 自動配信の指定時刻になっても、本製品がシャットダウンモードのシャットダウン実行中の場合、配信は行いません。

**1** **Ⓞ**(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [自動配信設定] を押します。

**2** [毎日指定]、[曜日指定] または [指定しない] を選択します。

● [毎日指定] を選択した場合

- 番号 ([1] ~ [5]) を押して、開始時刻を **Ⓞ**~**Ⓞ**(テンキー) で入力したあと、[次へ] を押します。



自動配信の開始時刻を、5 時刻まで設定できます。

時刻の表示形式は 24 時間制です。時刻は 0 を含む 4 桁の数字を入力します。

例： 7 時 5 分 → 0705

2 3 時 1 8 分 → 2318

入力を間違えたときは、再度 4 桁の数字を入力します。

### ●【曜日指定】を選択した場合

- 曜日（[日]～[土]）を選択して、番号（[1]～[5]）を押します。
- 開始時刻を①～⑤（テンキー）で入力したあと、[次へ]を押します。



曜日ごとに自動配信の開始時刻を、5 時刻まで設定できます。

時刻の表示形式は 24 時間制です。時刻は 0 を含む 4 桁の数字を入力します。

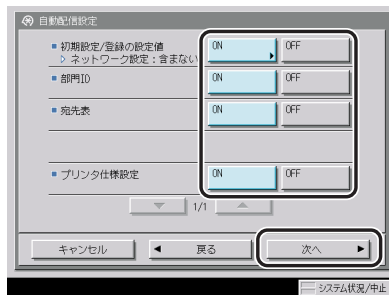
例：        7 時 5 分        → 0705  
           2 3 時 1 8 分    → 2318

入力を間違えたときは、再度 4 桁の数字を入力します。

### ●【指定しない】を選択した場合

- [OK] を押します。

## 3 配信する機器情報の【ON】または【OFF】を選択したあと、[次へ]を押します。



選択する項目

[ON]： データを配信します。

[OFF]： データを配信しません。

<ネットワーク設定>：


初期設定／登録の設定値を「ON」にした場合に選択します。ネットワーク設定を配信する場合は [含む]、配信しない場合は [含まない] を選択したあと、[閉じる] を押します。

## 4 配信先を選択したあと、[OK] を押します。

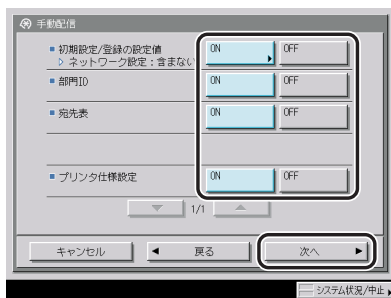
### 手動配信の設定をする

機器情報を手動で配信します。

- 重要**
- 機器情報の配信時、次のような状態にある子機は機器情報の更新を行いません。
    - ・送信ジョブの動作中
    - ・リモート UI からのインポート/エクスポート中
    - ・初期設定/登録の操作中
  - 上記に加え、宛先表を操作中の子機または送信ジョブ動作中の子機は宛先表の更新を、プリントジョブ動作中の子機はプリンタ仕様設定の更新を行いません。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [手動配信] を押します。

2 配信する機器情報の [ON] または [OFF] を選択したあと、[次へ] を押します。



選択する項目

[ON] : データを配信します。

[OFF] : データを配信しません。

<ネットワーク設定> :

初期設定/登録の設定値を「ON」にした場合に選択します。ネットワーク設定を配信する場合は [含む]、配信しない場合は [含まない] を選択したあと、[閉じる] を押します。

3 配信先を選択したあと、[手動配信スタート] を押します。

配信を中止する場合は、[中止] を押します。



[中止] を押しても、配信中的子機への配信は中止されません。次の子機以降の配信が中止されます。

## 4 配信が終了したら、画面の「状況」欄で配信結果を確認します。

### 配信元による受信制限を設定する

iR3045/iR3035/iR3025 シリーズ以外で、機器情報配信機能を持つ機種からの機器情報の配信を受けつけるかどうかの設定をします。

1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (受信側設定) [配信元による受信制限] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : 同一機種グループ以外からの機器情報の配信を受け付けません。

[OFF] : 同一機種グループ以外からの機器情報の配信を受け付けます。

### 機器情報のデータを更新前に戻す

機器情報を誤って更新してしまった場合などに、更新前のデータに戻すことができます。

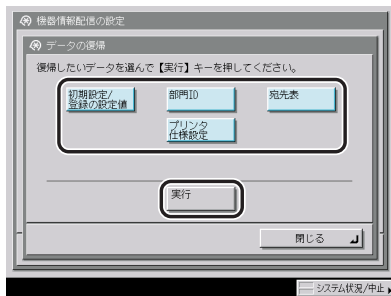


戻すことができるのは、更新されたデータの1つ前のみです。

1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (受信側設定) [データの復帰] を押します。



## 2 復帰させる項目を選択したあと、[実行] を押します。



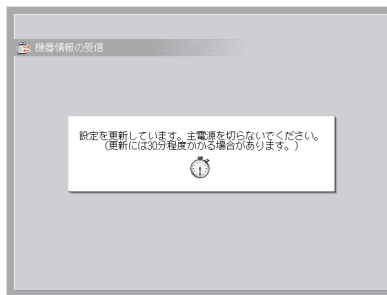
- 重要** 初期設定/登録の設定値と宛先表を同時にデータ復帰させないと、ボックス仕様設定の「URL送信設定」は設定内容が消えてしまうことがあります。

## 3 [はい] を押します。

### 配信されたデータの受信を制限する

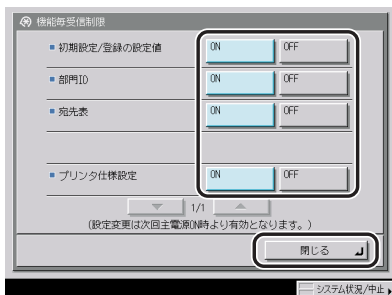
配信された機器情報を受信して、更新するかどうかを設定することができます。

- 重要** 配信データを受信して更新を開始すると、更新が終了するまで設定更新画面が表示され、本製品の操作を一切行うことができません。



- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (受信側設定) [機能毎受信制限] を押します。


## 2 受信制限するデータの [ON] または [OFF] を選択したあと、[閉じる] を押します。



表示する項目

[ON] : 機器情報を受信して更新することができません。


[OFF] : 機器情報を受信して更新することができます。

-  **メモ**
- 各項目を「OFF」に設定するには、ネットワーク設定（初期設定／登録）で、あらかじめ使用鍵設定を行う必要があります。（→ ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」）
  - 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」（→ P.1-15）を参照してください。

## 通信履歴を確認プリントする

通信された機器情報の履歴を確認プリントすることができます。


### 通信履歴を確認する

- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → [通信履歴] を押します。

- 2 通信された機器情報の履歴を確認したあと、[閉じる] を押します。

-  **メモ** 履歴の詳細を確認するには、詳細を確認する履歴を選択したあと、[詳細情報] を押します。

### 通信履歴をプリントする

-  **メモ** 機器情報通信履歴レポートの詳細については「機器情報通信履歴レポート」（→ P.9-6）を参照してください。

1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定]  
→ [通信履歴] を押します。

2 [リストプリント] を押します。

プリントの詳細な設定をするには、[レポート設定] を押します。

● [レポート設定] を押した場合

各項目を設定したあと、[OK] を押します。

< 100 通信で自動プリント > :

[ON] : 100 件の通信を終えた時点でレポートをプリントします。

[OFF] : 100 件の通信で自動プリントは設定されません。

< 指定時刻プリント > :

[ON] を選択した場合は、時刻を①~④(テンキー) で入力します。

時刻の表示形式は 24 時間制です。時刻は 0 を含む 4 桁の数字を入力します。

例 : 7 時 5 分 → 0705

23 時 18 分 → 2318

入力を間違えたときは、再度 4 桁の数字を入力します。

指定時刻までに 100 通信以上が行われたときは、新しいものから 100 通信分のレポートをプリントします。

[種別で分離]

配信と受信に分けてプリントする場合は [種別で分離] を押して、設定を ON にします。

配信と受信に分けずにプリントする場合は [種別で分離] を押さずに、設定を OFF にします。



メモ

共通仕様設定 (初期設定/登録) のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所に、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。(→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する : P.4-29)

3 [はい] を押します。

# データを完全に消去する（全データ／設定の初期化）

この機能を実行すると本機に格納されている以下のデータが完全に消去されます。通常、この操作は必要ありませんが、本製品を返却したり廃棄するときなど必要に応じて行ってください。


- ボックスに保存されたデータ
- 宛先表に登録された宛先情報
- 送信機能で登録された読取モード
- コピー機能、ボックス機能で登録されたモードメモリ
- MEAP アプリケーションおよびライセンスファイル
- MEAP アプリケーションを使って保存されたデータ
- MEAP の SMS(Service Management Service) のパスワード  
(パスワードを変更していた場合は、工場出荷時のパスワードに戻ります)
- SDL(Simple Device Login) で登録されたユーザの認証情報
- SSO (Single Sign-On) のローカルデバイス認証で登録されたユーザの認証情報
- 未送信の文書（タイマー送信が設定されている文書や予約中の送信文書）
- ジョブの履歴情報
- 初期設定／登録で設定された内容
- イメージ合成の登録フォーム
- 登録された転送設定
- システム管理設定（初期設定／登録） → [ネットワーク設定] → [TCP/IP 設定] → [証明書設定] で登録されている鍵ペアとサーバ証明書

- ⚠ 注意**
- 全データ／設定の初期化を実行する際は、十分注意して行ってください。お客さまのデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
  - カードリーダー-C1 を装着している場合に全データ／設定の初期化を行うと、カードリーダー-C1 を再設置する必要がありますので、担当サービスにご連絡ください。

- 👤 重要**
- 他のユーザが、データを誤って消去してしまうことを防ぐため、システム管理者情報を設定することをおすすめします。
  - 全データ／設定の初期化を行う前に、実行中のジョブがないかを確認してください。
  - データを消去する前に、必要なデータのバックアップを行ってください。バックアップできるデータは以下のとおりです。
    - ・ 宛先表、初期設定／登録の設定内容、転送設定、ユーザボックスの文書データ  
(データのエクスポートについては、「リモート UI ガイド」を参照してください)
    - ・ MEAP アプリケーションのライセンスファイル  
(ライセンスファイルのダウンロードについては、「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください)
    - ・ SDL (Simple Device Login) で登録されているユーザの認証情報


- ・SSO (Single Sign-On) のローカルデバイス認証で登録されたユーザの認証情報 (認証情報のエクスポートについては、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください)
- ・機器情報配信機能によって送信できる登録内容 (機器情報配信機能を持つ他の iR 機がある場合のみ、バックアップすることができます。その iR 機に既に登録されているデータを利用する場合は、バックアップする必要はありません。機器情報配信機能については、「機器情報配信の設定をする (機器情報配信の設定)」 (→ P.6-29) を参照してください)
- ・MEAP アプリケーションが保存しているデータ (MEAP アプリケーションによっては、保存しているデータをバックアップできる場合があります。MEAP アプリケーションの取扱説明書を参照してください)
- 初期化中は、本製品にアクセスすることができません。
- 本機からサーバやパソコンに画像などのデータが転送されて保存されている場合、これらのデータは全データ/設定の初期化を行っても消去されません。

---

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [全データ/設定の初期化] を押します。

**2** [はい] を押します。

データの消去には 30 分以上かかる場合があります。

 **重要** 実行中のジョブがある場合は、すべてのジョブが中止され消去されます。

**3** 初期化が終了したあとに、主電源スイッチを切ります。

# ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示する (ID / ユーザ名表示の ON/OFF)

ログインサービスを利用している場合に、ジョブ/プリント状況表示部に現在ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示することができます。

表示できるログインサービスと表示される項目は以下のとおりです。

使用しているログインサービス		表示項目
Default Authentication		部門 ID
SDL (Simple Device Login)		ユーザ名
SSO (Single Sign-On)	本製品が所属するドメインでログインした場合	ユーザ名
	本製品が所属しないドメインでログインした場合	ユーザ名
	ローカルデバイス認証でログインした場合	ユーザ名

## 6

### システム管理設定

- 1 **Ⓢ (初期設定 / 登録) → [システム管理設定] → [ID / ユーザ名表示の ON/OFF] を押します。**
- 2 **[ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。**

**👉 重要** ログインサービスを利用していない場合は、「ON」に設定しても部門 ID / ユーザ名は表示されません。

# USB の設定をする (USB 設定)

USB に関する設定を行います。



設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。

## USB デバイスを使用するかどうか設定する (USB デバイスを使用)

本製品とコンピュータを USB で接続する場合は、「ON」に設定します。

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [USB 設定] → [USB デバイスを使用] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

## USB ホストを使用するかどうか設定する (USB ホストを使用)

本製品に USB 機器を接続して使用する場合は、「ON」に設定します。




[USB ホストを使用] は、オプションの MEAP インターフェースボード (USB) を装着している場合に表示されます。

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [USB 設定] → [USB ホストを使用] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。


# 暗号化セキュアプリントの設定をする（暗号化セキュアプリント設定）

暗号化セキュアプリントに関する設定を行います。

 **メモ** 暗号化セキュアプリント設定は、オプションの暗号化セキュアプリントキットを装着している場合のみ表示されます。

## 暗号化セキュアプリントジョブのみを受け付けるかどうか設定する（暗号化セキュアプリントジョブのみを受付）


パソコンからのプリントジョブは、暗号化セキュアプリントのみ受け付けるように設定することができます。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [暗号化セキュアプリント設定] → [暗号化セキュアプリントジョブのみを受付] を押します。


**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

## IC カード使用時に自動でプリントをする（IC カード使用時の自動プリント）

IC カードを利用したユーザログインサービスをご利用の場合、ユーザ認証が実行されるとその時点で認証されたユーザが保持しているすべての IC カード暗号化セキュアプリントを解除し、プリントすることができます。

 **メモ**

- IC カード使用時の自動プリントは、オプションの IC カード認証機能拡張キットを装着している場合のみ表示されます。
- セキュアプリント、パスワード版暗号化セキュアプリントは対象外となります。
- ログイン後に投入されたジョブは解除されません。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [暗号化セキュアプリント設定] → [IC カード使用時の自動プリント] を押します。


**2** [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



# 機密情報の入力時に伏せ字で表示する（機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF）

パスワードや暗証番号などの機密情報を登録するとき、入力した文字を伏せて「\*\*\*\*\*」のように表示することができます。

 **メモ** 機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF が「ON」に設定されている場合、間違った文字の登録を防ぐため、確認入力を行う画面が表示されます。

**1**  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF] を押します。

**2** [ON] または [OFF] を選択します。


選択する項目


[ON]：機密情報を登録するとき、「\*\*\*\*\*」のように伏せ字で表示します。

[OFF]：機密情報を登録するとき、入力した文字をそのまま表示します。

# 強制地紋印字モードを設定する (強制地紋印字モード)

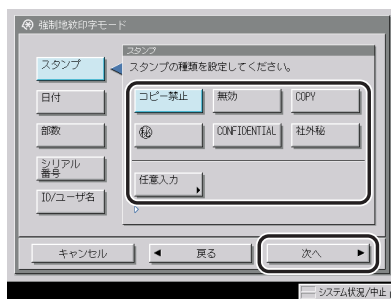
強制地紋印字モードを設定すると、常に「地紋印字」機能を設定してコピー、プリントすることができます。「地紋印字」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

 **メモ** 強制地紋印字モードは、オプションの地紋拡張キットを有効にしている場合のみ表示されます。

- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [強制地紋印字モード] を押します。
- 2 強制地紋印字モードを設定する機能の [設定する] を押します。
- 3 印字の種類 (スタンプ、日付、部数、シリアル番号、ID / ユーザ名) を選択します。

## ● スタンプを選択した場合


- スタンプの種類を設定したあと、[次へ] を押します。



## ● [スタンプ] → [任意入力] を押した場合

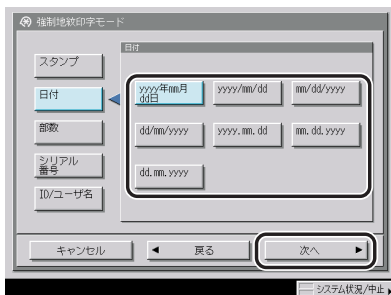
- [入力] を押して文字列を入力したあと、[OK] → [OK] → [次へ] を押します。

共通仕様設定 (初期設定／登録) のページ印字／スタンプの文字列登録で登録した文字列から選択することもできます。

 **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-21) を参照してください。

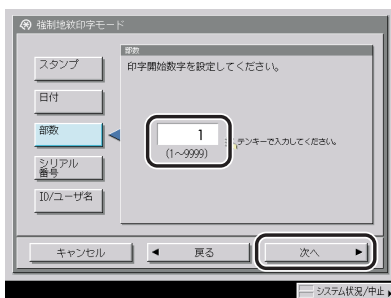
### ● 日付を選択した場合

- 日付形式を選択したあと、[次へ] を押します。



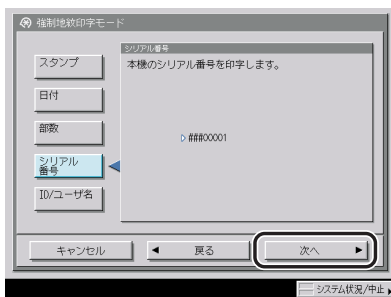
### ● 部数を選択した場合

- 印字開始数字を設定したあと、[次へ] を押します。



### ● シリアル番号を選択した場合

- [次へ] を押します。



メモ

本製品のカウンタ確認キーを押したときに画面左下に表示される「シリアル NO」が印字されます。

## ● ID / ユーザ名を選択した場合

□ [次へ] を押します。



メモ

- ログインサービスを利用している場合に、ログインしている部門ID / ユーザ名が印字されます。
- ログインサービスを利用していない場合は、スタンプの [コピー禁止] が印字されます。

## 4 背景模様、印字サイズを設定したあと、[OK] を押します。



出力紙の背景に模様を埋め込む場合は、背景模様をドロップダウンリストから選択します。  
印字サイズは [小] [中] [大] (36 ポイント、54 ポイント、72 ポイント) から選択します。  
文字列を横向きに印字する場合は、[横向きに印字する] を押します。  
文字列を白抜きにする場合は、[文字を白抜きにする] を押します。

# ユーザボックスの設定をする (ユーザボックス一括設定)

ユーザボックスの文書の自動消去までの時間、プリンタドライバから保存時のプリントのON/OFFの設定を一括で行います。

- 重要** •すでに各ユーザボックスで、文書の自動消去までの時間やプリンタドライバから保存時のプリントが設定されている場合、各ユーザボックスの暗証番号設定にかかわらず、ユーザボックス一括設定で設定された内容が優先されます。
- ユーザボックス一括設定後に各ユーザボックスで設定を更新した場合は、ユーザボックス一括設定の設定内容よりも優先されます。

## 文書の自動消去までの時間を設定する (文書の自動消去までの時間)

ユーザボックスの文書が自動的に消去されるまでの時間を一括設定します。

- 1 **Ⓜ**(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ユーザボックス一括設定] → [文書の自動消去までの時間] を押します。
- 2 [▼] [▲] を押して自動消去するまでの時間を設定したあと、[OK] を押します。

## プリンタドライバからの保存結果をプリントする（プリンタドライバから保存時のプリント）

ユーザ定義のパソコンから記録させた文書をボックスに保存する時に、保存した結果を1部プリントするかどうかを一括設定します。プリントする場合は「ON」に設定します。

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ユーザボックス一括設定] → [プリンタドライバから保存時のプリント] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

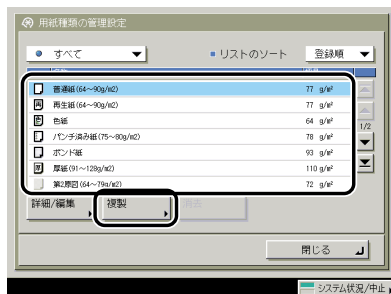
# ユーザ定義の用紙種類を登録／編集する（用紙種類の管理設定）

登録されている用紙種類以外の用紙を 200 個まで名称をつけて登録／編集することができます。すでに登録されている用紙種類からもっとも近い特性を持つ用紙種類を複製し、名称を変更することで登録が行えます。

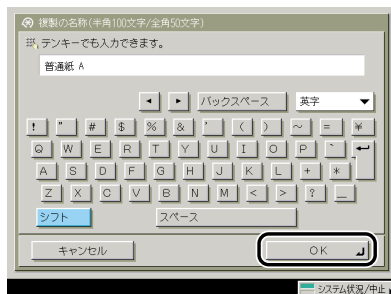
**重要** 受信した文書をプリントする際には、ユーザが定義した用紙種類を使用することはできません。

## ユーザ定義の用紙種類を登録する

- 1 ⑨(初期設定／登録) → [システム管理設定] → [用紙種類の管理設定] を押します。
- 2 登録する用紙種類と最も近い特性を持つ用紙種類をリストから選択したあと、[複製] を押します。



- 3 任意の名称を入力したあと、[OK] を押します。

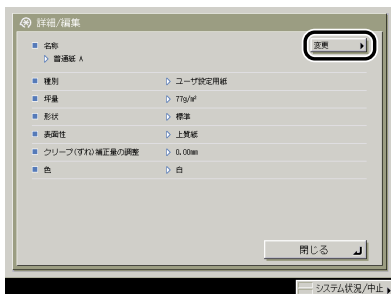


## ユーザ定義の用紙種類を編集する

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [用紙種類の管理設定] を押します。
- 2 リストから任意で登録した用紙種類を選択したあと、[詳細/編集] を押します。



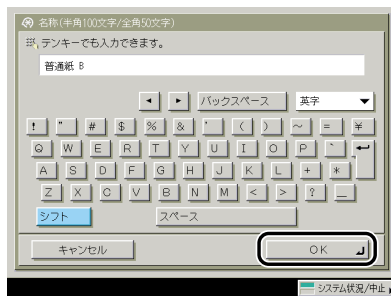
- 3 [変更] を押します。



- 重要** 現在給紙箇所セットされているユーザ定義用紙の名称を変更した場合は、カセットや手差しトレイ、サイドペーパーデッキへの用紙種類の再登録が必要です。給紙箇所への用紙種類の登録については「給紙箇所の用紙種類を登録する」(→P.4-31)を参照してください。
- メモ**
- デフォルトで登録されている用紙種類の名称を変更することはできません。
  - 設定内容を変更できるのは [名称] だけです。[種別]、[坪量]、[表面性]、[形状]、[色] は詳細情報が表示されます。

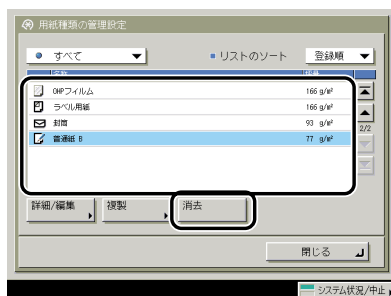


## 4 名称を入力したあと、[OK] を押します。



## ユーザ定義の用紙種類を消去する

- 1 ⑧(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [用紙種類の管理設定] を押します。
- 2 リストから任意で登録した用紙種類を選択したあと、[消去] を押します。



**重要** 消去する内容を確認してください。

- 3 [はい] を押します。

## 6

### システム管理設定


# 日常のメンテナンス

用紙の補給方法、トナー容器や針カートリッジなど消耗品の交換方法、日常のお手入れについて説明しています。

用紙の補給.....	7-2
カセットに用紙を補給する.....	7-2
カセットの用紙サイズを変更する.....	7-6
サイドペーパーデッキ・Q1（オプション）.....	7-9
サイドペーパーデッキに用紙を補給する.....	7-9
封筒カセット・C2（オプション）.....	7-13
封筒カセットの使いかた.....	7-13
封筒をセットする前に.....	7-15
封筒を補給する.....	7-17
異なる規格の封筒をセットする.....	7-19
フィーダ（DADF-M1）（オプション）.....	7-25
スタンプカートリッジを交換する.....	7-25
フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1（オプション）.....	7-27
針ケースの交換.....	7-27
パンチ屑の処理.....	7-30
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 / パンチャーユニット ・L1（オプション）.....	7-33
ステイプルユニット針ケースの交換.....	7-33
中とじユニット針カートリッジの交換.....	7-36
パンチ屑の処理.....	7-39
トナー容器の交換.....	7-42
日常のお手入れ.....	7-46
原稿台ガラス／原稿台カバー裏面を清掃する.....	7-46
フィーダを清掃する.....	7-47
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）.....	7-51
消耗品.....	7-52
保守について.....	7-54

# 用紙の補給

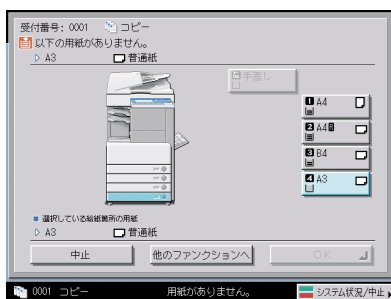
カセットに用紙を補給する方法について説明します。

-  **メモ**
- カセット 1～4 にセットできる用紙サイズは、次のとおりです。
    - ・カセット 1 : B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、封筒
    - ・カセット 2、3、4 : A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R
    - ・カセット 1 にオプションの封筒カセット・C2 を装着した場合のみ封筒をセットすることができます。
    - ・カセット 3、4 はオプションの 2 段カセットペディスタル・Y3 を装着している場合に使用できます。
  - カセット 1～4 にセットできる用紙の種類は「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。


## カセットに用紙を補給する

プリントする用紙を選択した際に選択した用紙がないときや、本製品のプリント動作中にプリントできる用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

以下の手順に従って、カセットに用紙を補給します。



 **注意** 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

-  **重要**
- 選択したカセットが完全に押し込まれていないときにも、用紙補給画面が表示されます。カセットは完全に押し込んでください。
  - カセットには、郵便はがき、不定形サイズの用紙はセットできません。
  - 次のような用紙は、カセットにセットしないでください。紙づまりの原因になります。
    - ・大きくカールした用紙や、しわのある用紙
    - ・薄いわら半紙
    - ・OHP フィルム
    - ・熱転写プリンタで印字した紙 (ウラ面にもプリントしないでください)
  - 用紙はよくさばいてからセットしてください。

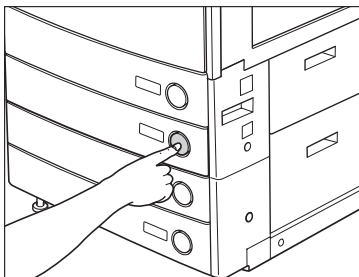
- 用紙をセットしたカセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。

### メモ

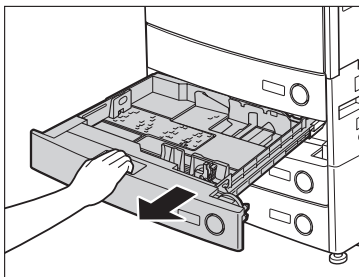
- 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙箇所を選択した場合は、[OK] を押すとプリントが再開されます。
- [中止] を押すと、プリントが中止されます。
- 現在使用していないファンクションを使用するには、[他のファンクションへ] を押し、[コピー]、[送信 / ファクス]、[ボックス] または [リモートスキャナ] を選択したあと、[閉じる] を押します。



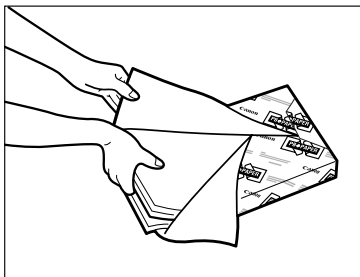
## 1 用紙を補給するカセットのオープンボタンをいったん押して離します。



## 2 カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。



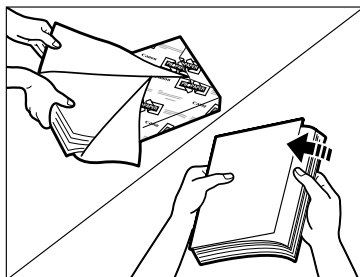
### 3 包装紙を開いて、用紙を取り出します。



**注意** 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

**重要** 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。

- メモ**
- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
  - 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。

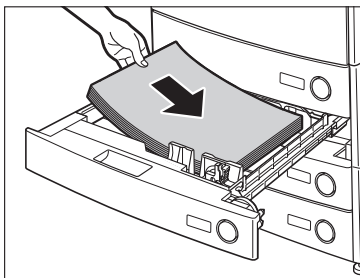


### 4 用紙をセットします。


用紙をそろえ、カセットの右側面にぴったりとつき当ててセットしてください。

カセットに初めて用紙を補給するときは、使用する用紙にあわせて用紙サイズ登録ダイヤルをセットしてください。(→カセットの用紙サイズを変更する：P.7-6)

用紙を補給する場合は、カセットの用紙サイズ設定と、セットする用紙サイズが一致していることを確認してください。



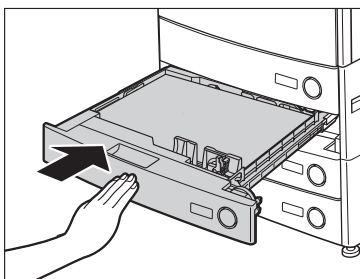
**重要**

- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限表示 (  ) をオーバーしないように注意してください。

**メモ**

- カセットにはそれぞれ約 650 枚 (64 g/m<sup>2</sup>) または 550 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) の用紙がセットできます。
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- カセットに用紙をセットする場合は、プリントする面を上にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については「原稿向きと用紙向きの関係について」(→ P.9-22) を参照してください。

## 5 カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



**注意**

カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**重要**

積載制限枚数を超えたり、カセットが確実に閉じられていないと、コピーやプリントができません。カセットが確実にセットされているか確認してください。用紙を入れすぎている場合は、積載制限の表示まで用紙を減らしてください。

**メモ**

用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙補給後、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って操作してください。本製品はプリント動作を再開します。

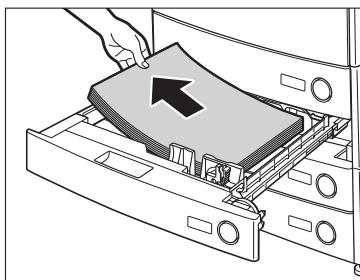
## カセットの用紙サイズを変更する

セットする用紙サイズが今までセットしていた用紙と異なる場合は、次のようにカセットガイドを調節してください。

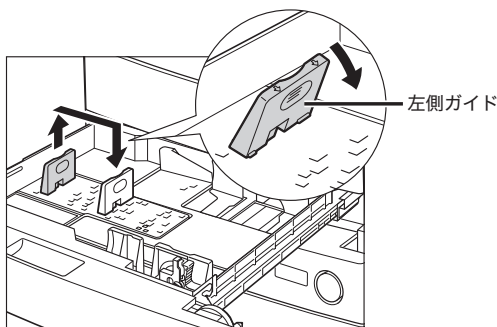
**重要** OHPフィルムはA4サイズのみセットできます。OHPフィルムをセットするときは、用紙サイズ登録ダイヤルを必ずA4にあわせてください。A4サイズ以外のOHPフィルムをセットすると、用紙サイズや用紙残量を正しく検知できません。

**メモ** 日本でもに使われている紙のサイズは、A3、A4、B4、B5などの「A/B系列」です。レター（LTR）やリーガル（LGL）といった「インチ系列」の紙は北米などの地域でよく使われています。本製品は、お客様の使用状況にあわせてどちらの系列の紙サイズでも使用できます。

- 1 用紙サイズを変更するカセットのオープンボタンをいったん押し離します。カセットを引き出し、セットされている用紙をすべて取り出します。

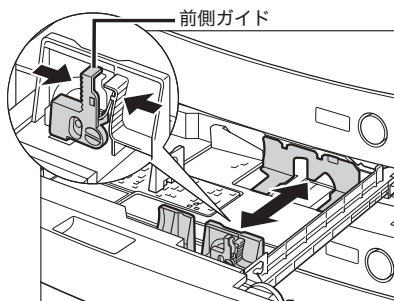


- 2 左側ガイドを取り外し、セットする用紙サイズの穴に差し込みます。





- 3** 図のようにレバーをつまみ、前側ガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの指標にあわせませす。

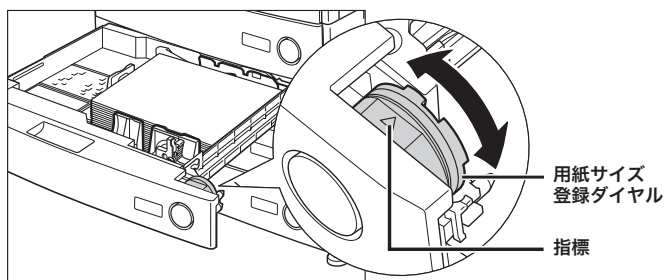


**重要** 紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、用紙サイズの指標に必ず正しくあわせてください。

- 4** 変更したサイズの用紙をカセットにセットします。

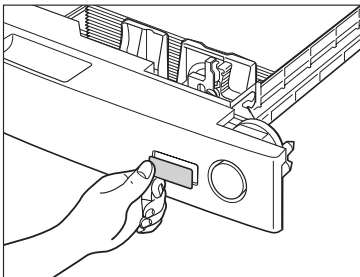
**注意** 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

- 5** カセット右側にある用紙サイズ登録ダイヤルを回して、指標にセットする用紙サイズをあわせませす。



**重要** セットする用紙サイズに指標を正しく合わせないと、用紙サイズがタッチパネルディスプレイに正しく表示されません。また、紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、必ず正しく合わせてください。

**6** カセットのシールを変更後の用紙サイズのものに貼り替えます。



**7** カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。

**⚠注意** カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

# サイドペーパーデッキ・Q1（オプション）

サイドペーパーデッキ・Q1（オプション）を装着すると、本製品に標準装備されているカセットの用紙サイズに加え、1種類の用紙サイズが追加できます。

サイドペーパーデッキ・Q1には、3000枚（64 g/m<sup>2</sup>）または2700枚（80 g/m<sup>2</sup>）まで用紙がセットできます。

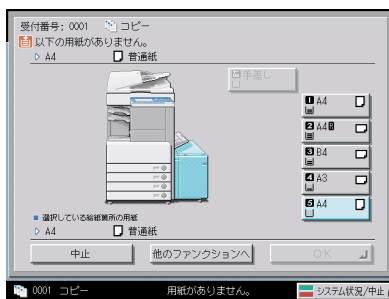
**重要** 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

**メモ** サイドペーパーデッキの用紙サイズは、A4に固定されています。

## サイドペーパーデッキに用紙を補給する

サイドペーパーデッキを選択した際に用紙がないときや、本製品のプリント動作中にサイドペーパーデッキの用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

以下の手順に従って、用紙を補給してください。

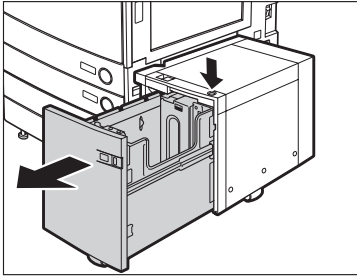


**注意** 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

**重要** サイドペーパーデッキで使用できる用紙の厚さは64～80 g/m<sup>2</sup>です。これよりも厚い用紙にコピーする場合は手差しトレイを使用してください。

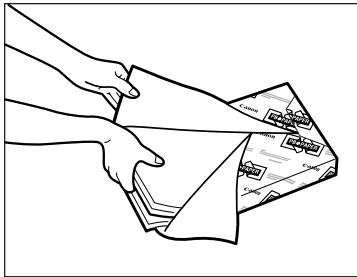
**メモ** 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙箇所を選択した場合は、[OK]を押すと、プリントが再開されます。

## 1 オープンボタンを押して、サイドペーパーデッキを開きます。



内部のリフターが自動的に用紙補給位置まで下がります。

## 2 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

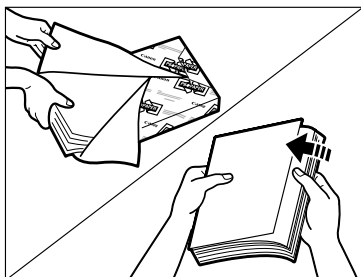


**⚠ 注意** 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

- 👉 重要**
- 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらない場所に保管してください。
  - 次のような用紙は、サイドペーパーデッキにセットしないでください。
    - ・大きくカールした用紙や、しわのある用紙
    - ・薄いわら半紙
    - ・OHP フィルム
    - ・熱転写プリンタで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください。）

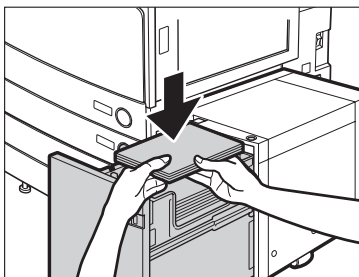
**メモ**

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端を揃えてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。




### 3 用紙をセットします。

内部のリフターが下がったのを確認し、用紙を揃えてセットします。



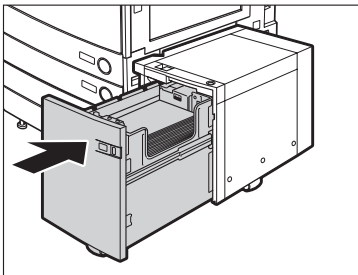
**重要**

- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限 (  ) をオーバーしないように注意してください。

**メモ**

- サイドペーパーデッキには約 3000 枚 (64 g/m<sup>2</sup>) または 2700 枚 (80 g/m<sup>2</sup>) の用紙がセットできます。
- サイドペーパーデッキには約 500 枚ずつ用紙を補給できます。さらに補給できる場合は、再びリフターが下がります。
- サイドペーパーデッキにセットできる用紙は、A4 のみです。ヨコ置きはセットできません。
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- サイドペーパーデッキに用紙をセットする場合は、プリントする面を下にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については「原稿向きと用紙向きの関係について」(→ P.9-22) を参照してください。

#### 4 サイドペーパーデッキを閉じます。



内部のリフターが自動的に上がり、プリントできる状態になります。

**⚠注意** サイドペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

# 封筒カセット・C2 (オプション)

オプションの封筒カセット・C2 について説明します。

## 封筒カセットの使いかた

封筒カセットには、洋形 4 号 / COM10 No.10/Monarch : Catalog Glove No.8/DL/ISO-B5/ISO-C5 の 6 つの規格の封筒をセットできます。ただし、日本国内で入手可能な封筒としてはうずまき Y-401 (うずまき社製・洋形 4 号) のみご使用になれます。本体の設定および本製品のガイドのサイズは、工場出荷時に洋形 4 号をそのまま使用できるように設定されています。

洋形 4 号を使用される場合は、現状の設定をご確認の上、封筒を補給してください (→ 封筒を補給する : P.7-17)。確認が必要なのは以下の 3 点です。

- 共通仕様設定 (初期設定 / 登録) の「封筒カセットの登録」で「ENV.1」が「洋形 4 号」に設定されている
- 本製品のガイドが洋形 4 号に設定されている
- 本体の用紙サイズ系列スイッチが「ENV.1」に設定されている

- 重要**
- 封筒カセットを設置している時に、本体側カセットの前側ガイドを無理に動かすと、封筒カセットが外れることがあります。
  - 封筒の両面にプリントをしないでください。紙づまりやプリントの汚れ、本体内部の汚れの原因になります。
  - 次のような封筒は、封筒カセットにセットしないでください。紙づまりやプリントの汚れ、本体内部の汚れの原因になります。
    - ・ カールした封筒やしわ、折り目のある封筒
    - ・ 厚すぎる封筒、薄すぎる封筒
    - ・ 湿っている封筒、濡れている封筒
    - ・ 破れている封筒
    - ・ 不規則な形の封筒
    - ・ 留め金や窓がついている封筒
    - ・ 接着剤などで封がくっついてしまっている封筒
    - ・ 穴や、ミシン目などのついている封筒
    - ・ 表面に特殊コーティングを施してある封筒
    - ・ 表面加工したカラー用紙の封筒
  - 定着器の熱 (約 200 °C) で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクやのりなどを使用した封筒 (封の部分に使用しているのりの材質により、定着器の熱でのりが溶けて封印されることがあります。)
  - フィニッシャー・S1 とコピートレイ・J1 を装着している場合に、封筒を選択してプリントするときは、排紙トレイの設定にかかわらずコピートレイ・J1 以外の排紙トレイに出力されます。
  - インナー 2 ウェイトレイ・D1 とコピートレイ・J1 を装着している場合に、封筒を選択してプリントするときは、コピートレイ・J1 を排紙先に設定した場合もコピートレイ・J1 以外の排紙トレイに出力されます。

- 封筒にプリントした場合は、10 枚排紙されるごとにトレイから封筒を取り除いてください。
- 封筒を保管するときは高温・多湿な場所は避けて保管してください。
- 保管場所と使用する場所に著しく温度差がある場合は、一日ほど使用する場所において、室温に慣らしてから使用してください。
- 用紙サイズ系列スイッチおよび初期設定／登録の設定と、セットする封筒の規格は正しく合わせてください。正しく合っていないと、紙づまりやプリントの汚れ、本体内部の汚れの原因になります。
- 本体の設定および本製品のガイドは、工場出荷時に洋形 4 号をそのままセットできるよう設定されています。工場出荷時の状態でも本製品のガイドサイズを変更した場合は以下の封筒をセットすることができます。これらの封筒以外をお使いになると、紙づまりやプリントの汚れ、本体内部の汚れの原因になることがあります。
  - ・ 洋形 4 号：うずまき Y-401
  - ・ COM10 No.10：Mailwell No.582
  - ・ Monarch：Catalog Glove No.8：Mailwell No.553
  - ・ DL：Mailwell/Schneidersöhne No.11345
- ISO-B5、ISO-C5 の封筒をご使用になりたい場合は、担当サービスにご連絡ください。

 **メモ**

- 洋形 4 号以外の規格の封筒を使用される場合は、「異なる規格の封筒をセットする」(→ P.7-19) を参照してください。
- 封筒カセットとして使用できるのは最上段のカセットのみです。
- 各規格の封筒のサイズは以下のとおりです。
  - ・ 洋形 4 号 (105 × 235mm)
  - ・ COM10 No.10 (104.7 × 241.3mm)
  - ・ Monarch：Catalog Glove No.8 (98.4 × 190.5mm)
  - ・ DL (110 × 220mm)
  - ・ ISO-B5 (176 × 250mm)
  - ・ ISO-C5 (162 × 229mm)



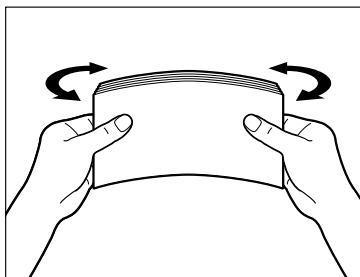
## 封筒をセットする前に

封筒カセットに封筒をセットするときに、あらかじめ行っておくことについて説明します。

- 重要** カール、しわ、折り目のある封筒の使用は、紙づまりの原因となりますので、以下の手順を行ってからセットしてください。

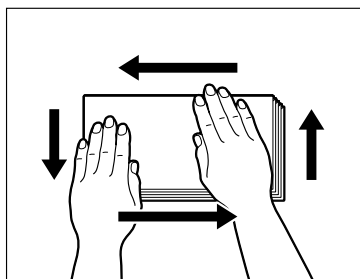
### 1 封筒を5枚ほど手にとり、よくさばいて揃えます。

この操作を5回、繰り返します。

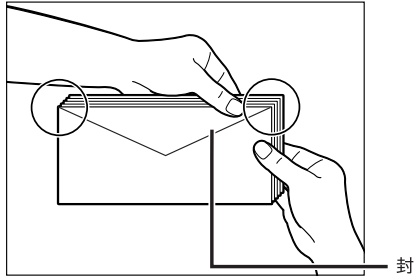


### 2 封筒を清潔で平坦な場所に置いて、矢印の方向に手で伸ばします。

この操作を5回、繰り返します。



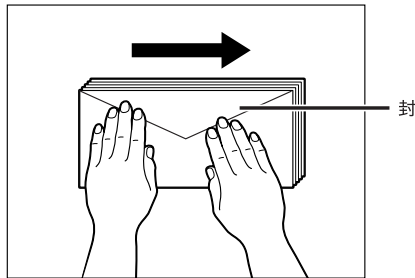
ISO-B5、ISO-C5、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL の封筒を使用する場合は、封の部分がめくれないように封筒の四隅をよく押さえます。



洋形 4 号の封筒を使用する場合は、封の部分は折り曲げずにセットしてください。

**重要**

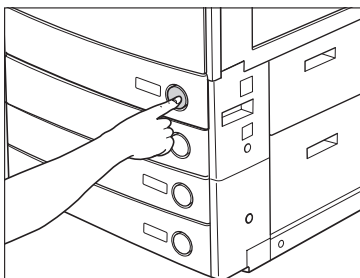
- 封の部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力により、のりが溶けることがあります。
- 特に通紙方向 (←→) を念入りに行ってください。
- 封筒の裏面にはプリントしないでください。
- 封筒の中に空気が入ってふくらんでいるときは、手でならして空気抜きをしてからセットしてください。



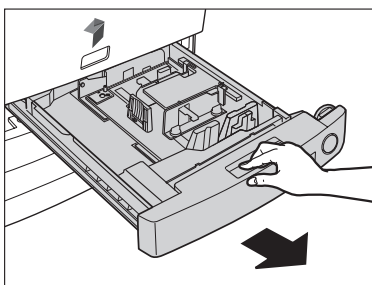
## 封筒を補給する

封筒カセットに封筒を補給する方法について説明します。

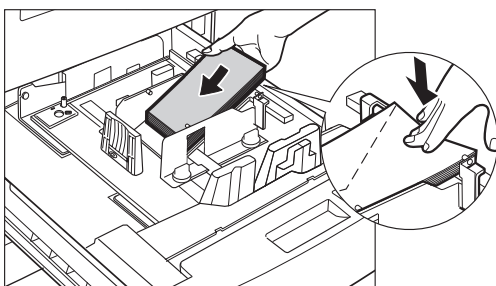
- 1 カセットのオープンボタンをいったん押して離します。



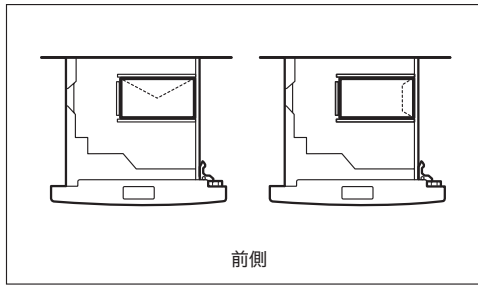
- 2 カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。



- 3 図のようにのり付け面を下にして、10枚ずつ封筒を持ち、右側から封筒受け台を押し下げようとして封筒をセットします。

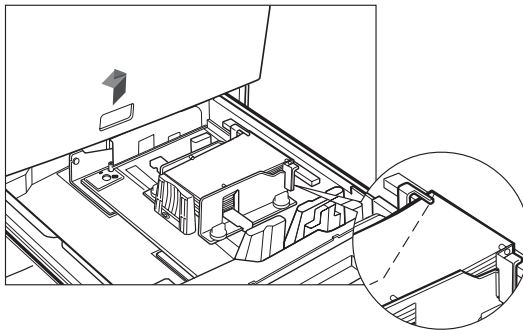


封筒をセットする向きは以下のとおりです。



宛先面にプリントする場合

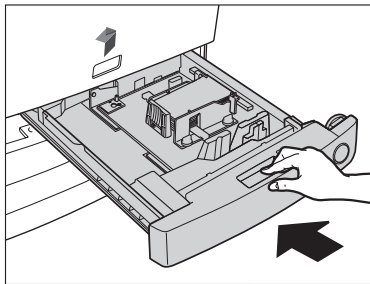
封筒の先端をそろえ、ツメの下に入っていることを確認してください。



**重要**

- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
- セットする封筒の高さが積載制限表示 (≡) をオーバーしないように注意してください。
- セット可能な封筒の高さは約 30mm です。
- 封筒の厚さは封筒の規格やお客様の使用環境によって異なりますが、約 50 枚を目安としてください。

**4** カセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。



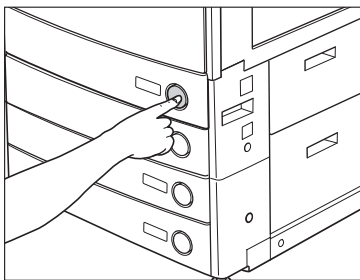
**注意** カセットを戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 重要** 封筒をセットしたカセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。
- メモ** 用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙補給後、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って操作してください。本製品はプリント動作を再開します。

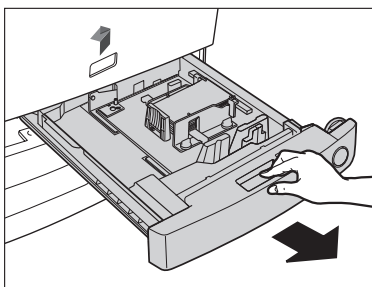
## 異なる規格の封筒をセットする

封筒カセットに、初期設定／登録で設定されているものとは異なる規格の封筒をセットする方法について説明します。

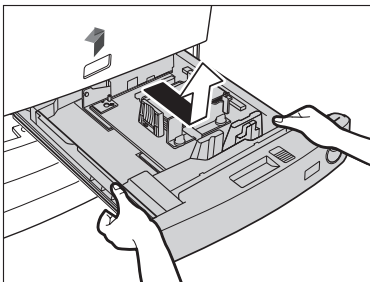
- 1** カセットのオープンボタンをいったん押して離します。



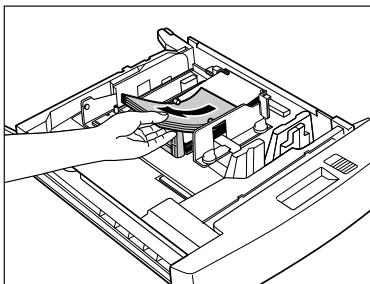
- 2** カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。



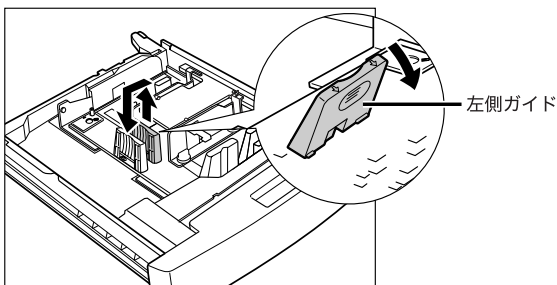
- 3** 両手でカセットの左右を持ち、少し上に持ち上げながらカセットを取り出します。



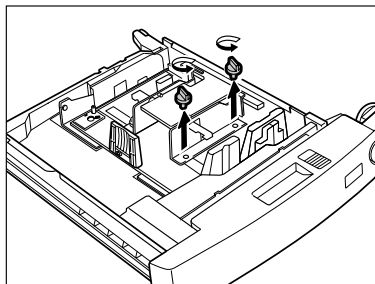
- 4** 少しずつセットされている封筒をすべて取り出します。



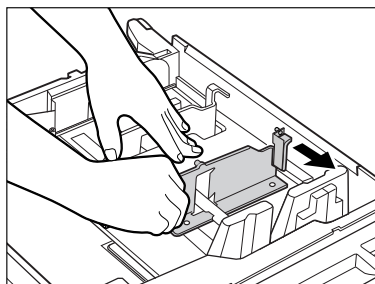
- 5** 左側ガイドを取り外し、セットする用紙サイズの穴に差し込みます。



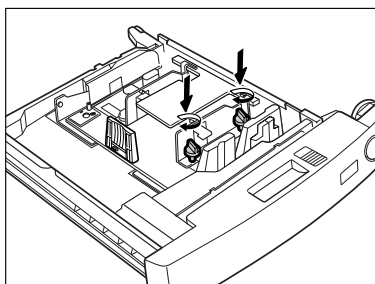
- 6** 前側ガイドを固定しているネジ（2 か所）をゆるめます。



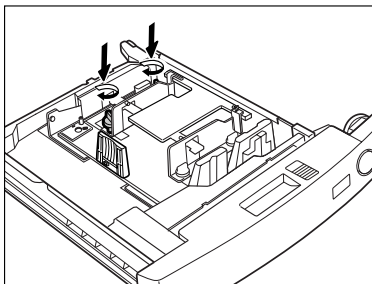
- 7** 図のように封筒受け台を下まで押し下げて、前側ガイドを封筒の規格の指標にあわせて移動させます。



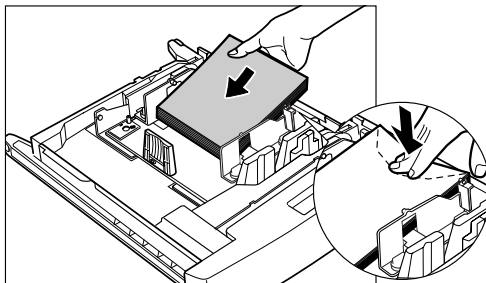
- 8** 前側ガイドをネジで固定します。



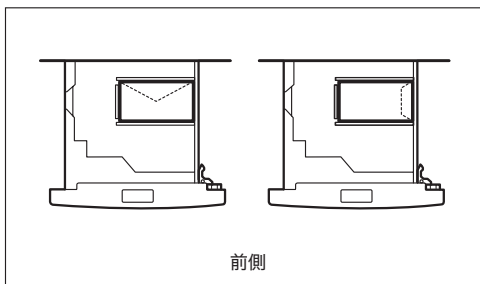
**9** 後側ガイドも、手順6～8に従って移動させます。



**10** 図のようにのり付け面を下にして、10枚ずつ封筒を持ち、右側から封筒受け台を押し下げようとして封筒をセットします。



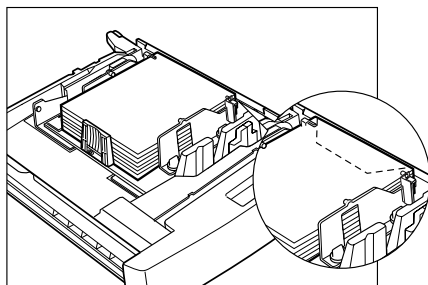
封筒をセットする向きは以下のとおりです。



宛先面にプリントする場合

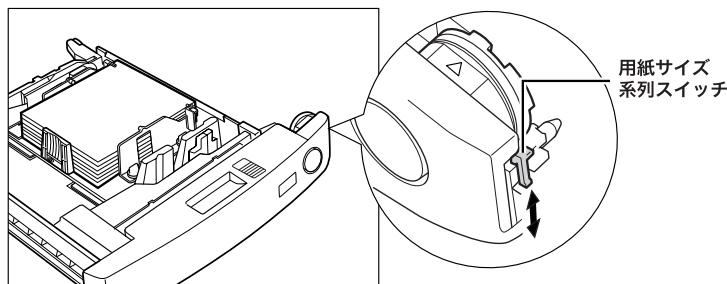


封筒の先端をそろえ、ツメの下に入っていることを確認してください。



- 重要**
- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
  - セットする封筒の高さが積載制限表示 (≡) をオーバーしないように注意してください。
  - セット可能な封筒の高さは約 30mm です。
  - 封筒の厚さは封筒の規格やお客様の使用環境によって異なりますが、約 50 枚を目安としてください。

## 11 封筒カセットを「ENV.1」として使うか、「ENV.2」として使うかを選択します。



### ● セットした封筒を「ENV.1」として使う場合

- 用紙サイズ系列スイッチを「ENV.1」側にあわせませす。

初期設定／登録の「封筒カセットの登録」で「ENV.1」に登録されている封筒をセットできるようになります。

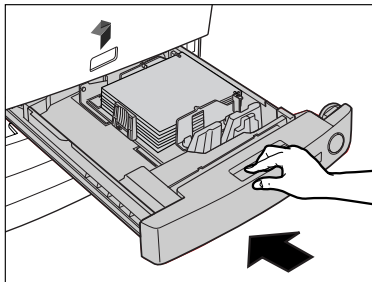
### ● セットした封筒を「ENV.2」として使う場合

- 用紙サイズ系列スイッチを「ENV.2」側にあわせませす。

初期設定／登録の「封筒カセットの登録」で「ENV.2」に登録されている封筒をセットできるようになります。

- メモ** 封筒カセットの登録内容を変更する方法は、「封筒カセットを登録する」(→ P.4-30) を参照してください。

## 12 カセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。



**注意** カセットを戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 13 用紙サイズ系列スイッチを確認したあと、本体の初期設定／登録で封筒の規格を登録します。

封筒の規格を登録する方法は、「封筒カセットを登録する」(→ P.4-30)を参照してください。

# フィーダ (DADF-M1) (オプション)

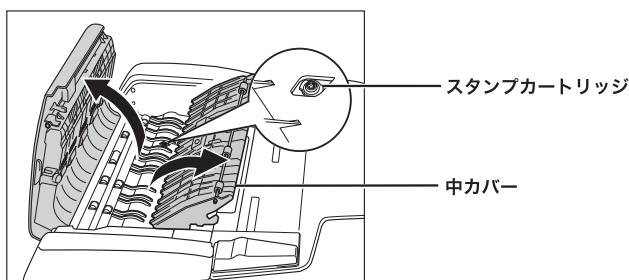
フィーダは、送信原稿に済みスタンプ（マーク）をつけることができます。済みスタンプがカスれてきたり、つかなくなったりしたときは、スタンプカートリッジを交換してください。

**重要** スタンプカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

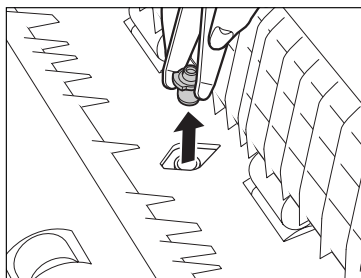
**メモ** フィーダにオプションのスタンプユニット・A1 を装着した場合のみスタンプをつけることができます。

## スタンプカートリッジを交換する

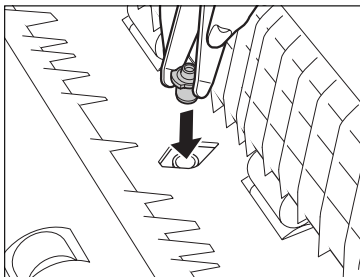
**1** フィーダのカバーを開いたあと、中カバーを開きます。



**2** ピンセットを使って古いスタンプカートリッジを取り外します。

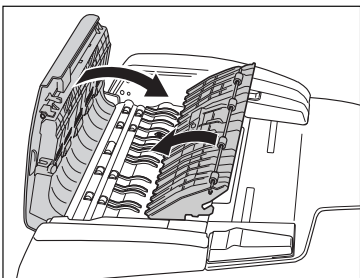


### 3 ピンセットを使って新しいスタンプカートリッジをカチッと音がするまで取り付けます。



- 重要**
- スタンプカートリッジのスタンプ面が突き出ないようにセットしてください。
  - スタンプカートリッジを正規の位置にセットしていないと紙づまりの原因になる可能性があります。

### 4 中カバーを閉じたあと、フィーダの上カバーを閉じます。



- 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

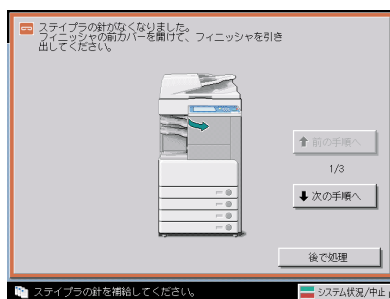
# フィニッシャー・S1 / インナーパンチャー キット・Q1 (オプション)


フィニッシャー・S1 (オプション) の針ケースを交換する方法とインナーパンチャーキット・Q1 のパンチ屑の処理について説明します。

## 針ケースの交換

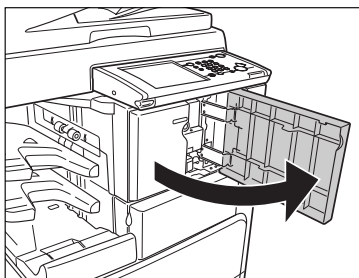
フィニッシャー・S1 (オプション) でステイプルユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針ケースの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、針ケースを交換してください。

針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。

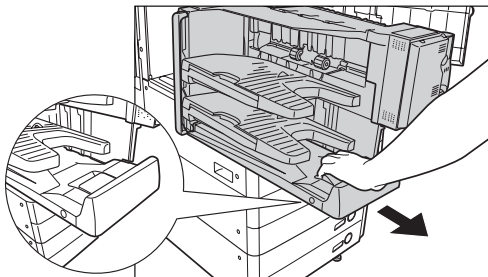


 **メモ** 針ケースはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。

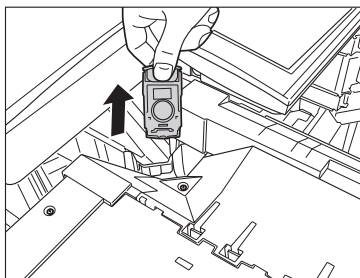


## 2 引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。



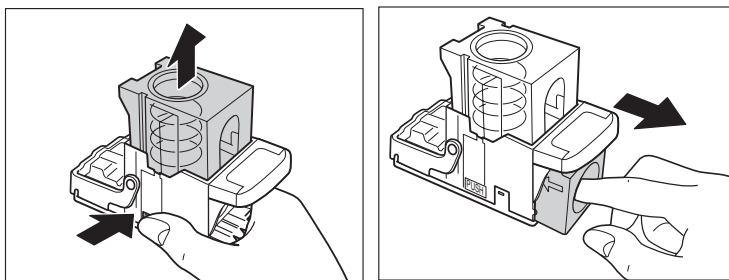
**⚠注意** 引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。

## 3 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。



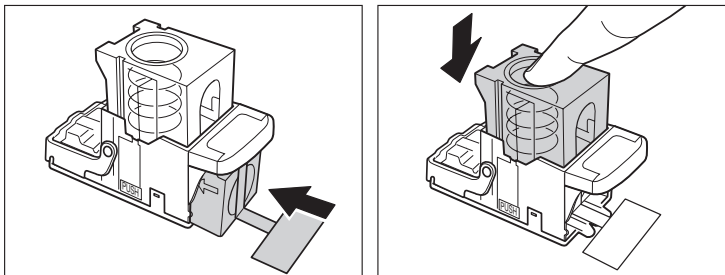
## 4 空になった針ケースの左右の「PUSH」部を押して取り外します。

針カートリッジを下図のように置いてから、針ケースを取り出します。



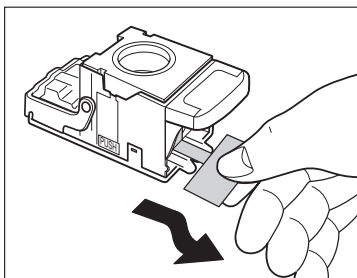
## 5 新しい針ケースをセットします。

針カートリッジのバネは、カチッと音がするまで指で押し込んでください。



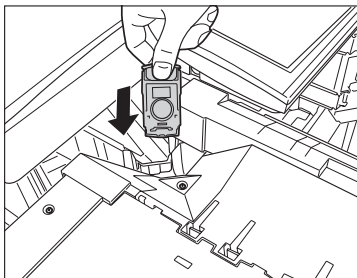
- 重要** ● 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。
- 針をとめてあるシールは、カートリッジにセットする前にはがさないでください。
- メモ** ○ 一度にセットできる針ケースは1個までです。

## 6 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。

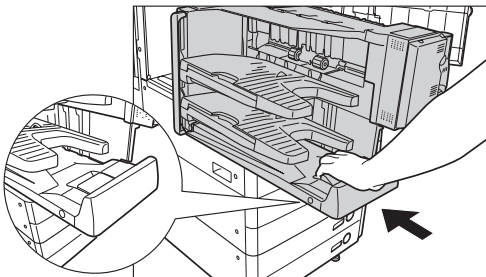


- 重要** ● 斜めに引くとシールが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

## 7 針カートリッジをしっかり押し込みます。

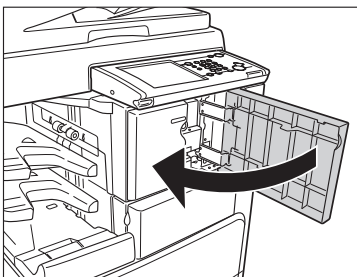


## 8 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。



**注意** フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

## 9 フィニッシャの前カバーを閉じます。

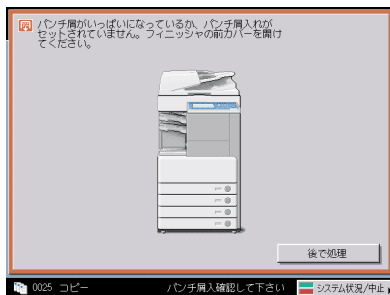


**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。


**メモ** カバーを閉じると、針がとじ位置になればステイブルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

## パンチ屑の処理

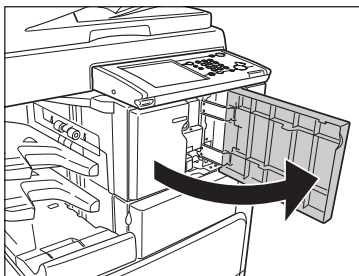
パンチ屑がいっぱいになると、下のような画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。



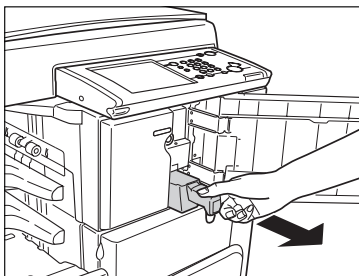


 メモ この処理は、オプションのインナーパンチャーキット・Q1 装着時のみ行います。

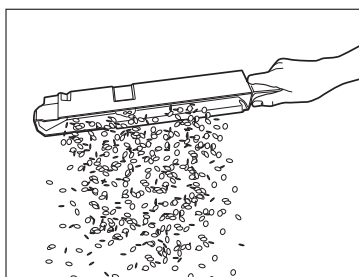
**1** フィニッシャの前カバーを開きます。




**2** パンチ屑入れを引き出します。

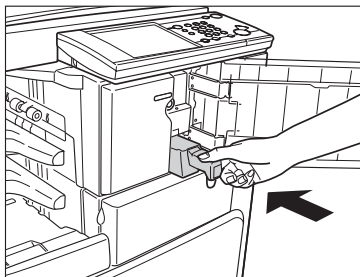


**3** パンチ屑を捨てます。



 メモ パンチ屑は残らず捨ててください。

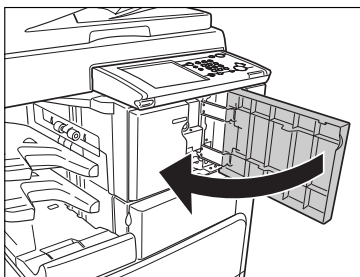
## 4 パンチ屑入れを戻します。



メモ

パンチ屑入れを確実に戻さないと、パンチ設定をしてコピー／プリントすることができません。

## 5 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



注意

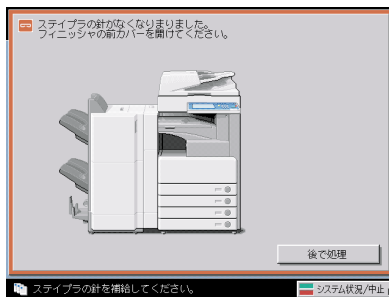
カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

# フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 / パンチャーユニット・L1 (オプション)

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 (オプション) の、針ケースまたは針カートリッジを交換する方法と、パンチャーユニット・L1 のパンチ屑の処理について説明します。

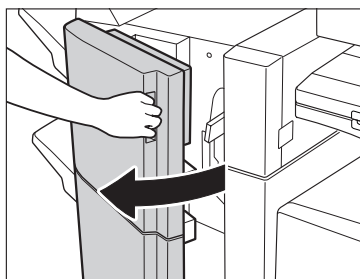
## ステイプルユニット針ケースの交換

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 (オプション) でステイプルユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針ケースの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、ステイプルユニット針ケースを交換してください。針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。

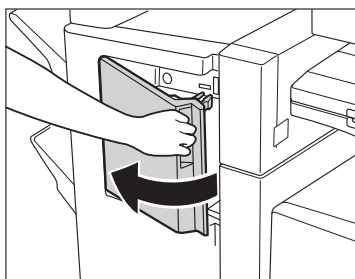


**メモ** 針ケースはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。

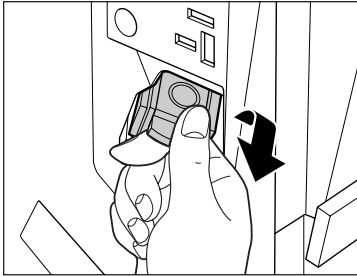


サドルフィニッシャー・AE2



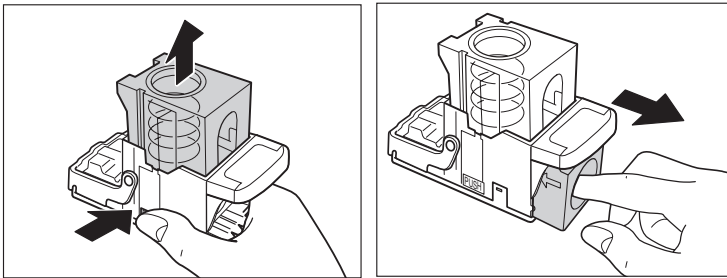
フィニッシャー・AE1

- 2** 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。



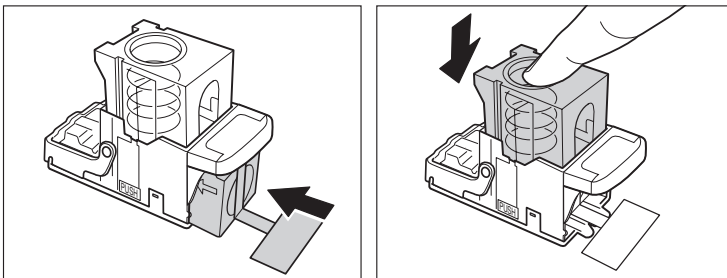
- 3** 空になった針ケースの左右の「PUSH」部を押して取り外します。

針カートリッジを下図のように置いてから、針ケースを取り出します。



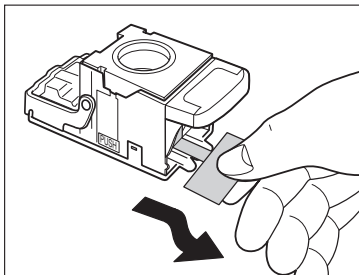
- 4** 新しい針ケースをセットします。

針カートリッジのパネは、カチッと音がするまで指で押し込んでください。



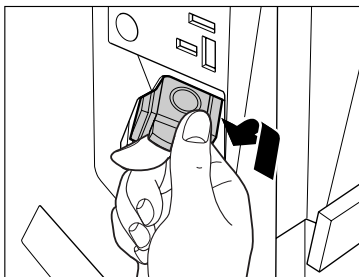
- 重要**
- 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。
  - 針をとめてあるシールは、カートリッジにセットする前にはがさないでください。
- メモ** 一度にセットできる針ケースは1個までです。

## 5 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。

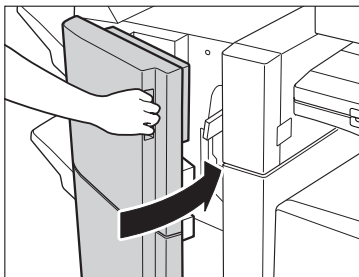


**重要** 斜めに引くとシールが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

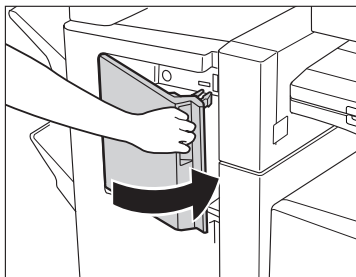
## 6 針カートリッジをしっかりと押し込みます。



## 7 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



サドルフィニッシャー・AE2



フィニッシャー・AE1

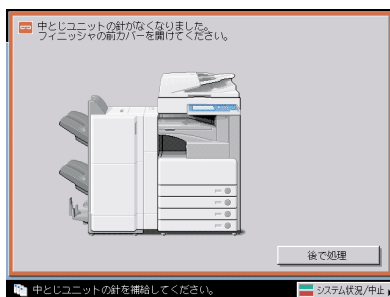
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**メモ** カバーを閉じると、針がとじ位置になればステイブルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

## 中とじユニット針カートリッジの交換

中とじユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針カートリッジの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、針カートリッジを交換してください。

針カートリッジは必ず本製品専用のものを使用してください。

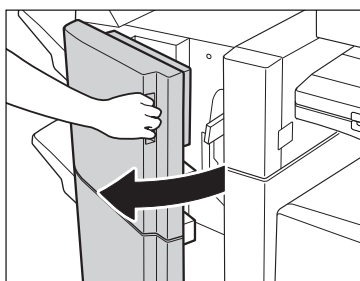


**重要** 中とじユニット針カートリッジの交換を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。

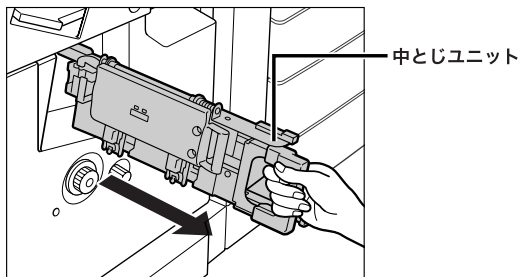
- メモ**
- この処理はオプションのサドルフィニッシャー・AE2 装着時のみ行います。
  - 針カートリッジはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

## 7

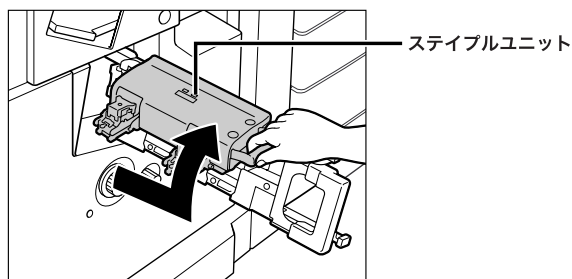
### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



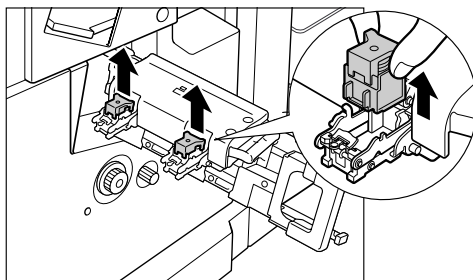
- 2** 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。



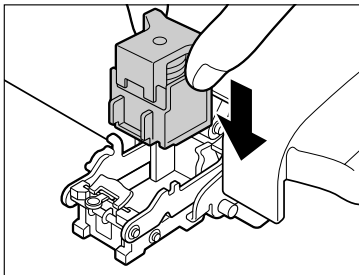
- 3** 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いたあと起こします。




- 4** 空になった針カートリッジの左右をつまんで取り外します。

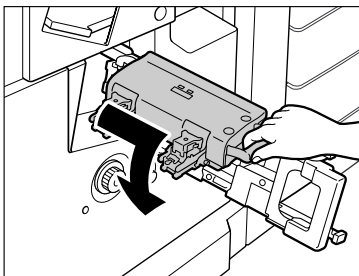


## 5 新しい針カートリッジをセットします。

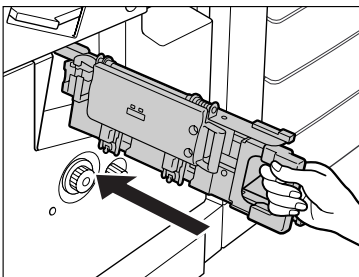


 **メモ** 一度にセットできる針カートリッジは1個までです。

## 6 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いて元に戻します。

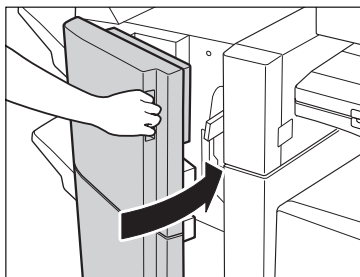


## 7 中とじユニットを押し戻します。





## 8 フィニッシャの前カバーを閉じます。

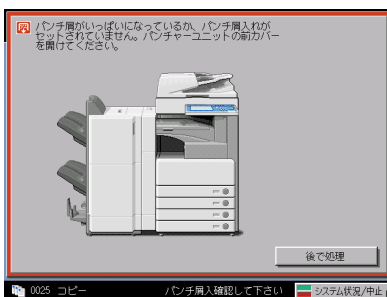


**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**重要** 針カートリッジの交換が終了したら、針の頭出しを必ず行ってください。(→中とじユニットの針の頭出しをする：P.4-53)

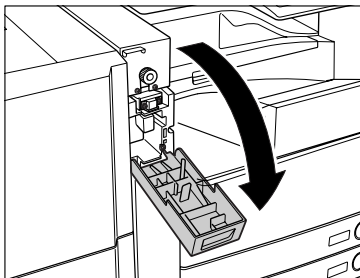
## パンチ屑の処理

パンチ屑がいっぱいになると、下のような画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。

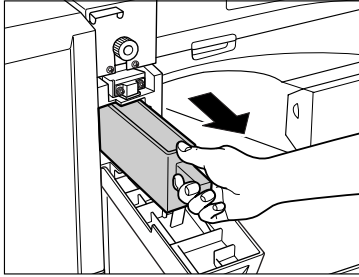


**メモ** この処理は、オプションのパンチャーユニット・L1 装着時のみ行います。

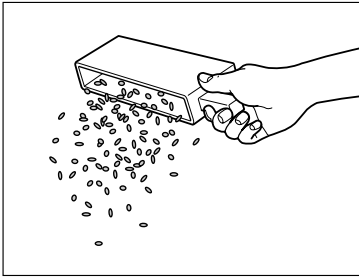
## 1 パンチャーユニットの前カバーを開きます。




## 2 パンチ屑入れを引き出します。

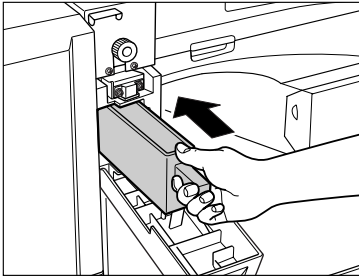



## 3 パンチ屑を捨てます。



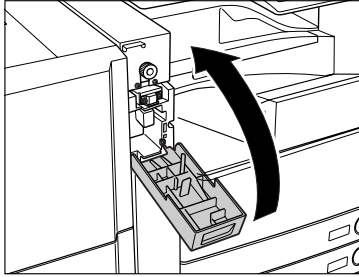
 **メモ** パンチ屑は残らず捨ててください。

## 4 パンチ屑入れを戻します。



 **メモ** パンチ屑入れを確実に戻さないで、パンチ設定をしてコピー／プリントすることができません。

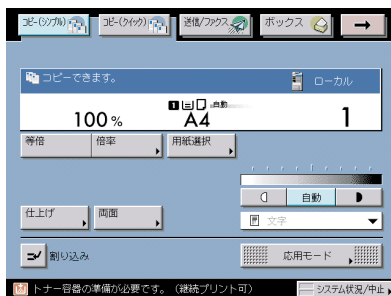
## 5 パンチャーユニットの前カバーを閉じます。



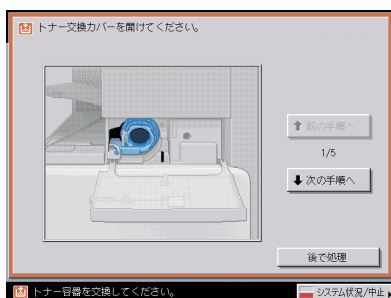
**⚠注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

# トナー容器の交換

トナーが残り少なくなると、タッチパネルディスプレイに下図のメッセージが表示されます。まだプリントすることはできますが、交換用のトナー容器を用意してください。



トナーがなくなりプリントできない状態になると、タッチパネルディスプレイに交換方法が表示されます。このようなときは、次の手順に従ってトナー容器を交換してください。



[後で処理] を押した場合は、トナーをすぐに交換しなくてもモードの設定、原稿の読み込みなどの操作は続けることができます。

**警告** トナー容器は絶対に火の中に入れてください。爆発の恐れがあり大変危険です。

**注意**

- トナー容器は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーが衣服や手に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

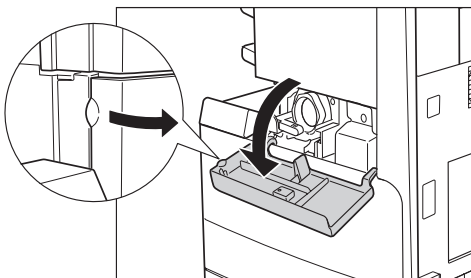
**重要**

- トナー容器は必ず本製品専用のものを使ってください。
- トナー容器の交換は、トナー容器交換のメッセージが表示されてから行ってください。
- トナー容器の交換は、本製品のプリント中に行わないでください。

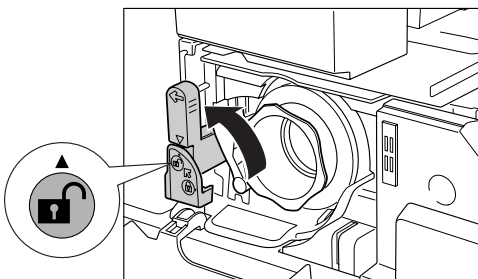
**メモ**

- 「トナー容器の準備が必要です。(継続プリント可)」というメッセージが表示されたときのプリント可能枚数は、約 1000 枚です。トナーがなくなる前に新しいトナー容器を用意してください。
- タッチパネルディスプレイに表示される [前の手順へ]、[次の手順へ] を押して、交換方法を確認することができます。
- トナーがなくなり中断したプリントジョブは、トナー容器交換後自動的に再開します。

**1** トナー補給カバーを開きます。



**2** 回転レバーを垂直になるまで起こします。

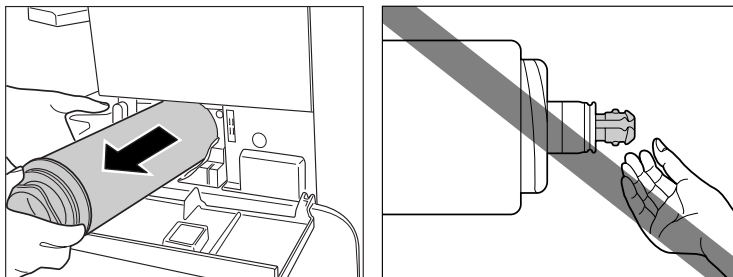


**重要**

レバーの▼が Unlock ▲の位置にあることを確認してください。

### 3 トナー容器を引き出します。

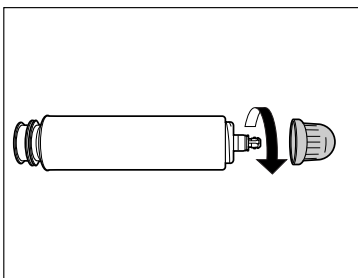
トナー容器が半分程出てきたら、下に手を添えながらまっすぐ引き出してください。



**警告** 使用済みのトナー容器を火中に投げないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

**注意** トナー容器の先端部に触れたり、何かにぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

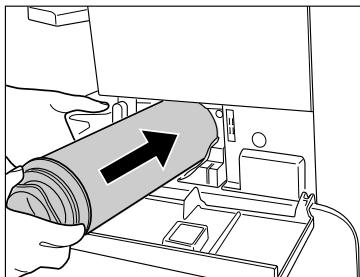
### 4 新しいトナー容器の赤い保護キャップを、矢印の方向に回しながら外します。



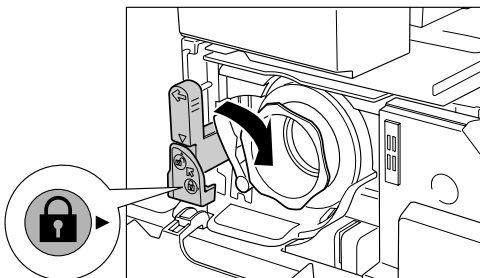
**注意** トナー容器の先端部に触れたり、何かにぶつけるなどの衝撃を与えることは絶対に避けてください。トナーが漏れることがあります。

## 5 新しいトナー容器を奥まで押し込みます。

トナー容器が半分程入るまで、下に手を添えながら押し込んでください。



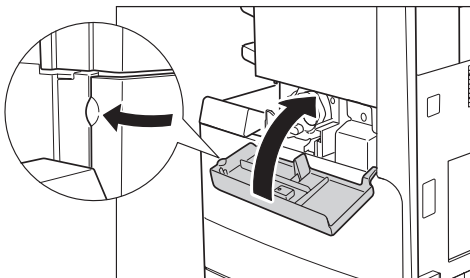
## 6 回転レバーを水平になるまで倒します。



**重要** レバーの▼がLock ►の位置にあることを確認してください。

**メモ** 異なる機種種のトナーをセットした場合、回転レバーは倒れません。

## 7 トナー補給カバーを閉じます。



**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

# 日常のお手入れ

原稿がきれいに読み取れないときは、次の箇所を清掃してください。快適なプリント結果を得ていただくため、約1か月に1回程度、清掃をお願いいたします。

- 原稿台ガラス
- 原稿台カバー裏面
- フィーダローラ部

- ⚠警告**
- 清掃のときは、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
  - アルコールやシンナー、ベンジンなどの溶剤はプラスチック部を変質させることがあります。絶対に使わないでください。
  - 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

## 原稿台ガラス／原稿台カバー裏面を清掃する

以下の手順で、原稿台ガラスおよび原稿台カバー裏面の清掃をしてください。

- 👉重要** 原稿台ガラス、原稿台カバー裏面が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知することがあります。

- 1** 水または中性洗剤を含ませて固く絞った布で原稿台ガラスと原稿台カバー裏面を清掃したあと、かわいた柔らかい布で、から拭きします。



- ⚠注意** 清掃のときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。



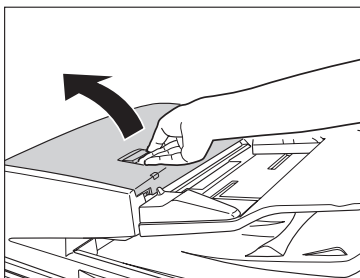
## フィーダを清掃する

フィーダから給紙した原稿にスジ状の汚れがつく場合は、ローラ部を清掃してください。

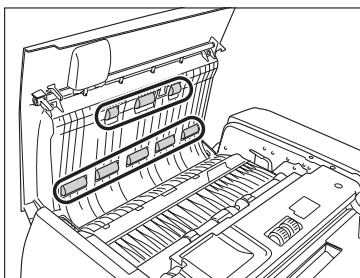
**⚠注意** 清掃のときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。

- 📄重要**
- ローラは回しながら清掃してください。
  - オプションのフィーダ（DADF-M1）（Fモデルは標準装備）を装着している場合のみ行います。

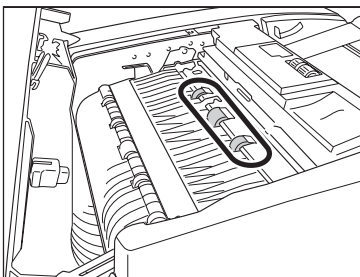
### 1 フィーダカバーを開きます。



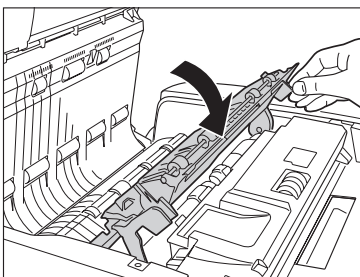
### 2 フィーダカバー裏側のローラ（計8か所）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



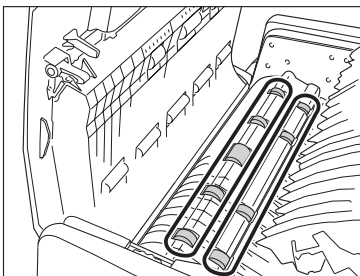
- 3** ローラ（計3か所）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



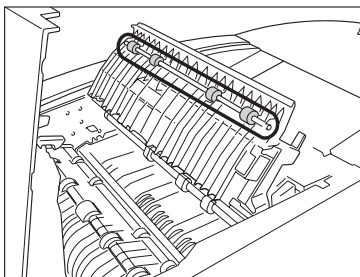
- 4** 奥側のつまみを持って、中カバーを開きます。



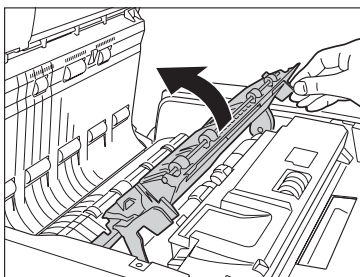
- 5** ローラ（計9か所）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



- 6** ローラ（計4か所）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。

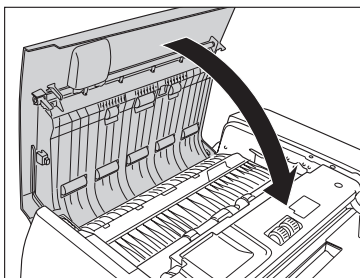


- 7** 中カバーを閉じます。



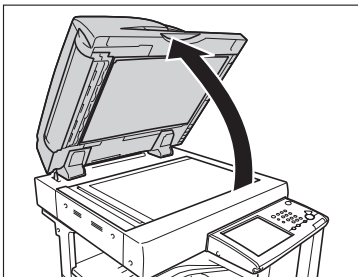
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 8** フィーダカバーを閉じます。

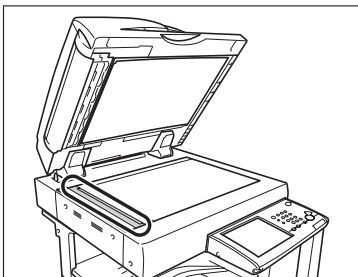


**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

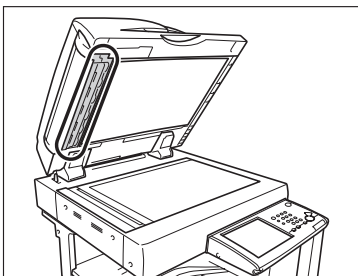
**9** フィーダを開きます。



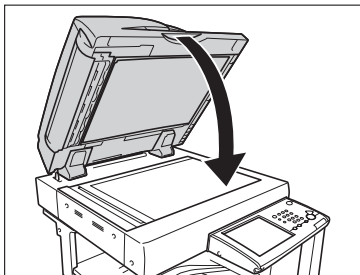
**10** 原稿読み取り部（細長いガラス部）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



**11** ゴムローラ横の部分を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



## 12 フィーダを閉じます。



- 注意**
- フィーダを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。
  - フィーダを閉じる場合は、ランプが光りまぶしいことがあるので注意してください。

## フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）

フィーダを使用して原稿を読み取ったときに、ローラについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされていることがあります。この場合は、フィーダにセットした白紙原稿（用紙）を使用して原稿給紙ローラの汚れをクリーニングします。

- 重要** オプションのフィーダ（DADF-M1）（Fモデルは標準装備）を装着している場合のみ行います。
- メモ** フィーダのクリーニングには約 15 秒間かかります。

**1** **Ⓞ**（初期設定／登録） → [調整 / クリーニング] → [フィーダのクリーニング] を押します。

**2** フィーダに白紙を 10 枚くらいセットしたあと、[開始] を押します。

用紙はよくさばいてください。

A4 サイズ（60～80 g/m<sup>2</sup>）の用紙をセットしてください。

フィーダのクリーニングが終わったら、読み込みを再度行ってください。

- メモ** フィーダのクリーニングを中止する場合は、[中止] を押します。

# 消耗品

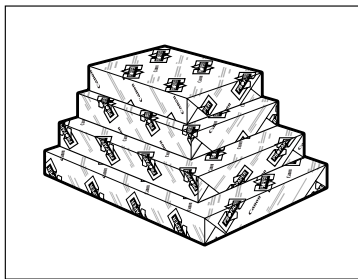
本製品には次のような消耗品が用意されています。

詳しくは、お求めになった販売店にお問い合わせください。

用紙、トナーはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

## ■ 用紙

普通紙（A3、B4、A4、B5、A5 サイズ）の他に、再生紙、カラーペーパー、OHP フィルム（本製品専用）、第2原図用紙、ラベル用紙などがあります。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。



**⚠ 注意** 用紙は火気のある場所に保管しないでください。用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

**👤 重要** 用紙補給後に残った用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

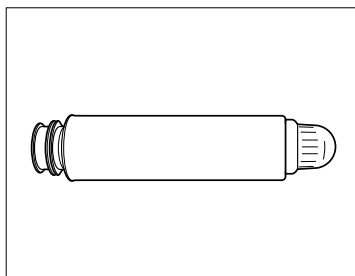
**📝 メモ**

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 市販されている用紙にはいろいろな種類のものがあり、本製品にあわないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## ■ 専用トナー容器

トナー容器交換のメッセージが表示されたら、本製品専用のトナー容器に交換してください。

製品名	対応するキヤノン純正トナー
iR3045/iR3045F iR3035/iR3035F	NPG-26 トナー
iR3025/iR3025F	NPG-25 トナー



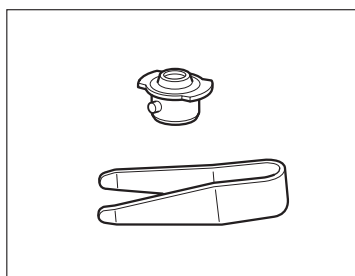
- 警告**
- トナー容器は火中に投げないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。
  - トナー容器は火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

- 注意**
- トナーなどの消耗品は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーなどを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

- 重要**
- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。(望ましい環境：温度 30℃以下/湿度 80%以下)

## ■ スタンプカートリッジ

済スタンプ用のインクカートリッジです。



# 保守について

本製品は、所定の保守契約に基づいて修理・調整を行います。  
詳細はお求めになった販売店にお問い合わせください。

## ■ 補修用性能部品

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

## ■ 用紙について

快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。  
使用可能な用紙については「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。  
(\* 各オプションで使用できる用紙の厚さに制限がありますので、注意してください。)

**重要** 次のような用紙にはプリントしないでください。紙づまりの原因になります。

- ・大きくカールした用紙やしわのある用紙
- ・薄いわら半紙
- ・熱転写プリンタで印字した紙 (ウラ面にもプリントしないでください。)
- ・インクジェット専用の郵便はがき

**メモ** 市販されている用紙にはいろいろな種類のものであり、本製品に合わないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## ■ その他

本商品ならびに関連する消耗品・サービス役務などは、別途消費税を申し受けますのでご了承ください。



# 困ったときには

紙づまりが起きたときや、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

頻繁に紙づまりが起こるときは .....	8-3
紙づまりが起きたときには .....	8-4
紙づまりが起こったときの表示 .....	8-4
定着ユニットの紙づまりの処理 .....	8-10
両面ユニットの紙づまりの処理 .....	8-12
手差しトレイ部の紙づまりの処理 .....	8-14
カセット 1 の紙づまりの処理 .....	8-17
カセット 2 の紙づまりの処理 .....	8-21
2 段カセットペディスタル・Y3 の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-24
サイドペーパーデッキ・Q1 の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-27
フィーダ (DADF-M1) の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-30
フィニッシャー・S1 の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-33
フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1 の入り口の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-38
フィニッシャー・S1 の入り口の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-43
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-46
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のパッファパスユニットの紙づまりの処理 (オプション) .....	8-48
サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-50
サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション) .....	8-52
パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-55
インナー 2 ウェイトレイ・D1 の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-58
コピートレイ・J1 の紙づまりの処理 (オプション) .....	8-61
針づまりが起きたときには .....	8-64
フィニッシャー・S1 の針づまりの処理 (オプション) .....	8-64
フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のステイプルユニットの針づまりの処理 (オプション) .....	8-68
サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション) .....	8-71
エラーメッセージ一覧 .....	8-75

## 8. 困ったときには

---

自己診断表示.....	8-75
終了コード一覧.....	8-77
読み込み中にメモリがいっぱいになったときには .....	8-85
サービスコール表示 .....	8-87
担当サービスを呼ぶときは.....	8-87
サービスコール画面から機能制限モードを設定する .....	8-89
電源が入らないとき（ブレーカーの確認）.....	8-91



## 頻繁に紙づまりが起きるときは

---

特に本製品に不具合がないのに紙づまりが頻発するときは、次の2つのような原因が考えられます。それぞれの対処方法に従って、原因を除去してください。

### ■ 本体内に紙片が残っている

つまっている用紙を無理に引っ張ったりした場合、用紙が破れて紙片が本体内に残ってしまうことがあります。用紙が破れた場合には、残りの紙片もすべて取り除いてください。

### ■ 設定と異なる用紙がカセットにセットされている

カセットにセットされている用紙が、カセットの右側面にある用紙サイズの指標と一致しているかどうか確認してください。

# 紙づまりが起きたときには

紙づまりが起きると、タッチパネルディスプレイに次のような画面が表示されます。

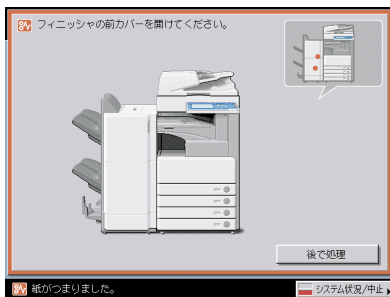
## 紙づまりが起こったときの表示

タッチパネルディスプレイに、紙がつまっている場所を示す画面と、紙づまりの処理方法が表示されます。この画面表示は紙づまりが処理されるまで繰り返されます。

### ■ 紙づまりの箇所を示す画面の例

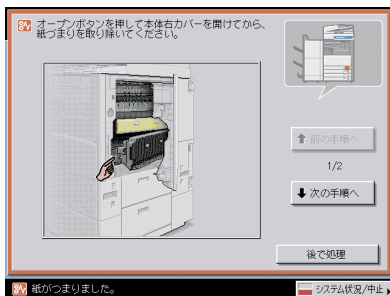
紙づまりの箇所を画面右上のウィンドウで確認できます。

[後で処理] を押した場合は、紙づまりをすぐに処理しなくてもモードの設定、原稿の読み込みなどの操作は続けることができます。



- 重要**
- フィーダで紙づまりが発生したときは、続けて操作を行うことはできません。画面の指示に従って用紙を取り除いてください。(→ フィーダ (DADF-M1) の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-30)
  - MEAP 画面を表示している場合は、ジョブ/プリント状況表示部にメッセージが表示されます。[システム状況 / 中止] を押したあと、画面の指示に従って用紙を取り除いてください。

### ■ 紙づまりの処理方法を示す画面の例



**警告**

製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

**注意**

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、本製品から直ちに手を離してください。ローラ部に衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

**メモ**

複数の箇所にも用紙が詰まっている場合は、タッチパネルディスプレイに表示された順に処理してください。

## 1 画面に表示されたすべての紙づまり箇所を確認し、詰まった紙を取り除きます。

詰まった紙を見つけて取り除く方法については、以下の該当ページを参照してください。または、画面に表示される手順に従ってください。

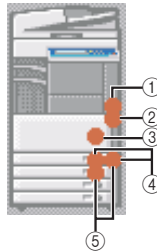
用紙が破れた場合は、残りの紙片もすべて取り除いてください。

**重要**

紙づまり中に電源を切ると、カセットの紙づまりが検知されなくなります。電源を切らずに紙づまりを処理してください。

**メモ**

- 画面に表示されている紙づまり位置に、実際には紙がつまっていない場合があります。そのような場合もありますが、画面の表示に従い、必ずすべての表示箇所を確認してください。
- 紙づまりが起こる箇所と、それらの紙づまりの処理方法を説明している参照ページは以下のとおりです。

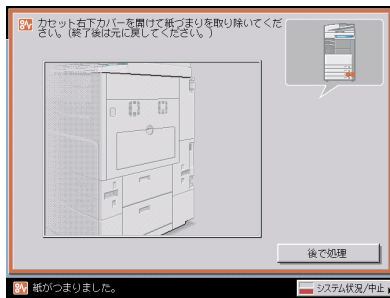


- ① 定着ユニット (→定着ユニットの紙づまりの処理：P.8-10)
- ② 両面ユニット (→両面ユニットの紙づまりの処理：P.8-12)
- ③ 手差しトレイ (→手差しトレイ部の紙づまりの処理：P.8-14)
- ④ カセット 1 (→カセット 1 の紙づまりの処理：P.8-17)
- ⑤ カセット 2 (→カセット 2 の紙づまりの処理：P.8-21)

## 2 オプション機器で紙づまりが起きた場合は、それぞれの項目を参照してください。

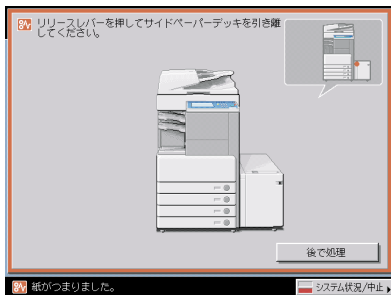
### ● 2 段カセットペディスタル・Y3

- 2 段カセットペディスタル・Y3 の紙づまりの処理 (オプション)：P.8-24



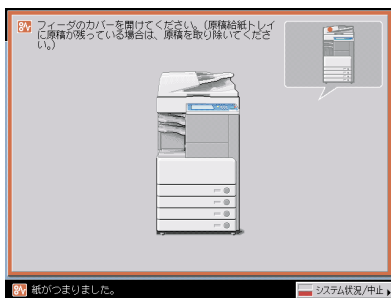
● サイドペーパーデッキ・Q1

- サイドペーパーデッキ・Q1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-27



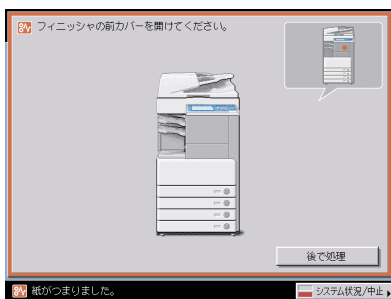
● フィーダ

- フィーダ (DADF-M1) の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-30



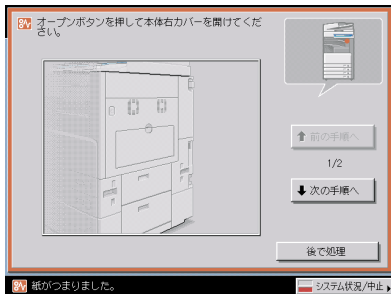
● フィニッシャー・S1

- フィニッシャー・S1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-33
- フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1 の入り口の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-38
- フィニッシャー・S1 の入り口の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-43



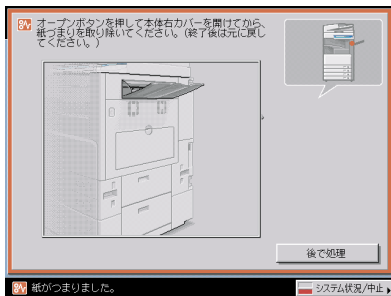
● インナー 2 ウェイトレイ・D1

- インナー 2 ウェイトレイ・D1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-58



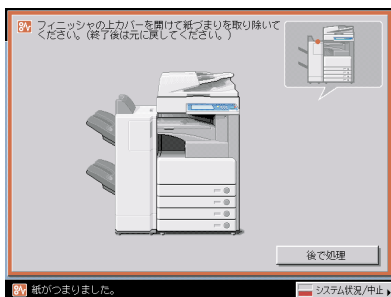
● コピートレイ・J1

- コピートレイ・J1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-61



● フィニッシャー・AE1

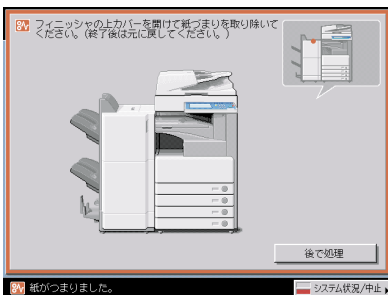
- フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-46
- フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のバッファパスユニットの紙づまりの処理 (オプション) : P.8-48





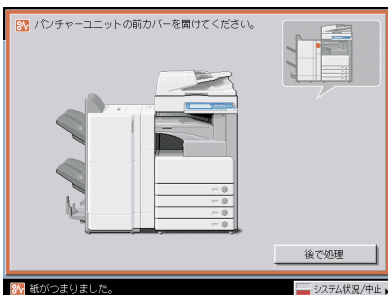
### ● サドルフィニッシャー・AE2

- フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-46
- フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のバッファパスユニットの紙づまりの処理 (オプション) : P.8-48
- サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-50
- サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション) : P.8-52



### ●パンチャーユニット・L1

- パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-55



**3** 表示された箇所につまっている紙をすべて取り除いたら、レバーやカバーなどを処理する前の状態に戻します。

**4** 画面の指示に従って操作を続けます。

フィード以外の紙づまりの処理が終了するとプリント動作を再開します。

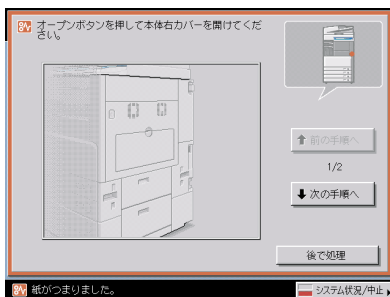
取り除く紙が他にもある場合は、タッチパネルディスプレイに紙づまりの処理方法を示す画面が表示されます。手順 1 から同様の作業をしてください。



複数の部数をコピーしている場合でも、コピー枚数を設定しなおす必要はありません。つまった枚数に応じて、自動的に補正されます。

## 定着ユニットの紙づまりの処理

定着ユニットで紙づまりが起ると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



**注意**

製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

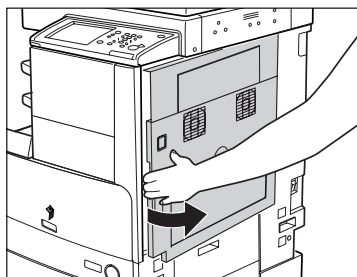
困ったときには

8

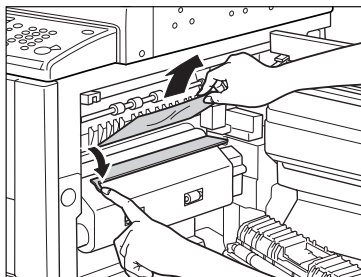
### 1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

オプションのコピートレイ・J1 (→ P.3-35) を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。



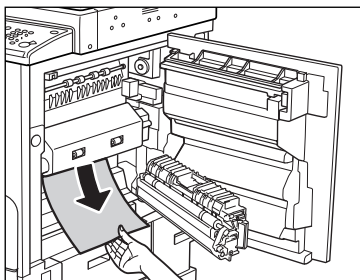
- 2** 定着ユニットの上部カバーを手前に倒し、つまっている用紙を取り除きます。



定着ユニットの下側につまっている用紙があるときは、手順3へ進みます。

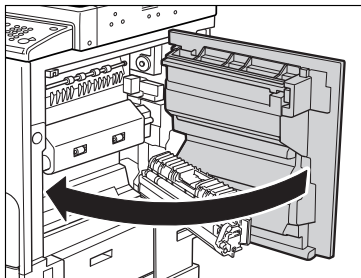
- ⚠ 注意** 定着器内部は使用中に高温になります。紙を取り除くときは、上部カバー以外の定着器周辺に触れないでください。

- 3** 定着ユニットの下側につまっている用紙を取り除きます。



- 4** 本体の右カバー側面の手マーク (☞) を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



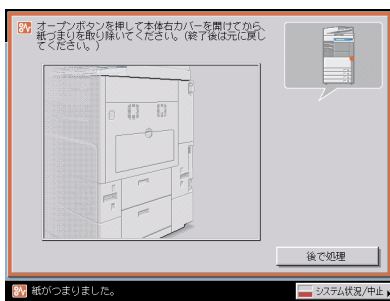
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 5 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

## 両面ユニットの紙づまりの処理

両面ユニットで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

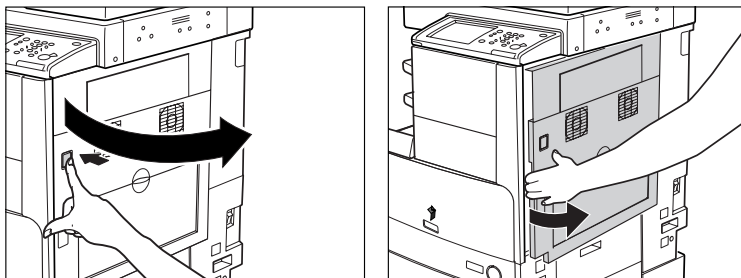


**注意** 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

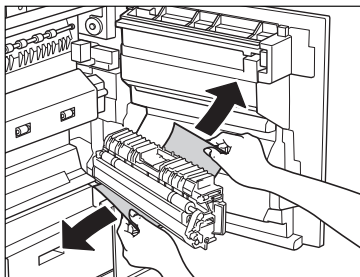
## 1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

オプションのコピートレイ・J1 (→P.3-35) を装着している場合は、コピートレイ・J1上の用紙をすべて取り除いてください。

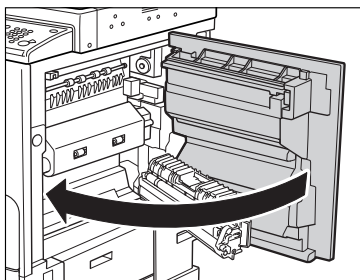


## 2 両面ユニットにつまっている用紙を取り除きます。



## 3 本体の右カバー側面の手マーク (☞) を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



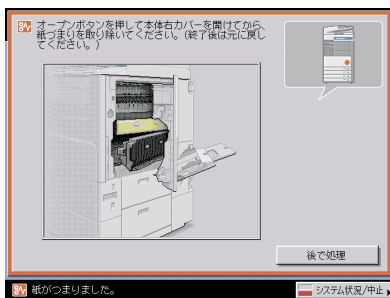
**⚠ 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 4 画面の指示に従って操作します。

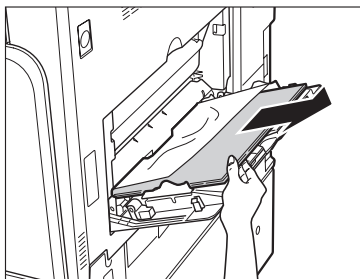
**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

## 手差しトレイ部の紙づまりの処理

手差しトレイ部で紙づまりが起これると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



- 1 手差しトレイ上の紙づまりしていない用紙をいったんすべて取り除きます。



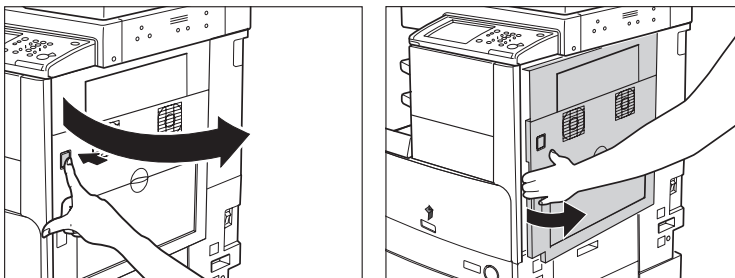
- 2 つまっている用紙を取り除きます。



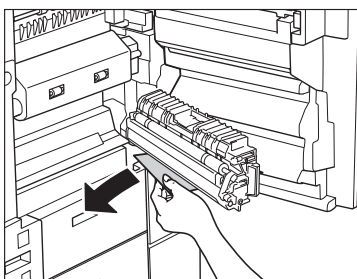
### 3 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

オプションのコピートレイ・J1 (→ P.3-35) を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

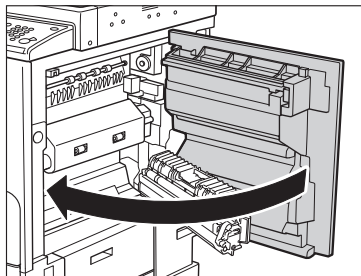


### 4 手差し給紙口につまっている用紙を、右カバーの裏側から取り除きます。



## 5 本体の右カバー側面の手マーク (☞) を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



**⚠ 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

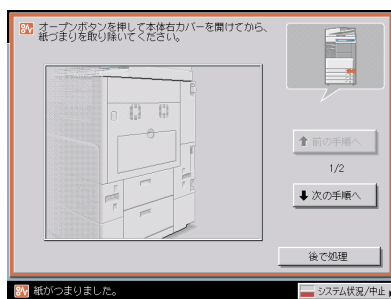
## 6 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)



## カセット 1 の紙づまりの処理

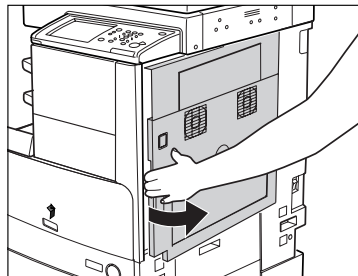
カセット 1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



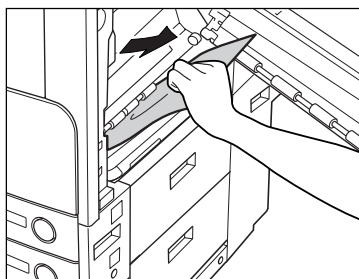
### 1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

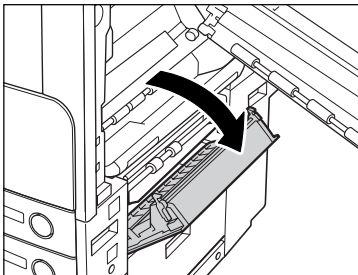
オプションのコピートレイ・J1 (→P.3-35) を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。



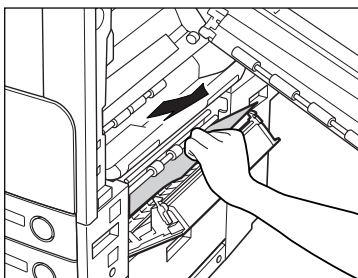
### 2 つまっている用紙を取り除きます。



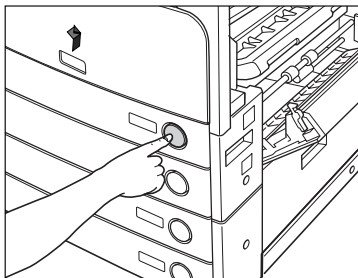
**3** 本体のカセット右上カバーを開きます。



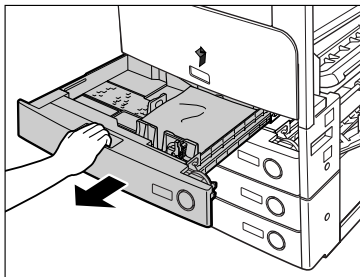
**4** つまっている用紙を取り除きます。



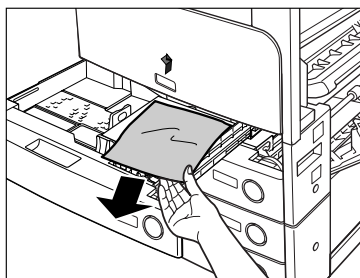
**5** カセット 1 のオープンボタンをいったん押して離します。



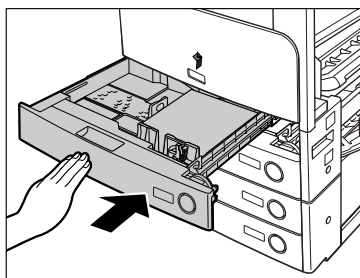
**6** カセット 1 を引き出します。



**7** つまっている用紙を取り除きます。

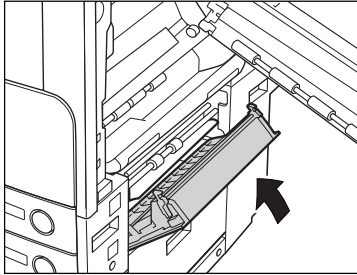


**8** カセット 1 をカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



**⚠注意** カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

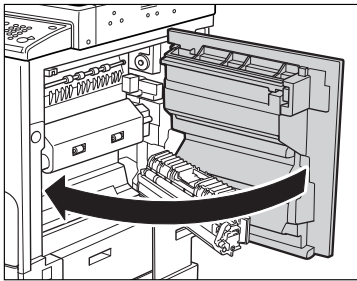
## 9 本体のカセット右上カバーを閉じます。



**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 10 本体の右カバー側面の手マーク (☞) を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



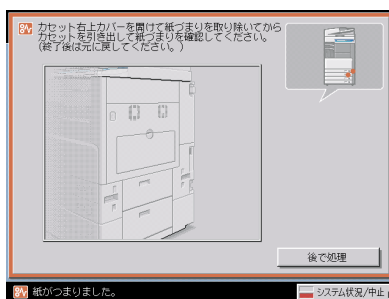
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 11 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

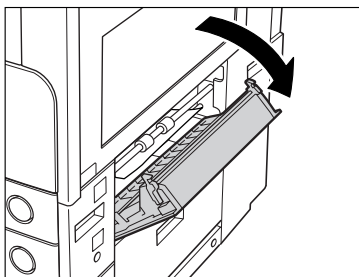
## カセット 2 の紙づまりの処理

カセット 2 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

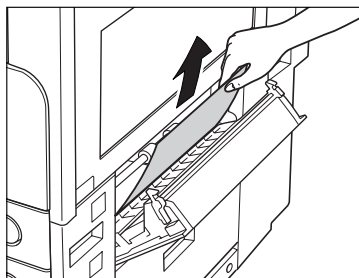


### 1 本体のカセット右上カバーを開きます。

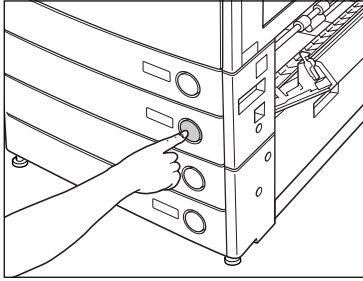
オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。



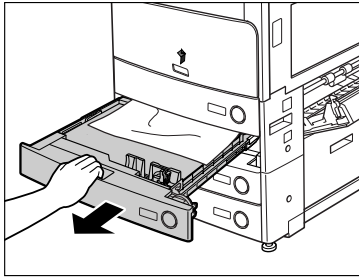
### 2 つまっている用紙を取り除きます。



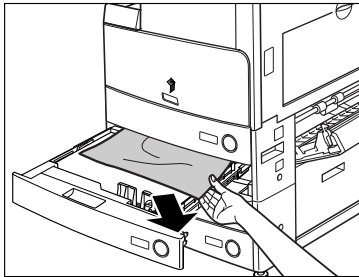
**3** カセット 2 のオープンボタンをいったん押して離します。



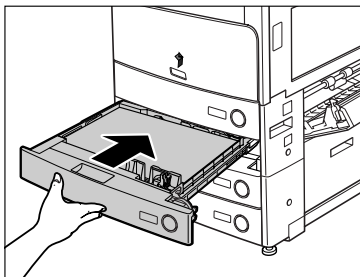
**4** カセット 2 を引き出します。



**5** つまっている用紙を取り除きます。



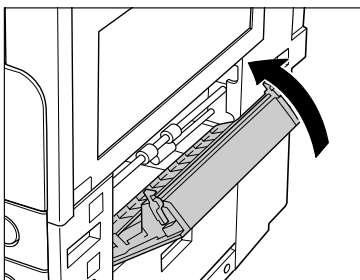
## 6 カセット 2 をカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



**注意** カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 7 本体のカセット右上カバーを閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



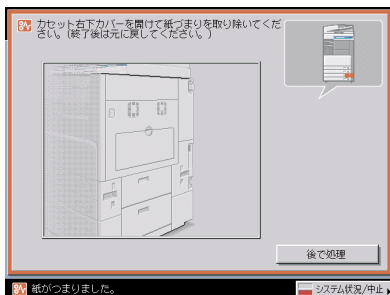
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 8 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→ 紙づまりが起こったときの表示 : P.8-4)

## 2 段カセットペディスタル・Y3 の紙づまりの処理（オプション）

2 段カセットペディスタル・Y3 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

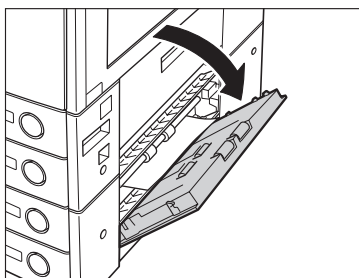


**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

**注意** 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

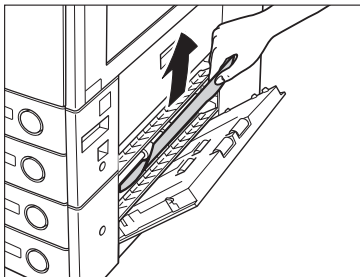
### 1 カセットペディスタルの右下カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（→P.3-17）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

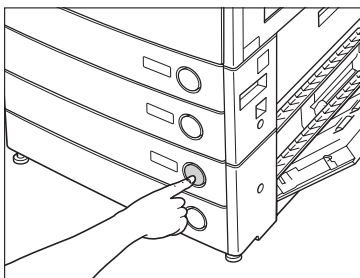




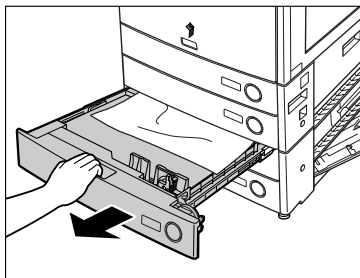
**2** つまっている用紙を取り除きます。



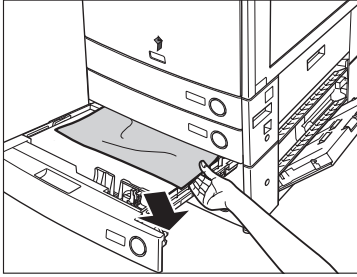
**3** 給紙中のカセットのオープンボタンをいったん押して離します。



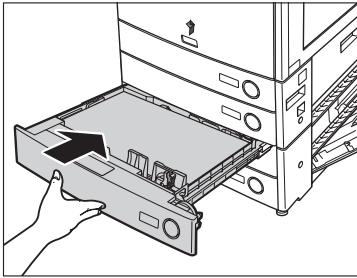
**4** カセットを引き出します。



**5** つまっている用紙を取り除きます。



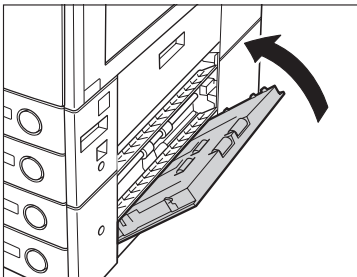
**6** カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



**⚠ 注意** カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。


**7** カセットベディスタルの右下カバーを閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



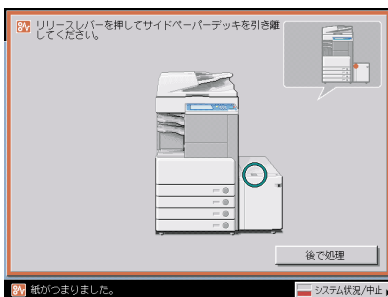
**⚠ 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。



## 8 画面の指示に従って操作します。

-  **メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

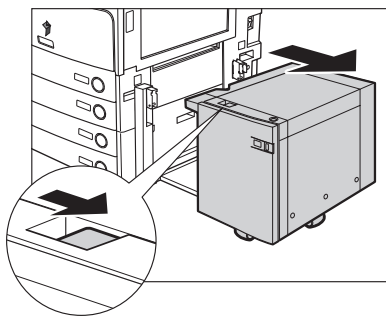
### サイドペーパーデッキ・Q1 の紙づまりの処理 (オプション)

サイドペーパーデッキ・Q1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

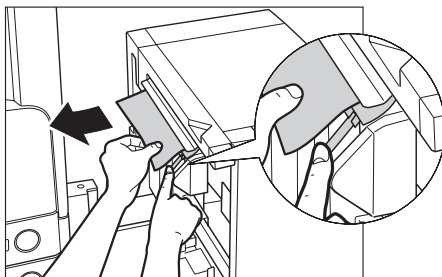


-  **警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
-  **注意** 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

- 1 リリースレバーを押して、サイドペーパーデッキを本体から引き離します。



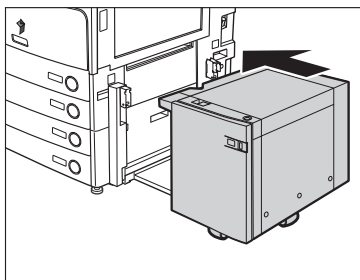
- 2** ペーパーデッキの本体側の側面のレバーを引き下げながら、給紙部につまっている用紙を取り除きます。



本体側面の給紙口にも紙がつまっていることがあります。つまっている場合は紙を取り除いてください。



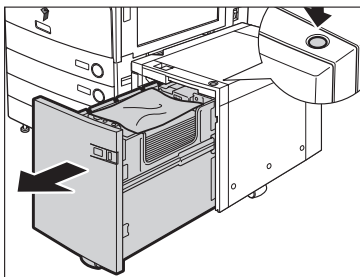
- 3** サイドペーパーデッキを本体に接続します。



サイドペーパーデッキを接続したときに紙づまりのメッセージが表示されなくなった場合は、手順7へ進みます。

**⚠ 注意** サイドペーパーデッキを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

#### 4 サイドペーパーデッキのオープンボタンを押して、サイドペーパーデッキを開きます。



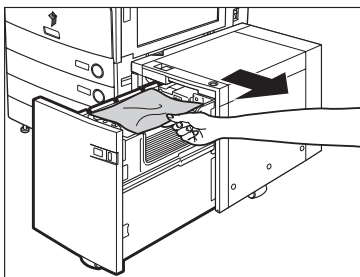
自動的に内部のリフターが下がります。

#### 重要

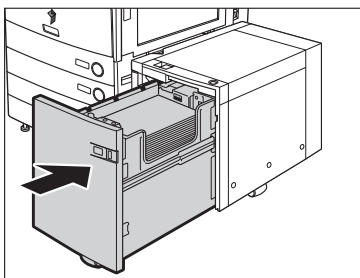
本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

#### 5 つまっている用紙を取り除きます。

つまっている用紙は見えにくいことがあります。よく確認してください。



#### 6 サイドペーパーデッキを閉じます。



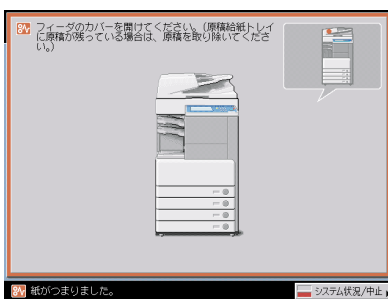
**注意** サイドペーパーデッキを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 7 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

## フィーダ (DADF-M1) の紙づまりの処理 (オプション)

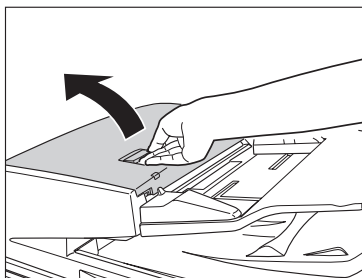
フィーダで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



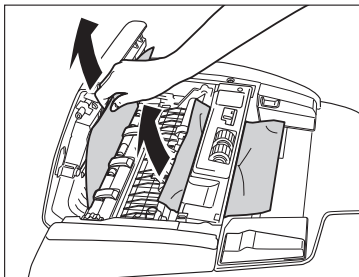
**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

**注意** 原稿づまりを取り除くときは、原稿の端で手を切ったりしないように、注意してください。

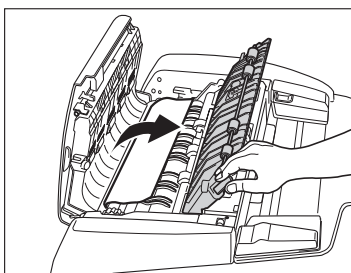
### 1 フィーダカバーを開きます。



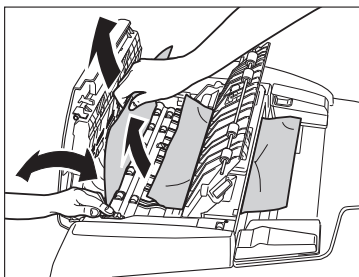
**2** つまっている用紙を取り除きます。



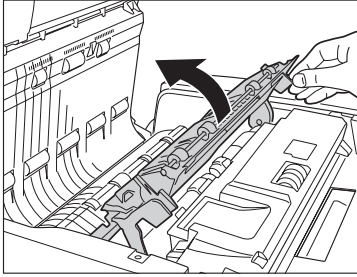
**3** 手前のつまみを持って、中カバーを開きます。



**4** つまみを回して、つまっている用紙を取り除きます。

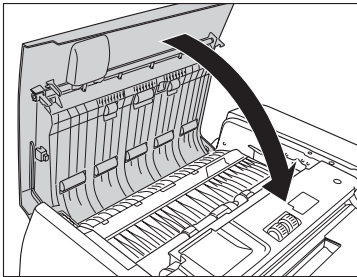


**5** 中カバーを閉じます。



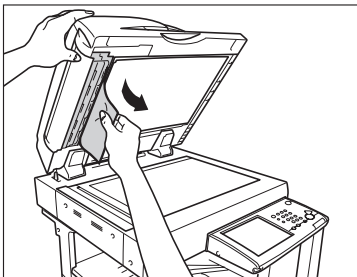
**⚠注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**6** つまっている原稿をすべて取り除いたら、フィーダカバーを閉じます。



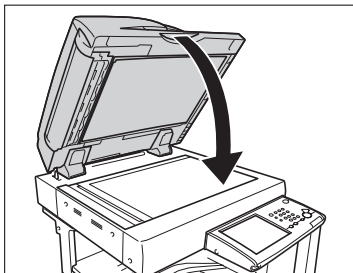
**⚠注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**7** フィーダを開き、つまっている原稿を取り除きます。





## 8 フィーダを閉じます。



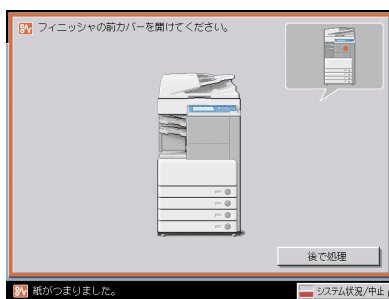
**注意** フィーダは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

## 9 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

### フィニッシャー・S1 の紙づまりの処理 (オプション)

フィニッシャー・S1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

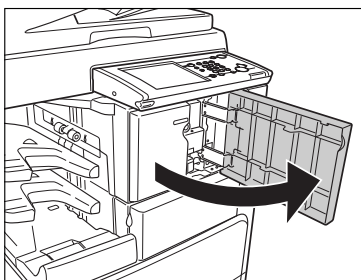
**注意**

- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。

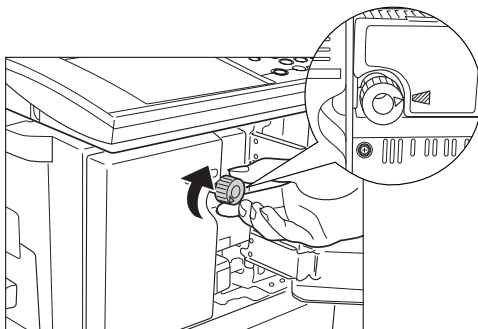
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

## 1 フィニッシャの前カバーを開きます。

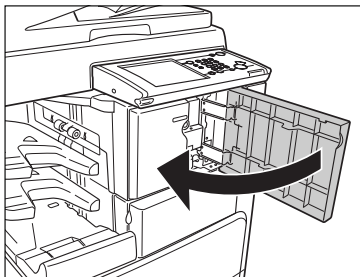
オプションのインナーパンチャーキット・Q1 を装着していない場合は、この手順は不要です。手順4へ進んでください。



## 2 つまみの▲を//の範囲にあわせます。



### 3 フィニッシャの前カバーを閉じます。

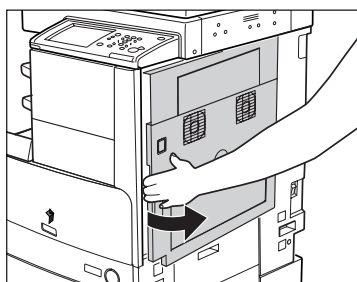


**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

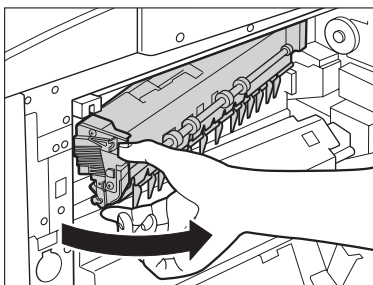
### 4 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

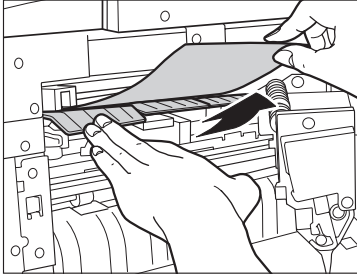
オプションのコピートレイ・J1 (→ P.3-35) を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。



### 5 排紙ユニットを引き出します。

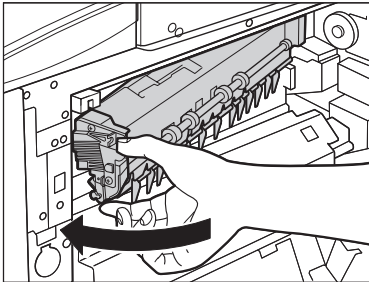


## 6 排紙ガイドを下げながら、つまっている用紙を取り除きます。



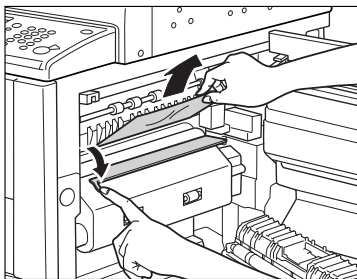
**重要** 排紙ガイドが下がらない場合は破損する恐れがあるため、他の排紙ガイドを下げてください。

## 7 排紙ユニットを戻します。



**注意** 排紙ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

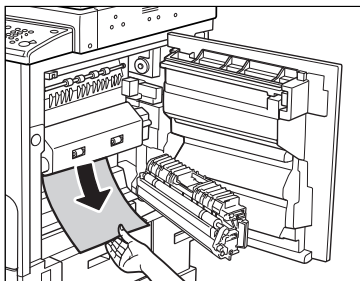
## 8 定着ユニットの上部カバーを手前に倒し、つまっている用紙を取り除きます。



定着ユニットの下側につまっている用紙があるときは、手順9へ進みます。

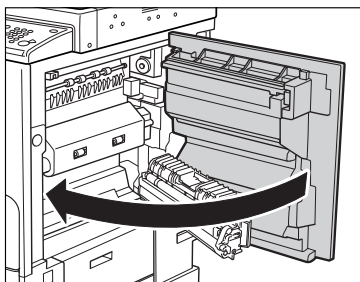
**注意** 定着器内部は使用中に高温になります。紙を取り除くときは、上部カバー以外の定着器周辺に触れないでください。

## 9 定着ユニットの下側につまっている用紙を取り除きます。



## 10 本体の右カバー側面の手マーク (👉) を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



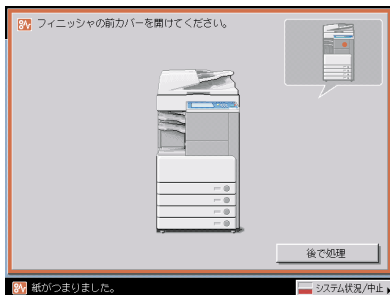
**⚠ 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 11 画面の指示に従って操作します。

**📌 メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

## フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1 の入り口の紙づまりの処理（オプション）

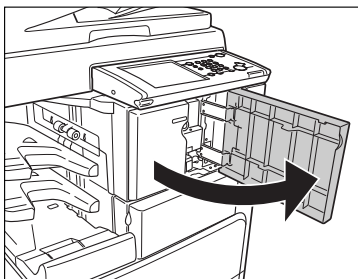
フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1 で紙づまりが起こると、下のよう画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



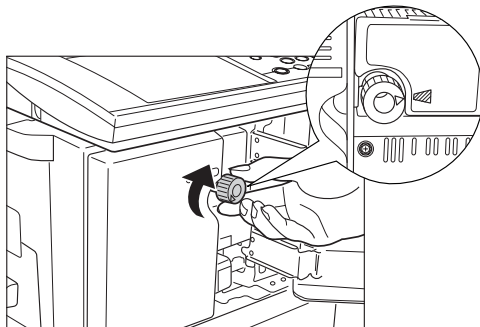
**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

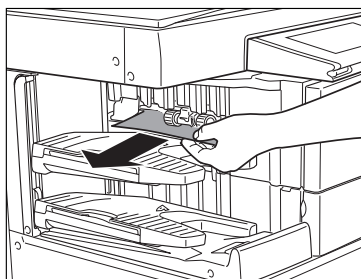
### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



## 2 つまみの▲を//の範囲にあわせます。



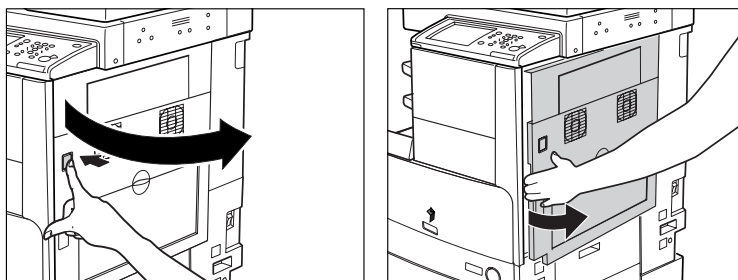
## 3 フィニッシャの排紙口から見えている用紙を取り除きます。



## 4 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

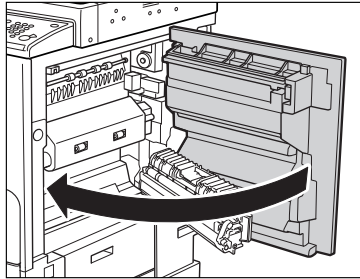
オプションのコピートレイ・J1 (→ P.3-35) を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。



**5** 「フィニッシャー・S1の紙づまりの処理（オプション）」（→P.8-33）の手順5～9に準じて、つまっている用紙を取り除きます。

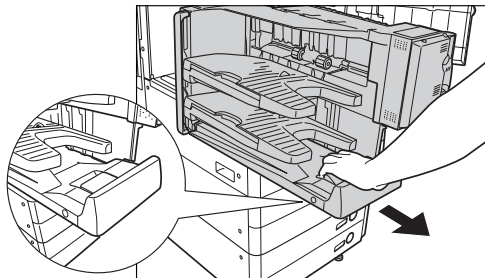
**6** 本体の右カバー側面の手マーク（☞）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（→P.3-17）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

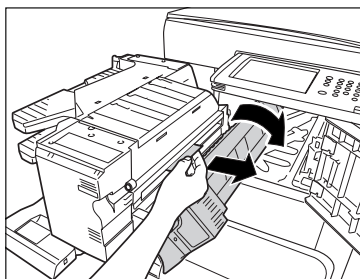
**7** 引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。



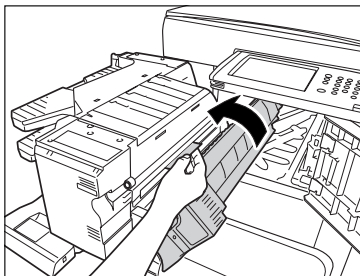
**注意** 引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。



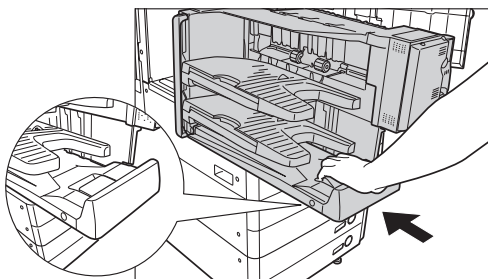
- 8** インナーパンチャーキットを開いて、つまっている用紙を取り除きます。



- 9** インナーパンチャーキットを元の位置に戻します。



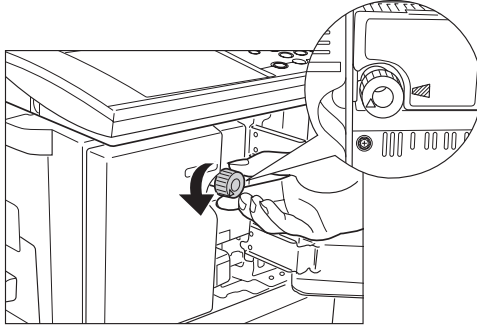
- 10** 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。



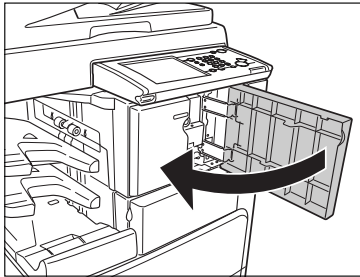
**注意**

フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

**11** つまみの▲を元の位置に戻します。



**12** フィニッシャの前カバーを閉じます。



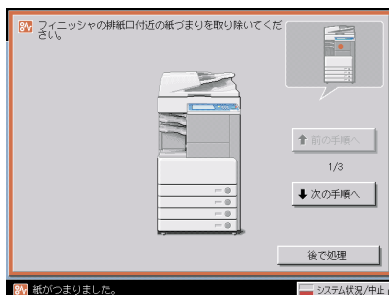
**⚠注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**13** 画面の指示に従って操作します。

**📌メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

## フィニッシャー・S1 の入り口の紙づまりの処理 (オプション)

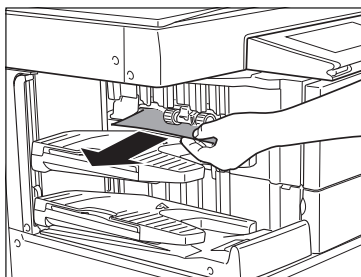
フィニッシャー・S1 の入り口で紙づまりが起これると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



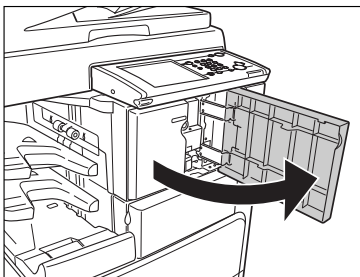
**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

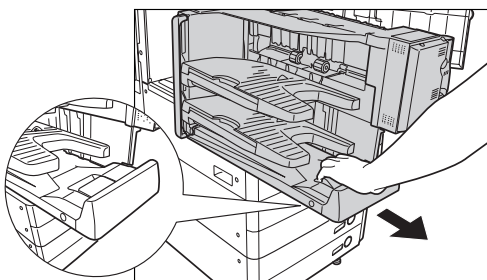
### 1 フィニッシャの排紙口から見えている用紙を取り除きます。



**2** フィニッシャの前カバーを開きます。

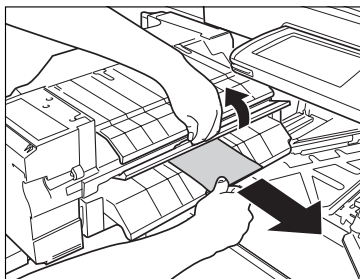


**3** 引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。

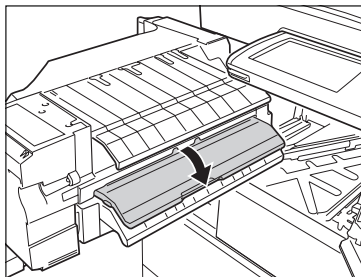


**⚠ 注意** 引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。

**4** 搬送カバーを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

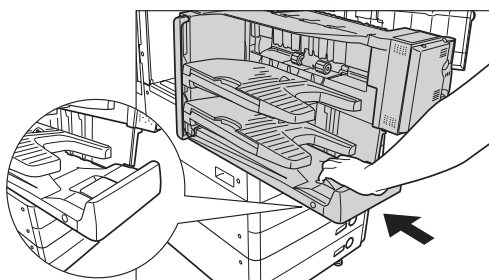


## 5 搬送カバーを閉じます。



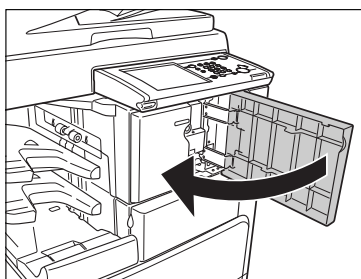
**⚠注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 6 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。



**⚠注意** フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

## 7 フィニッシャの前カバーを閉じます。



**⚠注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

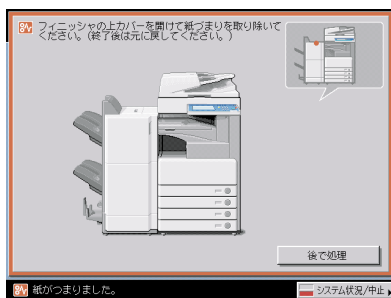
## 8 画面の指示に従って操作します。



紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

### フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション)

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



#### 警告

製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

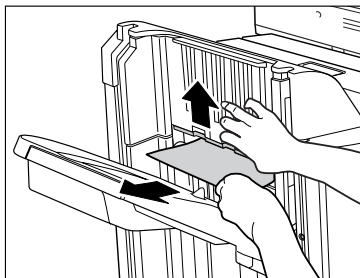


#### 注意

- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

# 1 排紙部を開いて、外側から見えている用紙を取り除きます。

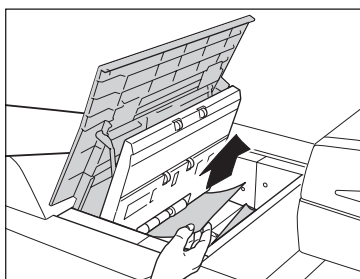
用紙が見えない場合は、排紙部内につまっている用紙がないか確認してください。



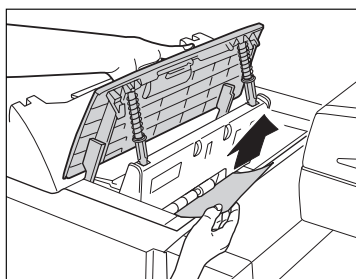
**重要**

ステイブルソートを設定してプリントしていた場合、ステイブルされる前の出力紙の束は取り除かないでください。(紙づまりを処理したあと、続きから出力されます。)

# 2 フィニッシャーの上カバーを開いて、つまっている用紙をすべて取り除きます。

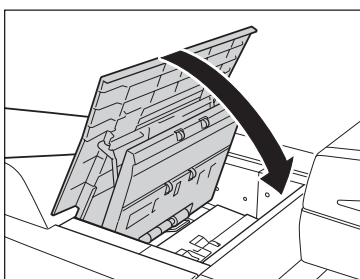


サドルフィニッシャー・AE2

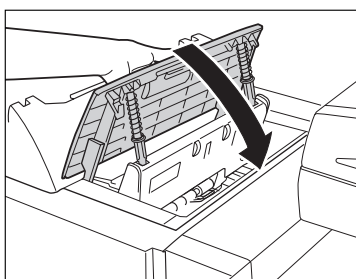


フィニッシャー・AE1

# 3 上カバーを閉じます。



サドルフィニッシャー・AE2



フィニッシャー・AE1

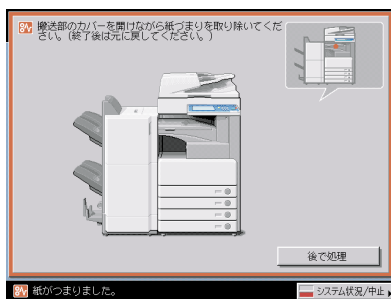
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 4 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→紙づまりが起きたときの表示：P.8-4)

### フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の バッファパスユニットの紙づまりの処理 (オプション)

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のバッファパスユニットで紙づまりが起ると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



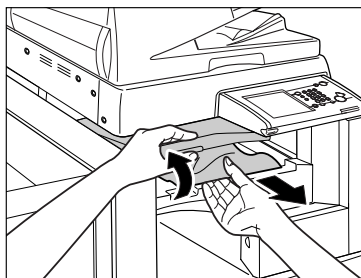
**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

**注意**

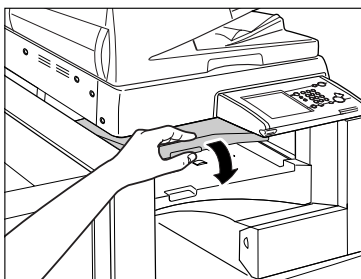
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。



**1** バッファパスユニットを開いて、つまっている用紙を取り除きます。



**2** バッファパスユニットを閉じます。



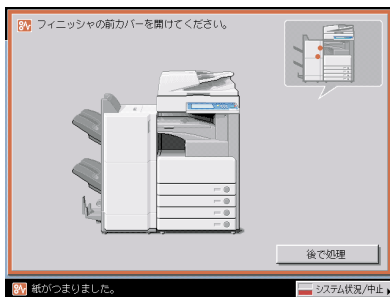
**⚠ 注意** ユニットを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**3** 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
 (→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

## サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション)

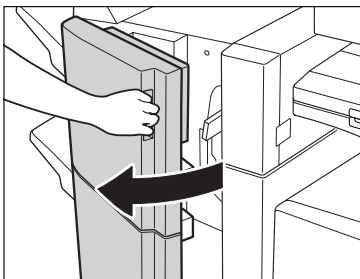
サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部で紙づまりが起これると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

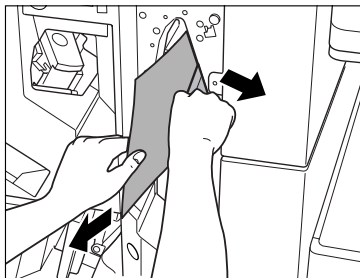
- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



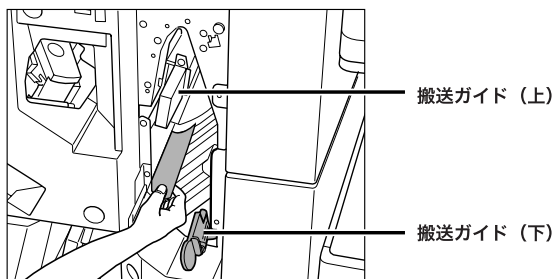
## 2 搬送ガイド（上）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（上）はバネが組み込まれています。搬送ガイド（上）を放すと元の位置に戻ります。

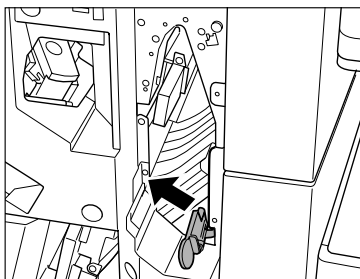


## 3 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

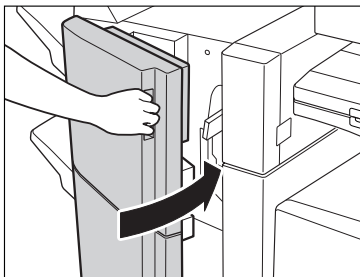
搬送ガイド（下）は右に止まるまで回したあと、開きます。



## 4 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。



## 5 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



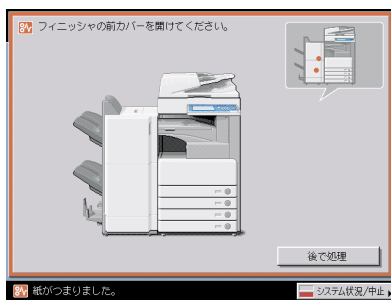
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 6 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

### サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション)

サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



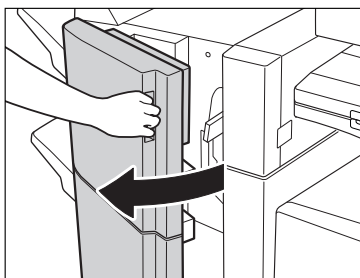
**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

**注意**

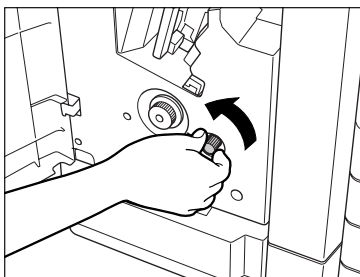
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。

- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

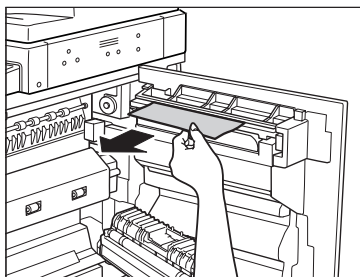
## 1 フィニッシャの前カバーを開きます。



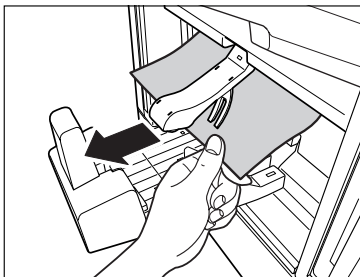
## 2 右側のつまみを回します。



## 3 左側のつまみを押しながら回します。

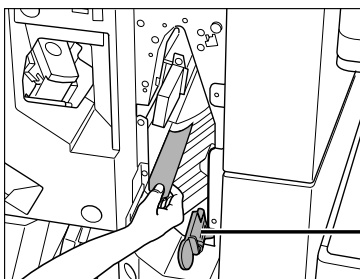


**4** 外側から見えている用紙を取り除きます。



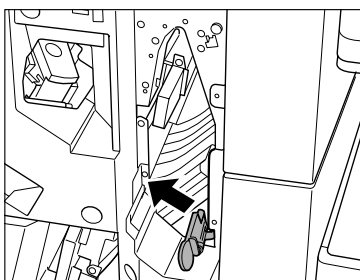
**5** 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（下）は右に止まるまで回したあと、開きます。

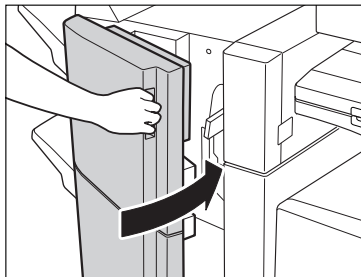


搬送ガイド（下）

**6** 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。



## 7 フィニッシャの前カバーを閉じます。



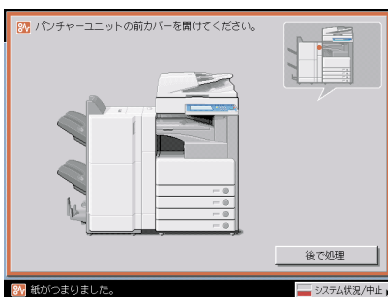
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 8 画面の指示に従って操作します。

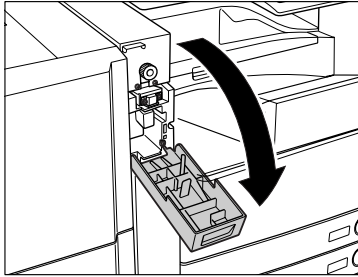
**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

### パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション)

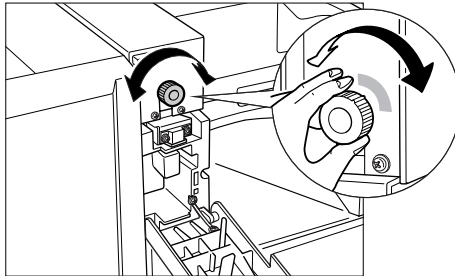
パンチャーユニット・L1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



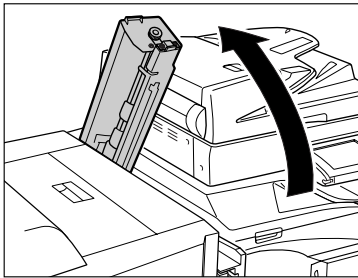
- 1 パンチャーユニットの前カバーを開きます。



- 2 つまみの▲を の範囲にあわせます。

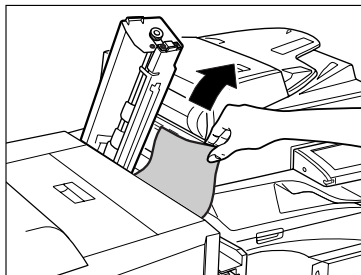


- 3 パンチャーユニットの上カバーを開きます。

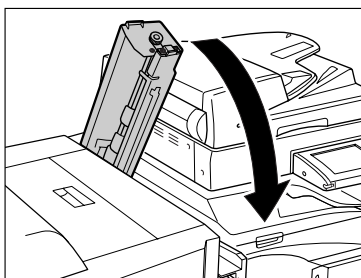




#### 4 つまっている用紙を取り除きます。

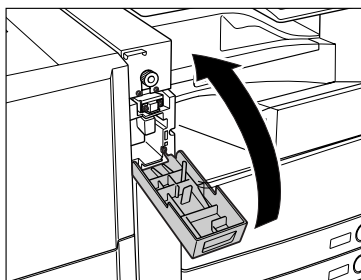


#### 5 パンチャーユニットの上カバーを閉じます。



**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

#### 6 パンチャーユニットの前カバーを閉じます。



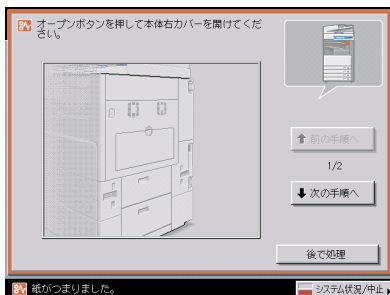
**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

#### 7 画面の指示に従って操作します。

**メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。  
 (→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

## インナー 2 ウェイトレイ・D1 の紙づまりの処理（オプション）

インナー 2 ウェイトレイ・D1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



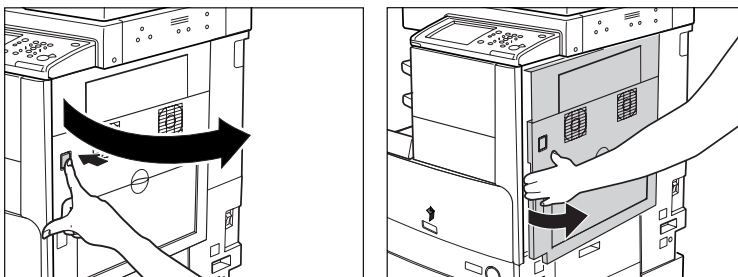
**警告** 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
  - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

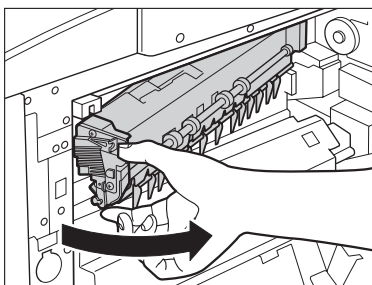
## 1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

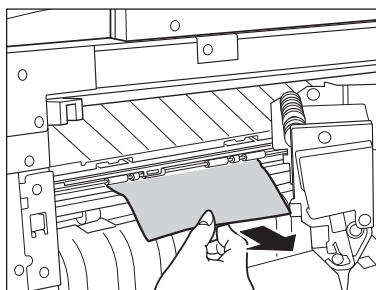
オプションのコピートレイ・J1 (→ P.3-35) を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。



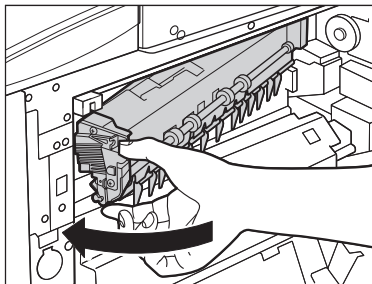
## 2 排紙ユニットを引き出します。



## 3 つまっている用紙を取り除きます。

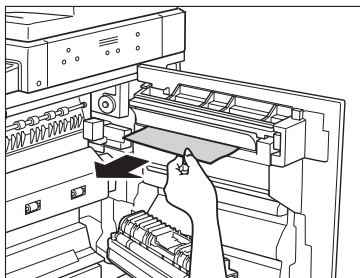


#### 4 排紙ユニットを戻します。



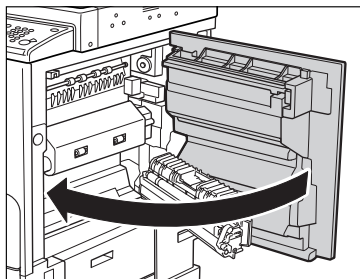
**⚠注意** ユニートを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

#### 5 本体の右カバーの裏側につまっている用紙を取り除きます。



#### 6 本体の右カバー側面の手マーク (👉) を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



**⚠注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

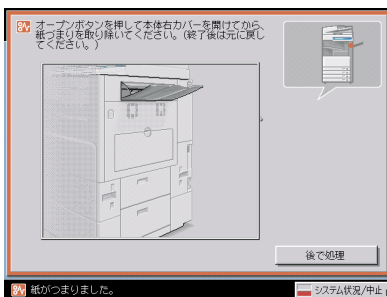
## 7 画面の指示に従って操作します。



紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

### コピートレイ・J1 の紙づまりの処理 (オプション)

コピートレイ・J1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



#### 警告

製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

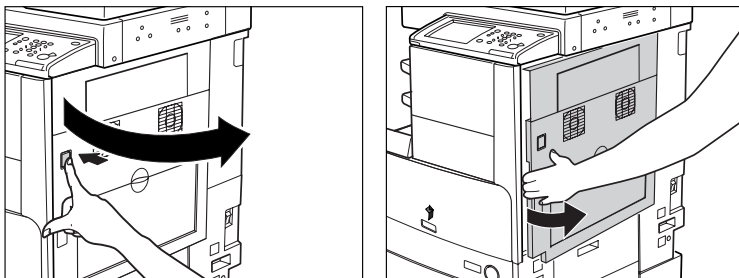


#### 注意

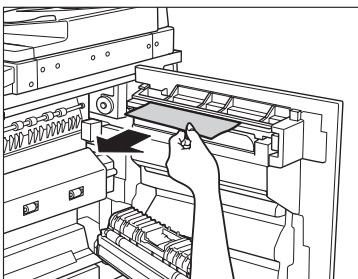
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

**1** 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

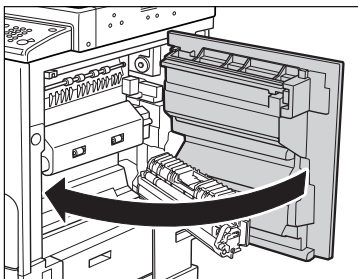



**2** コピートレイの排紙部につまっている用紙を、本体の右カバーの裏側から取り除きます。




**3** 本体の右カバー側面の手マーク (👉) を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1 (→ P.3-17) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



 **注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 4 画面の指示に従って操作します。

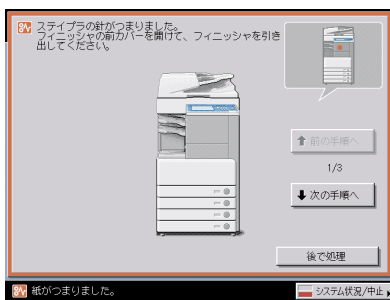
 **メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

# 針づまりが起きたときには

針づまりが起きたときには、以下の手順に従って針を取り除いてください。

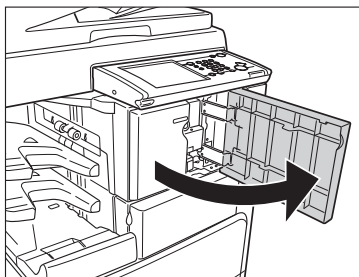
## フィニッシャー・S1 の針づまりの処理（オプション）

フィニッシャー・S1 で針づまりが起これると、下のような画面が表示されます。針づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。



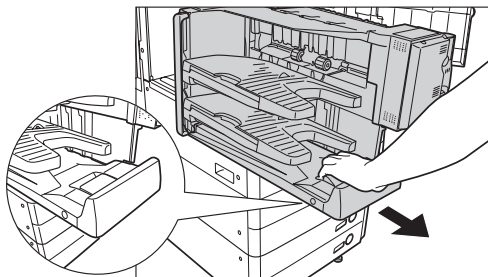
- 重要** 針づまりの処理を行う場合は、本製品のカバーやカセットが閉じていることを確認してから行ってください。

### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



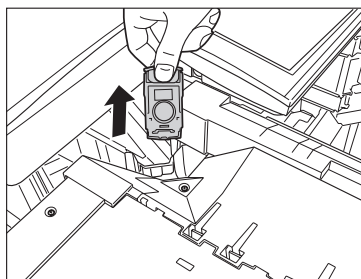


**2** 引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。

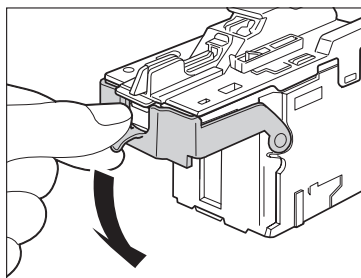


**注意** 引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。

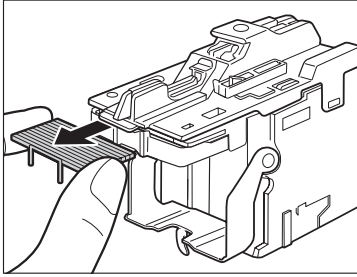
**3** 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。



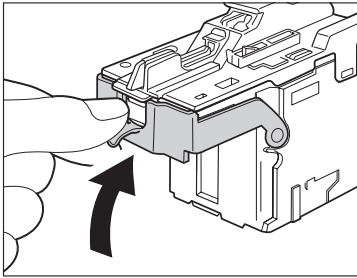
**4** 針カートリッジのつまみを下げます。



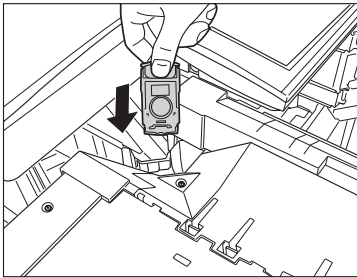
**5** 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除きます。



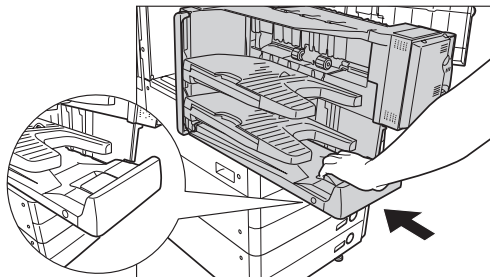
**6** 針カートリッジのつまみを元に戻します。



**7** 針カートリッジをしっかり押し込みます。

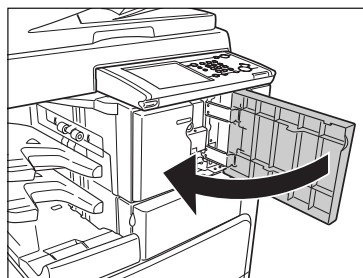


## 8 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。



**注意** フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

## 9 フィニッシャの前カバーを閉じます。

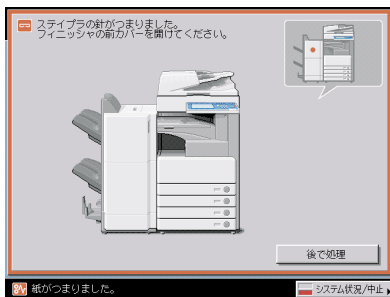


**注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**メモ** カバーを閉じると、針がとじ位置になればステイブルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

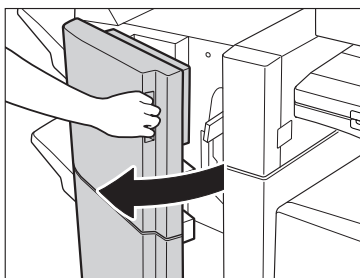
## フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のステイプルユニットの針ぶまりの処理（オプション）

フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のステイプルユニットで針ぶまりが起ると、下のような画面が表示されます。針ぶまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。

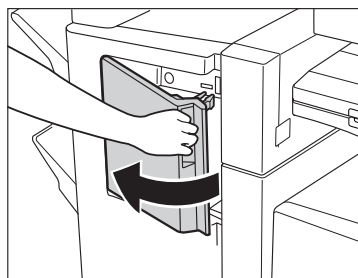


- 重要** 針ぶまりの処理を行う場合は、本製品のカバーやカセットが閉じていることを確認してから行ってください。

### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。

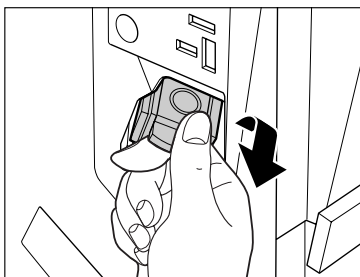


サドルフィニッシャー・AE2

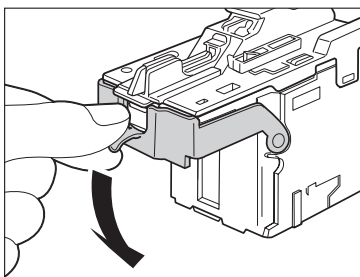


フィニッシャー・AE1

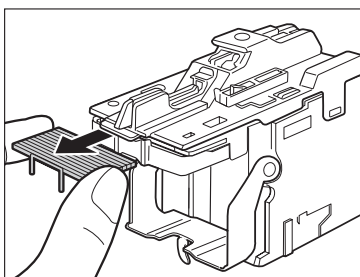
- 2** 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。



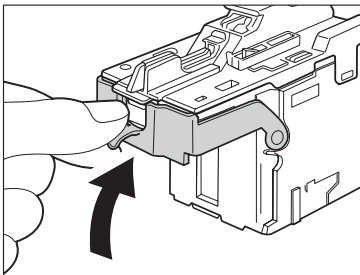
- 3** 針カートリッジのつまみを下げます。



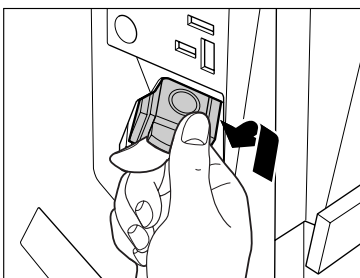
- 4** 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除きます。



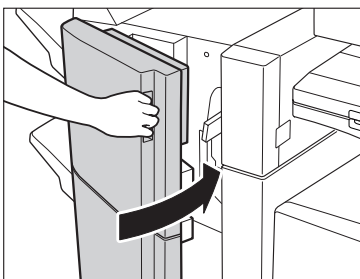
**5** 針カートリッジのつまみを元に戻します。



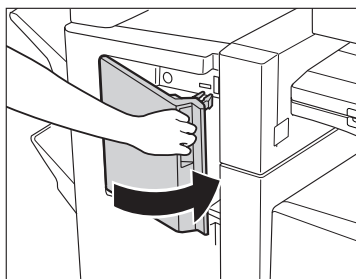
**6** 針カートリッジをしっかり押し込みます。



**7** フィニッシャの前カバーを閉じます。



サドルフィニッシャー・AE2

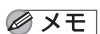


フィニッシャー・AE1



**注意**

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

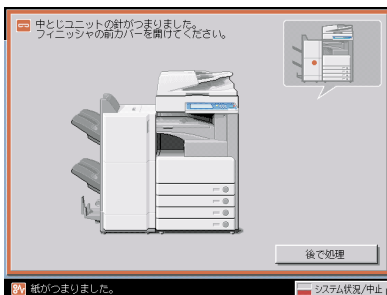


**メモ**

カバーを閉じると、針がとじ位置になればステイブルユニットは自動的に数回空打ちして針の頭出しを行います。

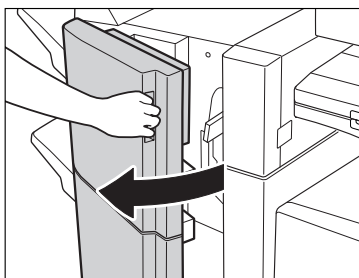
## サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション)

サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットで針づまりが起こると、下のような画面が表示されます。針づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。

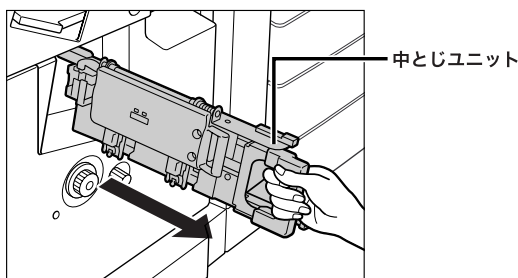


- 重要**
- 中とじユニットの針づまりの処理を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。
  - この処理はオプションのサドルフィニッシャー・AE2 装着時のみ行います。

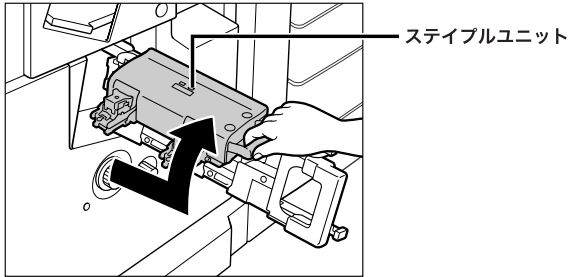
### 1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



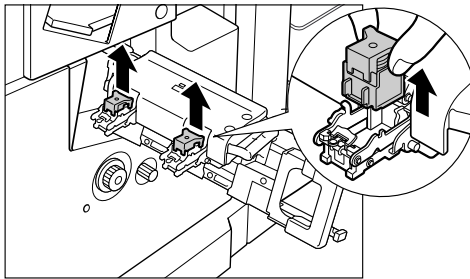
### 2 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。



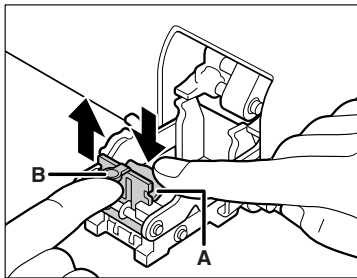
- 3** 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いたあと起こします。



- 4** 針カートリッジの左右をつまんで取り外します。

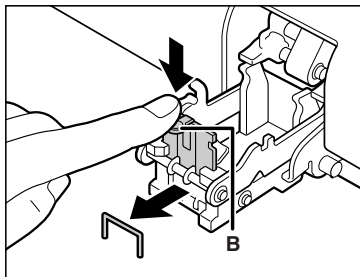


- 5** A の部分を下に押し、B のつまみを引き上げます。

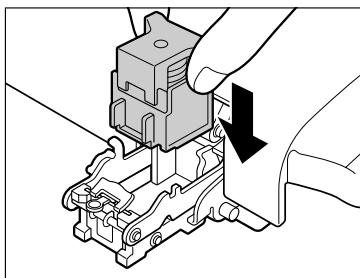




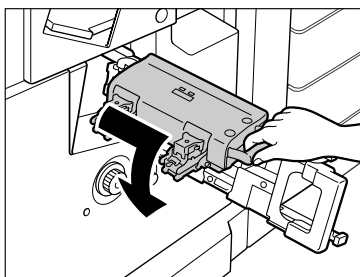
**6** つまっている針を取り除き、Bのつまみを元に戻します。



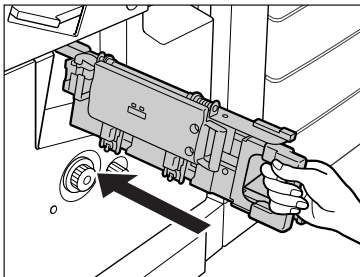
**7** 針カートリッジを元に戻します。



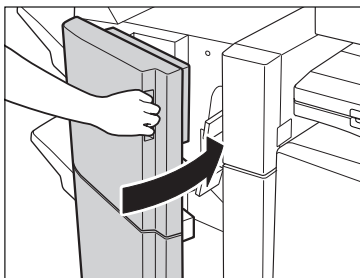
**8** 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いて元に戻します。



**9** 中とじユニットを押し戻します。



**10** フィニッシャの前カバーを閉じます。



**!** 注意

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

**!** 重要

針づまりの処理が終了したら、針の頭出しを行ってください。(→ 中とじユニットの針の頭出しをする：P.4-53)

# エラーメッセージ一覧

タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージの対処方法を説明します。  
記載されていないメッセージについては、「送信／ファクスガイド」、「ネットワークガイド」を参照してください。

## 自己診断表示

表示されたメッセージに応じて、必要な処理を行ってください。

次のような状態になったとき、自己診断表示が表示されます。

- 何らかの操作上の誤りで読み込みやプリントできないとき。
- 読み込み中やプリント動作中にユーザの判断や処理が必要になったとき。
- ネットワークの参照中にユーザの判断や処理が必要になったとき。

以下は、自己診断メッセージと原因と処置方法の一覧です。

### 用紙がありません。

**原因 1** 用紙がなくなり、プリントできません。

**処置** 用紙を補給してください。(→用紙の補給：P.7-2)

**原因 2** カセットが正しくセットされていません。

**処置** カセットを奥までセットしてください。(→用紙の補給：P.7-2)

### 最適サイズの A4 がありません。

**原因** 自動用紙選択で選択された最適サイズの用紙がセットされていません。

**処置 1** 表示されているサイズの用紙をセットしてください。  
このまま○(スタート)を押すと、現在選択されているカセットの用紙にプリントされます。

**処置 2** 表示されているサイズの用紙がセットされていてもこのメッセージが表示された場合は、目的のカセットのカセットオート選択の ON/OFF を「ON」に設定します。(→カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-29)

---

**△原稿を1枚目に戻してスタートキーを押してください。**

---

**原因** フィーダに何らかのトラブルが発生して、読み込みがストップしました。

**処置** 原稿を1枚目からそろえて、フィーダの原稿給紙トレイに再セットし、**○**(スタート)を押してください。

---

**△原稿を1枚目に戻してスタートキーを押してください。(読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えました。自動的に設定を補正して再度読み込みを行います。)**

---

**原因** 読み込んだ原稿のデータが本製品で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。

**処置** 原稿を1枚目から読み込みなおしてください。それでも読み込めない場合は、[シャープネス]を弱く、原稿の種類を[文字]に設定すると読み込めることもあります。

---

**△読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。[シャープネス]を弱く、原稿の種類を[文字]に設定すると実行できる可能性があります。**

---

**原因** 読み込んだ原稿のデータが本製品で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。

**処置** [シャープネス]を弱く、原稿の種類を[文字]に設定すると読み込める可能性があります。

---

**△排紙トレイの紙を取り除いてください。**

---

**原因** 前のプリントがトレイに残っています。

**処置** トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが開始または再開されます。

---

**△製本トレイの紙を取り除いてください。**

---

**原因** 前のプリントがトレイに残っています。

**処置** 製本トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが開始または再開されます。

### トナー容器を交換してください。

**原因** トナー残量が少なくなり、プリントできません。

**処置** 本製品専用のトナー容器を交換してください。(→トナー容器の交換：P.7-42)

### 原稿台に原稿をセットしてください。

**原因** 原稿台ガラスに原稿をセットするモードが設定されています。原稿台ガラスに原稿がありません。

**処置** 原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

### フィーダの原稿を取り除いてください。

**原因** フィーダに原稿をセットしても読み込めないモードのときに、フィーダと原稿台ガラスの両方に原稿がセットされています。

**処置** フィーダの原稿を取り除いてください。

### 原稿読み取り部（細長いガラス面）が汚れています。


**原因** 原稿読み取り部（細長いガラス面）にゴミなどが付着して汚れています。

**処置** フィーダの原稿読み取り部の清掃を行ってください。(→フィーダを清掃する：P.7-47)

## 終了コード一覧

ジョブや操作が正常に終了していない場合は、終了コードを確認し、表示されている終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。終了コードは、システム状況画面のジョブ履歴の詳細情報画面で確認することができます。(→ジョブの詳細情報を確認する：P.5-9) 送信や受信、ファクスのジョブについては、正常に終了しないと終了コードが通信管理レポートや送信結果レポートの通信結果欄にプリントされます。(→送信/ファクスガイド「第12章 レポート出力」)

終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。

 **メモ** 送信ジョブを中止すると、結果欄に「STOP」とプリントされます。

### #001

**原因 1** 原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズの原稿を読み込みました。

**処置** 原稿を設定を確認し、もう一度やり直してください。

**原因 2** 原稿サイズ混載の設定をしないうまま、異なるサイズの前稿の両面読み込みしました。

**処 置** 原稿を設定を確認し、もう一度やり直してください。

## #009

**原因 1** 用紙がありません。

**処 置** 用紙を補給してください。(→用紙の補給：P.7-2)

**原因 2** カセットが正しくセットされていません。

**処 置** カセットを正しくセットしなおしてください。(→用紙の補給：P.7-2)

## #037

**原因** メモリの空き容量がないため、受信できませんでした。

**処 置** エラー文書や不要な文書を削除して、メモリの空き容量を増やしてください。(→コピー/ボックスガイド「第 2 章 ボックスについて」、送信/ファクスガイド「第 6 章 文書を受信する」)

## #099

**原因** コピー/プリントが中止されました。

**処 置** もう一度コピー/プリントをやりなおしてください。

## #701

**原因 1** ジョブを投入したときに設定した部門 ID が存在しません。または、パスワードを変更しました。

**処 置** 正しい部門 ID または、暗証番号を①～⑨(テンキー) で入力して、もう一度送信してください。

**原因 2** ジョブの実行中に部門 ID または暗証番号が変更されました。もしくは ID 不定プリントジョブの受付設定が「OFF」になっています。

**処 置** システム管理者にご連絡ください。

---

## #703

---

**原因** メモリの画像領域がいっぱいになり、書き込みができません。

**処置 1** しばらくお待ちください。他の送信ジョブが終了してから、もう一度送信してください。

**処置 2** ボックス内の文書を削除してください。それでも正常に動作しない場合は、本製品の主電源を入れなおしてください。(→主電源と操作部電源について：P.1-15)

---

## #711

---

**原因** ボックス内のメモリがいっぱいです。

**処置** ボックス内の文書を削除してください。(→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」、送信/ファクスガイド「第6章 文書を受信する」)

---

## #712

---

**原因** ボックス内の文書がいっぱいです。

**処置** ボックス内の文書を削除してください。(→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」、送信/ファクスガイド「第6章 文書を受信する」)

---

## #749

---

**原因** サービスコールが表示されたため、実行できませんでした。

**処置** 主電源スイッチをいったん切ったあと、10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れてください。それでも正常に動作しない場合は、主電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスにご連絡ください。(→主電源と操作部電源について：P.1-15)

---

## #759

---

**原因** 文書が保存されているボックスのURL送信時にエラーが発生しました。

**処置** システム管理者にご連絡ください。

---

## #816

---

**原因** 部門別ID管理の制限面数で設定した数値を超え、プリントできませんでした。

**処置** システム管理者にご連絡ください。

---

---

## #817

---

**原因** リモートコピープリンタとの通信エラーです。

**処置** ネットワークを確認して、もう一度やりなおしてください。それでも正常に動作しない場合はシステム管理者にご連絡ください。

---

## #823

---

**原因** リモートコピープリンタに接続できません。

**処置** ネットワークを確認して、もう一度やりなおしてください。それでも正常に動作しない場合はシステム管理者にご連絡ください。

---

## #824

---

**原因** リモートコピープリンタとの通信エラーです。

**処置** ネットワークを確認して、もう一度やりなおしてください。それでも正常に動作しない場合はシステム管理者にご連絡ください。

---

## #825

---

**原因 1** 実行しようとしているコピージョブの部門 ID と暗証番号が、リモートコピープリンタ側に登録されていません。

**処置 1** リモートコピープリンタ側に、実行しようとしているコピージョブの部門 ID と暗証番号を登録してください。

**処置 2** 実行しようとしているコピージョブの部門 ID と暗証番号が登録されているリモートコピープリンタを使用してください。

**原因 2** 予約中、実行中のプリントジョブの部門 ID と暗証番号が消去、または暗証番号が変更されていたためプリントできませんでした。

**処置** 変更後の部門 ID と暗証番号でもう一度やりなおしてください。部門 ID と暗証番号を登録してください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。

---

## #849

---

**原因** 配信先となる子機のジョブが動作中のため、機器情報を配信できませんでした。

**処置** 配信先となる子機のジョブが終了してから、もう一度機器情報を配信してください。



---

## #850

---

**原因** 配信先となる子機で、配信された機器情報の関連画面が操作中のため、機器情報を配信できませんでした。

**処置** 配信されなかった機器情報を確認したあと、もう一度機器情報を配信してください。

---

## #851

---

**原因1** 本製品のメモリ残量が足りなくなりました。

**処置** 本製品のメモリ残量を確認したあと、ボックスの不要な文書を消去してください。

**原因2** メモリの画像領域がいっぱいになりました。

**処置** エラー文書や不要な文書を削除して、メモリの空き容量を増やしてください。(→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」、送信/ファクスガイド「第6章 文書を受信する」)

**原因3** 指定したボックス内の文書数が2000文書を超えているため、保存できませんでした。

**処置** 指定したボックスの文書を消去してください。

---

## #852

---

**原因** ジョブ実行中に主電源スイッチが切られ、エラーが発生しました。

**処置** 主電源がONになっているか確認したあと、必要に応じてもう一度やりなおしてください。(→主電源と操作部電源について：P.1-15)

---

## #853

---

**原因1** プリンタで大量なページをプリントしようとしたときなどに、リソース不足によってジョブを実行することができませんでした。

**処置** プリントするページを減らすか、他のプリントジョブが予約されていないときにもう一度実行してください。

**原因2** パソコンから本製品へプリントデータを送信中に、プリンタドライバからキャンセルされたことによってジョブを実行することができませんでした。

**処置** もう一度実行してください。

**原因 3** スプール機能を使用を「ON」に設定されているときに、受信データのスプール領域がいっぱいになり、ホストからの受信データをすべてスプールしきれませんでした。

**処 置** スプール機能を使用を「OFF」に設定したあと、もう一度送信してください。(→ ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」)

**原因 4** 受信データ処理中に受信できるデータの上限を超えました。

**処 置** すべてのジョブが終了してからもう一度プリントしてください。それでもプリントできない場合は、送信データを確認してください。

**原因 5** 同時に受付可能なセキュアジョブ数を越えてセキュアジョブが投入されました。

**処 置** iR 本体に蓄積されているセキュアジョブを実行または消去してから、もう一度実行してください。

## #854

**原因** 配信先となる子機で、システム管理設定（初期設定／登録）にある「機器情報配信の設定」の「配信元による受信制限」が ON の設定になっているため、同一機種グループ以外からの機器情報を配信できませんでした。

**処 置** 「配信元による受信制限」の設定を OFF にしてから、もう一度機器情報を配信してください。

## #855

**原因** 配信先となる子機で扱えない言語が含まれた機器情報のため、配信できませんでした。

**処 置** 担当サービスにお問い合わせください。

## #856

**原因** 一時的な保存データ用のハードディスク領域がいっぱいになったため、ジョブがキャンセルされました。

**処 置** システム管理者にご連絡ください。

## #857

**原因** データ受信のタイムアウトか、ホストからジョブがキャンセルされました。

**処 置** ネットワークの状態を確認し、もう一度プリントしてください。

---

## #858

---

**原因** プリントデータに異常が発生しました。

**処置** プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

---

## #859

---

**原因1** 原稿データの圧縮エラーが発生しました。

**処置** 原稿と設定を確認し、もう一度やり直してください。

**原因2** 原稿が正常に読み込みできなかったか、原稿設置向きのエラーです。

**処置** 原稿と設定を確認し、もう一度やり直してください。

---

## #860

---

**原因1** プリント中に用紙がつまりました。

**処置** もう一度プリントしてください。

**原因2** 本製品専用ではない OHP フィルムが使用されました。

**処置** 本製品専用の OHP フィルムを使用してもう一度プリントしてください。

---

## #861

---

**原因** PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

**処置** プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

---

## #862

---

**原因1** プリント中に、サドル積載枚数の制限を越えました。

**処置** プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

**原因2** サポートされない設定の組み合わせがされました。

**処置** プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

**原因3** 画像データ/機能的に互換を保証していないデータがプリントされました。

**処置** プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

---

---

## #863

---

**原因** PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

**処置** 設定を確認し、もう一度やりなおしてください。

---

## #865

---

**原因** ジョブ実行に関連する機能が制限されています。

**処置** システム管理者に連絡してください。

# 読み込み中にメモリがいっぱいになったときは

原稿の読み込み中にメモリがいっぱいになると、タッチパネルディスプレイに次のような画面が表示されます。

**メモ** 本製品のメモリには、最大約 8200 ページの画像が記憶できます。そのうち、約 8000 ページ分の画像領域は、コピー/プリンタ/ボックスなどの各ファンクションで共有しています。また、それとは別に以下のページ数分を各ファンクションで保証しています。

コピー： 100 ページ

プリンタ： 100 ページ（セキュアプリントを除く）

その他： 50 ページ

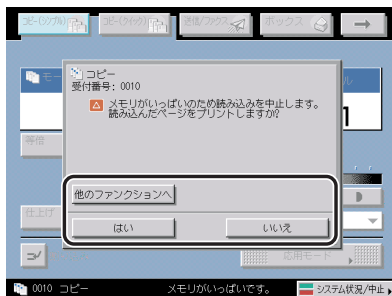
したがって、例えばコピーの場合、最大で  
100 + 約 8000 = 約 8100 ページ

の画像を記憶できます。ただし、記憶できるページ数はボックスに保存している文書や待機中のジョブに使用しているメモリの状況によって異なります。

## 1 メッセージに従って操作します。

### ● メモりに読み込んだページをプリントするかどうかを確認する画面が表示された場合

[はい]、[いいえ] または [他のファンクションへ] を選択します。

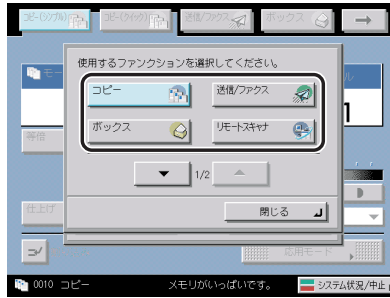


選択する項目

[はい]：読み込んだ分のコピーをプリントします。プリント終了後、再度残りの原稿の読み込みを行ってください。

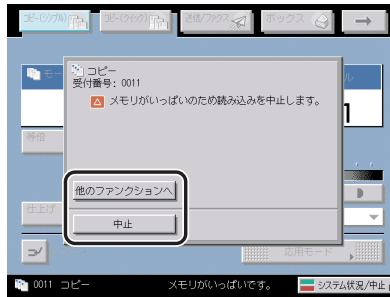
[いいえ]：プリントを行いません。

[他のファンクションへ]：現在使用していないファンクションを選択し、使用できます。



● 下の画面が表示された場合

- [中止] または [他のファンクションへ] を選択します。



選択する項目

- [中止]：基本画面に戻ります。現在行っているプリントが終了したあと、プリントしなおしてください。
- [他のファンクションへ]：現在使用していないファンクションを選択し、使用できません。

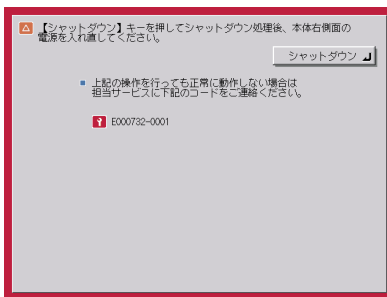


# サービスコール表示

機械に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、下のような画面（サービスコール表示）が表示されます。

## 担当サービスを呼ぶときは

下のようなサービスコールが表示されたら次のように対処してください。



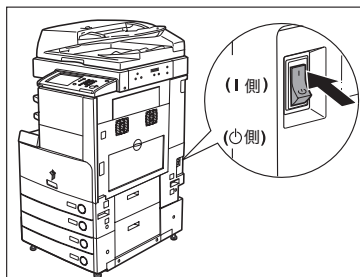
**警告** 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

**注意** 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

**重要** プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

**1** **【シャットダウン】** を押して、主電源スイッチを切ります。

## 2 10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れます。



## 3 それでも正常に作動しない場合は、次のことを行ってから担当サービスにご連絡ください。

- 主電源スイッチを切ります。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。

### メモ

担当サービスに連絡する場合は、以下の項目を確認してください。

- ・製品名
- ・トラブルの現象や状況など
- ・タッチパネルディスプレイに表示されているコード番号



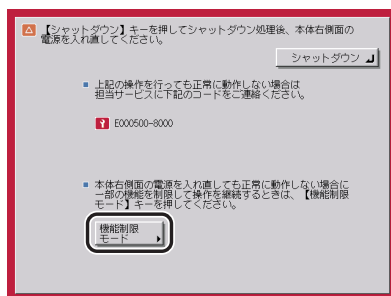
## サービスコール画面から機能制限モードを設定する

主電源を入れ直しても、サービスコールが表示される場合に、サービスコールの原因が解決されるまでの一時的な処置として、機能制限モードで本製品を操作することができるものがあります。

**重要** プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

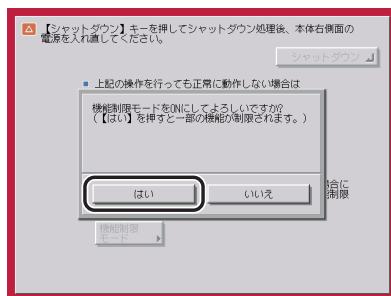
**メモ** サービスコール画面から機能制限モードを設定した場合は、共通仕様設定（初期設定／登録）の機能制限モードも「ON」に設定されます。（→機能制限モードを設定する：P.4-49）

### 1 【機能制限モード】を押します。



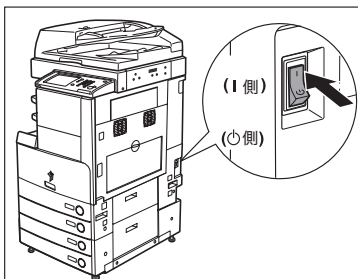
### 2 【はい】を押します。

本体の主電源スイッチを入れなおすメッセージが表示されます。

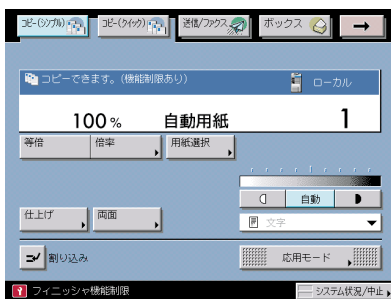


### 3 【シャットダウン】を押して、主電源スイッチを切ります。

## 4 10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れます。



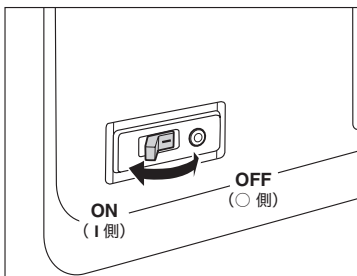
機能制限モードで起動します。



## 電源が入らないとき（ブレーカーの確認）

主電源スイッチ、操作部電源スイッチが ON になっているのに本製品が動作しない場合には、必ずブレーカーが OFF になっていないか確認してください。

確認を行ったあとブレーカーが OFF になっていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさずに担当サービスにご連絡ください。



**警告**

本製品のブレーカーが落ちていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさないでください。感電、発火、発煙または屋内ブレーカーが落ちる原因になります。



# 付録

本体やオプション機器の仕様および便利な情報について記載しています。

レポートサンプル.....	9-3
コピー履歴レポート.....	9-3
プリント履歴レポート.....	9-4
機器情報配信先リスト.....	9-5
機器情報通信履歴レポート.....	9-6
仕様.....	9-7
本体.....	9-7
DADF-M1.....	9-9
2 段カセットペディスタル・Y3.....	9-10
サイドペーパーデッキ・Q1.....	9-10
封筒カセット・C2.....	9-10
フィニッシャー・S1.....	9-11
フィニッシャー・AE1.....	9-12
サドルフィニッシャー・AE2.....	9-13
パンチャーユニット・L1.....	9-14
インナーパンチャーキット・Q1.....	9-14
フィニッシャー用追加トレイ・B1.....	9-15
インナー 2 ウェイトレイ・D1.....	9-15
コピートレイ・J1.....	9-16
カードリーダー -C1.....	9-16
ユーザ入力項目の文字制限と機能制限について.....	9-17
文字制限.....	9-17
機能制限.....	9-20
原稿向きと用紙向きの関係について.....	9-22
ローマ字入力表.....	9-25
JIS 漢字コード表.....	9-26
索引.....	9-38
iR3045/iR3035/iR3025 シリーズシステム管理モードについて.....	9-49
システム管理モードにする.....	9-49
システム管理モードを解除する.....	9-51

## 9. 付録

---

システム管理モードでボックスの操作をする .....	9-51
システム管理モードでボックス仕様を変更する .....	9-52

# レポートサンプル

## コピー履歴レポート

コピーの履歴をレポートとしてプリントします。コピー履歴レポートは、システム状況/中止画面でプリントすることができます。(→ コピー、プリントジョブ履歴をプリントする：P.5-11)

2006 04/15 SAT 16:13		iR 3045		001	
***** *** コピー履歴レポート *** *****					
部門ID : 8253					
受付番号	日時	枚数×部数	デバイス名	結果	
0011	04/08 10:48	5x1	ローカルコピー	OK	
0012	04/08 11:36	2x20	ローカルコピー	NG STOP	
0013	04/08 11:38	2x19	ローカルコピー	OK	
0014	04/08 11:46	3x1	ローカルコピー	OK	
0015	04/08 11:50	3x19	ローカルコピー	OK	
0016	04/08 13:07	6x20	ローカルコピー	NG STOP	
0017	04/08 13:11	7x19	ローカルコピー	OK	
0018	04/08 20:29	9x1	ローカルコピー	OK	
0019	04/08 20:30	4x1	ローカルコピー	OK	
0020	04/08 20:56	9x1	ローカルコピー	NG STOP	
0030	04/08 20:59		ローカルコピー	OK	

### ■ 部門 ID

部門別 ID 管理が設定されている場合は部門 ID が記載され、部門 ID ごとにコピー履歴がプリントされます。

### ■ 受付番号

コピーを受け付けたとき、自動的に付けられた番号（4桁）がプリントされます。



SDL や SSO などの認証を設定している場合、受付番号の下にログイン時のユーザ名がプリントされます。

### ■ 日時

コピーが終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

### ■ 枚数×部数

コピー 1 部あたりの枚数とコピー部数がプリントされます。

### ■ デバイス名

コピーしたデバイス名がプリントされます。

本製品でコピーしたときは「ローカルコピー」、重連コピーしたときは「重連コピー」、リモートコピーしたときは出力先名称がプリントされます。

## ■ 結果

OK または NG がプリントされます。

OK はコピーが正常終了したときにプリントされます。

NG の場合、並べてエラーコードまたは STOP がプリントされます。

## プリント履歴レポート

プリントの履歴をレポートとしてプリントします。プリント履歴レポートは、システム状況 / 中止画面でプリントすることができます。(→ コピー、プリントジョブ履歴をプリントする : P.5-11)

2006 04/06 THU 20:19		iR 3045		001	
***** *** プリント履歴レポート(プリンタ) *** *****					
部門 ID : 8251					
受付番号	日時	ジョブ名	ユーザ名	枚数x部数	結果
5001	04/03 10:48	テスト ページ	Hiro9	1x1	OK
5003	04/03 11:36	テスト ページ	Administrator	4x1	OK
5007	04/03 11:38	UtilityPrint	System	1x5	OK
5008	04/03 11:46	UtilityPrint	System	5x9	OK
5009	04/03 11:50	UtilityPrint	System	3x5	OK
5010	04/03 13:07	UtilityPrint	System	2x4	OK
5011	04/03 13:11	UtilityPrint	System	1x9	OK
5034	04/03 20:35	UtilityPrint	System	1x4	OK
5035	04/03 20:48	UtilityPrint	System	1x9	OK

## ■ 部門 ID

部門別 ID 管理が設定されている場合は部門 ID が記載され、部門 ID ごとにプリント履歴がプリントされます。

## ■ 受付番号

プリントを受け付けたとき、自動的に付けられた番号 (4 桁) がプリントされます。

## ■ 日時

プリントが終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

## ■ ジョブ名

プリントされた文書名またはジョブの種類がプリントされます。

## ■ ユーザ名

プリントを行ったユーザ名がプリントされます。

## ■ 枚数×部数

プリント 1 部あたりの枚数とプリント部数がプリントされます。



## ■ 結果

OK または NG がプリントされます。

OK はプリントが正常終了したときにプリントされます。

NG の場合、並べてエラーコードまたは STOP がプリントされます。

## 機器情報配信先リスト

機器情報配信の配信先の情報をプリントします。機器情報配信先リストは、必要に応じて手動でプリントします。(→ 機器情報配信の設定をする (機器情報配信の設定) : P.6-29)

2006 04/06 THU 16 : 12		iR 3045		001
***** *** 機器情報配信先リスト *** *****				
配信先	配信先受信可能データ	自動配信	自動配信データ	
111. 111. 111. 1	- -	ON	部門ID 宛先表	
222. 222. 222. 222	- -	ON	部門ID 宛先表	
333. 333. 333. 333	- -	ON	部門ID 宛先表	

## ■ 配信先

登録してある配信先の IP アドレスがプリントされます。

## ■ 配信先受信可能データ

登録してある配信先で受信可能な項目をプリントします。

## ■ 自動配信

登録してある配信先に対して、自動配信が設定されているときは "ON"、設定されていないときは "OFF" とプリントされます。

## ■ 自動配信データ

自動配信が設定されている場合に、配信する機器情報をプリントします。

# 機器情報通信履歴レポート

機器情報配信の通信の履歴をレポートとしてプリントします。機器情報通信履歴レポートは、自動でも手動でもプリントすることができます。

レポートは、100 件の文書の配信/受信が終了した時点でプリントするか、指定した時刻にプリントするかを選択することができます。また、配信/受信別にプリントすることもできます。(→ 機器情報配信の設定をする (機器情報配信の設定) : P.6-29)

開始時刻	終了時刻	種別	通信先	データ内容	通信結果
04/06 16:06	04/06 16:07	配信	111.111.111.1	部門ID 宛先表	NG #754 NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	111.111.111.1	部門ID 宛先表	NG #754 NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	222.222.222.222	部門ID 宛先表	NG #754 NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	333.333.333.333	部門ID 宛先表	NG #754 NG #754

## ■ 開始時刻

機器情報の配信/受信が開始された日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。( \* マークはすでに機器情報配信/受信レポートをプリントしたことがある履歴です。)

## ■ 終了時刻

機器情報の配信/受信が終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

## ■ 種別

機器情報を配信したか受信したかプリントされます。

## ■ 通信先

配信の場合は、配信先をプリントします。

受信の場合は、配信元をプリントします。

## ■ データ内容

機器情報を配信/受信したデータ内容をプリントします。

## ■ 通信結果

正常に配信/受信が終了したときは "OK"、配信/受信エラーのときは "NG" とプリントされます。

配信/受信エラーのときは、終了コードの番号もプリントされます。

# 仕様

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。

本製品に関する情報はキヤノンホームページでもご確認いただけます。キヤノンホームページ (<http://canon.jp/>) の製品情報から「複合機/コピー」のカテゴリを選択し、お使いの機種種のページを参照してください。

## 本体

項目	仕様
名称	キヤノン iR3045/iR3035/iR3025 シリーズ
形式	デスクトップタイプ
読み取り解像度	600 × 600 dpi
書き込み解像度	2400 dpi 相当 × 600 dpi
階調数	256 階調
使用可能用紙	カセットから給紙 用紙坪量： 64g/m <sup>2</sup> ~ 80g/m <sup>2</sup> 用紙種類： 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、封筒  手差しトレイから給紙 用紙坪量： 64g/m <sup>2</sup> ~ 128g/m <sup>2</sup> 用紙種類： 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、ラベル用紙、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、OHP フィルム、第 2 原図、封筒  用紙の種類によっては、使用の際に条件があります。詳細に関しては「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。
複写原稿	シート、ブック原稿、立体物 (約 2 kg まで)
複写サイズ	カセット給紙： A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R  手差し給紙： A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、封筒、不定形サイズ (99 × 148mm ~ 297 × 432mm)
ウォームアップタイム	主電源立ち上げ時： 30 秒以下 (オプション非装着時の場合) スリープモードからの立ち上げ時： 約 10 秒 * 使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

項目	仕様		
<b>ファーストコピータイム</b>	iR3045/iR3035 シリーズ：3.9 秒以下 iR3025 シリーズ：4.9 秒以下		
<b>連続複写速度</b>	等倍  A3  B4  A4  A4R  B5  B5R  A5R	iR3045/iR3035 シリーズ (枚/分)  22/22  24/24  45/35  20/20  35/35  20/20  20/20	iR3025 シリーズ (枚/分)  14  13  25  17  25  17  17
<b>画像欠け幅</b>	先端：2.5 mm 左右各：2.5 mm 後端：2.5 mm (B4 以上は 3.5 mm)		
<b>複写倍率</b>	定型： 等倍  1 : 1  縮小  1 : 0.86 (A3→B4/A4→B5) 1 : 0.81 (B4→A4R/B5→A5R) 1 : 0.70 (A3→A4R/B4→B5R) 1 : 0.61 (A3→B5R) 1 : 0.50 (A3→A5R) 1 : 0.25  拡大  1 : 1.15 (B4→A3/B5→A4) 1 : 1.22 (A4R→B4/A5→B5) 1 : 1.41 (A4R→A3/B5R→B4) 1 : 2.00 (A5R→A3) 1 : 4.00  ズーム： 25 ~ 400% (1% 刻み)		
<b>給紙方式/給紙容量</b>	カセット給紙： 650 枚×2 カセット (64 g/m <sup>2</sup> ) 550 枚×2 カセット (80 g/m <sup>2</sup> )  手差し給紙： 50 枚 (80 g/m <sup>2</sup> ) 55 枚 (64 g/m <sup>2</sup> )		

項目	仕様
連続複写枚数	999 枚
電源	AC 100 V 15 A 50 Hz/60 Hz 共通
消費電力	最大消費電力：1.4 kW スリープモード時：0.9 W
大きさ	iR3045F/iR3035F/iR3025F： 586 mm（幅）× 727 mm（奥行）× 937 mm（高さ） iR3045/iR3035/iR3025： 586 mm（幅）× 727 mm（奥行）× 786 mm（高さ）
質量	iR3045F/iR3035F/iR3025F：約 97 kg iR3045/iR3035/iR3025：約 80 kg
機械占有寸法	862 mm（幅）× 727 mm（奥行）（手差しトレイを伸ばしたサイズ）

## DADF-M1

項目	仕様
原稿送り装置の種類	自動両面原稿送り装置
原稿サイズ/種類	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6 片面読み込み：42 g/m <sup>2</sup> ～128 g/m <sup>2</sup> 両面読み込み：50 g/m <sup>2</sup> ～128 g/m <sup>2</sup>
原稿の収容可能枚数	100 枚（80 g/m <sup>2</sup> ）
原稿読取速度	45 枚/分（A4）
電源/最大消費電力	本体より供給/約 55 W
大きさ/質量	576 mm（幅）× 552 mm（奥行）× 151 mm（高さ）/約 14.7 kg

## 2 段カセットペディスタル・Y3

項目	仕様
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R
給紙段数/給紙容量	650 枚 (64 g/m <sup>2</sup> )、550 枚 (80 g/m <sup>2</sup> ) / 2 段
電源/最大消費電力	本体より供給/約 20 W
大きさ/質量	565 mm (幅) × 700 mm (奥行) × 252 mm (高さ) / 約 23 kg

## サイドペーパーデッキ・Q1

項目	仕様
用紙サイズ	A4
給紙容量	3000 枚 (64 g/m <sup>2</sup> )、2700 枚 (80 g/m <sup>2</sup> )
電源/最大消費電力	本体より供給/約 35 W
大きさ/質量	372 mm (幅) × 591 mm (奥行) × 473 mm (高さ) / 約 29.6 kg
本体接続時の占有寸法	937 mm (幅) × 727 mm (奥行)

## 封筒カセット・C2

項目	仕様
封筒サイズ	洋形 4 号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5
給紙容量	50 枚 (高さ 30 mm 相当)
複写速度	iR3045/iR3035シリーズ : 12 枚/分 iR3025 シリーズ : 10 枚/分
大きさ/質量	565 mm (幅) × 521 mm (奥行) × 95 mm (高さ) / 約 3 kg

# フィニッシャー・S1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ(99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm)、封筒(洋形4号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5) 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒
トレイ容量	ノンソート、ソート、グループ  A4、B5、A5R : 1000枚(高さ130mm相当) A3、B4、A4R、B5R : 500枚(高さ65mm相当)  ステイプルソート  A4、B5 : 1000枚 / 30部(高さ130mm相当) A3、B4、A4R : 500枚 / 30部(高さ65mm相当)  ノンソート、ソート、グループ : サイズ混載時  500枚(高さ65mm相当)  ステイプルソート : サイズ混載時  500枚 / 30部(高さ65mm相当)
トレイ容量(追加トレイ装着時)	ノンソート、ソート、グループ  A4、B5、A5R : 300枚(高さ40mm相当) A3、B4、A4R、B5R : 150枚(高さ20mm相当)  ステイプルソート  A4、B5 : 300枚 / 30部(高さ40mm相当) A3、B4、A4R : 150枚 / 30部(高さ20mm相当)  ノンソート、ソート、グループ : サイズ混載時  150枚(高さ20mm相当)  ステイプルソート : サイズ混載時  150枚 / 30部(高さ20mm相当)
ステイプル	A4、B5 : 50枚(64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> ) A3、B4、A4R : 30枚(64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> ) * コーナーステイプルのみ
電源/最大消費電力	本体より供給 / 約45W(フィニッシャー用追加トレイ・B1装着時)
大きさ/質量	598 mm(幅) × 552 mm(奥行) × 315 mm(高さ)(補助トレイを伸ばしたサイズ) / 約12 kg

項目	仕様
本体接続時の占有寸法	1044 mm (幅) × 727 mm (奥行) (手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ)

## フィニッシャー・AE1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ (99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm)、封筒 (洋形4号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5) 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒
トレイ容量	ノンソート、ソート、グループ A4、B5、A5R : 1000枚 (高さ147mm相当) A3、B4、A4R、B5R : 500枚 (高さ73.5mm相当) ステイブルソート A4、B5 : 1000枚 / 30部 (高さ147mm相当) A3、B4、A4R : 500枚 / 30部 (高さ73.5mm相当) ノンソート、ソート、グループ : サイズ混載時 500枚 (高73.5mm相当) ステイブルソート : サイズ混載時 500枚 / 30部 (高さ73.5mm相当)
ステイブル	A4、B5 : 50枚 (64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> ) A3、B4、A4R : 30枚 (64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> ) コーナーステイブル : A3、B4、A4、A4R、B5 ダブルステイブル : A3、B4、A4、A4R、B5
電源/最大消費電力	本体より供給 / 約70W (パンチャーユニット・L1装着時)
大きさ/質量	643 mm (幅) × 657 mm (奥行) × 1037 mm (高さ) (補助トレイを伸ばしたサイズ) / 約43.2 kg
本体接続時の占有寸法	1508 mm (幅) × 727 mm (奥行) (手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ) 1615 mm (幅) × 727 mm (奥行) (パンチャーユニット・L1装着時、手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ)



## サドルフィニッシャー・AE2

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ(99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm)、封筒(洋形4号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5) 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒
トレイ容量	ノンソート、ソート、グループ  A4、B5、A5R : 1000枚(高さ147 mm相当) A3、B4、A4R、B5R : 500枚(高さ73.5 mm相当)  ステイプルソート  A4、B5 : 1000枚 / 30部(高さ147 mm相当) A3、B4、A4R : 500枚 / 30部(高さ73.5 mm相当)  ノンソート、ソート、グループ : サイズ混載時  500枚(高さ73.5 mm相当)  ステイプルソート : サイズ混載時  500枚 / 30部(高さ73.5 mm相当) 中とじ : 1 ~ 5枚 / 25部、6 ~ 10枚 / 15部、11 ~ 15枚 / 10部 * 製本の「表紙をつける」を設定している場合は10部まで
ステイプル	A4、B5 : 50枚(64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> ) A3、B4、A4R : 30枚(64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> ) コーナーステイプル : A3、B4、A4、A4R、B5 ダブルステイプル : A3、B4、A4、A4R、B5
中とじ	15枚(64 ~ 80 g/m <sup>2</sup> ) A3、B4、A4R
電源/最大消費電力	本体より供給/約70 W(パンチャーユニット・L1装着時)
大きさ/質量	747 mm(幅) × 657 mm(奥行) × 1037 mm(高さ)(補助トレイを伸ばしたサイズ) / 約73.2 kg
本体接続時の占有寸法	1607 mm(幅) × 727 mm(奥行)(手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ) 1714 mm(幅) × 727 mm(奥行)(パンチャーユニット・L1装着時、手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ)

## パンチャーユニット・L1

項目	仕様
パンチ可能サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、厚紙
パンチ穴数/穴径	2 穴 / 6.5 mm
パンチ穴間隔	80 mm
パンチ屑受け容量	10000 枚 (80 g/m <sup>2</sup> )
電源	本体より供給
大きさ/質量	107 mm (幅) × 615 mm (奥行) × 941 mm (高さ) / 約 7.2 kg

## インナーパンチャーキット・Q1

項目	仕様
パンチ可能サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、厚紙
パンチ穴数/穴径	2 穴 / 6.5 mm
パンチ穴間隔	80 mm
パンチ屑受け容量	2500 枚 (64 g/m <sup>2</sup> )
電源	フィニッシャー・S1 より供給
大きさ/質量	505 mm (幅) × 130 mm (奥行) × 175 mm (高さ) / 約 3.9 kg

## フィニッシャー用追加トレイ・B1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ (99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm)、封筒 (洋形 4 号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5) 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第 2 原図、OHP フィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒
トレイ容量	ノンソート、ソート、グループ  A4、B5、A5R : 300 枚 (高さ 40 mm 相当) A3、B4、A4R、B5R : 150 枚 (高さ 20mm 相当)  ステイプルソート  A4、B5 : 300 枚 / 30 部 (高さ 40 mm 相当) A3、B4、A4R : 150 枚 / 30 部 (高さ 20 mm 相当)  ノンソート、ソート、グループ : サイズ混載時  150 枚 (高さ 20 mm 相当)  ステイプルソート : サイズ混載時  150 枚 / 30 部 (高さ 20 mm 相当)
大きさ/質量	200 mm (幅) × 395 mm (奥行) × 80 mm (高さ) / 約 1.7 kg

## インナー 2 ウェイトレイ・D1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ (99 × 148 mm ~ 297 × 432 mm)、封筒 (洋形 4 号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5) 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第 2 原図、OHP フィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒
トレイ容量	トレイ A : 250 枚 (A4、B5)、100 枚 (その他) トレイ B : 100 枚 (A4、B5)、50 枚 (その他)
電源/最大消費電力	本体より供給/約 16 W
大きさ/質量	176 mm (幅) × 546 mm (奥行) × 151 mm (高さ) / 約 3.9 kg
本体接続時の占有寸法	862 mm (幅) × 727 mm (奥行) (手差しトレイを伸ばしたサイズ)

## コピートレイ・J1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R 64 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙
トレイ容量	150 枚 (A4、B5)、75 枚 (その他)
大きさ/質量	347 mm (幅) × 351 mm (奥行) × 120 mm (高さ) / 約 471 g
本体接続時の占有寸法	912 mm (幅) × 727 mm (奥行)

## カードリーダー -C1

項目	仕様
使用カード	磁気式カード
カード読み取り方式	磁気式移動読み取り
磁気カード読み取り方向	差込方向
磁気記録・再生	再生
大きさ/質量	88 mm (幅) × 100 mm (奥行) × 32 mm (高さ) / 約 295 g

# ユーザ入力項目の文字制限と機能制限について

## 文字制限

初期設定/登録				
共通仕様設定	イメージ合成のフォーム登録	フォーム名	半角 24 文字、全角 12 文字	
	ページ印字/スタンプの文字列登録	文字列	半角 32 文字、全角 16 文字	
システム管理設定	システム管理者情報の設定	システム管理者名	半角 32 文字、全角 16 文字	
		メールアドレス	半角 64 文字	
		連絡先	半角 32 文字、全角 16 文字	
		コメント	半角 32 文字、全角 16 文字	
	デバイス情報	デバイス名	半角 32 文字、全角 16 文字	
		設置場所	半角 32 文字、全角 16 文字	
	通信管理設定	電子メール/ファクス設定	省略時の件名	半角 40 文字、全角 20 文字
	転送設定	転送条件名		半角 50 文字、全角 25 文字
		送信文書名		半角 24 文字、全角 12 文字
	LDAP サーバの登録	サーバ名		半角 24 文字、全角 12 文字
サーバアドレス		半角 48 文字		
検索開始位置		半角 128 文字、全角 64 文字		
ボックス仕様設定	ユーザボックス	名称	半角 24 文字、全角 12 文字	
	ファクスボックス	名称	半角 24 文字、全角 12 文字	
送信/受信仕様設定	送信機能設定(共通設定)	発信人名称	半角 24 文字、全角 12 文字	
		ユーザ略称	半角 24 文字、全角 12 文字	

初期設定/登録			
宛先表仕様 設定	電子メール	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称*	半角 12 文字、全角 6 文字
		メールアドレス	半角英数字 128 文字
	I ファクス	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称*	半角 12 文字、全角 6 文字
		I ファクスアドレス	半角英数字 128 文字
		定型文 1	半角英数字 40 文字
		定型文 2	半角英数字 16 文字
	ファクス	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称*	半角 12 文字、全角 6 文字
		ファクス番号	半角 120 文字
		F コード	半角数字 20 文字
		パスワード	半角数字 20 文字
	ファイル	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称*	半角 12 文字、全角 6 文字
		ホスト名	FTP：半角英数字 128 文字（半角英数字 128 文字、全角 64 文字）** SMB、IPX：半角 128 文字、全角 64 文字 WebDAV：半角 128 文字
		パス	FTP：半角英数字 255 文字（半角英数字 255 文字、全角 127 文字）** SMB、IPX、WebDAV：半角 255 文字、全角 127 文字
ユーザ名		FTP：半角英数字 24 文字（半角英数字 24 文字、全角 12 文字）** SMB、WebDAV：半角 128 文字、全角 64 文字 IPX：半角 24 文字、全角 12 文字	
パスワード		SMB：半角英数字 14 文字 FTP、IPX、WebDAV：半角英数字 24 文字	

初期設定／登録			
宛先表仕様 設定	グループ	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称*	半角 12 文字、全角 6 文字

\* ワンタッチ名称はワンタッチ宛先のときのみの項目です。

\*\* 送信／受信仕様設定（初期設定／登録）の [FTP 送信指定に ASCII コード以外を許可] を「ON」に設定した場合は、カッコ内の文字数を入力することができます。

コピー機能		
モードメモリ	名称	半角 10 文字、全角 5 文字

ボックス機能		
文書名		半角 24 文字、全角 12 文字
モードメモリ	名称	半角 10 文字、全角 5 文字

送信／ファクス機能		
読取モード	名称	(半角 8 文字、全角 4 文字) × 2
送信設定	送信文書名	半角 24 文字、全角 12 文字
	件名	半角 40 文字、全角 20 文字
	本文	半角 140 文字、全角 70 文字

## 機能制限

付録

9

初期設定/登録				
システム管理 設定	システム管理者情 報の設定	システム管理部門 ID		最大 7 桁
		システム管理暗証番号		最大 7 桁
	部門別 ID 管理	部門 ID		最大 7 桁
		暗証番号		最大 7 桁
		制限面数		各 0 ~ 999999
	通信管理設定	システムボッ クス設定	システムボッ クス暗証番号	7 桁
日付/時刻設定	日付/時刻		西暦、月、日、時刻	
ボックス仕様 設定	ユーザボックス	個数		100
		暗証番号		7 桁
	ファクスボックス	個数		50
送信/受信仕 様設定	送信機能設定 (共 通設定)	発信人名称	個数	99
	基本登録 (ファク ス設定)	ユーザ電話番号		最大 20 桁
宛先表仕様設 定	宛先表の暗証番号			最大 7 桁
	標準の宛先			1600 件
	ワンタッチ宛先			200 件

コピー機能		
モードメモリ	個数	9
予約コピー	個数	5 ジョブ

ボックス機能		
モードメモリ	個数	9
予約プリント	個数	32 ジョブ
送信	文書数	最大 32 文書
	ページ数	最大 999 ページ



送信/ファクス機能		
読取モード	個数	8
予約送信	電子メール  ファクス ファイルサーバ ボックス	120 ジョブ
	ファクス	64 ジョブ
送信	ページ数	最大 500 ページ

# 原稿向きと用紙向きについて

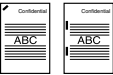
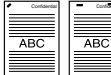

















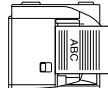

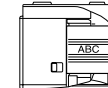
あらかじめロゴなどが印刷されている用紙にプリントしてステイプルするときにご利用ください。

- メモ** プリントされた用紙のウラ面にプリントする場合は、下記のとおりセットしてください。
- ・カセット：これからプリントする面を上向きにセットしてください。
  - ・手差し、サイドペーパーデッキ：これからプリントする面を下向きにセットしてください。

## ■ 右ステイプルをしたい場合

ステイプル位置 出力例		コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：上	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：右
		A4, B5	A3, B4, A4R	A4	A3, B4, A4R
原稿/ 用紙方向、 各種設定	カセット セット方向 ↑ プリントされた 用紙：上向き				
	手差し、サイドペーパーデッキ セット方向 ← プリントされた 用紙：下向き				
原稿	原稿台ガラス セット方向 原稿：下向き				
	ステイプル設定	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上	コーナー：右上 ダブル：右
	フィーダ セット方向 原稿：上向き				
	ステイプル設定	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右下 ダブル：右	コーナー：右上	コーナー：右上 ダブル：右
	オートタテヨコ 回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 (サイドペーパーデッキ、手差し タテ位置セット、カセット タテ位置セットの場合はON)	ON/OFFどちらでも可

## ■ 左スタイプルをしたい場合

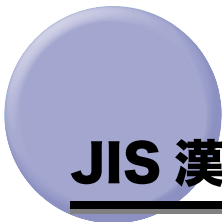
原稿／ 用紙方向、 各種設定		スタイプル位置 出力例		コーナー：左上 ダブル：左	コーナー：左上 ダブル：上	コーナー：左上 ダブル：左	コーナー：左上 ダブル：左
						A4, B5	A3, B4, A4R
プリントされた用紙	カセット セット方向 プリントされた 用紙：上向き 						
	手差し、サイドペー パーデッキセット方向 プリントされた 用紙：下向き 						
原稿	原稿台ガラス セット方向 原稿：下向き						
	スタイプル設定	コーナー：左上 ダブル：左	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：左上	コーナー：左上 ダブル：左		
原稿	フィーダ セット方向 原稿：上向き						
	スタイプル設定	コーナー：左上 ダブル：左	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：左上	コーナー：左上 ダブル：左		
オートタテヨコ 回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 (サイドペーパーデッキ、 手差しタテ位置セット、 カセットタテ位置 セットの場合はON)	ON/OFFどちらでも可			

## ■ ステイブルをしない場合

出力例		原稿 / 用紙方向、各種設定			
		A4, B5	A3, B4	A4	A3, B4
プリントされた用紙	カセット方向 セット方向 プリントされた 用紙: 上向き ↑				
	手差し、サイドペーパー デッキセット方向 プリントされた 用紙: 下向き ←				
原稿	原稿台ガラス セット方向 原稿: 下向き				
	フィーダ セット方向 原稿: 上向き				
オートタテヨコ 回転設定		ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 (サイドペーパーデッキ、手差し タテ位置セット、カセット タテ位置セットの場合はON)	ON/OFFどちらでも可

# ローマ字入力表

あ	ア	A	は	ハ	HA	が	ガ	GA	あ	ア	XA
い	イ	I	ひ	ヒ	HI	ぎ	ギ	GI	い	イ	XI
う	ウ	U	ふ	フ	HU	ぐ	グ	GU	う	ウ	XU
え	エ	E	へ	ヘ	HE	げ	ゲ	GE	え	エ	XE
お	オ	O	ほ	ホ	HO	ご	ゴ	GO	お	オ	XO
か	カ	KA	ま	マ	MA	さ	ザ	ZA	や	ヤ	XYA
き	キ	KI	み	ミ	MI	じ	ジ	ZI	ゆ	ユ	XYU
く	ク	KU	む	ム	MU	ず	ズ	ZU	よ	ヨ	XYO
け	ケ	KE	め	メ	ME	ぜ	ゼ	ZE			
こ	コ	KO	も	モ	MO	ぞ	ゾ	ZO			
さ	サ	SA	や	ヤ	YA	だ	ダ	DA	っ	ッ	XTU
し	シ	SI	ゆ	ユ	YU	ち	チ	DI			
す	ス	SU	よ	ヨ	YO	づ	ヅ	DU			
せ	セ	SE				で	デ	DE			
そ	ソ	SO				ど	ド	DO			
た	タ	TA	ら	ラ	RA	ば	バ	BA			
ち	チ	TI	り	リ	RI	び	ビ	BI			
つ	ツ	TU	る	ル	RU	ぶ	ブ	BU			
て	テ	TE	れ	レ	RE	べ	ベ	BE			
と	ト	TO	ろ	ロ	RO	ぼ	ボ	BO			
な	ナ	NA	わ	ワ	WA	ぱ	パ	PA			
に	ニ	NI	を	ヲ	WO	び	ピ	PI			
ぬ	ヌ	NU				ぶ	プ	PU			
ね	ネ	NE	ん	ン	NN	べ	ペ	PE			
の	ノ	NO				ぼ	ポ	PO			
							ヴ	VU			



# JIS 漢字コード表

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
0100			、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
0116	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
0132	／	～	∥	∟	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
0148	{ }	< >	《 》	「 」	『 』	【 】	+	-	±	×						
0164	÷	=	≠	<	>	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
0180	\$	e	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=	
0216											≡	≒	≓	≔	≕	≖
0232	U	∩									∧	∨	→	⇒	⇔	∇
0248	ヨ												∠	⊥	∩	∅
0264	▽	≡	≒	<	>	√	∞	∞	∴	∫	∫					
0280			A	%	#	b	♪	†	‡							○
0316	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
0332		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0348	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
0364		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
0400		あ	い	う	え	お	か	が	き	く						
0416	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	ず	ぜ	そ	ぞ	た		
0432	だ	ち	ち	つ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	ほ
0448	ば	び	び	び	ふ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み		
0464	む	め	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
0480	ゐ	ゑ	を	ん												
0500		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ガ	キ	ク						
0516	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ジ	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ			
0532	ダ	チ	ヂ	ツ	ツ	テ	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ			
0548	バ	ビ	ビ	フ	フ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ホ	ボ	マ	ミ			
0564	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	ロ	ワ			
0580	キ	エ	ラ	ン	ウ	カ	ケ									
0600		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
0616	Π	P	Σ	T	T	Φ	X	Ψ	Ω							
0632		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
0648	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
0700		A	B	B	Γ	Д	E	E	Ж	З	И	Й	K	Л	M	Н
0716	О	П	P	C	T	У	Ф	X	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
0732	Ю	Я														
0748		a	b	b	г	д	e	e	ж	з	и	й	к	л	m	н
0764	o	p	p	c	t	y	φ	x	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я														

付録

9

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ア	1600		亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
	1616	旭	葦	芦	鯨	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	鮎	絢	綾	鮎	或
	1632	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困
イ	1648	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	1664	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	老	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鯛	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	1700		院	陰	隱	韻	吋	右	宇	鳥	羽	迂	雨	卯	鸚	窺	丑
ウ	1716	確	白	渦	嘘	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厥	浦	瓜	閩	噴	云	運
	1732	雲	荏	餌	詠	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	越	洩	噴	穎
エ	1748	穎	英	衛	銳	液	疫	益	援	馱	悅	謁	沐	洩	楓	厭	円
	1764	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
オ	1800		押	旺	横	欧	陵	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	沖	萩	億
	1816	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
カ	1832	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	1848	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	1864	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効
	1916	外	咳	害	崖	概	概	涯	碍	蓋	街	該	鑑	骸	涅	馨	蛙
	1932	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	扞	攪	格	核	殼	獲	確	穫
	1948	覚	角	赫	較	郭	闊	隔	革	学	岳	奕	額	顎	掛	笠	檜
	1964	樞	梶	鯨	滂	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
	1980	叶	栴	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噴	鴨	栢	茅	萱	
	2000		粥	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦
	2016	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	飲
	2032	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	2048	莞	觀	諫	貫	還	鑑	問	閑	閑	閑	願	館	館	含	岸	
2064	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贖	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	2100		機	埽	毅	氣	汽	讖	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起
	2116	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
	2132	祇	義	蟻	誼	議	擲	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	2148	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	2164	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
2200		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
キ	2 2 1 6	疆	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	嬌	胸	脅	興	蕎	郷	
	2 2 3 2	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	
	2 2 4 8	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	聚	芹	菌	衿	襟	
	2 2 6 4	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	驅	駙	
ク	2 2 8 0	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈		
	2 3 0 0		掘	窟	杏	靴	樽	窪	熊	隈	象	栗	繰	桑	鞆	黓	君	
	2 3 1 6	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	
ケ	2 3 3 2	契	形	徑	恵	慶	慧	慰	掲	携	敬	景	桂	鷺	畦	稽	系	
	2 3 4 8	経	継	繫	罍	荃	荊	螢	計	詣	警	軽	頽	鷄	芸	迎	鯨	
	2 3 6 4	劇	載	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	懸	血	訣	月	
	2 3 8 0	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	見	謙	拳	捲	
	2 4 0 0		檢	權	牽	犬	猷	研	硯	絹	具	肩	慮	謙	賢	軒	遣	
	2 4 1 6	鍵	險	顛	驗	鹵	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃	
2 4 3 2	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯		
コ	2 4 4 8	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	
	2 4 6 4	伍	午	呉	吾	娛	後	御	悟	梧	橋	瑚	基	語	誤	護	酬	
	2 4 8 0	乞	鯉	交	佼	侯	俣	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
	2 5 0 0		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	
	2 5 1 6	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	
	2 5 3 2	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	
	2 5 4 8	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鈺	砧	鋼	閣	降	
	2 5 6 4	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	
	2 5 8 0	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漚	腰	甌	忽	惚	骨	狛	込		
	2 6 0 0		此	頃	今	困	坤	懇	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	
2 6 1 6	紺	良	魂	些	佐	又	唆	嗟	左	差	查	沙	瑤	砂	詐	鎖		
サ	2 6 3 2	娑	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	
	2 6 4 8	歳	濟	災	采	犀	碎	岩	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	在	
	2 6 6 4	材	罪	財	冴	坂	堺	榭	肴	啖	咲	崎	埼	碇	驚	作	削	
	2 6 8 0	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷		
	2 7 0 0		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	錯	鮫	皿	晒	
	2 7 1 6	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	讚	贊	
2 7 3 2	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始		
シ	2 7 4 8	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯	施	旨	枝	止	
	2 7 6 4	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
	2 7 8 0	謔	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時		
	2 8 0 0		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿	
	2 8 1 6	式	識	鳴	竺	軸	突	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	濕	漆	



	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
シ	2832	疾	質	実	部	篠	悃	柴	芝	屢	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	2848	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	2864	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐
	2916	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
	2932	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
	2948	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	2964	準	潤	盾	純	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	階	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	階	傷	債	
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	樊	妾	唱	宵	將	小	少
	3016	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3032	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礪	祥	称	章
	3048	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
	3064	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	淨	狀	曄	穰	蒸	讓	釀	錠	囁	壇	飾	
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3116	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3132	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3148	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	筭	諏	須	醉	凶	厨
ス	3164	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錘	隨	
	3180	瑞	髓	崇	嵩	敷	枢	趨	離	据	杉	榻	菅	頗	雀	裾	
	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勞	姓	征	性	成	政
セ	3216	整	星	晴	棲	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	3232	誓	請	遊	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	威	斥	昔	析
	3248	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
	3264	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	専	穿	箭	戰
	3280	扇	撰	栓	雪	浅	洗	染	賤	潜	煎	煽	選	遷	錢	銑	閃
	3300		織	羨	腺	舛	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃
3316	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲	嗜	塑	阻	措	曾	曾	楚	
ソ	3332	狙	疏	疎	礎	狙	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	3348	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	屨	匠	惣	想	搜	掃	插	搔
	3364	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	恣	槽	総	綜	聡
	3380	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎	
	3400		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
3416	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	
夕	3432	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	杓	舵	梢	陀	駄	体	堆	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
夕	3448	对	耐	岱	带	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
	3464	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	夙	蛸	只	
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	堅	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	3516	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箆	綻	耽
3532	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	值	知	地	
子	3548	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘蛛	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	3564	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	耐	峙	駐	楞	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	朝	涖	蝶	寵
	3600	帖	帳	帳	弔	弔	張	彫	微	懲	挑	暢	鳥	潮	牒	叮	眺
	3616	聽	賑	賜	蝶	調	課	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
3632	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	搦	
ツ	3648	槻	佃	漬	柘	辻	葛	綴	鏹	椿	濃	坪	壺	婦	袖	爪	吊
	3664	釣	鶴	亭	低	停	債	刺	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
テ	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎚	湖	哲
	3716	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	類
	3732	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
ト	3748	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	3764	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梲	棟
	3780	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
	3800		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鏡	陶	頭	騰	闢	働
	3816	動	同	堂	導	撞	撞	洞	瞳	童	洞	萄	道	銅	峠	鴉	匿
	3832	得	德	沓	特	督	秃	篤	毒	独	詭	枋	橡	凸	突	級	屈
3848	薦	苔	寅	西	瀦	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍	
ナ	3864	奈	那	内	乍	風	薙	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	暖	南	楠
	3880	軟	難	汝	二	尼	式	途	匂	脈	肉	虹	廿	日	乳	入	
ニ	3900		如	尿	菴	妊	忍	認	濡	襦	祢	寧	葱	納	猫	熱	年
ネ	3916	念	捻	燃	粘	乃	迺	之	埜	囊	囊	惱	濃	能	能	膿	
ノ	3932	農	覗	蚤	巴	把	播	崩	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
ハ	3948	俳	靡	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	3964	煤	煤	須	買	壳	陪	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	
	4000		函	箱	裕	箸	肇	管	櫃	幡	肌	畑	阜	八	鉢	滌	発
	4016	醜	髮	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	喘	蛤	隼	伴	判	半	反
	4032	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版	犯	斑	畔	繁	般	藩	販	範
	4048	采	煩	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	蕃	蚤	匪	卑	否	妃	庇

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ヒ	4064	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	篋	備	尾	微	枇	毘	琵琶	眉	美	
	4100		鼻	柎	裨	匹	疋	髭	彥	膝	菱	肘	拐	必	畢	筆	逼
	4116	桧	姬	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
	4132	廟	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜	蛭	鱸	品	彬	斌	浜	瀨	貧
4148	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷	
フ	4164	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蔭	伏	副	復	幅	服	
	4200		福	腹	復	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4216	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	秀	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
ヘ	4232	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋
	4248	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	媿	弁	鞭	保	舖	鋪
ホ	4264	圃	捕	步	圃	輔	穗	募	墓	戊	扈	扈	扈	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	崩	庖	抱	募	放	方	朋		
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒
	4316	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4332	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉉	防	吠	類	北	僕	卜	墨
4348	撲	朴	牧	睦	穆	卸	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
マ	4364	摩	磨	靡	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	禎	幕	膜	枕	鮪	枉
	4380	鱒	枿	亦	僕	又	抹	未	沫	迄	俣	繭	磨	万	慢	滿	
	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	叢	稔	脈	妙
ミ	4416	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	媚	娘	冥	名	命
メ	4432	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
モ	4448	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	柰	勿	餅
	4464	尤	戾	刎	貫	問	悶	紋	門	匆	也	治	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	棄	訊	躍	靖	柳	藪	鐘	偷	愈	油	癒	
ユ	4500		論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4516	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
ヨ	4532	誉	典	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
	4548	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	養	慾	抑	欲	
	4564	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
ラ	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	略	璃	
リ	4600		痢	裏	裡	里	離	離	陸	律	率	立	掠	略	劉	流	溜
	4616	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
	4632	寮	料	梁	涼	瓢	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4648	緑	倫	厘	林	淋	隣	琳	臨	輪	隣	麟	璫	璽	淚	累	麗
ル	4664	類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	壺	麗

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
レ	4680	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	隣	漣	煉	鍊	練	聯	
	4700		蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	烜	賂	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
ロ	4716	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	豐	顛	郎	六	麓	祿	肋	録
	4732	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	粹	鶯	互	互	鱒	詫	藪	蕨
ワ	4748	椀	湾	碗	腕												

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	4800	弋	丐	丕	个	卩	丿	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事		
	4816	舒	式	于	亞	亟	一	充	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仆	仗	
人	4832	仞	俛	仉	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	佗	佻	
	4848	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俛	俟	俎	俘	俛	侖	侖	侖	侖	
	4864	俚	倚	倨	偃	倪	倥	倅	倅	倅	倅	倡	倩	倅	倅	俯	們	
	4880	偃	假	會	偕	修	偈	做	偕	偈	偈	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	4900		僉	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	4916	僉	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	4932	兩	龠	兮	龠	門	回	册	冉	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	
	4948	寫	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	
	4964	鳳	口	函	又	刊	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	
力	4980	劓	剔	剪	剝	剩	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	
	5000		辨	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	
	5016	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	
	5032	牟	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	
	5048	厥	厥	厥	厶	參	纂	雙	叟	曼	變	叮	叨	叭	叭	叭	叭	
口	5064	呀	听	吭	吼	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	
	5080	咒	呻	咀	呷	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	
	5100		咫	哂	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	
	5116	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
	5132	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
	5148	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
	5164	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	
	5180	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	
	5200		圉	國	園	園	團	團	團	團	團	圉	圉	圉	圉	圉	圉	
土	5216	坩	垂	垚	坡	坩	坩	垓	垓	垓	垓	垓	垓	垓	垓	垓	垓	
	5232	埒	壘	坩	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	
	5248	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	
	5264	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	
大	5280	夭	夂	夸	夾	竒	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	
	5300	奸	妁	妝	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	
	5316	娑	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	
	5332	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	
	5348	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	
宀	5364	它	宀	宸	寬	寇	霍	寔	寐	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	
	5380	寶	尪	將	專	對	尔	尪	尪	尪	尪	尪	尪	尪	尪	尪	尪	
	5400		屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	
山	5416	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	
	5432	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	5448	嶄	嶂	峽	嶷	嶸	嶹	嶺	嶻	嶽	嶷	嶸	嶹	嶺	嶻	嶽	嶷	
	5464	巫	巳	卮	帀	帑	帒	帓	帔	帑	帒	帓	帔	帑	帒	帓	帔	
	5480	幟	幠	幣	帑	帒	帓	帔	帑	帒	帓	帔	帑	帒	帓	帔	帑	
广	5500		廖	廣	廡	廢	廣	廤	廥	廦	廨	廩	廪	廪	廪	廪	廪	
	5516	卅	弃	𠂔	𠂕	𠂖	𠂗	𠂘	𠂙	𠂚	𠂛	𠂜	𠂝	𠂞	𠂟	𠂠	𠂡	
	5532	互	彖	彗	彘	彛	彜	彞	彟	彠	彡	形	彣	彤	彥	彥	彥	
	5548	徙	徙	徠	徂	徃	径	待	徆	徇	徙	徚	徛	徜	徝	從	徟	
心	5564	怙	恂	怃	怄	怅	怆	怇	怈	怉	怊	怋	怌	怍	怎	怏	怛	
	5580	協	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恃	恄	恅	恆	恇	恈	恉	恊	恋	
	5600		恌	恍	恎	恏	恑	恒	恓	恔	恕	恖	恗	恘	恙	恚	恛	
	5616	悵	惘	惓	惔	惕	惖	惗	惘	惙	惚	惛	惜	惝	惞	惟	惠	
	5632		惢	惣	惤	惥	惦	惧	惨	惩	惪	惫	惬	惭	惮	惯	惰	
	5648	慚	慓	慔	慕	慖	慗	慘	慙	慚	慜	慝	慞	慟	慠	慡	慢	慣
	5664	慤	慥	慦	慧	慨	慩	慪	慫	慬	慭	慯	慰	慱	慲	慳	慴	慵
	5680	慶	慷	慸	慹	慺	慻	慼	慽	慿	慿	慿	慿	慿	慿	慿	慿	慿
	5700		戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	
手	5716	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	5732	拈	拜	拌	拊	拂	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	5748	捐	挾	捍	搜	捏	掖	揸	揈	揈	揈	揈	揈	揈	揈	揈	揈	揈
	5764	扞	挾	措	揀	揆	揣	揉	插	挪	揄	搖	牽	搆	搆	搆	搆	搆
	5780	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆	搆
	5800		據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據
	5816	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪
文	5832	收	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	
	5848	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	斲	
日	5864	晟	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	昃	
	5880	晟	晝	晰	晝	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	
	5900		暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	
	5916	朧	霸	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	
木	5932	柰	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	
	5948	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	
	5964	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	
	5980	梵	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	
	6000		栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	
	6016	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
	6032	榆	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
	6048	榻	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
	6064	柰	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
	6080	柰	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
木	6 1 0 0		槩	藥	檻	櫃	櫃	檉	檉	檉	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	
	6 1 1 6		櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟
	6 1 3 2		欵	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	
	6 1 4 8		殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	
	6 1 6 4		氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	
水	6 1 8 0		汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	
	6 2 0 0		洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	
	6 2 1 6		洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄
	6 2 3 2		洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄	洄
	6 2 4 8		湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮
	6 2 6 4		滿	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄
	6 2 8 0		溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
	6 3 0 0		溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
	6 3 1 6		澎	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄
	6 3 3 2		濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱
6 3 4 8		瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	
火	6 3 6 4		烙	焉	烽	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	
	6 3 8 0		煩	熨	熬	烟	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	
	6 4 0 0			燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	
	6 4 1 6		戕	戕	抵	牯	犁	犁	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	
犬	6 4 3 2		狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	
	6 4 4 8		狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	
玉	6 4 6 4		玻	珀	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	
	6 4 8 0		瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	
	6 5 0 0			瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	
	6 5 1 6		甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	甍	
田	6 5 3 2		畧	畫	畧	疇	疇	疇	疇	疇	疇	疇	疇	疇	疇	疇	疇	
	6 5 4 8		痲	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	
	6 5 6 4		痲	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
	6 5 8 0		瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
	6 6 0 0		癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	
目	6 6 1 6		輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	
	6 6 3 2		眇	眩	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	
	6 6 4 8		睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	
	6 6 6 4		瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	瞶	
石	6 6 8 0		碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	碓	
	6 7 0 0			磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	
	6 7 1 6		祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	
禾	6 7 3 2		秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15					
	6748	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉					
穴	6764	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠					
	6780	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦					
竹	6800		筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵					
	6816	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥					
	6832	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒				
	6848	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧				
	6864	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥	籥				
米	6880	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝				
糸	6900		紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵				
	6916	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨				
	6932	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾			
	6948	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵			
	6964	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵			
	7000		罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽			
	7016	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹	絹			
	7032	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸			
	7048	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未			
	7064	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾			
肉	7080	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛			
	7100		隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋	隋		
	7116	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛		
	7132	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉		
	7148	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與		
	7164	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙		
艸	7180	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜		
	7200		茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	
	7216	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
	7232	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	
	7248	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	
	7264	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯
	7280	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎	芎
	7300		葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶
	7316	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨
	7332	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	蒨	
虫	7348	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	
	7364	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟
	7380	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
虫	7400		蝓	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎	蛎
	7416		蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓
	7432		蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓	蝓
衣	7448		衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾
	7464		袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	7480		袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	7500		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
	7516		覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬
言	7532		訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
	7548		詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭
	7564		諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
	7580		誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦
	7600		諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫
	7616		豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈	豈
	7632		貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌
貝	7648		賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽
	7664		赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅
足	7680		跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
	7700		蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
	7716		躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅
	7732		軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋
車	7748		輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟
	7764		輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟
	7780		迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓
	7800		迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓
	7816		邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
	7832		鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒
酉	7848		醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
金	7864		釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
	7880		鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
	7900		錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
	7916		鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
	7932		鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
	7948		鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
門	7964		閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨
	7980		關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
阜	8000		陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	
	8016		隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹
雨	8032		霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽



	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	8 0 4 8	靜	靠	砲	視	罌	勒	叔	叔	納	鞅	袒	鞅	鞅	柄	鞋	鞅
革	8 0 6 4	鞋	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅
	8 0 8 0	韶	韻	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰
頁	8 1 0 0		顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛
食	8 1 1 6	舖	餘	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡	餡
	8 1 3 2	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
馬	8 1 4 8	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁
	8 1 6 4	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾
	8 1 8 0	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
彡	8 2 0 0		髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
	8 2 1 6	魄	魃	魏	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃
	8 2 3 2	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
魚	8 2 4 8	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	8 2 6 4	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
鳥	8 2 8 0	駝	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉
	8 3 0 0		鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉
	8 3 1 6	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉
	8 3 3 2	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉
	8 3 4 8	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
	8 3 6 4	微	微	微	微	微	微	微	微	微	微	微	微	微	微	微	微
	8 3 8 0	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
	8 4 0 0		亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮

# 索引

## 英数字

- 2 in 1 記録, 4-20
- 2 段カセットペディスタル・Y3, 3-4, 3-15
  - FL カセット・Y1, 3-16
  - FL カセット・Z1, 3-16
  - カセット, 3-15
  - 紙ぶまりの処理, 8-24
  - 仕様, 9-10
  - 右下カバー, 3-15
- 4 面はがきアイコン, 2-53
- COM10 No.10, 2-54, 3-18
- DADF-M1, 3-19, 7-25
- Default Authentication, 2-7
- DL, 2-54, 3-18
- ECM 受信, 4-21
- ECM 送信, 4-21
- FL カセット・Y1, 3-16
- FL カセット・Z1, 3-16
- FTP 送信指定に ASCII コード以外を許可, 4-19
- G4FAX ボード, 3-7
- HTTP を使用, 4-16
- IC カード使用時の自動プリント, 4-17, 6-46
- IC カード署名送信時の確認表示, 4-20
- ID / ユーザ名表示の ON/OFF, 4-17, 6-44
- IC カード認証機能拡張キット, 3-9
- IC カード認証クライアントソフトウェア, 3-9
- ID 不定リモートスキャンジョブの許可, 4-13, 6-13
  - カードリーダー - C1 使用時, 3-51
- ID 不定プリンタジョブの許可, 4-13, 6-13
  - カードリーダー - C1 使用時, 3-51
- ID (認証) キー, 1-14
- iR256MB 拡張 RAM, 3-6
- ISO-B5, 2-54, 3-18
- ISO-C5, 2-54, 3-18
- JIS 漢字コード表, 9-26
- LDAP サーバの登録, 4-16
- LIPS LX プリンタ&スキャナキット, 3-6
- MEAP インターフェースボード (USB), 3-6
- MEAP カウンタの確認, 5-3
- MEAP 設定, 4-16, 6-26
- mm 入力へ, 2-25, 4-29
- Monarch : Catalog Glove No.8, 2-54, 3-18
- OHP フィルムアイコン, 2-53
- OK キー, 2-18
- PCI バス拡張キット, 3-6
- PDF (OCR) 設定, 4-19
- PDF 送信時に機器署名を必ずつける, 4-15
- SDL (Simple Device Login), 2-8
  - ログイン, 2-29
- Send 拡張キット, 3-7
- SSO (Single Sign-On), 2-8
  - ログイン, 2-29
- USB 設定, 6-45
- USB デバイスを使用, 6-45
- USB ホストを使用, 6-45
- WebDAV 送信時にチャンク分割送信を使用, 4-20

## あ

- アース線の接続, 1-7
- アイコン (ジョブ状況), 5-6
- アイコン (ジョブの種類), 2-11, 5-6
- アイコン (本製品の種類), 2-11
- 相手発信元記録 (G4), 4-22
- 厚紙アイコン, 2-53

- 宛先の登録, 4-24
- 宛先表仕様設定, 4-24
- 宛先表のアクセス番号管理, 4-15
- 宛先表の暗証番号, 4-15
- 宛先表の名称登録, 4-24
- 宛先表リスト, 4-12
- アプリケーションのアンインストール, 2-7
- アプリケーションのインストール, 2-7
- 暗号化セキュアプリントジョブのみ受付, 4-17, 6-46
- 暗号化セキュアプリント設定, 4-17, 6-46
- 暗証番号
  - カードリーダー - C1 使用時の変更, 3-43
  - 消去, 6-10
  - 登録, 6-6
  - 入力, 2-26
  - 変更, 6-9
- 暗証番号の登録, 4-13
- 一時停止中アイコン, 5-6
- イメージ合成のフォーム登録, 4-8, 4-38
- 色紙アイコン, 2-53
- インチ入力, 4-6, 4-29
- インチ入力のしかた, 2-25
- インチ入力へ, 2-25
- インナー 2 ウェイトレイ・D1, 3-4, 3-32
  - インナートレイ, 3-33
  - 紙づまりの処理, 8-58
  - 仕様, 9-15
  - 排紙トレイガイド, 3-33
  - 排紙ユニット, 3-33
  - 本体右カバー, 3-33
- インナー 2 ウェイトレイ・D1 の機能, 3-32
  - 回転, 3-32
  - グループ, 3-32
  - ソート, 3-32
- インナートレイ, 3-33
- インナーパンチャーキット・Q1, 3-4, 3-20
  - 紙づまりの処理, 8-38
  - 仕様, 9-14
- パンチ屑の処理, 7-30
- ウィークリータイマー, 2-9
- ウィークリータイマーの設定, 4-10, 4-52
- 上カバー
  - サドルフィニッシャー・AE2, 3-26
  - パンチャーユニット・L1, 3-26
  - フィニッシャー・AE1, 3-26
- ウェブブラウザ拡張キット, 3-9
- 後側ガイド
  - 封筒カセット・C2, 3-18
- うずまき Y-401, 7-13
- 英字の入力, 2-21
- エラーアイコン, 2-11, 5-6
- エラー文書クリア, 4-19
- エラーメッセージ一覧, 8-75
- エラーランプ, 1-14
- 往復はがきアイコン, 2-53
- オートカセットチェンジ機能, 2-15
- オートクリア機能, 2-15
- オートクリア後の機能, 4-6, 4-27
- オートクリアタイム, 4-10, 4-52
- オートスリープタイム, 4-10, 4-51
- オートタテヨコ回転, 2-17, 4-18
- オープンボタン
  - サイドペーパーデッキ・Q1, 3-17, 7-10
  - 封筒カセット・C2, 3-18
- オプション機器の構成, 3-3
- オフフックアラーム, 4-21
- おもな機能, 2-2
- 音量調整, 4-21

## か

- カードリーダー - C1, 1-19, 3-4, 3-41
  - 仕様, 9-16
  - 本体の使用終了後の操作, 3-42
  - 本体を使用する前の操作, 3-42
- カードリーダー - C1 使用時の部門別 ID 管理, 3-43

- ID 不定プリンタジョブの許可, 3-51
- ID 不定リモートスキャンジョブの許可, 3-51
- 暗証番号の変更, 3-44
- カウンタの確認とプリント, 3-49
- カウンタのクリア, 3-50
- 制限面数の変更, 3-44
- カールの直ししかた, 2-43
- 回線種類の選択, 4-21
- 回転
  - インナー 2 ウェイトレイ・D1 の機能, 3-32
  - コピートレイ・J1 の機能, 3-35
- 開閉センサー, 2-35
- カウンタ確認キー, 1-14, 5-2
- カウンタの確認, 5-2
- カウンタ管理, 3-49, 3-50, 4-13
- カウンタ残数, 3-47
- カウンタの確認とプリント, 6-11
  - カードリーダー - C1 使用時, 3-49
- カウンタのクリア, 6-13
  - カードリーダー - C1 使用時, 3-50
- カセット, 3-15
  - 2 段カセットペディスタル・Y3, 3-15
  - 紙づまりの処理, 8-17, 8-21, 8-24
  - サイズシール, 7-8
  - 指標, 7-7
  - 使用できる用紙, 2-53
  - 左側ガイド, 7-6
  - 前側ガイド, 7-7
  - 用紙サイズの変更, 7-6
  - 用紙サイズ登録ダイヤル, 7-7
  - 用紙の補給, 7-2
- カセット 1, 1-12
  - 紙づまりの処理, 8-17
- カセット 2, 1-12
  - 紙づまりの処理, 8-21
- カセットオート選択の ON/OFF, 4-6, 4-29
- カセットガイドの調節, 7-6
- カセット選択, 4-20
- 画像縮小, 4-20
- カタカナの入力, 2-21
- 下部トレイ, 3-27
- 紙づまり, 8-3, 8-4
- 紙づまりアイコン, 2-11
- 紙づまり箇所の確認, 8-4
- 紙づまりが起こったときの表示, 8-4
- 紙づまりの処理
  - 2 段カセットペディスタル・Y3, 8-24
  - インナー 2 ウェイトレイ・D1, 8-58
  - カセット 1, 8-17
  - カセット 2, 8-21
  - コピートレイ・J1, 8-61
  - サイドペーパーデッキ・Q1, 8-27
  - サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニット, 8-52
  - サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部, 8-50
  - 定着ユニット, 8-10
  - 手差しトレイ, 8-14
  - パンチャーユニット・L1, 8-55
  - フィーダ (DADF-M1), 8-30
  - フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部, 8-46
  - フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッシャー・AE2 のパッフアパスユニット, 8-48
  - フィニッシャー・S1, 8-33
  - フィニッシャー・S1 / インナーパンチャーキット・Q1 の入り口, 8-38
  - フィニッシャー・S1 の入り口, 8-43
  - 両面ユニット, 8-12
- 画面色反転, 4-9, 4-46
- 画面コントラストダイヤル, 1-14, 2-20
- 漢字の入力, 2-22
- かんたんナビ画面の表示, 2-12
  - 詳細説明画面, 2-13
  - トップ画面, 2-12

- リスト表示画面, 2-12
- かんたんナビキー, 1-14
- 機器情報通信履歴レポート, 9-6
- 機器情報配信先リスト, 9-5
- 機器情報配信の設定, 4-16, 6-29
- 機器署名の証明書確認, 4-20
- 記号の入力, 2-21
- 機能（モード）設定キー, 2-18
- 機能毎受信制限, 4-17, 6-39
- 機能制限, 9-20
- 機能制限モード, 4-10
- 機能の表示設定, 4-6, 4-25
- 基本登録, 4-21
- 機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF, 4-17
- キャンセルキー, 2-18
- 給紙方法切替, 4-8, 4-44
- 強制地紋印字モード, 4-17, 6-48
- 共通仕様設定, 4-6, 4-25
- 共通仕様設定の初期化, 4-10, 4-50
- クイック画面のお好みキーの設定, 4-18
- クイック画面の用紙選択キー設定, 4-18
- 区点コードの入力, 2-22
- クリアキー, 1-14
- グループ
  - インナー 2 ウェイトレイ・D1 の機能, 3-32
  - コピートレイ・J1 の機能, 3-35
  - サドルフィニッシャー・AE2 の機能, 3-27
  - フィニッシャー・AE1 の機能, 3-27
  - フィニッシャー・S1 の機能, 3-21
- 掲示板, 2-14
- 掲示板の種類, 2-14
- 掲示板の消去, 4-15, 6-17
- 原稿給紙トレイ, 2-38, 3-19
- 原稿サイズの自動検知, 2-33
- 原稿セット表示, 2-38, 3-19
- 原稿台カバータイプ L, 3-4
- 原稿台カバー裏面の清掃, 7-46
- 原稿台ガラス, 1-13
- 原稿台ガラスにセットする方法, 2-35
- 原稿台ガラスの清掃, 7-46
- 原稿の厚さ, 2-37
- 原稿のサイズ, 2-37
- 原稿のセット, 2-33
  - 原稿サイズ, 2-33
  - 原稿台ガラス, 2-33
  - タテ置き, 2-34
  - フィーダ（自動原稿送り装置）, 2-33
  - ヨコ置き, 2-34
- 原稿排紙部, 2-39, 3-19
- 原稿向き, 9-22
- 原稿読み取り部の清掃表示, 4-10, 4-49
- コーナーステイブル, 3-21, 3-28
- 異なる規格の封筒のセット, 7-19
- コピー, 2-2, 2-6
- コピー残数, 3-47
- コピー仕様設定, 4-18
- コピー仕様設定の初期化, 4-18
- コピージョブアイコン, 2-11, 5-6
- コピージョブの詳細情報の確認, 5-9
- コピートレイ・J1, 3-4, 3-35
  - 紙づまりの処理, 8-61
  - 仕様, 9-16
  - 排紙トレイ, 3-35
  - 補助トレイ, 3-35
- コピートレイ・J1 の機能
  - 回転, 3-35
  - グループ, 3-35
  - ソート, 3-35
- コピー履歴レポート, 9-3
- コピー履歴レポートのプリント, 5-11
- コメント, 4-13, 6-4
- コントロールカード, 2-27, 3-41
- コントロールカード（部門 ID）の  
カウント面数の確認, 3-48
- コントロールカード（部門 ID）の制限面数の確認, 3-48

コントロールカードのカウント情報の確認, 3-48

## さ

サービスコール表示, 8-87

再生紙アイコン, 2-53

サイズシール, 7-8

サイドペーパーデッキ・Q1, 3-4, 3-17, 7-9

    オープンボタン, 3-17

    紙づまりの処理, 8-27

    仕様, 9-10

    使用できる用紙, 2-53

    用紙残量表示, 3-17

    用紙の補給, 7-9

    リリースレバー, 3-17

サドルフィニッシャー・AE2, 3-5, 3-26

    上カバー, 3-26

    下部トレイ, 3-27

    紙づまりの処理, 8-46, 8-48, 8-50, 8-52

    仕様, 9-13

    上部トレイ, 3-27

    ステイブルユニット針ケースの交換, 7-33

    製本トレイ, 3-27

    製本トレイガイド, 3-27

    中とじユニット針カートリッジの交換,  
    7-36

    バッファパスユニット・E2, 3-26

    針づまりの処理, 8-68, 8-71

    前カバー, 3-27

サドルフィニッシャー・AE2 の機能, 3-27

    グループ, 3-28

    シフト, 3-28

    ステイブルソート, 3-28

    ソート, 3-27

    中とじステイブル, 3-29

サブ電源, 1-14

サマータイムの設定, 6-20

時刻微調整, 4-10, 4-51

自己診断表示, 8-75

システムオプションの構成, 3-6

システム管理暗証番号, 4-13, 6-4

システム管理者情報の設定, 4-13, 6-3

システム管理者名, 4-13, 6-4

システム管理設定, 4-13, 6-3

システム管理部門 ID, 4-13, 6-4

システム状況/中止, 2-6, 5-4

システム状況画面, 2-10, 5-4

システム状況画面 ( デバイス ), 2-10

システム状況画面 ( プリント ), 2-10

システム状況画面の制限, 4-16, 6-23

システム情報のプリント, 4-16

システム設定, 1-25

システムボックス設定, 4-14

実行中アイコン, 5-6

実行/メモリランプ, 1-14

自動オフライン移行, 4-15, 6-18

自動オンライン/オフライン移行, 4-15, 6-18

自動オンライン移行, 4-15, 6-18

自動受信切替, 4-22

自動ソート, 4-18

自動配信設定, 4-16, 6-35

シャットダウンモード, 1-21, 4-10

自動リダイヤル, 4-21

指標

    カセット, 7-7

    封筒カセット・C2, 7-23

シフト

    サドルフィニッシャー・AE2 の機能,  
    3-27

    フィニッシャー・AE1 の機能, 3-27

    フィニッシャー・S1 の機能, 3-21

終了コード一覧, 8-77

受信機能設定, 4-20

受信情報記録, 4-20

受信モード選択, 4-21

主電源スイッチ, 1-15

主電源の入れかた, 1-15

主電源の切りかた, 1-20

主電源ランプ, 1-14  
 手動配信, 4-17, 6-37  
 仕様, 9-7  
 詳細情報, 5-9  
 詳細説明画面, 2-13  
 使用できる用紙, 2-53  
 消費電力の節約, 2-9  
 上部トレイ, 3-27  
 消耗品, 7-52  
 消耗品確認, 5-7  
 初期設定／登録一覧表, 4-5  
 初期設定／登録画面の操作の流れ, 4-3  
 初期設定／登録キー, 1-14, 2-8  
 初期設定／登録ジョブアイコン, 2-11  
 ジョブ／プリント状況表示部, 2-6  
 ジョブ間仕切紙, 4-9, 4-47  
 ジョブ間シフト, 4-9, 4-46  
 ジョブ状況  
     システム状況画面, 5-5  
     プリント画面, 5-8  
 ジョブ状況の確認, 5-4  
     システム状況画面からの操作, 5-5  
     プリント画面からの操作, 5-7  
 ジョブの確認／操作, 2-10  
 ジョブの詳細情報の確認, 5-9  
     システム状況画面からの操作, 5-9  
     プリント画面からの操作, 5-10  
 ジョブ履歴, 5-6  
     システム状況画面, 5-6  
     プリント画面, 5-8  
 ジョブ履歴のプリント, 5-11  
     システム状況画面からの操作, 5-11  
     プリント画面からの操作, 5-12  
 新規宛先の制限, 4-15  
 新機能の追加, 2-7  
 シンプル画面のお好みキー 1、2 の設定, 4-18  
 スーパー G3FAX ボード, 4-9  
 ズーム微調整, 4-11, 4-53  
 スキャン残数, 3-48, 3-48  
 スタートキー, 1-14  
 スタンプカートリッジ, 7-53  
 スタンプカートリッジの交換, 7-25  
 ステイブル・D2, 3-4  
 ステイブル・D3, 3-4  
 ステイブル・J1, 3-4  
 ステイブルソート  
     サドルフィニッシャー・AE2 の機能, 3-27  
     フィニッシャー・AE1 の機能, 3-27  
     フィニッシャー・S1 の機能, 3-21  
 ステイブルユニット, 7-37, 8-72  
 ストップキー, 1-14  
 済みスタンプ, 7-25  
 スライドガイド  
     手差しトレイ, 2-42  
     フィーダ (DADF-M1), 2-38, 3-19  
 スリープ時の消費電力, 4-6, 4-33  
 スリープ状態の解除, 1-20  
 スリープモード, 2-9  
 制限の ON/OFF と制限面数の設定, 3-46, 6-7, 6-10  
 制限面数  
     カードリーダー - C1 使用時の変更, 3-43  
     消去, 6-10  
     登録, 6-6  
     変更, 6-9  
 製本トレイ, 3-27  
 製本トレイガイド, 3-27  
 セキュア文書アイコン, 5-6  
 設置スペース, 1-6  
 設置場所と取り扱い, 1-2  
     アース線の接続, 1-7  
     移動, 1-8  
     設置スペース, 1-6  
     設置場所, 1-2  
     電源, 1-5  
     取り扱い, 1-8  
 設置場所の登録, 6-16

- 設定取消キー, 2-18
- 節電, 2-9
- 全データ／設定の初期化, 4-16
- 操作パネル, 1-11, 1-14
- 操作部電源スイッチ, 1-14, 1-20
- 操作ペン, 1-14
- 送信, 2-3
- 送信／受信仕様設定, 4-19
- 送信／ファクス, 2-6
- 送信／ファクスカウンタの確認, 5-2
- 送信／ファクスジョブアイコン, 2-11, 5-6
- 送信回線の選択, 4-22
- 送信画面の初期表示, 4-20
- 送信機能設定, 4-19, 4-21
- 送信機能設定の初期化, 4-20
- 送信機能の制限, 4-15
- 送信機能の標準モードの変更, 4-19
- 送信結果レポート, 4-12
- 送信終了アイコン, 5-6
- 送信前のダイヤルトーン確認, 4-21
- 増設回線設定, 4-22
- ソート
  - インナー 2 ウェイトレイ・D1 の機能, 3-32
  - コピートレイ・J1 の機能, 3-35
  - サドルフィニッシャー・AE2 の機能, 3-27
  - フィニッシャー・AE1 の機能, 3-27
  - フィニッシャー・S1 の機能, 3-21
- 明るさの調節, 2-20
- キー表示, 2-18
- 表示の切り替え, 2-5
- よく使うキー, 2-18
- ダブルステイブル, 3-28
- 着信呼出, 4-21
- 中止中アイコン, 5-6
- 調整／クリーニング, 4-11, 4-53
- 通信管理設定, 4-14
- 通信管理レポート, 4-12
- 通信履歴, 4-17, 6-40
- 通信モード, 4-17
- 使いかたにあわせた仕様の設定, 2-8
- 次へキー, 2-18
- データの復帰, 4-17, 6-38
- 定型業務ボタンの登録, 4-19
- 定型業務ボタン呼出時の確認表示, 4-19
- 定着ユニット, 8-10
  - 紙づまりの処理, 8-10
- 手差しトレイ
  - 紙づまりの処理, 8-14
  - 使用できる用紙, 2-53
- 手差しトレイからのプリント, 2-40
  - 封筒のセット, 2-44
  - 郵便はがきのセット, 2-46
- 手差し封筒種指定, 4-42
- 手差し用紙の標準モード登録, 4-8, 4-43
- 手差し用紙変更予約, 2-42
- テストボタン, 1-12
- デバイス, 5-7
- デバイス状況の確認, 5-4
- デバイス情報の設定, 4-15, 6-16
- デバイス名の登録, 6-16
- テンキー, 1-14
- テンキーアイコン, 2-20
- 電源, 1-5
- 電源の入れかた, 1-15
  - 主電源スイッチ, 1-15
  - 操作部電源スイッチ, 1-20

## た

- 第 2 原図アイコン, 2-53
- 第 2 原図用紙にプリント, 2-40
- 待機中アイコン, 5-6
- タイマー設定, 4-10, 4-51
- タイムゾーンの設定, 6-20
- ダイレクトプリント拡張キット, 4-8
- タッチパネルディスプレイ, 1-14, 2-5, 2-18



電子メール／Iファクス設定, 4-14  
電子メール／Iファクスの送信ドメイン制限,  
4-15  
転送エラー文書の処理, 4-19  
転送設定, 4-15  
トータルプリント残数, 3-46, 3-47, 3-48, 6-7  
閉じるキー, 2-18  
トップ画面, 2-12  
トナー補給, 7-45  
トナー補給カバー, 1-13  
トナー容器, 1-13  
トナー容器交換アイコン, 2-11  
トナー容器の交換, 7-42  
トナー容器の購入, 7-53  
取り扱い上の注意, 1-2

## な

中カバー, 7-25  
中とじ, 3-29  
中とじ位置変更, 4-11, 4-54  
中とじ針頭出し, 4-11, 4-53  
中とじユニット, 7-37, 8-71  
日常のお手入れ, 7-46  
認証, 2-27  
認証前のジョブ状況の表示, 4-16, 6-23  
ネットワーク管理者からのメッセージの表示,  
2-14  
濃度補正, 4-11, 4-54

## は

排紙トレイ  
    コピートレイ・J1, 3-35  
    フィニッシャー・S1, 3-20  
    本体, 1-12  
排紙トレイガイド, 3-33  
    インナー 2 ウェイトレイ・D1, 3-33

    本体, 1-12  
排紙トレイの設定, 4-7, 4-35  
排紙ユニット  
    インナー 2 ウェイトレイ・D1, 3-33  
    フィニッシャー・S1, 3-21  
配信先の登録, 4-16, 6-34  
配信元による受信制限, 4-17, 6-38  
はがきアイコン, 2-53  
発信人名称の登録, 4-19  
発信元記録, 4-20  
バッファバスユニット・E2, 3-4  
    紙づまりの処理, 8-48  
針カートリッジ, 7-28, 8-65  
針ケースの交換  
    サドルフィニッシャー・AE2, 7-33  
    フィニッシャー・AE1, 7-33  
    フィニッシャー・S1, 7-27  
針づまりアイコン, 2-11  
針づまりの処理, 8-64  
    サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユ  
    ニット, 8-71  
    フィニッシャー・AE1 / サドルフィニッ  
    シャー・AE2 のステイブルユニット,  
    8-68  
    フィニッシャー・S1, 8-64  
搬送ガイド (上), 8-51  
搬送ガイド (下), 8-51, 8-54  
パンチ穴, 3-23, 3-30  
パンチ済み紙アイコン, 2-53  
パンチャーユニット・L1, 3-4, 3-26  
    上カバー, 3-26  
    紙づまりの処理, 8-55  
    仕様, 9-14  
    パンチ屑の処理, 7-39  
    前カバー, 3-26  
ハンドセット・G2, 3-4, 3-37  
左側ガイド  
    カセット, 7-6  
    封筒カセット・C2, 3-18, 7-20

- 日付／時刻設定, 4-15, 6-19
- 表示言語の切替, 4-9, 4-45
- 標準モード, 1-17
- 標準モードの変更, 4-18
- ひらがなの入力, 2-22
- ファクス, 2-3
- ファクス受信結果レポート, 4-12
- ファクス設定, 4-14
- ファクス送信結果レポート, 4-12
- ファクス通信管理レポート, 4-12
- ファクスドライバからの送信を許可, 4-16
- ファクス番号入力時の確認入力, 4-15
- ファクスボックス受信レポート, 4-12
- ファクスボックスの設定／登録, 4-23
- ファンクション制限, 3-46, 6-8
- フィーダ (DADF-M1), 3-4, 3-19, 7-25
  - 紙づまりの処理, 8-30
  - 原稿給紙トレイ, 3-19
  - 原稿セット表示, 3-19
  - 原稿の厚さ, 2-37
  - 原稿のサイズ, 2-37
  - 原稿排紙部, 3-19
  - 仕様, 9-9
  - スライドガイド, 3-19
  - セットできる枚数, 2-37
  - フィーダカバー, 3-19
- フィーダカバー, 3-19
- フィーダで読み取った原稿が汚れたときの処理, 4-57, 7-51
- フィーダにセットする方法, 2-37
- フィーダのクリーニング, 4-11, 4-57, 7-51
- フィーダの清掃, 7-47
- フィニッシャー・S1, 3-4, 3-20
  - 紙づまりの処理, 8-33, 8-38, 8-43
  - 仕様, 9-11
  - 排紙トレイ, 3-20
  - 針ケースの交換, 7-27
  - 針づまりの処理, 8-64
  - 引きハンドル, 3-21
  - フィニッシャー追加トレイ・B1, 3-20
  - 補助トレイ, 3-20
  - 前カバー, 3-20
- フィニッシャー・S1 の機能, 3-21
  - グループ, 3-21
  - シフト, 3-21
  - ステイブルソート, 3-21
  - ソート, 3-21
- フィニッシャー・AE1, 3-5, 3-26
  - 上カバー, 3-26
  - 下部トレイ, 3-27
  - 紙づまりの処理, 8-46, 8-48
  - 仕様, 9-12
  - ステイブルユニット針ケースの交換, 1-21
  - 上部トレイ, 3-27
  - バッファパスユニット・E2, 3-26
  - 針づまりの処理, 8-68
  - 前カバー, 3-27
- フィニッシャー・AE1 の機能, 3-27
  - グループ, 3-28
  - シフト, 3-28
  - ステイブルソート, 3-28
  - ソート, 3-27
- フィニッシャー用追加トレイ・B1, 3-4
  - 仕様, 9-15
- 封筒アイコン, 2-53
- 封筒受け台, 3-18
- 封筒カセット・C2, 3-18, 7-13
  - 後側ガイド, 3-18
  - オープンボタン, 3-18
  - 仕様, 9-10
  - 左側ガイド, 3-18
  - 封筒受け台, 3-18
  - 前側ガイド, 3-18
  - 用紙サイズ系列スイッチ, 3-18
- 封筒カセットの登録, 4-6, 4-30
- 封筒にプリント, 2-47
- 封筒のセット, 7-15
- 封筒の補給, 7-17

複合動作, 2-51  
ブザーの ON/OFF, 4-6, 4-28  
部数印字拡張の設定, 4-16, 6-21  
部数間仕切紙, 4-47  
普通紙アイコン, 2-53  
部門 ID  
    消去, 6-10  
    登録, 6-6  
    入力, 2-26  
部門 ID / ユーザ名表示の ON/OFF, 4-17, 4-17  
部門別 ID 管理, 4-13, 6-5  
    カードリーダー - C1 使用時, 3-43  
プリンタジョブアイコン, 2-11, 5-6  
プリンタドライバから保存時のプリント, 4-18,  
6-52  
プリント, 2-3, 2-6  
プリント画面, 2-10  
プリント残数, 3-48  
プリント状況からのセキュアプリントを許可,  
4-16, 6-24  
プリントジョブの詳細情報の確認, 5-9  
    システム状況画面からの操作, 5-9  
    プリント画面からの操作, 5-10  
プリント待ち時間表示, 4-10, 4-48  
プリント待ち時間表示機能, 2-15  
プリント優先順位, 4-8, 4-37  
プリント履歴レポート, 9-4  
プリント履歴レポートのプリント, 5-11  
    システム状況画面からの操作, 5-11  
    プリント画面からの操作, 5-12  
プレーカー  
    プレーカーの確認, 8-91  
    プレーカー点検チェックシート, xxxi  
    定期点検, xxix  
文書の自動消去までの時間, 4-18, 6-51  
ページ印字 / スタンプの文字列登録, 4-41  
ポーズ時間セット, 4-21  
補修用性能部品, 7-54  
保守サービス, 7-54

補助トレイ  
    コピートレイ・J1, 3-35  
    手差しトレイ, 2-42  
    フィニッシャー・S1, 3-20  
ボックス, 2-2, 2-6  
ボックスジョブアイコン, 2-11, 5-6  
ボックス仕様設定, 4-23  
本体外観, 1-11  
本体各部の名称とはたらき, 1-11  
本体仕様, 9-7  
本体内部, 1-13  
    紙づまりの処理, 8-58  
本体右カバー, 3-21, 3-33

## ま

前カバー  
    サドルフィニッシャー・AE2, 3-27  
    パンチャーユニット・L1, 3-26  
    フィニッシャー・AE1, 3-27  
    フィニッシャー・S1, 3-20  
前側ガイド, 3-18  
マルチ FAX ボード, 4-10  
右下カバー, 3-15  
メールアドレス, 4-13, 6-4  
メモリアル時の処理, 8-85  
文字 / 背景のコントラスト調整, 4-55  
文字制限, 9-17  
文字の入力, 2-21  
    英字, 2-21  
    カタカナ, 2-21  
    漢字, 2-22  
    記号, 2-21  
    区点コード, 2-22  
    ひらがな, 2-22  
    文節の区切りの変更, 2-23  
戻るキー, 2-18

## や

ユーザ証明書の確認, 4-20  
ユーザデータリスト, 4-12  
ユーザ電話番号の登録, 4-21  
ユーザ入力項目の機能制限, 9-20  
ユーザ入力項目の文字制限, 9-17  
ユーザボックス一括設定, 4-17, 6-51  
    プリンタドライバから保存時のプリント,  
    4-18, 6-52  
    文書の自動消去までの時間, 4-18, 6-51  
ユーザボックスの設定/登録, 4-23  
ユーザ定義の用紙種類の登録, 6-53  
ユーザ定義の用紙種類の編集, 6-54  
ユーザ略称の登録, 4-19  
有効期限切れ証明書使用時の PDF 送信を許可,  
4-15  
優先プリント, 5-13  
    システム状況画面からの操作, 5-13  
    プリント画面からの操作, 5-14  
郵便はがきにプリント, 2-48  
洋形 4 号, 2-54, 3-18  
用紙サイズ系列スイッチ, 3-18, 7-23  
用紙サイズ登録ダイヤル, 7-7  
用紙サイズの変更, 7-6  
用紙残量表示, 2-16  
    サイドペーパーデッキ・Q1, 3-17  
用紙種類の管理設定, 6-53  
用紙種類の登録, 4-6, 4-31  
用紙選択画面の優先表示, 4-6, 4-32  
用紙の購入, 7-52, 7-54  
用紙の種類, 2-53  
用紙の補給, 7-2  
    カセット, 7-2  
    サイドペーパーデッキ, 7-9  
用紙向き, 9-22  
読み込み設定の標準モード, 4-23

## ら

ライセンスキー取得, 1-27  
ライセンス登録, 4-16  
ラベル用紙アイコン, 2-53  
リスト表示画面, 2-12  
リストプリント, 4-12, 5-11  
リセットキー, 1-14  
リトライ回数, 4-19  
リモート UI, 2-3  
リモート UI の ON/OFF, 4-14, 6-15  
リモートコピー送信タイムアウト, 4-17  
リモートコピープリンタの登録, 4-17  
リモート受信, 4-22  
リモートスキャナ, 2-6  
リモートスキャン, 2-4  
リモートスキャンアイコン, 2-11  
両面記録, 4-20  
両面ユニット  
    紙づまりの処理, 8-12  
リリースレバー, 3-17  
レポートサンプル, 9-3  
レポート出力, 4-12  
レポートジョブアイコン, 2-11, 5-6  
連絡先, 4-13, 6-4  
ローカルプリントの標準モード, 4-9, 4-45  
ローマ字入力表, 9-25  
ログインサービスによる使用者の管理と特定,  
2-7

## わ

ワイヤー補助トレイ, 2-42  
ワンタッチボタンの登録, 4-24

# iR3045/iR3035/iR3025 シリーズシステム管理モードについて

この“iR3045/iR3035/iR3025 シリーズシステム管理モードについて”の部分は、切り取って、管理責任者が保管しておいてください。

初期設定／登録のシステム管理者情報を設定することによって、初期設定／登録のシステム管理設定に規制をかけたり、他のユーザが設定した内容を管理することが可能になるモードをシステム管理モードといいます。

システム管理モードで行える操作は次のとおりです。

- ボックス内の文書の管理
- ボックス仕様設定

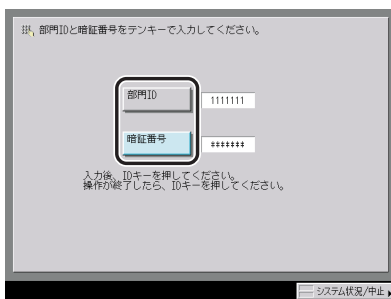
## システム管理モードにする

- 重要**
- SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが一般ユーザの場合はシステム管理モードにすることはできません。
  - SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが管理者の場合のみシステム管理モードにすることができます（システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されたときは、該当項目を入力してください）。

## 部門別 ID 管理をしている場合

### 1 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を①～⑨（テンキー）で入力します。

- [部門 ID] を押したあと、システム管理部門 ID を入力します。
- [暗証番号] を押したあと、システム管理暗証番号を入力します。
- ①（認証）を押します。



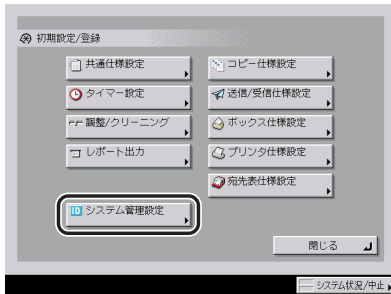
システム管理モードになります。

## 部門別 ID 管理をしていない場合

- 1 ④(初期設定/登録) を押します。

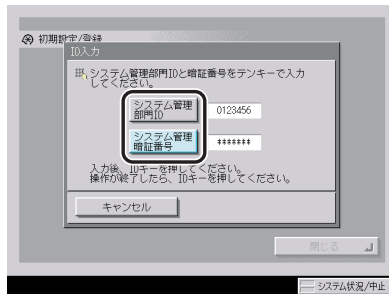


- 2 [システム管理設定] を押します。



- 3 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を①～⑨(テンキー) で入力します。

- [システム管理部門 ID] を押したあと、システム管理部門 ID を入力します。
- [システム管理暗証番号] を押したあと、システム管理暗証番号を入力します。
- ⑩(認証) を押します。



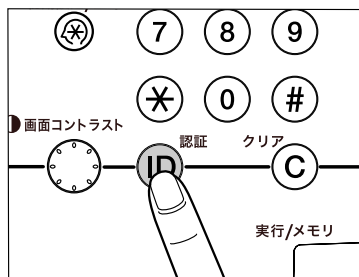
システム管理モードになります。



システム管理設定（初期設定／登録）のシステム管理者情報の設定で登録した番号を入力します。（→システム管理者情報を設定する（システム管理者情報の設定）：P.6-3）

## システム管理モードを解除する

### 1 ①D（認証）を押します。



システム管理モードが解除されます。オートクリア機能が働いた場合もシステム管理モードは解除され、オートクリア後の機能で設定した機能の画面に戻ります。

## システム管理モードでボックスの操作をする

ユーザが設定したボックスの文書进行操作することができます。例えば、暗証番号がわからなくなったユーザのボックスを操作したり、不要な文書の削除や緊急時に暗証番号が設定されているボックス内文書を取り出すことなどができます。

### 1 システム管理モードにします。



システム管理モードにする手順については、「システム管理モードにする」（→P.9-49）の手順1を参照してください。

## 2 [ボックス] を押します。



## 3 ボックスの操作を行います。

**メモ** ボックスの使いかたについては、「コピー／ボックスガイド」を参照してください。

## システム管理モードでボックス仕様を変更する

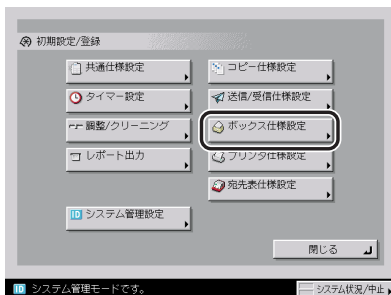
暗証番号で規制のかかっているボックスの仕様を変更することができます。例えば、不要になったボックスを初期化したり、ボックス名称などを変更することができます。

また、暗証番号がわからなくなったボックスの暗証番号を再設定することもできます。

### 1 システム管理モードにします。

**メモ** システム管理モードにする手順については、「システム管理モードにする」(→ P.9-49)の手順1を参照してください。

### 2 初期設定／登録画面で [ボックス仕様設定] を押して、設定を変更します。



ボックスの設定方法については、コピー／ボックスガイド「第8章 使いかたにあわせた仕様の設定」を参照してください。



3 【閉じる】を押します。





## 消耗品のご注文先

販売先

---

電話番号

---

担当部門

---

担当者

---

## サービス担当者 連絡先

販売店

---

電話番号

---

担当部門

---

担当者

---

# Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

# 050-555-90052

[受付時間] <平日> 9:00~12:00、13:00~17:00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9626をご利用ください。

※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：<http://canon.jp>